三重県埋蔵文化財調査報告 79

昭和61年度農業基盤整備事業地域

埋蔵文化財発掘調査報告 I

── 遺物観察表・図版編 ──

1989・3

三 重 県 教 育 委 員 会

例　　言

1．本報告書は、昭和61年度農業基盤整備事業地内にかかる埋蔵文化財発掘調査報告書の一部である。

2．本報告書には、『昭和61年度農業基盤整備事業地域、埋蔵文化財発掘調査報告Ⅰ－本文編－』で報告した遺跡の遺物観察表と写真図版を収録した。

3．発掘調査は、次の体制で実施した。

調査主体　　三重県教育委員会

調査担当　　三重県教育委員会事務局文化課

調査協力　　三重県農林水産部、各農林水産事務所、各土地改良区、各教育事務所、各市町村教育委員会

4．遺物整理・報告書作成は、調査担当者があたり各表の文末に文責を明記した。

5. スキャニングによるデーター取り込みのため、若干のひずみが生じています。各図の縮尺率はスケールバーを参照ください。

付　表　目　次

付表1	橋門遺跡	A地区遺物観察表	1
付表2	橋門遺跡	B・C地区遺物観察表	2
付表3	橋門遺跡	SE22井戸材観察表	4
付表4	算所遺跡	遺物観察表	5
付表5	東野遺跡	遺物観察表	7
付表6	杉垣内遺跡	A地区遺構遺物観察表	11
付表7	杉垣内遺跡	A地区弥生土器観察表	15
付表8	杉垣内遺跡	A地区古墳時代土師器観察表	16
付表9	杉垣内遺跡	A地区古墳時代須恵器観察表	17
付表10	杉垣内遺跡	A地区飛鳥・奈良・平安時代土師器観察表	20
付表11	杉垣内遺跡	A地区飛鳥・奈良・平安時代須恵器観察表	25
付表12	杉垣内遺跡	C地区遺構土器観察表	28
付表13	杉垣内遺跡	C地区縄文土器観察表	30
付表14	杉垣内遺跡	C地区弥生土器観察表	31
付表15	杉垣内遺跡	C地区石製品観察表	36
付表16	杉垣内遺跡	C地区包含層遺物観察表	37
付表17	杉垣内遺跡	D・E地区土器観察表	39
付表18	杉垣内遺跡	SE23・24　斎串観察表	41
付表19	杉垣内遺跡	SE23・24　木製品観察表	42
付表20	杉垣内遺跡	斎串観察表	42
付表21	杉垣内遺跡	祭祀用木製品観察表	44
付表22	杉垣内遺跡	荷札・木簡観察表	45
付表23	杉垣内遺跡	容器観察表（1．刳物・挽物）	45
付表24	杉垣内遺跡	容器観察表（2．曲物底板）	46
付表25	杉垣内遺跡	農具観察表	46
付表26	杉垣内遺跡	その他木製品観察表	47
付表27	杉垣内遺跡	A地区SE24井戸材観察表	48
付表28	深長古墳	遺物観察表	49
付表29	本堂遺跡	遺物観察表	58
付表30	堂ノ後遺跡	遺物観察表	59
付表31	赤城遺跡	遺物観察表	78
付表32	中戸遺跡	縄文土器観察表	80

図　版　目　次

ＰＬ１－１	橋門遺跡	Ａ地区全景　ＳＥ３・４
ＰＬ１－２	〃	ＳＥ３　Ｂ地区全景
ＰＬ１－３	〃	ＳＢ14・15
		ＳＢ16・17・18・20
ＰＬ１－４	〃	ＳＥ22　Ｃ地区全景
ＰＬ１－５	〃	遺物
ＰＬ１－６	〃	ＳＥ22井戸縦板（１）
ＰＬ１－７	〃	ＳＥ22井戸縦板（２）
ＰＬ１－８	〃	ＳＥ22井戸縦板（３）
		横桟・縦木
ＰＬ２－１	算所遺跡	調査前全景　調査後全景
ＰＬ２－２	〃	ＳＢ２　調査風景
ＰＬ２－３	〃	遺物
ＰＬ２－４	〃	南出・西出・大角遺跡の遺物
ＰＬ３－１	東野遺跡	遺跡全景
ＰＬ３－２	〃	遺跡全景　ＳＫ11
ＰＬ３－３	〃	ＳＸ13　ＳＸ15
ＰＬ３－４	〃	ＳＸ14　ＳＥ17
ＰＬ３－５	〃	遺物
ＰＬ４－１	杉垣内遺跡	航空写真　Ａ地区近景
ＰＬ４－２	〃	ＳＢ２・３　ＳＢ16・17
ＰＬ４－３	〃	ＳＢ19・20・21　ＳＢ22
ＰＬ４－４	〃	ＳＢ４　旧河道全景
ＰＬ４－５	〃	旧河道土器出土状況
		旧河道木製品出土状況
ＰＬ４－６	〃	旧河道とＳＥ23　ＳＥ23
ＰＬ４－７	〃	ＳＥ24
ＰＬ４－８	〃	Ｂ地区全景　Ｃ地区全景
ＰＬ４－９	〃	ＳＢ54　ＳＢ49・50
		ＳＤ47
ＰＬ４－10	〃	ＳＢ38　ＳＢ31
ＰＬ４－11	〃	ＳＤ43・45・46　ＳＸ41
ＰＬ４－12	〃	Ｄ地区　Ｅ地区
ＰＬ４－13	〃	Ａ地区　遺構遺物
ＰＬ４－14	〃	Ａ地区古墳時代土師器
ＰＬ４－15	〃	Ａ地区古墳～平安時代土師器
ＰＬ４－16	〃	Ａ地区奈良・平安時代
		土師器（１）
ＰＬ４－17	杉垣内遺跡	Ａ地区奈良・平安時代
		土師器（２）
ＰＬ４－18	〃	Ａ地区古墳～奈良時代須恵器
ＰＬ４－19	〃	Ａ地区旧河道土馬・ミニチュ
		ア土器・Ｃ地区石包丁
ＰＬ４－20	〃	Ｃ地区遺構遺物
ＰＬ４－21	〃	Ｃ地区縄文・弥生土器
ＰＬ４－22	〃	Ｃ地区弥生土器・石器
ＰＬ４－23	〃	Ｃ地区古墳～奈良時代土師器・
		須恵器・鉄斧
ＰＬ４－24	〃	ＳＥ24人形木製品・斎串
ＰＬ４－25	〃	斎串（１）
ＰＬ４－26	〃	斎串（２）
ＰＬ４－27	〃	斎串（３）
ＰＬ４－28	〃	櫛・陽物・刀形木製品・
		馬形木製品・木簡・槽
ＰＬ４－29	〃	槽・把手付容器・コップ状容
		器
ＰＬ４－30	〃	曲物・鋤・ナスビ形二股鋤
ＰＬ４－31	〃	田下駄・下駄・竪杵・櫛・そ
		の他の木製品
ＰＬ４－32	〃	ＳＥ24井戸材（１）
ＰＬ４－33	〃	ＳＥ24井戸材（２）
ＰＬ５－１	深長古墳	航空写真
ＰＬ５－２	〃	全景
		墳丘裾遺物出土状況
ＰＬ５－３	〃	遺物出土状況　墳丘裾土層と
		遺物出土状況
ＰＬ５－４	〃	二重口縁壺Ａ類・Ｄ類
ＰＬ５－５	〃	二重口縁壺Ｂ類
ＰＬ５－６	〃	二重口縁壺Ｃ類
ＰＬ５－７	〃	壺Ｅ類
ＰＬ６－１	本堂遺跡	調査区全景
		ＳＢ６・７・８
ＰＬ６－２	〃	ＳＫ５　ＳＫ９
ＰＬ６－３	〃	遺物
ＰＬ６－４	〃	遺物

ＰＬ７－１	堂ノ後遺跡	Ａ地区主要遺構　Ａ地区北半・Ｂ地区道路部分
ＰＬ７－２	〃	西拡張区　ＳＢ２・３
ＰＬ７－３	〃	ＳＢ１　ＳＢ12
ＰＬ７－４	〃	ＳＢ25　ＳＥ19
ＰＬ７－５	〃	Ｂ地区全景　ＳＢ３・４
ＰＬ７－６	〃	Ｂ地区竪穴住居群　ＳＢ36
ＰＬ７－７	〃	ＳＢ35　ＳＢ37～40
ＰＬ７－８	〃	縄文中期末葉の土器 縄文中期末葉の深鉢
ＰＬ７－９	〃	縄文後期早葉の有文深鉢 粗製深鉢
ＰＬ７－10	〃	縄文後期の地文縄文・条線文土器群　有文土器群
ＰＬ７－11	〃	縄文土器底部　弥生土器
ＰＬ７－12	〃	弥生土器（包含層）　弥生・古墳時代の石製品
ＰＬ７－13	〃	ＳＫ13・14、ＳＢ28の古式土師器　ＳＢ34の古式土師器
ＰＬ７－14	〃	古墳時代の遺物
ＰＬ７－15	〃	奈良・平安時代の遺構遺物
ＰＬ７－16	〃	奈良時代～鎌倉時代の包含層遺物
ＰＬ７－17	〃	江戸時代の包含層遺物
ＰＬ８－１	赤城遺跡	遺跡全景　ＳＢ４
ＰＬ８－２	〃	遺物　ＳＢ４・５
ＰＬ９－１	中戸遺跡	遺跡全景　ＳＢ25
ＰＬ９－２	〃	ＳＸ14　水差し形土器
ＰＬ９－３	〃	縄文時代の土坑
ＰＬ９－４	〃	遺構出土の縄文土器（１）
ＰＬ９－５	〃	遺構出土の縄文土器（２）
ＰＬ９－６	〃	遺構出土の縄文土器（３）
ＰＬ９－７	〃	遺構出土の縄文土器（４）
ＰＬ９－８	〃	遺構出土の縄文土器（５）
ＰＬ９－９	〃	遺構出土の縄文土器（６）
ＰＬ９－10	〃	遺構出土の縄文土器（７）
ＰＬ９－11	〃	遺構出土の縄文土器（８）
ＰＬ９－12	〃	包含層出土の縄文土器（１）
ＰＬ９－13	〃	包含層出土の縄文土器（２）
ＰＬ９－14	〃	包含層出土の縄文土器（３）
ＰＬ９－15	〃	包含層出土の縄文土器（４）
ＰＬ９－16	〃	包含層出土の縄文土器（５）
ＰＬ９－17	〃	弥生土器・石器
ＰＬ10－１	下垣内遺跡	遺跡全景　ＳＢ５
ＰＬ10－２	〃	ＳＢ２　ＳＢ３・４
ＰＬ10－３	〃	ＳＢ５遺物出土状況　遺物

付表１　橋門遺跡　Ａ地区遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
1	ＳＤ９	弥生土器 壺	－	－	8.2	１／10	壺底部。底部から体部にかけて外反。	体部外面に縦方向の櫛目文残る。	褐色 砂粒混入	赤褐色	良	外面にスス付着。
2	ＳＥ４	山皿	－	－	5.2	１／２	底部からゆるく外反。	ロクロ成形。底部外面に回転糸切痕。底部内面中央ユビオサエ。	灰色 黒色 微粉	黄灰色	良	外面体部にヌタ痕。
3	ＳＤ10	山茶椀	－	－	8.0	１／６	長方形高台貼付け。	ロクロ成形。底部外面回転糸切痕後高台周辺のみ、糸切痕ナデ消し。内面ヘラミガキによるていねいな調整。	灰色 精良	灰白色	良	
4	ＳＤ10	山茶椀	－	－	10.4	１／４	高台貼付け。体部は直線的に外開。見込み中央部は著しく凹む。	ロクロ成形。底部外面に静止糸切痕。	灰白色 小石混入	黄灰色	良	
5 ＰＬ１－５	ＳＤ11	瓦 軒丸瓦	径 16.0	－	－	１／４	左巻き三巴文と推定。巴の頭はよく発達し中心付近へ寄る。尾は長く殊文は密。	丸瓦部凸面は縦方向のヘラケズリ。瓦当部裏面は荒いナデ。	黄灰色	黒色	軟	瓦当部全面二次焼成痕。
6 ＰＬ１－５	ＳＤ11	瓦 棟飾丸瓦	径 9.2	－	－	１／２	菊花は花弁16葉と推定。	瓦当部側面はていねいなヘラケズリ。裏面ナデ調整。花弁をイブス。	黄灰色	黒色	良	
7	ＳＫ７	青磁 椀	－	－	5.4	１／８	高台は直立し、外側に面取り。底部は厚い。	ロクロ成形。体部ロクロナデ。底部外面ヘラケズリ。高台外側面取り部まで施釉。内面見込に木ノ葉状のスタンプ。釉は薄く透明感。	灰白色 精良	淡青緑色	良	
8	ＳＥ４	青磁 椀	－	－	5.6	１／４	器壁厚く、特に底部が著しい。	ロクロ成形。畳付を越え高台内側まで施釉。釉は厚く、底部外面露胎部分にトチン跡。内面見込に花文スタンプ。	灰白色 精良	淡黄緑色	良	
9	ＳＤ10	灰釉 壺	－	－	4.0	１／８	底部から直線的に体部外開。	ロクロ成形。体部外面に施釉。底部外面にトチン跡。	灰白色 精良	緑灰色	良	
10	ＳＥ３	土師器 羽釜	22.0	－	－	１／４	鍔部短く、体部に対しほぼ直角。体部丸い。	口縁部内外面ヨコナデ体部外面斜位の荒いハケメ。内面横位の細かいハケメ。	褐色	暗褐色	良	鍔以下の体部外面ススス付着。
11 ＰＬ１－５	ＳＫ６	土師器 鍋	32.6	－	－	１／６	「く」の字状に外反し、口縁端部を三角形状につまみ出す。口縁部外面に二条の凹線。	体部外面上方ハケメ調整、体部下方ヘラケズリ。内面ヨコナデ。	淡褐色	淡褐色	良	
12 ＰＬ１－５	ＳＥ３	土師器 羽釜	25.0	－	－	１／８	鍔部やや上方につき出し、端部に一条の凹線。体部丸い。口縁端部は外につまみ出す。	体部外面ハケメ調整。内面ヨコナデ。内面鍔部付近ユビオサエ。	褐色	褐色	良	鍔以下の体部外面ススス付着。

13 ＰＬ１－５	ＳＥ３	土師器 羽釜	25.4	－	－	１／10	鍔部上方につき出し、端部に一条の凹線。口縁端部は外につまみ出す。	体部外面ハケメ調整。内面ヨコナデ。	褐色 砂粒 混入	赤褐色	良	
14	ＳＤ５	常滑 甕	47.0	－	－	１／12	頸部から口縁部が強く外反。口端は直下に垂下。	粘土紐輪積成形。内面輪積痕。	黒褐色 精良	茶褐色	良	内面口縁部自然釉。
15	ＳＫ７	常滑 甕	32.0	－	－	１／６	口縁部縁帯は頸部に密着。	粘土紐輪積成形。内面輪積痕。	黒褐色 精良	茶褐色	良	体部外面自然釉。
16 ＰＬ１－５	ＳＥ３	常滑 甕	60.0	－	－	底部欠失。(この状態で使用と推定)。	口縁部縁帯は頸部に密着。	粘土紐輪積成形。内面輪積痕。体部外面に引っかき痕。	赤褐色	赤褐色	良	
17	ＳＤ11	常滑 甕	34.0	－	－	口縁部のみ。	口縁部縁帯は頸部に密着。	粘土紐輪積成形。内面輪積痕。	赤褐色	暗赤褐色	良	

（倉田　守）

付表２　橋門遺跡　Ｂ・Ｃ地区遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器　種 器　形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備　考
18	ＳＫ29	弥生土器 台付甕	－	－	10.0	脚部のみ。	脚端部折返さず。	外面ハケメはかすかに残る。内面ヨコナデ。	褐色 砂粒 混入	淡赤褐色	良	
19	ＳＤ12	弥生土器 台付甕	－	－	10.2	脚部のみ。	脚端部折返す。	内外面ヨコナデ。内面中央付近ユビオサエ。	褐色 砂粒 混入	赤褐色	良	
20	ＳＤ13	須恵器 杯蓋	－	－	稜径 12.4	１／４	天井部丸く稜短い。	マキアゲ、ミズビキ成形。天井部外面２／３は回転ヘラケズリ調整。他は回転ナデ調整。	灰色	青灰色	良	
21	ＳＤ24	須恵器 杯身	11.0	3.0	受部径 12.6	１／４	たちあがりは内傾してのびた後外反。受部は外上方にのびる。底体部やや浅い。	マキアゲ、ミズビキ成形。体部外面回転ナデ調整。内面ナデ調整。	青灰色	暗青灰色	良	
22	ＳＤ24	須恵器 長頸壺	18.0	－	－	口頸部 １／６	頸部外反し、口縁端部は水平な面をなす。	内外面とも回転ナデ調整。頸部に二条の凹線。	青灰色	青灰色	良	
23	ＳＤ24	須恵器 甕	19.0	－	－	口頸部 １／２	頸部は「く」の字に外反。口縁端部は肥厚し、丸く、その外面に一条の凸線。	体部外面平行タタキ。内面円弧タタキ。	灰色	灰色	良	
24	ＳＤ24	須恵器 甕	36.0	－	－	口頸部 １／16	頸部外反、口縁端部は上方へ屈曲。外側に面。	内外面とも回転ナデ調整。頸部外面に波状文。	灰白 精良	灰色色	良	
25	ＳＤ24	灰釉 甕	34.0	－	－	口頸部 １／８	頸部外反、口縁端部は下方へ屈曲。	外面はハケメにより、内面はナデにより調整。	灰色 精良	灰褐色	良	
26	ＳＤ13	山茶椀	－	－	7.0	底部 １／２	高台高く、断面三角形に近い。	ロクロ成形。回転糸切痕。高台周辺ていねいなナデ消し。内面見込みハケメ調整。	灰褐色 精良	灰褐色	良	

27	ＳＢ15 pit36	山茶椀	－	－	(7.0)	底部	台形の高台。底部厚い。	ロクロ成形。高台端部砂痕。見込み部分に重ね焼き痕。	灰色	灰褐色	良	体部内面重ね焼き痕まで全面自然釉。
28	ＳＥ22 最下層	山茶椀	－	－	7.4	底部 1／6	体部丸味を帯びる。高台低く、台形。	ロクロ成形。高台端部モミニガラ痕。	灰色	灰白色	良	
29 ＰＬ１－５	ＳＥ22 第Ｉ層	山茶椀	14.0	5.0	6.6	ほぼ 完形	小形。体部直線的。高台つぶれ一部剥離。	ロクロ成形。回転糸切痕。高台端部モミガラ痕。粗雑。	灰白色	灰白色	良	
30	ＳＢ25 pit38	山茶椀	15.4	5.0	7.4	3／4	体部やや直線的。口縁部やや外反。底部内面と体部の境の稜は明瞭。	ロクロ成形。高台端部モミガラ痕。	灰褐色	灰白色	良	
31 ＰＬ１－５	ＳＫ32	山茶椀	15.4	5.3	8.0	完形	体部丸味を帯び、口縁部外反。高台低く見込み中央部凹む。	ロクロ成形。糸切痕ナデ消し。高台端部砂痕モミガラ痕。見込み中央部付近指圧痕。	灰色	暗灰色	良	
32	ＳＫ32	山茶椀	16.0	4.8	7.0	完形	体部丸味を帯び、口縁部やや外反。高台つぶれ、底部内面と体部の境の稜は明瞭。	ロクロ成形。回転糸切痕。高台端部モミガラ痕。	灰色	暗灰色	良	
33 ＰＬ１－５	ＳＥ22 東壁面	山茶椀	16.0	5.0	7.6	ほぼ 完形	体部丸味を帯び、口縁部外反。高台台形。底部厚い。	ロクロ成形。糸切痕ナデ消し。高台端部モミガラ痕。見込みていねいなナデ調整。	灰褐色	灰褐色	良	
34 ＰＬ１－５	ＳＥ22 第Ｉ層	山茶椀	16.0	5.1	7.4	ほぼ 完形	体部丸味を帯びる。高台台形。底部内面と体部の境の稜は明瞭。見込み中央部凹む。	ロクロ成形。高台端部モミガラ痕。内外面ともていねいなナデ調整。見込み指圧痕。	灰白色 砂粒混入	灰色	良	
35	ＳＥ22 第Ⅱ層	山茶椀	16.0	5.5	7.0	ほぼ 完形	体部丸味を帯び、口縁部外反。高台つぶれ、一部剥離。見込み中央部凹む。	ロクロ成形。静止糸切痕。高台端部モミガラ痕。	灰白色	灰褐色	良	
36 ＰＬ１－５	ＳＫ28	山茶椀	16.4	5.3	8.8	完形	体部やや直線的。口縁部外反。高台台形。	ロクロ成形。高台端部モミガラ痕。	灰色	灰色	良	
37	ＳＥ22 第Ⅱ層	山茶椀	16.8	4.8	9.0	完形	体部丸味を帯び、器高低い。高台台形。底部内面と体部の境の稜は明瞭。	ロクロ成形。高台端部モミガラ痕。	灰白色	灰褐色	良	
38 ＰＬ１－５	ＳＥ22 第Ⅲ層	土師器 皿	9.8	1.3 ～ 2.2	5.0	完形	径高指数 1.8。	体部外面ヨコナデ。底部オサエ。体部内面ヨコナデ、底部ナデ。	淡褐色	淡褐色	良	
39	ＳＤ13	山皿	9.0	3.1	4.4	3／4	体部やや丸味を帯び台形高台がつく。	ロクロ成形。高台端部モミガラ痕。内面ていねいなナデ調整。	灰色	灰褐色	良	
40 ＰＬ１－５	ＳＢ18 pit37	山皿	8.2	2.2	3.6	3／4	体部ほぼ直線的。底部やや突出。	ロクロ成形。糸切痕ナデ消し。内面ていねいなナデ調整。	灰白色	灰褐色	良	
41 ＰＬ１－５	ＳＥ22 第Ⅲ層	山皿	8.2	2.1	4.6	ほぼ 完形	体部直線的。底部やや突出。	ロクロ成形。糸切痕ナデ消し。内面ていねいなナデ調整。	灰白色	灰白色	良	底部外面に墨書。
42 ＰＬ１－５	ＳＫ33	山皿	8.0	1.8	5.6	完形	体部直線的。器壁厚く底部内面と体部の境の稜は明瞭。	ロクロ成形。糸切痕ナデ消し。底部内面指圧痕。	灰色	灰褐色	良	底部外面に墨書。 （「大」）

43 ＰＬ１－５	ＳＫ23	青磁 椀	15.4	6.8	5.0	１／３	高台台形。底部は厚い。	体部外面に幅広い片切彫の鎬蓮弁文。畳付及び高台内部は露胎。	灰白色 精良	淡青緑色	良	
44	ＳＥ22 第Ⅲ層	片口鉢	33.6	14.4	13.6	１／３	体部やや丸味を帯びる。口縁端部面取り。	ロクロ成形。体部内外面ともヨコナデ。底部内面ていねいなナデ調整。	灰褐色	灰褐色	良	
45	ＳＤ13	灰釉 広口瓶	24.4	－	－	口頸部 １／２	肩部と口頸部の境に段をもつ。口縁端部は外上方につまみあげられる。	粘土紐輪積成形。内面輪積痕。	灰褐色	暗緑褐色	良	
46	ＳＥ22 第Ⅲ層	常滑 甕	34.4	－	－	口頸部 １／４	口頸部外反し、口縁端部は外上方につまみあげられる。	粘土紐輪積成形。内面輪積痕。肩部に押印。	灰褐色 精良	暗緑色	良	
47	ＳＤ19	常滑 壺	21.0	－	－	１／６	肩部から胴部にかけて丸味を帯びる。口縁端部面取り。	粘土紐輪積成形。内面輪積痕。体部外面ヘラケズリ。	灰褐色	緑褐色 精良	良	肩部自然釉。

（倉田　守）

付表３　橋門遺跡．ＳＥ22井戸材観察表（ＰＬ１－６～ＰＬ１－８）

遺物番号	名称	法量（cm）			木取り	特徴・技法	備考
		長	幅	厚			
48	縦板	183.0	28.5～29.0	2.7～3.0	板目	表裏とも、手斧によるハツリ。表下部はハツリ痕不充分。裏は４列のハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	
49	〃	183.0	30.0～32.0	3.1～3.3	板目	表裏とも、手斧によるハツリ。表は５列、裏は３列のハツリ痕。木口は切断後ハツリ。側はハツリ。	
50	〃	190.0	28.5～29.0	2.4～3.9	板目	表は手斧のハツリ痕３列。裏は、縦方向に半分ワリのままで半分にハツリ痕。木口は切断。ハツリ。側ハツリ。	
51	〃	208.0	29.0	2.5～3.0	板目	表裏とも、手斧によるハツリ。表は４列のハツリ痕。裏のハツリは両側で長い。木口の切断。側一部ワリ。	
52	〃	163.0	31.0	3.0～3.3	板目	表は手斧のハツリ痕４列。裏は半分にハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	
53	〃	149.0	25.5	3.2～3.6	板目	表は、手斧のハツリ痕３列。裏は、２／３ほどワリのままで１／３にハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	表に圧痕２ケ所。
54	〃	180.0	27.0～28.5	2.6～2.9	板目	表裏とも、手斧によるハツリ痕４列。木口切断。側はハツリ。	表に圧痕２ケ所。
55	〃	177.0	28.5～29.4	2.4～3.1	板目	裏は、手斧のハツリ痕３列で、下部は30cmほど未調整。表は磨滅のため不明。木口切断。	
56	〃	160.0	38.1	2.6～2.9	板目	表は、手斧のハツリ痕４列。裏は中央部で幅15cmにハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	表に圧痕２ケ所。
57	〃	141.0	30.0	2.2～3.0	板目	表は、手斧のハツリ痕４列。裏は、縦幅12cmにハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	
58	〃	176.0	29.5	2.2～2.7	板目	表裏とも、手斧によるハツリ。表は３列、裏は５列のハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	表裏の使用まちがい。
59	〃	172.0	30.0	2.5～3.0	板目	表裏とも、手斧によるハツリ。表は４列、裏は４～５列のハツリ痕。木口切断。	
60	縦板	121.0	25.6	3.2～3.6	板目	表裏とも、手斧によるハツリ。表は３列のハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	表に圧痕２ケ所。

61	〃	153.0	29.5	2.9〜3.6	板　目	表裏とも、手斧によるハツリ。表は5列。裏は斜め方向のハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	
62	〃	176.0	31.0	3.2〜3.5	板　目	表裏とも、手斧によるハツリ。表は3〜4列のハツリ痕。木口は切断後ハツリ、側はハツリ。	
63	〃	184.5	31.4	2.8〜3.1		表裏とも、手斧によるハツリ。表は、3〜4列のハツリ痕。木口切断。側はハツリ。	
64	横　桟	67.0	8.5	2.5	板　目		半分欠損
65	〃	117.5	8.3	4.2	板　目	4面とも、手斧によるハツリ。	
66	〃	113.4	8.3	4.8	板　目		枘くずれる。
67	〃	118.6	9.6	3.0〜4.8	板（心近い）	4面とも、手斧によるハツリ。	
68	〃	112.0	8.3	3.2	柾　目		湾曲、枘はくずれる。
69	〃	118.1	10.0	4.5〜5.0	板　目（心近い）	4面とも、手斧によるハツリ。	
70	横　木	112.0	8.5	4.5	板　目		枘くずれる。
71	〃	118.0	9.5	4.4	板　目（心近い）	内外面とも、手斧によるハツリ。外面は2列のハツリ痕。上下ともハツリ。	
72	縦　木	80.6	5.6	4.0		3面が、手斧によるハツリ。	
73	〃	80.3	6.0	4.8		2面が、手斧によるハツリ。木口は切断。	
74	〃	80.2	6.1	4.5		3面が、手斧によるハツリ。木口は切断。	
75	〃	80.6	5.3	4.0		3面が、手斧によるハツリ。	転用材、枘穴のこる。

（田中久生）

付表4　算所遺跡　遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器　種 器　形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備　考
12	SB2	土師器 杯	12.0	2.8	−	1／10	口縁端部外反、粘土紐巻き上げ痕。	口縁部ヨコナデ、底部未調整、指頭痕。	良	淡橙褐	良	
13	SB2	土師器 杯	14.0	3.2	−	1／8	口縁部内弯、端部丸くおさまる。	口縁部ヨコナデ、底部未調整。	緻密	乳褐	良	
14 PL2−3	SB2	土師器 杯	22.0	3.8	−	1／6	口縁端内弯、端部丸くおさまる。	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ、内面4段ラセン状暗文。	緻密 小石若干含む	淡橙褐	良	
15	SB2	土師器 甕	15.0	−	−	1／6	口縁端部厚く短く外反。	口縁部ヨコナデ、体部外面ハケメ、5本／1.2cm、内面ナデ。	良	乳褐	やや良	

16	ＳＢ２	土師器 甑	22.0	－	－	１／８	体部上半垂直、端部上面やや凹む。	体部外面縦方向、内面横方向のハケメ、16本／１cm。	良小石雲母含む	橙褐	良	
17	ＳＢ２	土師器 甑	－	－	12.0	１／６	底部蒸気孔２穴。	体部外面ハケメ８本／0.9cm、内面ヘラケズリ、下から上方向へ。	良	黄褐	良	
18 ＰＬ２－３	ＳＢ２	須恵器 杯身	12.0	3.7	－	１／３	立ち上がり短く内傾受部外上方、端部丸味。	底部外面２／３ロクロケズリ、ロクロ左回転	緻密	淡青灰	良	底部ヘラ記号「－」
19 ＰＬ２－３	ＳＢ２	須恵器 杯身	10.3	4.0	－	完形	底部厚い。	口縁部ヨコナデ、底部未調整、内面みこみ一方向ナデ。	良	黄白	不良	
20	ＳＫ１	土師器 甕	15.8	－	－	１／３	胴部球状に張る。	体部外面ハケメ７本／１cm、内面横方向ハケメ。	良砂粒若干含む	淡黄褐	不良	
21	ＳＫ１	土師器 甕	13.6	－	－	体部下半残存	底部平坦。	体部外面ハケメ８本／１cm、体部内面ナデ、底部内面一方向ナデ。	良雲母含む	暗茶褐	良	底部葉脈痕
22 ＰＬ２－３	ＳＫ３	土師器 杯	12.4	4.0	－	完形	口縁部薄くなり外反	口縁部ヨコナデ、底部不定方向のナデ。	緻密	暗黄褐	良	
23	ＳＫ３	土師器 杯	13.8	3.0	－	１／４	口縁部外反。	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ。	緻密	淡橙褐	良	
24 ＰＬ２－３	ＳＫ３	土師器 杯	20.4	4.5	－	１／３	底部平坦、口縁部内弯し端部は細く丸める。	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ、内面２段ラセン状暗文。	緻密	橙褐	良	
25	ＳＫ３	土師器 甕	14.4	－	－	上半部残存	口縁部肥厚。	体部外面ハケメ８本／１cm、体部内面ナデ。	粗長石含む	淡黄褐	不良	摩耗著しい
26	ＳＫ３	土師器 甕	13.3	－	－	上半部残存	粗雑、口縁端部わずかに肥厚。	頸部ハケメ７本／1.4cm内部上半ヘラケズリ。	粗小石含む	乳茶褐	不良	摩耗著しい
27	ＳＫ３	土師器 甕	13.0	－	－	１／８	器高低い。	口縁部ヨコナデ、体部外面ハケメのち沈線、内面ケズリ。	緻密	淡橙褐	良	
28	ＳＫ３	須恵器 杯身	11.0	4.7	－	１／８	立ち上がり長く内傾受部水平。	口縁部ロクロ水ビキ、底部内面一方向ナデ。	緻密	紫褐	良	
29	Ｌ４ 包含層	土師器 甕	－	－	－	１／６		外面タタキ、内面ナデ	粗	淡橙褐	不良	
30	ＳＫ５	土師器 甕	13.8	－	－	１／３	口縁部外反、端部丸味。	体部内外面ハケメ６本／0.9 cm。	緻密	淡茶灰	不良	
31	Ｊ２ 包含層	土師器 甕	14.4	－	－	１／４	口縁部外反、端部上方へ。	体部外面・口縁部内面ハケメ８本／0.9 cm、体部内面ヘラケズリ。	緻密	黄褐	良	
32	Ｋ２ 包含層	土師器 甕	15.0	－	－	１／２	口縁部外反、端部丸味。	体部外面・口縁部内面ハケメ６本／１cm、内面ナデ。	緻密	茶褐	良	
33	Ｆ１ 包含層	土師器 甕	14.0	－	－	１／４	口縁部外反、端部丸味。	体部内外面ハケメ６本／１cm。	緻密	茶褐	良	

34	J 4 包含層	土師器 甕	−	−	9.0	体部下半残存	粘土紐巻き上げ痕、しぼり目、脚台折り返し。	尖底の体部に脚台貼り付け。	粗	淡灰	不良	
35	J 2 包含層	土師器 甕	−	−	8.0	脚台残存		内外面ハケメ 6 本／0.9 cm。	良小石含む	橙褐	良	
36 PL 2 − 3	包含層	土師器 甕	−	−	9.8	脚台残存	脚台端部肥厚。	外面ヘラケズリのちナデ、底部中央指頭痕。	良小石含む	黄褐	良	
37	L 4 包含層	土師器 甕	−	−	10.0	脚台残存	脚台端部肥厚	外面ヘラケズリのちナデ、底部中央指頭痕。	良小石含む	淡茶褐	不良	
38	H 4 包含層	須恵器 杯蓋	12.2	4.4	−	1／8	天井部と口縁部の境に短い稜。	天井部 2／3 ロクロケズリ、ロクロ右回転。	良小石含む	灰青	不良	
39	K 2 包含層	須恵器 杯蓋	12.4	4.0	−	1／3	天井部と口縁部の境に短い稜、口縁端部内側に稜線。	天井部 2／3 ロクロケズリ、ロクロ左回転。	良小石含む	濁青灰	良	
40	H 6 包含層	須恵器 杯蓋	9.4 〜 10.8	3.6	−	完形	天井部厚い、口縁端部丸味。	口縁部ロクロナデ、天井部一部ロクロケズリ他未調整、内面一方向ナデ。	良小石含む	青灰	良	ひずみ大
41	E 2 包含層	須恵器 杯蓋	9.8	3.4	−	完形	天井部厚い、口縁端部丸味。	口縁部ロクロナデ、天井部外面未調整、内面不定方向ナデ。	良	灰白	良	
42	H 6 包含層	須恵器 杯蓋	8.4	3.0	−	体部 3／4	天井部粘土紐痕。	天井部一部ロクロケズリ、ロクロ左回転、内面一方向ナデ。	並小石含む	灰青	良	
43	L 5 包含層	土師器 鍋	25.2	−	−	1／10	口縁部外反、端部上方に立ち上がる。		良	乳褐	良	外面付煤
44 PL 2 − 3	M 2 包含層	土師器 鍋	26.0	−	−	体部上半ほぼ残存	口縁部強く外反、端部上方に立ち上がる	体部外面ハケメ 7 本／1.2cm、体部下半内面ヘラケズリ。	良	黄茶褐	良	外面付煤

（服部久士）

付表 5　東野遺跡　遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器　種 器　形	口　径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備　考
1 PL3−5	SK 7	土師器 甕	(20.6)	−	−	1／4	「く」の字状口縁。端部はオリカエされ丸い。	口縁部と肩部外面はオサエ後ヨコナデ、肩部内面のみヨコハケ。	細砂金、雲母含む	暗茶色	良	甕A
2 PL3−5	SK 7	土師器 甕	(20.8)	−	−	1／4	「く」の字状口縁。端部はオリカエされ丸い。	口縁部と肩部外面はオサエ後ヨコナデ、肩部内面のみヨコハケ。	細砂金、雲母含む	暗茶色	良	甕A
3 PL3−5	SK 7	土師器 甕	(25.0)	−	−	1／8	「く」の字状口縁。端部はオリカエされ低い。	口縁部と肩部外面はオサエ後ヨコナデ、内面はヨコナデ	細砂金、雲母含む	暗茶色	良	甕B

4 ＰＬ3－5	ＳＫ７	土師器 甕	(20.0)	－	－	1／8	「く」の字状口縁。端部はオリカエされ低い。	口縁部と肩部外面はオサエ後ヨコナデ、内面はヨコナデ。	細砂金、雲母含む	暗茶色	良	甕Ｃ
5	ＳＫ７	土師器 羽釜	－	－	－		「く」の字状口縁。体部に水平な鍔が付く。	口縁部ヨコナデ。体部内面は、ヘラケズリ後ヨコナデ。	細砂金、雲母含む	黒茶色	良	羽釜Ａ
6	ＳＫ７	山茶椀	16.4	6.1	7.2		体部は内弯し、口縁部外反、高台断面逆台形。	口縁部内外面に灰釉かかる。体部外面に「＋」の墨書。	良	淡灰色	良	
7	ＳＫ７	山茶椀	－	－	7.0	底部完形	高台は、断面逆高台で低い。	高台は、ハリツケ後ヨコナデ。体部内面に灰釉がわずかにかかる。	精良	灰色	良	
8	Ａ16 Ｐ	土師器 小皿	8.2	2.5	－	完形	器壁は、薄く体部は大きく内弯して丸味をもつ。	口縁部内外面ヨコナデ、底部内外面オサエ。	細砂金、雲母含む	淡褐色	良	
9 ＰＬ3－5	ＳＫ６	土師器 羽釜	(28.0)	－	－	1／8	内傾する口縁部は、端部で水平な面をもつ。	口縁部内外面ヨコナデ。	雲母含む	淡褐色	良	羽釜Ｂ
10 ＰＬ3－5	ＳＤ４	擂鉢	(28.5)	－	－	1／9	外開する口縁部は、端部でわずかに肥厚る。	口縁端部ヨコナデ。施釉認められず。	砂粒含む	淡茶色	良	
11	Ａ４ 包含層	土師器 鍋	(30.0)	－	－		大きく外反する口縁部は端部でつまみあげられる。	口縁部内外面ヨコナデ、外面に煤付着。	精良	暗茶色	良	
12	Ａ３ 包含層	土師器 鍋	29.8	－	－		外開する口縁部は、端部でオリカエされる。	口縁部内外面ヨコナデ。	良	茶褐色		
13	Ａ３ 包含層	須恵器 甕	15.8	－	－		口縁部は「く」の字状に外反。外上方に端面をもつ。	体部内面に同心円状のたたき痕。	良	淡白色	良	
14	Ａ３ 包含層	山茶椀	(16.0)	－	－		体部は、内弯し、口縁端部が大きく外反する。	口縁部はヨコナデ。	良	灰白色	良	
15	Ａ６ 包含層	山茶椀	－	－	7.5		体部は内弯し、高台は、断面逆台形で高い。	高台は、ハリツケ後ヨコナデ。	良	灰白色	良	
16	Ａ６ 包含層	鉢	30.0	－	－		外開する口縁部は、端部で内傾する面をもつ。	口縁端部を１ケ所、指先でオサエ片口鉢とする。	良	灰色	良	
17	Ａ４ 包含層	常滑窯 甕	12.6	－	－		直立する口縁部は、オリカエされ、外面に縁帯をつくる。	口縁部内外面をヨコナデする。	良	茶褐色	良	
18 ＰＬ3－5	ＳＫ８	土師器 小皿	7.7	1.8	－		口縁部低く内弯気味端面丸い。平底、厚手。	手づくね、口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面オサエ	砂含む	白橙色	良	小皿Ａ
19	ＳＫ８	土師器 小皿	8.1	2.0	－		口縁部内弯。端面丸い。平底、厚手。	手づくね。口縁部ヨコナデ。	砂含む	白橙色	良	小皿Ａ
20	ＳＫ８	土師器 小皿	8.2	1.8	－		口縁部低く内弯。平底。	手づくね。口縁部ヨコナデ。	砂含む	白橙色	良	小皿Ａ

21	ＳＫ８	土師器 小皿	8.5	2.0	－		口縁部低く内弯気味 端部外反。丸底気味	手づくね。口縁部ヨコナデ。底部外面オサエ。	砂含む	白橙色	良	小皿Ａ
22	ＳＫ８	土師器 皿	13.6	2.5	－		口縁部と体部の境に稜をもち、口縁部外開。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ、底部外面オサエ。	砂含む	白橙色	良	小皿Ｂ
23	ＳＫ８	土師器 皿	15.0	2.6	－		口縁部下に一条の沈線がめぐり、口縁部外開。	口縁部ヨコナデ、底部外面オサエ。	砂含む	白橙色	良	小皿Ｂ
24	ＳＫ８	土師器 皿	16.4	2.2	－		口縁部内弯、端面丸い。	口縁部ヨコナデ。	砂含む	白橙色	良	小皿Ｂ
25	ＳＫ８	土師器 鍋	15.8	－	－		大きく外弯する口縁は、端部でオリカエされる。	口縁部ヨコナデ。	緻密	淡茶褐色	良	
26	ＳＫ８	山茶椀 椀	14.6	－	－		口縁部ゆるく外反、端面丸い。薄手。	口縁部ヨコナデ。	細砂含む	灰色	良	山茶椀Ａ
27	ＳＫ８	山茶椀 椀	15.8	－	－		口縁部は、直線的に開く、端面尖り気味	口縁部ヨコナデ。	緻密	白灰色	良	山茶椀Ｂ
28	ＳＫ９	鉢	29.0	－	－		体部は、直線的に開き、口縁端部肥厚し丸い。	口縁部ヨコナデ。	粗砂含む	灰色	良	
29	ＳＫ10	土師器 鍋	28.8	－	－		口縁部は端部で大きく外反し、折り返され肥厚。	口縁部ヨコナデ。内面に段がつく。	粗砂含む	橙褐色	良	
30	ＳＫ10	土師器 鍋	28.6	－	－		口縁端部は、大きく外反し、端部でわずかに肥厚。薄手。	口縁部ヨコナデ、頸部はオサエ。	粗砂含む	淡橙白色	良	
31 ＰＬ3－5	ＳＫ10	山茶椀 椀	13.0	4.6	5.6		体部は、直線的に開き、口縁端面は外上方を向く。	口縁部はヨコナデ。底部糸切り痕。	細砂含む	暗灰色	良	**底部外面「∴」墨書**
32	ＳＫ18	土師器 茶釜形鍋	14.8	－	－		わずかに内傾する口縁端部を外側にオリカエす。	口縁部内外面ヨコナデ、頸部内面ナデ。	細砂含む	橙褐色	良	
33	ＳＫ18	土師器 鍋	23.6	－	－		頸部から外反して長く伸る口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ。	細砂多少含む	茶褐色	良	
34	ＳＫ18	土師器 鍋	25.4	－	－		頸部から外反して長く伸る口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ、体部外面に横・斜め方向、及びタテ方向のハケメ。	細砂多少含む	茶褐色	良	
35	ＳＫ18	土師器 鍋	28.8	－	－		頸部から外反して長く伸る口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ。	細砂多少含む	茶褐色	良	
36	ＳＫ18	土師器 鍋	32.0	－	－		頸部から外反して長く伸る口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコハケ後タテハケ。	細砂多少含む	茶褐色	良	
37	ＳＫ18	土師器 鍋	32.6	－	－		頸部から外反して長く伸る口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ。	細砂多少含む	茶褐色	良	

38	ＳＫ18	土師器 鍋	34.0	－	－		頸部から外反して長く伸る口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヨコハケ後タテハケ。	細砂多少含む	茶褐色	良	
39	ＳＫ18	土師器 鍋					頸部から外反して長く伸る口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ。	細砂多少含む	茶褐色	良	
40	ＳＥ17	土師器 鍋	(24.4)	－	－		外反する口縁部は、端部でつまみ上げられる。	口縁部内外面ヨコナデ。	良	橙褐色	良	
41	ＳＥ17	土師器 羽釜	(32.0)	－	－		内傾する口縁部は、端部で肥厚し、外傾する。	口縁部内外面ヨコナデ。鍔部以下ヨコハケ、タテハケ。	細砂含む	黄橙色	良	
42	ＳＥ17	フイゴ 羽口	(5.6)	－	－				細砂多く含む	明黄褐色	良	
43	ＳＥ17	灰釉 椀	－	－	5.6		体部は、直線的に伸び高台は低い。	体部内外面はヨコナデ。	精良	灰白色	良	
44	ＳＥ17	山茶椀	－	－	6.4		断面逆台形の高台はハリツケられ低い。	体部内外面とも二次焼成をうけ、赤褐色を呈する。	細砂含む	赤褐色	良	
45	ＳＥ17	山茶椀	－	－	7.2		断面逆台形の高台はハリツケられ低い。	体部内外面とも二次焼成をうけ、赤褐色を呈する。	細砂含む	赤褐色	良	
46	ＳＥ17	灰釉 椀	(18.2)	－	－		体部は、直線的に伸び口縁端部は丸い。	体部内面に灰釉がかかり、外面は二次焼成をうけ赤灰色を呈する。	砂粒含む	灰色	良	
47 ＰＬ3－5	ＳＥ17	常滑窯 壺	(18.2)	－	－		直線的な口縁部は、端部でオリカエされ丸い。	粘土積み上げで成形し、口縁部内外面をヨコナデする。	良	赤茶褐色	良	
48	ＳＥ17	常滑窯 甕	(25.8)	－	－		口縁部は、垂直に立ち上がり、オリカエされる。	粘土積み上げで成形し、口縁部内外面をヨコナデし、肩部内面に指頭痕。	良	赤褐色	良	
49 ＰＬ3－5	ＳＤ19	土師器 鍋	(26.8)	－	－		丸い体部と大きく外反する口縁部は端部で肥厚。	口縁部内外面と体部内面ヨコナデ。体部外面ヨコハケ後タテハケ。	良	茶褐色	良	
50	ＳＤ19	天目茶椀	(12.6)	－	－		内弯する体部は、口縁部でわずかに外反する。	ロクロ水挽。内外面施釉。	良	黒褐色	良	
51	ＳＤ19	灰釉 皿	(10.0)	1.9	4.8		平底。わずかに内弯する体部と口縁部は外反。	ロクロ水挽。底部外面に糸切り痕。	細砂含む	淡灰緑色	良	
52 ＰＬ3－5	ＳＤ19	常滑窯 甕	(25.0)	－	－		わずかに内傾する口縁部は、オリカエされる。	粘土積み上げ成形。口縁部内外面ヨコナデ、体部内面に指圧痕。	細砂含む	赤褐色	良	
53 ＰＬ3－5	ＳＤ19	常滑窯 甕	(26.0)	－	－		直立する口縁部は、オリカエされ断面逆三角形。	粘土積み上げ成形。口縁部内外面ヨコナデ。	細砂含む	赤褐色	良	

54	ＳＤ16	土師器 小皿	7.6	1.6	－		平底。大きく内弯する口縁部。器壁は薄い。	口縁部ヨコナデ、底部内面ナデ、底部外面オサエ未調整。	良	黄褐色	良	
55	ＳＤ16	土師器 小皿	9.6	1.4	－		平底。大きく内弯して開く口縁部。	口縁部ヨコナデ。	良	黄褐色	良	
56 ＰＬ3－5	ＳＤ16	土師器 鍋	(29.0)	－	－		体部は丸味をもつ、口縁部は外反、端部つまみ上げ。	口縁部ヨコナデ、体部外面はヨコハケ、斜めハケ後ナデハケ	細砂含む	黄橙色	良	
57 ＰＬ3－5	ＳＤ16	常滑窯 甕	(31.2)	－	－		口縁部は垂直に立つ口縁部は、「Ｎ」字状。	粘土積み上げ成形、頸部内面に指圧痕。	細砂含む	茶褐色	良	
58 ＰＬ3－5	ＳＤ16	フイゴ 羽口	－	－	－				砂粒含む	赤灰色	良	
59	ＳＤ16	常滑窯 甕	(29.4)	－	－		口縁部はオリカエされ断面長方形、撫で肩。	粘土積み上げ成形、口縁部内外面ヨコナデ。	細砂含む	灰褐色	良	
60	ＳＸ14	土師器 鍋	(30.6)	－	－		大きく外反する口縁部は、端部でつまみ上げる。	口縁部内外面はヨコナデ。体部外面斜めハケ後タテハケ。	良	淡橙白色	良	
61	ＳＸ14	土師器 小皿	(8.8)	1.6	－		口縁端部は、大きく内弯、平底。	口縁部内外面ヨコナデ。	良	淡茶色	良	
62	ＳＸ14	土師器 小皿	(8.8)	1.8	－		口縁部は大きく内弯平底。	口縁部内外面ヨコナデ、底部オサエで外面に指圧痕。	良	淡茶色	良	
63	ＳＸ14	土師器 小皿	(7.6)	1.6	－		口縁部は丸味をもって外開。底部は上げ底。	口縁部内外面ヨコナデ。	良	橙茶色	良	
64	ＳＸ11	山茶椀	－	－	6.4		高台は、断面逆三角形で低い。	高台はハリツケ。	細砂含む	灰色	良	
65 ＰＬ3－5	包含層	茶臼	臼面 15.3	9.0	底面 18.3		臼面の溝は、9～10条6分画と推定。	溝断面は、「Ｖ」字条近く周縁まで切ってある。				

（山田芳昭）

付表6　杉垣内遺跡　Ａ地区遺構遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
1	ＳＢ1	土師器 甕	(17.8)	－	－	1／4	「く」の字状口縁で、中央部外側に肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部内面ハケ目。	やや粗	暗褐色	やや軟	
2	ＳＢ1	土師器 高杯	(17.2)	－	－	1／6	杯部直線的に外反。口縁端部凹面を成す。	杯部内外面ヨコナデ。	精良	淡褐色	良	
3	ＳＢ1	土師器 高杯	－	－	(11.0)	1／3	裾部水平に大きく開く。端部丸味。孔3ケ所。	脚柱部ハケ目。上部に指圧痕残る。裾部ヨコナデ。	良	赤褐色	良	
4	ＳＢ2	土師器 甕	(12.0)	－	－	1／4	口縁部直線的に外反、端部外側にやや肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ目。	やや粗	暗褐色	良	

5	ＳＢ２	土師器甕	－	－	－		器壁厚い。	体部下半板ナデ。体部外面ハケ目、下部板ナデ。	やや粗	暗褐色	良	４、５は同一個体？
6 ＰＬ4-13	ＳＢ２	須恵器杯蓋	(11.4)	4.9	－	１／２	天井・口縁部境に沈線。口縁端部内傾する段。	天井部１／２ヘラケズリ。ロクロ回転逆時計回り。	良	青灰色	良	
7 ＰＬ4-13	ＳＢ３	土師器高杯	15.4	11.9	10.9	完形	杯部内弯気味で外方にのびる。裾部の広がりゆるやか。脚柱部内厚。	口縁部・脚裾部ヨコナデ。脚柱部ヘラナデ。その他はナデ。	良	赤褐色	良	
8	ＳＢ３	土師器高杯	15.4	－	－	１／２	杯体部と底部の境に稜。口縁端部外反。	口縁部ヨコナデ。その他はナデ。	良	暗褐色	良	
9	ＳＢ３	土師器高杯	－	－	－			体部内面ナデ。脚柱部に指圧痕残る。しぼり痕残る。	良	赤褐色	良	
10	ＳＢ３	土師器高杯	－	－	(10.2)	１／４	裾部の広がりゆるやか。	裾部ヨコナデ。	良	赤褐色	良	９、10は同一個体？
11	ＳＢ３	土師器甕	14.4	－	－	１／２	口縁部直線的外反し、端部外側に肥厚。肩部の張り弱い。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ目。体部内面ナデで指圧痕残る。	良	淡褐色	良	
12	ＳＢ15	土師器甕	(18.2)	－	－	１／２	口縁部直線的外反し、端部外側に肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ目。体部内面ナデ。	良	褐色	良	
13	ＳＢ15	土師器甕	(18.4)	－	－	１／３	口縁部「く」の字状。	体部内面ナデ、ハケ目痕。口縁部ヨコナデ。体部内外面指圧痕残る。	良	暗褐色	良	
14	ＳＢ15	土師器高杯	15.0	－	－		杯部内弯し上外方にのびる。口縁部直立気味。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ナデ。	良	赤褐色	良	
15	ＳＢ15	土師器高杯					杯体部と底部との境明瞭。	体部外面ヘラミガキ内面ナデ。	良	褐色	良	磨滅激しい
16	ＳＢ15	土師器高杯	－	－	(12.0)	１／６	脚裾部広がりゆるやか。端部丸い。	裾部ハケ目。	やや粗	赤褐色	良	
17	ＳＢ16	須恵器杯身	11.5	4.8	－	ほぼ完形	受部立ち上がり内傾。受部やや外上方へ。	マキアゲ、ミズビキ成形。底部１／２ヘラケズリ。他はロクロナデ。ロクロ回転不明。	良	赤褐色	不良	
18	ＳＢ16	須恵器杯蓋	(12.4)	－	－	１／６	天井・口縁部境に沈線。口縁端部内傾する平面。	マキアゲ、ミズビキ成形。天井部ヘラケズリ。他はロクロナデ、ロクロ回転方向不明。	良	青黒色	良	
19	ＳＢ16	須恵器高杯	－	－	－		円孔３ケ所。	脚柱部カキ目。杯部内底面ナデ。	やや粗	淡灰色	良	

20	ＳＢ17	土師器高杯	(28.0)	－	－		杯部直線的に外方へ開く。口縁端部外反。杯体部と底部間の稜鋭い。	口縁部ヨコナデ。杯体部ヨコナデの後雑なナデ。	良	黄茶色	良	煤付着
21	ＳＢ17	土師器甕	(19.0)	－	－		口縁部ゆるやかに外反し、中央部肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部内外面板ナデ、ヘラミガキ。	良	黒茶色	良	
22	ＳＢ17	須恵器壺	(体部) 11.3	－	－		肩部の張り少ない。体部最大径に沈線２条めぐり、ヘラ刻み文施す。	マキアゲ、ミズビキ成形。体部下半ヘラケズリ。	良	青色	良	
23	ＳＢ20	土師器杯	(14.0)	(5.0)	－		弧状の体部。口縁端部内傾。	口縁部ヨコナデ。体部内面ナデ。外面ヘラケズリ。	良	赤褐色	良	
24	ＳＢ20	土師器杯	(12.0)	(4.3)	－		杯体部内弯。口縁端部直立し、面を成す。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ナデ。	良	赤褐色	良	
25	ＳＢ22	土師器杯	(18.4)	4.0	－	1／6	口縁部直線的に外方へ開き、端部内傾し丸い。	口縁部・底部内面ヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。	精良	赤褐色	良	
26	ＳＢ22	土師器皿	(22.0)	3.3	－	1／8	口縁部内弯、端部直立し丸い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面ヘラケズリ。	精良	褐色	良	
27	ＳＢ22	土師器盤	(36.0)	－	－	1／10	口縁部外方へ直線的開き大で、端部面を成す。	口縁端部ヨコナデ、口縁部ヘラケズリ。体部内外面ナデ。	精良	赤褐色	良	
28	ＳＢ22	土師器甕	(17.0)	－	－	1／4	口縁部ゆるやかに外反し端部外側に面を成す。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ハケ目。	良	赤茶色	良	煤付着
29	ＳＢ22	土師器甕	(16.0)	－	－	1／8	口縁部短く直線的に外反、端部に面を成す。口縁部中央・頸部肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ目。体部内面板ナデ。下半ヘラケズリ。	良	褐色	良	煤付着
30	ＳＢ22	土師器甕	(16.0)	－	－	1／4	口縁部短く直線的に外反、端部外側面成す。口縁中央部・頸部やや肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ目。体部内面板ナデ、下半ヘラケズリ	良	暗茶色	良	
31	ＳＢ22	土師器甕	(28.0)	－	－	1／6	口縁部水平に近く外反、端部面を成す。口縁部中央部肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ハケ目。内面にカキトリ痕。	精良	暗茶色	良	
32 ＰＬ4-13	ＳＢ13	土師器杯	12.9	3.0	－	完形	口縁部外反し、端部やや内弯気味で丸い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	良	赤褐色	良	
33	ＳＫ6	土師器杯	(15.2)	(3.1)	－	1／8	口縁部直線的に外方へ開き、端部丸い。	口縁部ヨコナデ。底部外面未調整。	良	黄褐色	良	
34	ＳＫ8	土師器杯	(14.7)	(2.7)	－	1／6	口縁部外反強く端部細く終わる。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	良	褐色	良	

35 ＰＬ4-13	ＳＫ８	土師器 杯	13.4	2.7	－	完形	口縁部外反強い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	良	淡褐色	良	
36	ＳＫ８	土師器 甕	(17.6)	－	－		口縁部外反ゆるやか。端部内側に折り曲げ。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ目。体部内面ナデ。	精良	白茶色	良	
37	ＳＫ９	土師器 杯	(12.6)	(3.6)	－	１／４	口縁部外反し、端部つまみ上げられ段を成す。	口縁部ヨコナデ。底部内外面未調整。	良	明褐色	良	
38	ＳＫ10	瓦 軒平瓦					均正飛雲文軒平瓦。弧顎。上下脇区は珠文。		細砂含むが良	灰色	やや軟	
39	Ｐ－１	土師器 甕	(18.5)	(32.6)	－		口縁部やや強く外反。端部面成す。体部やや縦長の球体。	口縁部ヨコナデ。体部内面ハケ目。下半ヘラケズリ。体部外面ハケ目。	良	黄茶色	良	
40	Ｐ－２	縄文土器	－	－	－		素文突帯貼付。突帯間にボタン状突起。	体部外面条痕。体部内面ナデ。	精良	灰褐色	不良	
41	Ｐ－２	縄文土器	－	－	－			体部外面条痕、体部内面ナデ。	精良	灰褐色	不良	40、41は同一個体。
42	ＳＥ23	土師器 杯	(13.5)	(2.7)	－	１／４	口縁部直線的に外方へ開く。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	良	暗褐色	良	
43 ＰＬ4-13	ＳＥ23	土師器 杯	(13.5)	3.1	－	口縁部１／３欠損。	口縁部長めで直線的に外方へ開く。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	精良	赤褐色	良	
44 ＰＬ4-13	ＳＥ23	土師器 杯	(12.2)	(3.6)	－	完形	口縁部長めで直線的に外方へ開き、端部細い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	良	赤褐色	良	
45 ＰＬ4-14	ＳＥ23	土師器 杯	(14.0)	(3.0)	－	１／２	口縁部外反。端部細い、器壁薄い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	精良	暗茶色	良	「正」の墨書あり。
46	ＳＥ23	黒色土器	(16.2)	(8.2)	－	１／６	口縁部直線的に外へ開く。	口縁端部ヨコナデ。底部内面ヘラミガキ。底部外面ヘラケズリ。	良	黒色暗褐色	良	
47	ＳＥ24	土師器 皿	(17.0)	(2.5)	－	１／４	口縁部外反し、やや肥厚。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	良	赤褐色	良	
48	ＳＥ24	土師器 皿	(16.8)	(1.9)	－	１／６	口縁部直線的に外へ開き、端部細い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	精良	赤褐色	良	
49 ＰＬ4-13	ＳＥ24	土師器 杯	(13.6)	(3.0)	－	１／６	口縁部外反し、端部内弯気味で丸い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。底部外面未調整。	良	赤褐色	良	
50	ＳＥ24	土師器 杯	(14.4)	－	－	１／４	口縁部長く、直線的に外方へ開く。	口縁端部ヨコナデ。口縁部外面ナデ。口縁部内面放射状暗文。	良	淡褐色	良	
51	ＳＥ24	土師器 甕	(16.7)	－	－	１／２	口縁部外反強く端部つまみ上げ。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ目。体部内面ナデ。	やや粗	暗茶色	良	

52	ＳＥ24	灰釉陶器	－	－	（6.2）	1／3	高台やや高く、まっすぐに立つ器壁薄い。	ロクロ回転時計回り。	良	灰褐色	良	
53	ＳＥ24	灰釉陶器	－	－	（7.0）	1／3	高台ふんばり気味。	体部内面ロクロ水ビキ。底部外面に糸切り痕。ロクロ回転不明。	やや粗	灰褐色	良	
54 ＰＬ4-13	ＳＥ24	紡錘車	上面径 1.9	高さ 1.3	下面径 3.4	完形	穿孔径 0.6cm。	側面・底面に線刻の鋸歯文。		暗緑灰色		滑石製
55	ＳＥ25	土師器甕	（16.4）	－	－	1／4	頸部直立気味。口縁部外反強い体部球形。	口縁部ヨコナデ。体部内面ハケ目。下半ヘラケズリ。	やや粗	淡茶色	良	煤付着
56	ＳＥ25	土師器甕	（16.6）	－	－	1／4	口縁部短く外反端部に面成す。頸部肥厚、体部球形。	口縁部ヨコナデ。体部内面ハケ目。下半ヘラケズリ。体部外面ハケ目。	良	黒茶色	良	煤付着
57	ＳＥ25	土師器甕	－	－	－	1／2		体部内面ハケ目、下半ヘラケズリ。体部外面ハケ目。	良	淡茶色	良	煤付着

（河瀬信幸）

付表７　杉垣内遺跡　Ａ地区弥生土器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
58	Ｂ21－６砂	広口壺	20.4	－	－	1／6	口縁大きく外反。口縁端部下方へ拡張。	口縁内面４個円形突起口縁端面クシメ列。口縁外面ヨコヘラミガキ。	良好	淡褐色	良	
59	Ｂ23－３砂	広口壺	21.0	－	－	1／12	口縁直線的に外反。口縁端部下方へ拡張。	口縁端面櫛描波状文。口縁内面２段斜放射クシメ列。	良好	乳茶褐色	良	
60	Ｂ23－３砂	広口壺	20.2	－	－	1／6	口縁受口状。	口縁４条の凹線文。口縁内面強いヨコハケ。	良好	乳茶褐色	良	
61	Ｂ23－３砂	細頸壺	10.8	－	－	1／8	口縁受口状。	口縁２条凹線文	金雲母砂粒少量	灰茶色	良	
62	Ｂ23－２砂	細頸壺	10.0	－	－	1／6	口縁受口状。	口縁２条凹線文。	砂粒、金雲母微量２㎜太の石英	淡茶色	良	
63	Ｂ25－８部材周辺	壺		－	－	1／5		頸部三角凸帯貼付け。凸帯櫛での刻み目。	砂粒含むが密	明茶色	良	
64	旧河道 Ｂ18－13砂	広口壺	21.4	－	－	1／4	口縁大きく外反。口縁端部上下へ拡張。	口縁内面２段斜放射のクシメ列。口縁端面櫛描波状文かすかに残る。	１～２㎜砂粒	外淡褐色内淡赤褐	並	
65	Ｂ23－２砂	甕	22.0	－	－	1／8	口縁短く外反。	口縁櫛状工具によるキザミ目、体部内面ヨコハケ、体部外面ナナメハケ。	金雲母、砂粒含むやや粗	淡茶色	良	
66	Ｂ23－３砂	甕	26.0	－	－	1／6	口縁短く折り返す。	口縁櫛状工具によるキザミ目、口縁部内面ヨコハケ、その他ナナメハケ。	砂粒多く含む	明赤褐色	良	体部内面スス付着

67	トレンチA SB	台付鉢	12.1	—	—	1／4	口縁端部内側へ拡張。	口縁8条の細い凹線文 口縁外面から2個1対穿孔。	0.5mm 石英含む	明肌色	やや良	外面黒斑
68	旧河道 B18－14砂	高杯	26.4	—	—	1／6	口縁真直ぐ立ち上がる、口縁端部内側へ強く肥厚。	杯部5条の浅い凹線文 杯部外面へラミガキ、杯部内面、ハケ＋部分的へラミガキ。	1～2mm 砂粒	淡褐色	並	
69	旧河道 B25－10砂	高杯	24.2	—	—	1／5	口縁短いがやや外反 口縁端部面取り。	杯部内面ヨコハケ＋斜放射へラミガキ、杯部外面へラミガキ、稜部分3条の櫛描横線文。	微細砂粒	淡褐色	良	

（服部芳人）

付表8　杉垣内遺跡　A地区古墳時代土師器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎　土	色調	焼成	備　考
70 PL4-14	B25－7 砂黒色土まじり内	壺	11.2	15.5	—	完形	下ぶくれの体部、丸底受口状の口縁。	口縁端部外面、斜めの櫛目列、体部上半列点文、列点文上は櫛描直線文、列点文下半全面へラミガキ。	長石金雲母、白色微砂	橙褐色	良	文様部に朱残存
71 PL4-14	B23－3 黒色土	壺	11.0	16.2	3.5	完形	上げ底気味の平底。口縁端部内面面取り。	口縁内面と外面へラミガキ、体部内面下半ヨコハケ。	良	灰乳褐色	良	
72 PL4-14	C21－1 中間砂層	壺	15.0	—	—	完形	二重口縁。頸部直立。	口縁端面、刻み目の後1条凹線文、口縁内外面へラミガキ、体部外面8本櫛描横線文と連続重弧文状の6本櫛描横線文交互にくり返す。	細砂粒	赤褐色	硬	
73	C21－13 砂地直上	壺	19.8	—	—	1／3	二重口縁、口縁端部丸味もってつまみ上げる。	頸部凸帯部斜めの櫛目列、頸部外面へラ描き文。	砂粒	淡褐色	良	
74	C18－25 包含層	壺	9.0	—	—	1／2	口縁直立。偏平な体部。	頸部と体部の接合部外面、強いヨコナデ体部未調整。	やや良	黄茶褐色	良	
75 PL4-14	C21－3	壺	9.6	13.5	—	完形	口縁直立気味、体部やや肩張る。	口縁外面タテハケ体部タテハケの後ヨコハケ。	良	赤茶色	良	外面煤 内面炭化物付着
76 PL4-14	B25－8 砂層	台付甕	14.4	24.9	8.0	完形	口縁の立ち上がりほぼ真直ぐ、先端やや尖る、口縁上端内斜面。	口縁端部棒状工具の刺突文、体部上半外面粗いハケ、脚端部内側へやや折り返す頸部以下内面ハケ目。	金雲母片	淡赤色	良	大参a類 安達、木下 I類
77	B24－1 包含層	台付甕	13.4	—	—	1／4	口縁外方に大きくひろがる。	体部内面上半にユビオサエ。	1mm大砂粒	暗灰褐色	良	ⅢA類
78	B23－5 包含層	台付甕	13.2	—	—	1／2	口縁やや外方にひろがる。	体部内面上半ユビオサエ、体部外面タテハケやや粗い。	砂粒	淡褐色	並	ⅢA類
79	B23－5 包含層	台付甕	15.6	—	—	1／4	口縁やや厚手。	体部内面上半ユビオサエ。	微細砂粒 金雲母片	淡褐色	並	ⅢB類

80	B19－21 砂地直上	台付甕	16.4	－	－	1／5	口縁端部外側に肥厚 口縁端面中央部凹む。	体部外面粗いタテハケ、体部外面ヘラ沈線3本。	砂粒	茶褐色	良	ⅣB類
81	B24－1 砂地直上	台付甕	15.5	－	－	1／8	口縁真直ぐ外反。 口縁端部外側に肥厚し端面中央部わずかに凹む。	体部外面タテハケ 体部外面5㎜幅指ナデ痕。	砂粒若干	灰茶色	良	ⅤA類
82	B25－5 砂	台付甕	14.9	－	－	1／4	口縁真直ぐ外反。	体部外反タテハケ。 体部内面ヘラケズリ。	小石、石英、長石雲母	淡茶灰色	良	煤外面付着
83 PL4-14	B25－8 部材周辺	台付鉢	17.8	12.9	8.8	完形	口縁端部ヨコナデしてやや外反。	脚端部内側へ折り返す。	やや密	淡茶色	良	S字状口縁台付甕と同様の成形方法
84 PL4-14	B23－2 包含層	高杯	10.6	6.7	6.9	完形	脚部短く直線的。 体部丸味をもつ。	杯部内面ハケ＋ヘラミガキ。 杯部外面ヘラミガキ。	砂粒若干	暗黄茶色	良	
85	B25－1 包含層	高杯	－	－	10.0		脚端面強い面とり。	脚柱状部粘土ひものつぎ目。	砂粒	黄褐色	良	
86	C21－13 包含層	高杯	－	－	12.8	1／3	脚端部下方に拡張。	口縁外面ハケ。 脚端面1条の沈線。	砂粒微量	淡褐色	並	
87	C21－13 砂地直上	高杯	15.4	－	－	1／4	口縁底部ゆるい稜。	円板充填法。	少量	淡褐色	並	
88 PL4-14	C18－18 包含層	高杯	16.7	12.1	10.6	1／4	杯部丸味。 脚端部下方に拡張。	脚部内側シボリ。	砂粒	暗褐色	並	内外面とも煤部分的付着
89	包含層 道路（東） 表土除去	高杯	14.6	－	－	1／1	杯部丸味。口縁端部面とり。		砂粒	明茶色	良	
90 PL4-15	包含層 道路（東）	杯	13.5	6.0	5.1	口縁 1／5 底部完形	平底。 口縁内面面をもつ。	体底部ヘラミガキ。	多少砂粒	明茶色	良	
91 PL4-15	C18－24 包含層	杯	13.0	6.5	－	1／2	口縁内面面をもつ。	口縁部ヨコナデ、内面ヘラミガキ。	石英	赤茶褐色	良	
92	包含層道路（東）表土除去	杯	12.1	5.3	－	完形	口縁内面面をもつ。	底部内面放射状のヘラのアタリ。 体底部外面乱ナデ。	砂粒	明茶色	良	内面イブして煤付着
93 PL4-15	B24－5 包含層	杯	12.2	5.0	3.3	完形	小さい平底。 口縁内面面をもつ。	口縁端部ヨコナデ、体部下半ユビオサエ。	砂粒多い 石英多い	赤褐色	良	
94 PL4-15	B24－5 包含層	杯	11.4	4.5	－	完形	口縁内面面をもつ。	口縁端部ヨコナデ、内面板状工具によるナデののちミガキ、底部ヘラケズリ。	砂粒多い	赤褐色	良	

（服部芳人）

付表9　杉垣内遺跡　A地区古墳時代須恵器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
95 PL4-18	B24－7	杯蓋	13.4	4.8	－	ほぼ完形	天井部比較的平ら。 口縁外側へ丸味を持ちつつ垂下。	天井部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒含	灰	良	

96 PL4-18	B25－2	杯蓋	12.4	3.8	－	一部欠損	天井部比較的平ら。稜は余り発達しない。	天井部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向左。	良	青灰	良	焼ぶくれ等歪みあり
97 PL4-18	B17－21	杯蓋	13.0	4.5	－			回転方向左。	小石含	灰	良	
98	B19－21	杯蓋	13.2	4.9	－	1／5	稜は発達しない、口縁端部内側に弱い段をもつ。	天井部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒含	灰	良	
99 PL4-18	B22－5	杯蓋	13.8	4.0	－	口縁 2／3	稜は発達しない、口縁は垂下せず内側へ丸くおさまる。	天井部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒多	暗青灰	良	天井部内面ひび割れ
100 PL4-18	B25－1	杯蓋	14.0	4.2	－	口縁 2／3	稜は一条の沈線によって表現される程度口縁端部は斜めに先細る。	天井部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒含	淡灰	良	
101	B25－3	杯蓋	14.0	4.5	－	1／4	稜はシャープさを欠く、口縁端部外反。	天井部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向右。	砂粒金雲母含	黒灰	やや軟 瓦質	
102 PL4-18	B18－23	杯蓋	11.4	3.5	－	一部欠損	稜は退化しており、天井部と口縁はロクロナデによる変換点のみ。	天井部外面ヘラキリ未調整（粗いナデツケ）、天井部内面一方向なで、他はロクロナデ、回転方向右。	良	暗灰	良	
103 PL4-18	B25－2	杯身	9.8	4.5	－	1／2 弱	底部は内外面とも偏平である。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒金雲母含	暗灰	良	
104 PL4-18	C21－12	杯身	12.3	5.1	－	完形	口縁、受部比較的シャープ。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ、回転方向右。	砂粒の他1㎝の小石含	暗灰	良	底部外面に厚く自然釉
105	C21－12	杯身	13.4	5.6	－	完形	底部比較的厚く、内面は平らである。	底部外面ロクロケズリ、底部内面ナデ、他はロクロナデ、回転方左。	良	青灰	良	底部外面に厚く自然釉
106 PL4-18	B25－1	杯身	10.7	4.4	－	完形	底部比較的平ら、口縁やや内傾焼きは甘いが作りはシャープ。	底部外面ロクロケズリの後やや風化、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒含	灰	やや軟	外面黒色化した部分あり
107	B19－23	杯身	11.4	4.6	－	1／2	口縁内傾し、シャープ。	底部外面ロクロケズリ、ただし接地面は未調整、底部内面はナデ、回転方向左。	砂粒含	茶褐	生焼	
108 PL4-18	B25－9	杯身	11.1	4.2	－	2／3	口縁下部が肥厚する内面底部は比較的平ら。	底部外面はヘラキリ未調整（粗いナデツケ）底部内面にヌタ痕あり、回転方向左。	粗	灰	良	
109 PL4-18	B18－23	杯身	10.0	3.1	－	1／2 弱	口縁内傾し、立ち上がり弱い。	底部外面ヘラキリ未調整、底部内面はユビオサエの後ナデ、他はロクロナデ、回転方向右。	細砂含	暗灰	良	

110	B23－1	杯身	8.6	3.2	－	完形	口縁の立ち上がり弱い。	底部外面ヘラキリ未調整(粗いナデツケ)底部内面はナデ、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒含	暗茶褐	良	外面は自然釉
111	B25－15	高杯	15.0	－	－	1／6	三方向（？）に長方形透かし、口縁下に稜あり。	体部に波状文の施文回転方向右。	砂粒含	黒灰	良	立ち上がり内面に自然釉
112	B18－21	高杯	－	－	脚部径8.7	脚部ほぼ完存	三方向に長方形透かし、脚端部外面ほぼ垂直。	接合部内面ナデ回転方向不明。	砂粒含	灰	良	
113	B19－21	（有蓋）高杯	－	－	脚部径8.4	脚部完存	三方向に長方形透かし、脚端部やや内傾。	杯部内面ナデ、脚部内面ヨコナデ、杯部底部外面から脚部外面にかけカキ目、回転方向不明。	良	暗青灰	良	
114 PL4-18	B25－8	（有蓋）高杯							良	青灰	良	
115	B25－9	（有蓋）高杯	11.6	－	－	杯部1／2	脚部に円形透かし、杯底部外面径2.7cm程の凹み、口縁端はシャープ。	杯部内外面ロクロナデ、ただし杯底部外面付近ロクロケズリ回転方向左。	精良	黒灰	良	
116	B19－21	高杯	15.1	－	－	杯部ほぼ完存	ゆるやかに外弯気味に立ち上がる。	杯体部外面下方ロクロケズリ、底部内面ナデ、他はロクロナデ、回転方向右。	良	灰色	良	焼き歪みと割れあり
117	B19－21	高杯	－	－	脚部径7.6	脚部完存	脚部内面に返りに似た段差を有する。外面に透かしに似た条痕あり。	脚端部付近ロクロナデ、他はナデ、回転方向不明。	良	淡緑灰	良	脚部内面にひび割れ
118 PL4-18	B21－12	甕	胴部径14.0	－	－	体部完存	肩部直下に最大径、沈線にはさまれたハケケ目帯に、右下がりの刻み目圧痕。	体部外面下半ハケ状工具による不定方向のナデ、非常に滑らかである、回転方向左。	砂粒含	暗青灰	良	
119 PL4-18	C22－10	甕	胴部径9.8	－	－	体部完存	底部は平底で正立可肩部直下に最大径、沈線にはさまれた左下がりの圧痕帯。	体部外面に下半から底部丁寧なナデ、頸部に波状文、回転方向不明。	良	明灰褐	良	
120	B18－23	壺	胴部径13.5	－	－	体部3／4	比較的肩が張り、底部は丸味を持つ、孔の有無は不明。	体部外面下半に平行タタキ、他はロクロケズリの後ロクロナデか、回転方向不明。	細砂	暗灰	良	肩及び内面に自然釉
121 PL4-18	B18－21	小壺	6.4	6.8	－	体部1／2口縁一部	肩は張るが丸味をもつ。	底部外面ヘラキリ未調整、体部外面下方1／3ロクロケズリ他はロクロナデ、回転方向左。	良	灰白	良	肩及び底部内面に自然釉

（久志本鉄也）

付表10　杉垣内遺跡　A地区飛鳥・奈良・平安時代土師器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
122	砂地直上 B24－1	土師器 杯A_1	10.6	3.3	－	1／4	口縁部から丸みをおびたまま底部に達し椀に近い。	外面全面を横方向のヘラミガキ、内面は放射とラセン状暗文。	精良 金雲母	茶褐色	良	底部に黒斑
123 PL4-15	砂地直上 B24－2	土師器 杯A_1	11.0	3.2	－	完形	口縁部から丸みをおびたまま底部に達し椀に近い。	外面全面を横方向のヘラミガキ、内面は放射とラセン状暗文。	精良	赤茶色	良	
124	B19－21	土師器 杯A_2	18.0	－	－	1／8	口縁部から丸みをおびたまま底部に達し椀に近い。	外面全面を横方向のヘラケズリ、内面は放射暗文。	微砂	明赤褐色	良	
125	砂地直上 B24－1	土師器 杯B_1	16.8	4.5	－	2／3	口径に対し比較的大きく平らな底部で口縁部との境が明瞭。	外面上半を横方向のヘラミガキ、下半をヘラケズリ、内面は格子状暗文。	精良	褐色	良	
126	砂層 C21－11	土師器 杯D_1	12.6	4.7	－	完形	口縁部から丸みをおびたまま底部に達し椀に近い。	口縁部の1／4をヨコナデ。他は未調整、指頭圧痕、粘土紐巻上痕、内部に板ナデ痕。	良	暗黄茶色	良	内外面の一部に煤が付着
127 PL4-15	砂層 C21－12	土師器 杯D_1	11.6	4.3	－	完形	口縁部から丸みをおびたまま底部に達し椀に近い。	口縁端部のみヨコナデ、他は未調整。指頭圧痕、粘土紐巻上痕。	良 金雲母片	暗茶色	良	内外面の一部に煤が付着
128 PL4-15	砂層 B23－5	土師器 杯D_2	11.5	4.0	－	完形	平らな底部から屈曲して立ち上がる口縁部で端部は軽くつまみ上げる。	口縁部の1／2をヨコナデ。他は未調整。指頭圧痕、粘土紐巻上痕。	良	暗黄茶色	良	
129 PL4-15	B23－5	土師器 杯D_2	11.0	4.0	－	完形	平らな底部から屈曲して立ち上がる口縁部で端部はやや内弯	口縁部の1／2をヨコナデ。他は未調整。指頭圧痕、粘土紐巻上痕。	砂粒	暗茶色	良	
130 PL4-15	砂層 B25－2	土師器 杯D_3	11.6	4.2	－	1／2	口縁部から丸みをおびたまま底部に達し口縁端部内側に浅い沈線。	口縁部の1／2をヨコナデ。外面は指頭圧痕を残し未調整。	砂粒	淡黄茶	良	
131 PL4-15	B18－22	土師器 杯D_3	13.0	3.9	－	1／2	平らな底部から内弯して立ち上がる口縁部で端部内側に浅い沈線。	口縁部の1／2をヨコナデ。他は未調整。指頭圧痕、粘土紐巻き上げ痕。	砂粒多い	淡橙褐色	良	
132 PL4-15	B25－2	土師器 杯D_2	12.2	3.7	－	3／4	平らな底部よりやや屈曲して内弯ぎみに立ち上がる口縁部。	口縁部の1／2をヨコナデ。他は未調整。指頭圧痕。	金雲母	黒茶色	良	内面にヘラ記号、煤が付着
133 PL4-15	砂地直上 B25－15	土師器 杯D_2	12.5	3.5	－	完形	やや丸みをもつ底部より屈曲して立ち上がる口縁部。	口縁部の大部分を簡単にヨコナデする。他は未調整。	金雲母	黒茶色	良	内外面に煤が付着
134 PL4-15	砂層 B24－5	土師器 杯D_2	11.4	3.9	－	1／3	平らな底部から屈曲し内弯して立ち上がる口縁部。	口縁部の2／3をヨコナデ。他は未調整。指頭圧痕、粘土紐巻上痕	砂粒	茶褐色	良	
135	B25－1	土師器 杯D_4	15.6	4.4	－	1／6	平らな底部より屈曲しまっすぐ外方へ立ち上がる口縁部。大型。	口縁部の1／3をヨコナデし、他は未調整。粘土紐巻上痕。	金雲母	赤茶色	良	口縁部の一部に煤が付着

136	B19－22	土師器 ⅢA_1	21.4	3.2	－	1／6	口縁部は底部より丸味をもって立ち上がり端部は内に肥厚。	外面をヘラミガキし、内面には放射とラセン状暗文。	精良	赤茶色	良	
137	B19－21	土師器 ⅢA_2	20.8	3.9	－	1／8	口縁部は底部より丸味をもって立ち上がり端部は丸い。	外面をヘラケズリし、内面に放射暗文。	金雲母	明橙褐色	良	
138	砂地直上 B25－9	土師器 ⅢA_2	18.9	3.6	－	1／2	口縁部は底部より丸味をもって立ち上がり端部は丸い。	内面と外面の1／3をナデ。他をヘラケズリ。	砂粒 金雲母	黄茶色	良	
139	C21－9	土師器 高杯	－	－	9.0	底部 2／3	短い脚より、ラッパ状に開く脚部をもつ。	脚部を指により10面に面取り。	金雲母	淡茶色	良	
140	砂地直上 B19－21	土師器 高杯	－	－	10.2	底部 1／2	脚は中空で底部で大きく開く。	脚部を指により12面に弱く面取り。	精良	暗黄茶色	良	
141	砂地直上 B24－1	土師器 杯B_2	15.8	3.1	－	3／4	口縁部は底部から屈曲して外反しながら立ち上がり端部は内弯。	口縁部をヨコナデ。底部はヘラケズリ後ヘラ状工具による掻取痕。	精良	橙褐色	良	墨書「船女」
142	B19－22	土師器 杯B_1	18.8	3.8	－	1／6	口径に対し比較的大きく平らな底部をもつ。口縁端部は若干外反。	外面全面を荒いヘラミガキ。内面全面も荒いラセン暗文風のヘラミガキ。	精良	淡赤褐色	良	
143	B23－4	土師器 杯C	13.6	4.1	9.6	1／6	口縁部は底部より屈曲してやや外反ぎみに立ち上がる。高台を有する。	全体をナデにより丁寧に調整する。	砂粒	暗茶色	良	
144 PL4-15	B19－21	土師器 杯D_5	17.0	3.6	－	1／4	Ⅲに近い形態。底部からやや屈曲して立ち上がる口縁部をもつ。	口縁部の2／3をヨコナデ。他は未調整。粘土紐巻上痕、指頭圧痕。	金雲母	暗茶色	良	
145 PL4-15	B25－8	土師器 ⅢA_2	20.0	2.6	－	1／2	口縁部は底部より丸味をもって立ち上がり端部は丸い。	口縁部の1／2をヨコナデ。他は未調整。内面には雑な放射とラセン状暗文。	良	暗茶色	良	
146	B19－21	土師器 ⅢA	20.0	1.7	－	1／8	底部より丸味をもち短く立ち上がる口縁部をもつ。	口縁部の1／2以上をヨコナデ。底部はヘラケズリ。	金雲母	明茶色	良	
147	砂層内 B25－9	土師器 ⅢA_2	－	－	－	1／4		底部未調整。内面ラセン状暗文が、わずかに残る。	精良	淡茶色	良	墨書
148 PL4-15	砂地直上 B24－1	土師器 高杯	17.9	－	－	2／3	口縁部は内弯ぎみにゆるやかに立ち上がり端部は外反。	口縁部外面の1／3をヨコナデ。それ以下をヘラケズリ。	精良	褐色	良	
149 PL4-15		土師器 杯B_2	13.7	3.1	－	1／8	底部から屈曲して外反しながら立ち上がる口縁端部は内弯。	口縁部の2／3をヨコナデ。それ以下は未調整。	金雲母多い	茶褐色	良	
150 PL4-15	砂地直上 B18－22	土師器 杯B_2	13.5	3.0	－	1／2	底部から屈曲して外反しながら立ち上がる。口縁端部は内弯	口縁部の2／3をヨコナデ、それ以下は未調整。	良	黄茶色	良	墨書
151 PL4-16	B18－23	土師器 杯B_2	13.2	3.4	－	1／4	底部から屈曲して外反しながら立ち上がる。口縁端部は内弯	口縁部のほとんどをヨコナデ。それ以下は未調整。口縁端部外面をヘラ状工具で強くヨコナデする。	精良	橙褐色	良	

152 PL4-16	B24－1	土師器 杯B₂	12.8	3.1	－	1／3	底部から屈曲して外反しながら立ち上がる口縁端部は内弯。	口縁部のほとんどをヨコナデ。それ以下は未調整。	精良	暗茶色	良	ヘラ記号
153	B18－22	土師器 杯D₃	15.2	3.6	－	1／4	底部から屈曲して立ち上がる口縁部は、端部の近くで外反。	口縁部のほとんどをヨコナデ。それ以下は未調整。	精良	橙褐色	良	磨滅がはげしい
154	砂地直上 B25－15	土師器 杯D	15.0	3.9	－	3／4	底部から屈曲して立ち上がる口縁部は端部近くより大きく外反。	口縁部のほとんどをヨコナデ。それ以下は未調整。	良	赤茶色	良	外面の磨滅がはげしい
155 PL4-16	B25－9	土師器 杯D₃	13.8	3.0	－	2／3	底部から屈曲して立ち上がる口縁部は端部近くより大きく外反。	口縁部のほとんどをヨコナデ。端部内面を特に強くナデる。	精良	黄茶色	良	墨書
156 PL4-16	B23－1	土師器 杯D₂	12.6	3.1	－	完形	平らな底部から屈曲して立ち上がる口縁部で端部は丸い。	口縁部の1／2を弱くヨコナデ。指頭圧痕、粘土紐巻上痕。	良	黄茶色	良	底部外面に煤付着
157 PL4-16	砂地直上 B25－15	土師器 杯D₆	8.2	3.0	－	2／3	小型で平らな底部から屈曲してまっすぐ外方へ立ち上がる口縁部をもつ。	口縁部の1／2をヨコナデ。他はナデ。	良	黄茶色	良	内外面に煤付着。歪みがはげしい
158	B18－22	土師器 高杯	22.0	－	－	1／6	杯部は大きく浅い。口縁部は大きく外反。端部は内弯ぎみに丸い。	内面と口縁部をヨコナデ。他は未調整。内面にラセン暗文。	精良	橙褐色	良	
159	B22－4	土師器 杯B₂	13.7	2.5	－	1／4	底部から屈曲して外反しながら立ち上がる口縁部で端部は内弯。	口縁部の2／3をヨコナデ。それ以下は未調整。	金雲母	明茶色	良	ヘラ記号
160	砂地直上 C21－13	土師器 杯B₂	10.3	2.9	－	1／2	底部から屈曲して外反しながら立ち上がる口縁部で端部は内弯。	口縁部の1／2以上をヨコナデ。それ以下は未調整。指頭圧痕明瞭	精良	淡茶色	良	
161 PL4-16		土師器 杯B₄	14.0	3.0	－	完形	底部から屈曲して大きく外反しながら立ち上がる口縁部で端部は丸い。	口縁部の2／3をヨコナデ。それ以下は未調整。	精良	淡茶色	良	内面に煤が付着
162 PL4-16	C19－15	土師器 杯B₄	14.8	2.9	－	完形	底部から弱く屈曲してやや外反しながら立ち上がる口縁部をもつ。	口縁部の1／2をヨコナデしそれ以下は未調整。	良	明黄茶色	良	内面の一部に煤付着 包含層出土
163	C20－5	土師器 杯B₄	12.9	2.5	－	口縁部若干欠損	底部から弱く屈曲してやや外反しながら立ち上がる口縁部をもつ。	口縁部の1／2を強くヨコナデするため、未調整部の境は稜となる	良	明褐色	良	内面の一部に煤付着
164		土師器 杯B₄	12.0	3.0	－	1／8	やや丸味をもった底部から立ち上がる口縁部は端部近くで大きく外反。	口縁部の1／2をヨコナデ。それ以下は未調整。	砂粒若干	淡茶色	良	内面に煤付着 墨書
165 PL4-16	砂地直上 B25－8	土師器 杯D₂	12.6	4.2	－	完形	平らな底から屈曲してまっすぐ外方へ立ち上がる口縁部で端部はやや外反する。	口縁部のほとんどをヨコナデ。それ以下は未調整。	やや不良	黒褐色	良	内外面に煤付着 ヘラ記号

166	B18－25	土師器 皿B	16.5	2.0	－	1／6	底部から屈曲し、外反して立ち上がる口縁部で端部は丸い。	口縁部をヨコナデ。底部外面は未調整。	金雲母	橙褐色	良	内部に煤が付着
167	B18－21	土師器 皿C	19.6	3.8	－	1／6	器高に対し比較的高い高台がつく。	付高台で、口縁部は丁寧にヨコナデする。	金雲母	淡茶色	やや不良	
168 PL4-16		土師器 台付椀	17.0	5.2	6.4	1／2	丸味をもつ底部からやや内弯して立ち上がる口縁部をもつ貼付高台。	全体にナデによる調整か？。	不良	白茶色	やや不良	磨滅がはげしい
169 PL4-16		ロクロ 土師器 椀	12.4	3.2	6.0	完形	平らな底部からまっすぐ外へ立ち上がる口縁部をもつ。	ロクロナデで調節し、底部は糸切り痕をそのまま残す。	良	暗灰茶色	良	内面の一部に煤付着 表土出土
170 PL4-16		ロクロ 土師器 椀	11.0	3.2	4.6	完形	平らな底部からまっすぐ外へ立ち上がり端部は外反する。	ロクロナデで調節し、底部は糸切り痕をそのまま残す。	良	淡茶色	良	内面に墨斑
171	焼土周辺 C20－12	ロクロ 土師器 皿	9.8	1.8	3.6	1／3	小型の皿で高台を意識した厚い底部がつく。	ロクロナデで調整し、底部は糸切り痕をそのまま残す。	良	茶白色	良	
172	B19－22	土師器 甕A	16.4	19.1	－	完形	長球状の胴部に「く」の字に屈曲する口縁部をもち、端部はつまみ上げる。	胴部外面はタテ方向の細かいハケメ。内面は上半をヨコ方向のハケメ、下半をヘラケズリ。	良	淡灰茶色	良	胴部1／3に黒斑 ヘラ記号
173 PL4-16	東南隅部 材周辺 C21－1	土師器 甕A	13.8	19.2	－	口縁部 3／4 欠損	長球状の胴部に「く」の字に屈曲する口縁部をもち、端部はつまみ上げる。	胴部外面はタテ方向のハケメ。内面は上半をヨコ方向のハケメ、下半を下から上へナデ上げる。	砂粒	暗茶色	良	内外面に煤付着 ヘラ記号
174 PL4-16	No.2 C23－6	土師器 甕A	13.5	18.6	－	口縁部 1／4 欠損	長球状の胴部に「く」の字に屈曲する口縁部をもち、端部はつまみ上げる。	胴部外面はやや荒いタテ方向のハケメ、内面はヘラケズリ。	金雲母	明灰茶色	良	ヘラ記号
175	砂地直上 B19－21	土師器 甕B_1	16.0	－	－	1／8	肩の張る体部に「く」の字に屈曲する口縁部がつき端部はつまみ上げる。	胴部外面は細かいタテ方向のハケメ。内面は上半を細かいヨコ方向のハケメ。	砂粒	淡乳褐色	やや不良	外面に若干煤が付着
176	B24－1	土師器 甕B_1	16.2	－	－	1／4	肩の張る体部に「く」の字に屈曲する口縁部がつき端部外面に面をもつ。	胴部外面は細かいタテ方向のハケメ。内面は上半はヨコ方向のハケメ、下半はヘラケズリ。	精良	暗茶色	良	外面に煤付着 内面に黒斑
177	B24－1	土師器 甕B_1	14.0	－	－	1／6	口縁部は「く」の字にするどく屈曲し、端部はつまみ上げられ外面に面をもつ。	胴部外面はやや荒いタテ方向のハケメ。内面はヨコ方向のハケメ。	金雲母	暗茶色	良	内外面の一部に煤が付着
178	B19－22	土師器 甕B_1	12.0	－	－	胴部下半を欠損	「く」の字に屈曲する口縁部で端部はつまみ上げられ外面に面をもつ。	ハケメは胴部中央以下下にほどこす。内面はヘラケズリ。	金雲母	淡茶色	良	
179	砂層 C21－11	土師器 甕B_1	17.0	－	－	1／3	口縁部は「く」の字に屈曲するが頸部はあまりしまらない。	胴部外面はタテ方向のハケメ。内面は上半をヨコ方向のハケメ、下半を右上へヘラケズリ。	金雲母	淡茶色	良	外面に煤付着

180	砂層内 B25－2	土師器 甕B₁	12.0	12.3	－	1／3	球形に近い胴部に、「く」の字に屈曲する口縁部をもち端部はつまみ上げる。	胴部外面はタテ方向のハケメ。内面上半をナデ、下半をヘラケズリの後ヘラ状工具による掻取痕あり。	精良	黄茶色	良	
181 PL4-16	B22－5	土師器 甕B₁	11.6	14.1	－	完形	球形に近い胴部に、「く」の字に屈曲する口縁部をもち端部はつまみ上げる。	胴部外面上半はタテ方向のハケメ。下半は不定方向のハケメ。内面はナデ。	砂粒多い	黄茶色	良	ヘラ記号
182	B24－5	土師器 甕B₂	14.0	15.7	－	1／2	球形の胴部に「く」の字に屈曲する口縁部がつき端部は外に弱い面をもつ。	全体に雑な調整で、胴部外面を荒いタテ方向のハケメ。内面をヘラケズリ。	砂粒多い	赤茶色	良	
183	砂地直上 B24－1	土師器 甕B₂	13.0	－	－	1／2	「く」の字に外反し、比較的長い口縁部をもち、端部は丸い。	胴部外面はタテ方向のハケメ、口縁部と胴部の接合が雑。	金雲母	暗茶色	良	内面に煤付着
184 PL4-17	砂層内 B19－21	土師器 甕C	19.0	31.5	－	完形	球形に近い胴部に、「く」の字に屈曲する口縁部がつき端部はつまみ上げられる。	胴部外面は細かいタテ方向のハケメ。内面上半は右下がりのヨコ方向のハケメ、下半はヘラケズリ。	良	明茶色	良	外面に煤付着 ヘラ記号
185 PL4-16	砂層内 B25－1	土師器 甕D₂	21.7	13.3	－	2／3	器高の割りに口径が大きい鍋に近い形態口縁端部はつまみ上げられる。	胴部外面は細かいタテ方向のハケメ。内面はヘラケズリの後一部をナデ上げる。	細砂多い	暗茶色	良	外面に煤付着
186	砂地直上 B25－15	土師器 甕D₁	15.8	8.8	－	1／3	器高の割りに口径が大きい鍋に近い形態短い口縁部は丸い。	頸部を強くヨコナデする。胴部外面はハケメ。内面はナデ。	砂粒多い	黄灰色	良	磨滅がはげしい
187	B25－2	土師器 甕D₃	34.0	－	－	1／7	器高の割りに口径が大きい鍋に近い形態で把手をもつ。	胴部外面を細いタテ方向のハケメ。内面は横方向のハケメの後一部をナデ上げる。	金雲母	黄茶色	良	
188 PL4-17	B18－25	土師器 甕D₃	27.9	23.8	－	ほぼ完形	器高の割りに口径が大きい鍋に近い形態で把手をもつ。	胴部外面はタテ方向のハケメの後一部をヨコ方向のハケメ。内面上半は板ナデ、下半は不定方向のハケメ。	良	淡茶色	良	
189	砂地内 B25－2	土師器 甕E₁	22.8	－	－	1／2	口縁部は「く」の字に強く外反し端部は弱くつまみ上げられ外に面をもつ。	頸部を強くヨコナデする、胴部外面は細いタテ方向のハケメ。内面はやや荒いヨコ方向のハケメ。	砂粒 金雲母	暗茶色	良	内面に煤付着
190	砂地直上 B19－21	土師器 甕E₁	25.6	－	－	1／9	やや肩の張る同部に「く」の字に屈曲する口縁部がつき端部は外に面をもつ。	胴部外面は細いタテ方向のハケメ。内面はヨコ方向のハケメの後ヘラ状工具による掻取痕あり。	精良	淡茶色	良	
191	砂地直上 P3 B19－22	土師器 甕E₁	19.6	－	－	1／3	やや肩の張る同部に「く」の字に屈曲する口縁部がつき端部は外に面をもつ。	同部外面はタテ方向のハケメ。内面をヨコ方向のハケメの後一部を指でナデあげる。	砂粒含	淡茶色	良	外面に煤付着
192	大溝 B13－19	土師器 甕E₁	20.8	－	－		やや肩の張る同部に「く」の字に屈曲する口縁部がつき端部は外に面をもつ。	胴部外面をタテ方向のハケメ。内面上半をヨコ方向、それ以下を右下がりにハケメを施す。	良	暗黄茶色	良	

193	B18－25	土師器 甕E₂	37.2	－	－	1／8	肩のはらない胴部に大きく水平に近く外反する口縁部がつく。	胴部外面を細かいタテ方向のハケメ、内面上半を荒いヨコ方向のハケメ、下半を右上へヘラケズリ。	砂金雲母	淡茶色	良	
194	B24－1	土師器 甕E 2	33.6	－	－	1／4	肩のはらない同部に大きく水平に近く外反する口縁部がつく。	胴部外面を細かいタテ方向のハケメ、内面上半を荒いヨコ方向のハケメ、下半を右上へヘラケズリ。	金雲母	淡茶色	良	外面の磨滅がはげしい
195	砂地直上 B19－21	土師器 甕E₂	26.0	－	－	1／8	肩のはらない同部に大きく水平に近く外反する口縁部がつく。	胴部外面は細かいタテ方向のハケメ、内面はヨコ方向のハケメの後ヘラ状工具による掻取痕あり。	良	淡茶色	良	
196	B19－21	土師器 甕E₂	20.0	－	－	1／3	頸部より肩がはらずにハの字に開く胴部に大きく水平近く外反する口縁部。	胴部外面はタテ方向のハケメ、内面はヨコ方向のハケメ。	金雲母	黄茶色	良	
197	砂地直上 B24－1	土師器 甕E₂	24.6	－	－	1／6	頸部より肩がはらずにハの字に開く胴部に大きく水平近く外反する口縁部。	胴部外面はタテ方向のハケメ、内面はヨコ方向のハケメ。	精良	黄茶色	良	
198	B25－10	製塩土器 鉢	－	5.0	－	1／10以下	厚く直立する口縁部に対し底部は非常に薄い。	内面をヨコナデ、外面は未調整で、粘土紐巻上痕をよく残す。	不良	赤茶色	やや不良	
199	B18－21	製塩土器 鉢	－	5.2	－	1／10以下	厚く直立する口縁部に対し底部は非常に薄い。	内面をヨコナデ、外面は未調整で、粘土紐巻上痕をよく残す。	砂粒	淡赤色	良	
200	B18－25	製塩土器 鉢		6.6		1／10以下	厚くやや内弯ぎみに立ち上がる口縁部に非常に薄い底部がつく。	内面を簡単なヨコ方向のハケメ、外面未調整で粘土紐巻上痕をよく残す。	不良	淡褐色	やや不良	

（森川常厚）

付表11　杉垣内遺跡　A地区飛鳥・奈良・平安時代須恵器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
201 PL4-18	B23－5	杯蓋	10.3	3.5	－	完形	シャープさはないが丁寧な作り、宝珠つまみ、返りをもつ。	天井部外面ロクロケズリ、内面及び口縁部はロクロナデ、回転方向右。	良	暗青灰	良	
202	B19－22	杯蓋	13.0	3.8	－	1／3	宝珠つまみ、返りをもつ。	宝珠つまみに近い内面はユビオサエの後ナデ、回転方向右。	良	暗青灰	良	
203	B19－23	杯蓋	12.6	2.5	－	1／2	宝珠つまみは小型化し、上面はほとんど扁平。	外面肩付近ロクロケズリ、内面はナデ、端部付近はロクロナデ、回転方向右。	砂粒含	暗灰	良	焼き歪みが著しい
204 PL4-18	B25－1	杯蓋	15.6	3.7	－	1／2弱	天井部に平らな面をもたず盛り上がる、つまみは扁平化している。	外面はロクロナデ、内面は不定方向ヘナデ、回転方向不明。	良	灰	良	

205 ＰＬ4-18	Ｂ24－１	杯蓋	15.0	3.0	－	１／２	天井部は平ら、つまみも扁平である。	天井部外面ロクロケズリ、内面に一方向ナデ、他はロクロナデ、回転方向右。	小石含	暗灰	良	内面に炭化物
206 ＰＬ4-18	Ｂ23－４	杯身	14.1	4.2	9.6	底部 １／２	底部水平で立ち上がりの変換点シャープ高台もシャープである。	底部外面ロクロケズリ、と思われる、他はロクロナデ、回転方向右。	良 金雲母含	暗灰	良	
207 ＰＬ4-18	Ｂ19－21	杯身	14.0	3.9	10.0	１／４	高ち上がりから、やや内側に高台付く。	底部外面ロクロケズリの後ナデか（ケズリ痕なし）底部内面はナデ、立ち上がりはロクロナデ。	良	明灰	良	底部外面に口の墨書
208 ＰＬ4-18	Ｂ25－10	杯身	14.0	3.7	10.4	一部欠損	高ち上がりやや内側に丸味を持った高台が付く。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ回転方向左。	良	灰白	やや軟	
209	Ｃ21－11	杯身	14.0	4.0	9.9	口縁部 １／２ 底部 ２／３	口縁いびつ、高台かなりつぶれている、底部外面凹む。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ回転方向右。	やや粗	暗灰	良	
210	Ｂ19－21	杯身	12.8	4.3	8.9	口縁部 １／４	口縁内側やや凹む、底部内面成形時の起伏残す。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ回転方向右。	良	灰	良	底部外面ヘラ記号２条
211	Ｂ24－１	杯身	13.2	3.4	－	１／２	高台の外角は丸味をもち、つぶれている口縁はやや外反する。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ回転方向右。	良	暗灰	良	
212	Ｂ19－21	杯身	13.5	4.2	8.6	口縁一部底部 １／２ 弱	高台全体に丸味、シャープさを欠く、口縁外反。	底部内外面ナデ、他はロクロナデ、回転方向不明。	良	淡緑灰	良	一部に鉄分付着
213	Ｃ21－６	杯身	15.8	6.4	10.7	１／６	全体に大ぶりで高台や口縁にシャープさはない、口縁やや外反。	外面の体部より下方はロクロケズリの後風化か、内面及口縁外面はロクロナデ、回転方向不明。	砂粒含	淡黄灰	やや軟	
214	Ｃ21－12	杯身	9.3	3.6	－	口縁一部欠損他は完存	口縁やや内傾、口縁下に櫛描横線４条、底部外面は平底。	底部外面ロクロケズリの後ナデ、底部内面ナデ、他はロクロナデ、回転方向右。	砂粒含	灰	良	
215 ＰＬ4-18	Ｂ18－22	杯身	10.6	3.7	－	完形	底部比較的厚く、外部はヘラキリによる起伏、内面はユビオサエによる凹凸あり。	底部外面ヘラキリ未調整（粗いナデ）、底部内面はユビオサエの後ナデ、他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒含	灰白	良	
216	Ｂ24－１	杯身	10.8	4.0	－	１／２	底部未調整のため安定を欠く。	底部外面、ヘラキリ未調整（粗いナデツケ）他はロクロナデ回転方向右。	小石含	暗灰	良	内面に炭化物付着（墨か）
217	Ｂ23－１	杯身	10.4	4.7	(6.0)	１／３	口縁やや外反する。	底部外面ヘラキリ未調整（粗いナデ）他はロクロナデ、回転方向左。	砂粒含	灰褐	良	

218 ＰＬ4-18	Ｂ18－25	杯身	11.5	5.2	(6.0)	完形	体部中程で外反気味に立ち上がる。	底部外面、ヘラキリ未調整（粗いナデツケ）底部内面不定方向ナデ、回転方向右。	砂粒含	淡黄灰	良	
219 ＰＬ4-18	Ｂ18－25	杯身	12.5	5.8	(6.5)	1／3	体部の立ち上がりは外に開かず直線的である。	底部外面ロクロケズリ、底部内面ナデ、他はロクロナデ、回転方向右。	良	暗灰	良	
220 ＰＬ4-18	Ｂ24－1	杯身	9.5	4.4	－	2／3	底部外面雑な調整の割りに平ら、口縁下に３条の隆起線。	底部外面、ヘラキリ未調整（粗いナデツケ）他はロクロナデ回転方向右。	砂粒含	暗灰	良	底部外面に炭化物
221	Ｃ21－12	杯身	10.8	5.3	－	完形	底部はやや丸味をもつが立ち上がりは直線的、底部内面成形時の起伏あり	底部外面ロクロケズリ、底部内面ナデ、他は丁寧なロクロナデ、回転方向右。	砂粒含	灰	良	内外面一部に自然釉
222	Ｂ24－1	杯身	12.4	4.6	－	1／4	底部外面凹凸なく、立ち上がりも直線的である。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ回転方向右。	良	灰	良	底部内面自然釉
223	Ｂ25－10	杯身	12.8	3.2	9.6	1／4	底部外面は平らに仕上げられている。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ回転方向左。	細砂含	やや暗灰	良	
224	Ｂ18－24	杯身	8.8	2.6	6.4	1／2	口縁端部に水平面をもつ。	底部外面ロクロケズリ、他はロクロナデ回転方向不明。	細砂含	青灰	良	
225	Ｂ18－25	杯身	10.3	2.9	－	1／2	口縁のロクロナデによって体部との境に稜線が顕著。	底部外面、ヘラキリ未調整（粗いナデツケ）桟状痕あり、底部内面はナデ、他はロクロナデ、回転方向右。	良	淡灰褐	やや軟	
226 ＰＬ4-18	Ｂ24－5	小壺	7.3	5.9	6.4	口縁一部、体部完存	径に対し器高低く、底部平らなため安定している。	体部底部共外面はロクロケズリが、口縁はロクロナデが丁寧に行われてる、回転方向左。	精良	暗灰	良	底部外面にヘラ記号あり
227	Ｂ23－4	四耳壺	12.0	－	－	口縁部1／5弱	頸はほとんどなく、口縁と一体化している。口縁端は平らである。	内面も比較的丁寧に整形されている回転方向右。	良	暗灰	良	肩に自然釉
228	Ｂ24－1	長頸瓶	14.6	－	－	頸部のみ存 口縁部2／3	頸部上半からゆるやかに、端部で大きく外反する。	口縁部ロクロナデ、他は成形時のユビオサエによるものと思われる弱い凹凸を残す、回転方向不明。	細砂含	黒灰	良	一部自然釉かかる
229	Ｂ24－1	長頸瓶	体部最大径18.0	－	9.5	体部のみ完存	全体に丸味、体部上面もふくらむが頸部接合に際して部分的に凹む。	底部外面ヘラキリ未調整、他はロクロケズリの後ロクロナデか。	良	暗灰	良	焼きぶくれあり、上面に灰かぶり
230	Ｂ18－23	甕	14.7	－	－	口縁部1／4	肩は張らず滑らかな曲線を描く。	体部外面平行タタキ内面青海波、口縁部ロクロナデ、回転方向右。	砂粒含	明灰	良	口縁部及肩に自然釉

231	B24－1	甕	17.2	－	－	口縁部1／2弱	口縁はほぼ同じ厚味で丸味をもったくの字状に外反。	体部外面平行タタキ内面青海波口縁部ロクロナデ、回転方向右。	良	灰	良	
232 PL4-18	B25－10	平瓶	体部最大径 11.5	－	7.8	体部完形	肩はシャープである。	外面は底部から体部にかけて丁寧なロクロケズリ、回転方向右。	良	淡灰	良	上面に厚く自然釉
233	C12－13	円面硯	(19.0)	－	－	ごく一部	長方形と思われる透かし一ケ所認められる。	回転方向不明。	砂粒含	明灰	良	

（久志本鉄也）

付表12　杉垣内遺跡　C地区遺構土器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
268 PL4-20	SX41	土師器 壺	(25.8)	(37.0)	－		口縁部2段に外反し外方に開く、体部扁平球状。底部やや平底。	口縁部ヨコナデ。体部内面ナデ、指圧痕。体部外面ハケ目、ヘラケズリ痕。	精良	橙褐色	良	磨滅多い
269	SD56	土師器 高杯	(13.6)	－	－	杯部完形	杯部内弯して立ち上がる。	口縁端部ヨコナデ、杯部内面ハケ目、ナデ。杯部外面ハケ目、粗いヘラミガキ。	良	褐色	良	
270 PL4-20	SB49	土師器 皿	(19.5)	(2.7)	－	1／3	口縁部やや内弯気味。底部上げ底。器壁厚い。	口縁部ヨコナデ。体部内面ナデ。体部底面ヘラナデ	粗い	明褐色	やや軟	
271	SB50	土師器 皿	(21.0)	－	－	1／5	口縁部直線的に外方へのび、端部丸く肥厚。	口縁部ヨコナデ。	精良	明褐色	良	
272	SB50	土師器 甕	(24.2)	－	－	1／5	口縁部外反強く、中央部内側に肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ハケ目。	粗い	淡褐色	やや軟	
273	SB50	土師器 甕	(29.2)	－	－	1／5	「く」の字状口縁。口縁部中央肥厚、端部外側に面を成す。	口縁部ヨコナデ。体部口縁部内外面ハケ目。	粗い	明褐色	良	
274	SB50	土師器 甕	(35.8)	－	－	1／4	口縁部外反強く、端部つまみ上げ。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ハケ目。	粗い	淡褐色	良	
275	SB50	土師器 甕	(37.8)	－	－	1／5	口縁部外反強く、端部外側面成す。口縁部肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部内面ナデ。体部外面ハケ目。	精良	茶灰色	やや軟	
276	SB50	須恵器 杯	(12.6)	4.3	－	1／4	口縁部上外方にのび、端部やや外反。	マキアゲ、ミズビキ成形。口縁部ヨコナデ。体部内外面ナデ。ロク回転方向不明。	精良	淡灰色	良	
277	SB39	土師器 杯	(15.0)	(3.2)	－	1／4	口縁部外反し、端部丸い。	口縁部ヨコナデ。体部底面ナデ。	粗い	濃褐色	やや軟	
278	SB39	土師器 杯	(14.2)	(2.9)	－	1／2	口縁部外反し、端部やや内弯気味。	口縁部ヨコナデ。体部外面ナデ。	精良	褐色	良	煤付着

279	SB39	土師器高杯	(20.9)	−	−	1／5	杯部浅く大きく外方へ開く。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ハケ目、ナデ。体部内面ラセン状暗文。	粗い	褐色	良	
280	SB39	土師器甕	(18.2)	−	−	1／5	口縁部外反強く、端部つまみ上げ。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ハケ目。	粗い	暗褐色	やや軟	内面に炭化物付着
281	SB39	土師器甕	(27.9)	−	−	1／5	口縁部外反強く、端部つまみ上げ。	口縁部ヨコナデ。体部外面・口縁部内面ハケ目。	粗い	暗褐色	良	内面に煤付着
282	SB39	須恵器杯	(12.3)	(3.7)	−	1／4	口縁部上外方にのびる。	マキアゲ、ミズビキ成形、口縁部ヨコナデ。体部底面ヘラケズリ。回転方向不明。	精良	濃灰色	良	
283	SB44	土師器器台	9.4	−	−	受部 1／2	受部内弯気味に立ち上がる。円孔3ケ所。	受部ヘラミガキ。脚部ハケ目、ヘラ沈線。	精良	明褐色	良	
284 PL4-20	SD44	須恵器杯身	11.8	4.9	−	3／5	口縁部立ち上がり長く内傾し、端部凹面を成す。受部断面三角形。	マキアゲ、ミズビキ成形。口縁部・体部内底面ロクロナデ。体部底面ヘラケズリ。ロクロ回転不明	粗い	暗灰色	良	
285 PL4-20	SD44	須恵器平瓶	7.2	16.2	最大径 17.0	完形	口頸部外上方にのび端部丸い。体部丸味。底部平底。	マキアゲ、ミズビキ成形。口頸部ロクロナデ。体底部ヘラケズリ、クロ回転時計回り。	精良	淡灰色	良	
286	SD45	弥生土器壺	(10.6)	−	−	1／3	口縁部内弯して立ち上がる。端部直立して段を成す。	口縁部ヨコナデ。体部内面ナデ。体部外面ハケ目。	粗い	褐色	良	
287	SD45	弥生土器甕	(21.8)	−	−	1／10	口縁部外反し、端部直立、面を成す。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ハケ目。	精良	褐色	良	近江系
288	SD55	弥生土器壺	(13.6)	−	−	1／4	口縁部外反し、端部面を成す。端部に刻み目の突起。	口縁端部ヨコナデ。口縁部内面ハケ目。外面櫛目文。口縁端部上下に刻み目。	粗い	淡褐色	良	ヘラ記号
289	SD55	土師器高杯	−	−	−	脚柱 3／5	シボリ痕。円孔3ケ所。	杯部内底面ヘラミガキ。脚柱部ハケ状工具によるナデ。	粗い	濃褐色	良	
290	SD55	土師器杯	(14.0)	(2.6)	−	1／8	口縁部外反し、端部内弯気味。	磨滅激しく不明。	やや粗	黄赤色	良	
291	SD55	土師器杯	(13.0)	(3.2)	−	1／8	口縁部内弯気味で、端部丸い。	口縁部ヨコナデ。体部内外面ナデ。	良	淡褐色	良	
292 PL4-20	SD55	須恵器杯	(15.6)	(5.9)	−		口縁部長く、上外方にのび、端部丸い。	マキアゲ、ミズビキ成形。口縁部、体部内底面ロクロナデ。体部底面ヘラケズリ。	良	暗灰色	良	溝肩部出土
293	SD43	土師器甕	15.7	31.4	9.8	ほぼ完形	口縁部直線的に外方へ開き、端部外側へ肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部外面・脚部ハケ目。体部内面上半板ナデ、下半ナデ。	粗い	褐色	良	

(河瀬信幸)

付表１３　杉垣内遺跡　Ｃ地区縄文土器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器　種 器　形	口　径 (cm)	器　厚 (cm)	底　径 (cm)	遺存度	形　態　の　特　徴	技　法　の　特　徴	胎　土	色調	焼成	備　考
294 ＰＬ4-21	Ｅ19－10	－	－	0.5	－		薄手	外面縦位縄文 内面横位ミガキ	長石 石英 金雲母	茶褐色	硬	図118 Ｗ－１
295 ＰＬ4-21	深長古墳 西拡張	深鉢	－	0.6	－		薄手	外面縄文 内面ナデ	良	茶褐色	良	図100
296 ＰＬ4-21	Ｅ18－９ 包含層	深鉢	－	0.7	－		波状口縁	縁帯部に縄文＋凹線、体部に沈線による区画があり中に縄文RLを施す	長石 石英	暗褐色	良	炭化物付着 図118 Ｗ－２
297 ＰＬ4-21	深長古墳 南周溝	深鉢	－	0.8	－		粗製で薄手	内外面ナデ	0.5㎜ 砂粒含	茶褐色	良	図118 Ｗ－３
298 ＰＬ4-21	深長古墳 西拡張	深鉢	－	0.7	－		口縁部外反	内外面とも横位繊維質体による条痕	白色砂	暗褐色	良	図118 Ｍ－７
299 ＰＬ4-21	Ｆ17－６	深鉢	－	0.7	－			外面ヨコ方向繊維条痕 内面ナデ	良	暗褐色	良	
300 ＰＬ4-21	深長古墳 南周溝	深鉢	－	0.6	－		口縁部内面が強くナデられくびれる	内外面ナデ	0.5㎜ 砂粒含	明赤褐色	良	図118 Ｗ－４
301 ＰＬ4-21	深長古墳 南周溝	深鉢	－	0.6	－		口縁端部が丸みを持つ	内外面とも横位繊維条痕	金母雲 長石	暗褐色	並	図30
302 ＰＬ4-21	Ｆ16－９	深鉢	－	0.6	－		薄手で、口縁部が先細り、端面を持つ	内外面とも横位貝殻条痕	金雲母 長石	暗褐色	良	
303 ＰＬ4-21	Ｅ17－８ 包	鉢	－	0.6	6.0		底部凹底	体部外面貝殻条痕	金雲母 長石 石英	茶褐色	良	図118 Ｗ－５
304	深長古墳 ＳＤ34	深鉢	－	0.5	－		薄手で口縁部が外反する	口縁部に貝殻による刺突。外面に横位貝殻条痕（５条幅1.4㎝）	良	暗褐色	良	図106
305 ＰＬ4-21	深長古墳 南周溝	深鉢	27.0	0.9	－		口縁部は直立し、上端面が角ばる	口縁部上面に貝殻押し引き文、体部外面貝殻条痕、内面横ナデ	良	暗褐色	硬	
306 ＰＬ4-21	Ｆ16－９	深鉢	－	－	－	１／15	口縁部が直立する	内面ナデ。口縁部上面貝殻押し引き文。外面横位巻貝条痕	良	暗褐色	良	図30
307 ＰＬ4-21	深長古墳 Ｄトレンチ Ｄ．４	深鉢	－	0.7	－	小片	口縁部がやや肥厚する	口縁部上面に貝殻条痕（２㎜幅で、３条１単位）	良	暗褐色	良	図73D.T.縄文No.1
308 ＰＬ4-21	Ｃ地区	深鉢	－	0.8	－		口縁部がハリツケにより外に拡張される		良	淡褐色	良	図118 Ｗ－３
309 ＰＬ4-21	Ｃ地区	深鉢	－	0.6	－		口縁部が肥厚し、上端面を持つ	口縁部に２条の隆突起帯があり、２条の沈線を持つ	良	暗褐色	良	図118
310	深長古墳 南周溝	浅鉢	－	0.8	－		鉢の上半が外反する屈曲部が突帯状になる	体部内外面横位ミガキ	長石 石英 金雲母	暗褐色	並	図106
311 ＰＬ4-21	Ｆ17－６	浅鉢	31.0	0.7	－	１／８	口縁部は短く外反し内面に沈線を持つ	口縁部外面に素文の突帯を持つ。鉢の上半は内外面とも横位ミガキ	長石 石英 金雲母	暗褐色	やや軟	図30

付表14　杉垣内遺跡　C地区弥生土器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器　種 器　形	口　径 (cm)	器　高 (cm)	底　径 (cm)	遺存度	形　態　の　特　徴	技　法　の　特　徴	胎　土	色調	焼成	備　考
247 ＰＬ4-21	ＳＢ31	細頸壺	－	12.7	－	体部 ２／３ 残	体部がソロバン玉状に開く。	体部外面に流水文 体部下半内外面ハケメ。				
248 ＰＬ4-21	〃	受口状 口縁 壺Ａ	11.2	－	－			口縁部ヨコナデ。 ２条の凹線文。				ＳＢ１ Ｍ－ＡＴ №1
249	〃	受口状 口縁 壺Ｂ	7.6	－	－		口縁部が内弯し、上端面を持つ。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	ＲＮ№ Ｙ－ＡＴ №5
250 ＰＬ4-21	〃	壺Ａ	18.4	－	－		口縁端部が上下に拡張される。	口縁部側縁に波状文を施す。口縁部上面に櫛状工具による刺突。	白色砂	橙褐色	並	Ｙ－ＡＴ ＳＢ１
251 ＰＬ4-21	〃	壺Ｂ	12.6	－	－		口縁部がつまみ出され上方に尖る。	口縁部ヨコナデ。	白色砂多	暗橙褐色	良	ＲＮ№深長古墳Ｙ－ＡＴ№6
252	〃	壺	－	－	4.8	１／２ 残	底部平底。	底部立上り面指圧痕 底部内面乱ナデ。	0.5mm 砂	暗橙褐色	良	深表古墳 ＡＴ Ｗ－№19
253	〃	甕蓋	21.4	7.0	－	１／６ 残	口縁部端部が面を持つ。	蓋部外面タテハケ。 内面ヨコナデ。口縁端面に刺突。	良	橙褐色	良	Ｍ－ＡＴ ＲＮ№ＳＢ １　№2
254	〃	甕 Ｂ－Ｃ	26.5	－	－	１／８ 残	口縁部が角ばる。	口縁端に櫛状工具による刻み目。口縁部外面タテハケ内面ヨコハケ。	白色砂	淡褐色	良	
255	〃	甕Ｅ	29.4	－	－	１／６	口縁部が「く」の字状に屈曲し短く立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部内面タテハケ。	良	明赤褐色	良	Ｒ Ｗ－ＡＴ 18
256	〃	甕 Ｂ－ａ	17.8	－	－		口縁部はゆるやかに外反する。	口縁部ヨコナデ、頸部外面タテハケ、頸部内面ヨコハケ、口縁端部刻み目。	白色砂	褐色	良	Ｍ－ＡＴ ＳＢ１ Ｒ－№3
257	〃	小型 甕Ｅ	7.2	－	－		口縁部が「く」の字に屈曲する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ハケ。	良	橙褐色	良	Ｍ－ＡＴ ＳＢ１－ №5
258	〃	甕	－	－	0.5		底部焼成後穿孔。	底部が上底状になる。	白色砂	赤褐色	良	Ｍ－ＡＴ ＳＢ１－ №4
259	ＳＤ３４	受状口 口縁	8.6	－	－		口縁部はやや内傾し端面を持つ。	口縁部ヨコナデ。	並	淡橙褐色	軟	ＳＤ34 Ｒ　№1
260	ＳＤ３４	甕	－	－	5.8		底部平底。	体部タテハケ。	良	暗赤褐色	硬	
261 ＰＬ4-21	ＳＢ３０	甕蓋	－	6.0	－		蓋部外反。	内外面タテハケ。 底部外面指圧痕。	赤色土 長石 石英	淡褐色	良	ＳＢ１ ＲＮ№1
262	ＳＢ３０	小型甕	12.0	－	－		口縁部が外反し、端面を持つ。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	並	

263	ＳＫ３２	受口状口縁壺	10.0	頸部径6.8	－	2／3残	頸部が細い。	体部上半タテハケ、下半ヨコ方向ヘラミガキ。体部内面ハケ	良	橙褐色	良	RNo.F17－8 SK1No.5
264 ＰＬ4-21	〃	大型受口状口縁壺	23.2	－	－	1／2残	口縁部が受口状になる。	口縁部ヨコナデ、3条の凹線。	良	濁橙褐色	良	RNo.F17－8 SK1No.4
265 ＰＬ4-21	〃	細頸壺	頸部径5.5	－	－	1／3残	頸部が細くなる。	体部外面ハケメナデ頸部に6条1単位の簾条文を4単めぐらす。竹管による円形刺突文、体部に櫛描状平行線。	良	橙褐色	良	RNo.F17－8 SK1No.2
266	〃	甕	頸部径24.0	－	－	1／12残	口縁部が「く」の字状に屈曲する。	口縁部ヨコナデ、体部外面タテハケ。	良含白色砂	橙褐色	良	RNo.F17－8 SK1No.3
267	〃	甕	20.0	－	－	1／15残	口縁部が「く」の字状に屈曲する。		良	淡褐色	軟	RNo.F17－8 SK1No.1
312	深長古墳西南拡張	受口状口縁壺A	12.2	－	－		口縁部が短く、受口状になる。	口縁部ヨコナデ、口縁部に2条の凹線文	良	淡橙褐色	良	図112
313 ＰＬ4-21	深長古墳Aトレンチ	受口状口縁壺A	12.5	－	－		口縁部が短く、受口状になる。	口縁部ヨコナデ、口縁部に2条の凹線文	白色砂	橙褐色	良	A．T．Y－No.2
314	深長古墳東拡張	受口状口縁壺B	10.0	－	－		口縁部が短く、受口状になる。	口縁部に2条の凹線を施す。	良	淡褐色	良	深長古墳東拡張KNo.4
315 ＰＬ4-22	深長古墳下層	受口状口縁壺C	10.0	－	－		口縁部が強くヨコナデにより内弯する	口縁部にヨコナデ。	粗	淡橙褐色	良	図112
316 ＰＬ4-22	水路直線化時墳丘	受口状口縁壺	10.6	－	－		口縁部が上方につまみ出される。	口縁部にヨコナデ。	粗、長石等	淡橙褐色	良	
317	深長古墳西拡張2011－C	壺	12.2	－	－		口縁端部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	並	RNo.2011－C
318 ＰＬ4-22	深長古墳南周溝	壺A－b類	13.2	－	－		口縁部が上下に拡張される。	口縁部側縁に櫛描波状文。口縁部上面に櫛描刺突文。	良	橙褐色		南周溝M－No.5
319 ＰＬ4-22		壺C	19.2	－	－		口縁部が上下に拡張される。	口縁端ヨコナデ。口縁部上面に櫛描刺突文。	良	橙褐色	良	図119 M－7
320	深長古墳西拡張	壺	20.0	－	－		口縁部が外反しやや下垂する。	口縁部側縁綾杉状刺突文。口縁部上面にコブ状突起がつく。	良	赤褐色	並	
321	水路直線化部分	壺	20.0	－	－		口縁部が短く屈曲し上下に拡張ささる。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	深長古墳墳丘下層
322 ＰＬ4-22	水路直線化部分	大型受口状口縁壺	29.2	－	－		口縁部が受口状になる。	口縁部ヨコナデ、口縁部に3条の凹線文	良	橙褐色	良	深長古墳墳丘下層M－15
323 ＰＬ4-22	深長古墳南トレンチ	大型細頸壺	9.6	－	－		口縁端部が内化直する面をもつ。	口縁部ヨコナデ、三条の凹線文。	白色砂	赤褐色	良	南周溝M－No.3

324	深長古墳Aトレンチ	大型直口壺	8.8	—	—	2／3	体部がソロバン玉状を呈する。	頸部に簾状文、体部に櫛描平行線（4条1単位）。	良	橙褐色	良	
325 PL4-21	F16－6西拡張	ミニチュア壺	3.8	7.0	2.8	完形	口縁部が直立する。	体部ヘラミガキ。	金雲母白色砂	橙褐色	良	図113－5
326	水路直線化部分	高杯A	26.0	—	—	1／16	口縁部が下垂する。	杯部拡張部ハリツケ	良	暗褐色	良	深長古墳墳丘下層
327	深長古墳2021－6	高杯B	27.0	—	—		口縁端部が面を持つ	口縁部ヨコナデ。	白色砂	橙褐色	良	墳丘下層図113－2
328	深長古墳西化拡張	高杯	接合部5.2	—	—		脚部は柱状。	脚部内外面ともタテナデ。		橙褐色		
329	深長古墳包含層	高杯	—	—	12.0		脚端部が肥厚する。	脚部ヨコナデ。	長石、金雲母	淡茶褐色	良	図111 Y－18
330	深長古墳Aトレンチ	高杯	—	—	12.0		接地面が肥厚する。	2条の凹線が脚部に施される。1㎝の透孔が9㎜間隔で施される。	良	橙褐色	良	RNo. NHO 1
331	深長古墳	無頸壺	23.2	—		1／6	口縁部が拡張され上端面を持つ。	口縁部折り返し。口縁部に2条の凹線文を持つ。	良	淡赤褐色	良	RNo. W－35
332	水路直線化部分	甕蓋	19.8	—	—		口縁端部に面を持つ	口縁部ヨコナデ。	良	濁褐色	良	深長古墳墳丘下層RNo.M 6
334 PL4-22	水路直線化部分	甕	27.2	—	—		口縁部はゆるやかに外反する。	口縁部内外面ハケ。体部外面タテハケ、内面ヨコハケ、口縁部上端刻み目。	良	淡褐色	良	深長古墳墳丘下層RNo.M 7
335	深長古墳墳丘下層	甕	29.8	—	—		やや厚手で口縁端部が上方に引き出される。	口縁部内面ヨコナデ。	良	橙褐色	良	深長古墳墳丘下層RNo.3
336	深長古墳東拡張	甕	26.0	—	—		口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ、口縁部刺突文。	良	褐色	良	深長古墳東拡張M-5
337	深長古墳Aトレンチ	小型甕B－C類	19.6	—	—		口縁部が短く外反する。	口縁部ヨコナデ。口縁部上端、下部刻目体部外面タテハケ。	良	淡褐色	良	AT R.No. M－100
338	深長古墳水路部分	甕	13.2	—	—		口縁部が曲線的に短く屈曲する。	口縁部ヨコナデ、体部外面タテハケ、内面ヨコハケ、口縁部上端刻目。	良	橙褐色	良	深長古墳水路直線化No.－1
339	深長古墳F17－18	甕	17.8	—	—	1／5	口縁部先端が上方に引き上げられる。	口縁部ヨコナデ。体部外面タテハケ。体部内面ヨコハケが残る。	良	橙褐色	良	
340	深長古墳南周溝	甕E	30.0	—	—		口縁部が短く「く」の字状に屈折する。	口縁部ヨコナデ。体部外面不明、体部内面ハケ。	白色砂	淡褐色	良	RNo.M－103
341	深長古墳南周溝	甕E	31.0	—	—		口縁部が短く「く」の字に屈折する。	口縁部ヨコナデ。	白色砂	淡橙褐色	良	RNo.M－103
342	深長古墳南周溝	甕E	29.2	—	—		口縁部が強く「く」の字に屈折する。	口縁部ヨコナデ。体部外面タテハケ。内面ハケ＋ナデ。	良	淡橙褐色	良	

343	深長古墳 墳丘	甕 E	22.2	−	−		口縁部が強く「く」の字に屈折する。	口縁部ヨコナデ。	良 長石 赤色土	橙褐色	良	図111 Y−12
344 PL4-22	SB31	壺	−	器厚0.6	−		薄手	11本1単位の簾状文を施す。3条あり。	良白色砂	淡褐色	良	6と同一個体か A.T.M•№2
345 PL4-22	SB31 (AトレンチSB1)	壺	−	〃 0.5	−		薄手	3本1単位の櫛描横線が施される。	良長石含雲母	橙褐色	良	
346 PL4-22	SB31	壺	−	〃 0.7	−		胴部が張る。	胴部最大径部に波状文、その上側に櫛描横線が施される。	良 長石	淡白褐色	良	図110 Y−6
347 PL4-22	SB31	無頸壺	−	〃 0.5	−		口縁部が折り返され肥厚する。	11本1単位の簾条文が2条施される。	良	橙褐色	良	
348 PL4-22	SB31	壺	−	〃 0.7	−		厚手である。	4本1単位の櫛描横線が施される。	良	淡褐色	良	
349 PL4-22	SB31	大型受口状口縁壺	−	〃 0.6	−		口縁部のヨコに拡張され上端面をもつ。	3条の凹線文が施される。	良	暗橙褐色	良	100 M−1
350 PL4-22	SB28	壺	−	〃 0.7	−		上胴部。	3条1単位の櫛描平行線が8条施される。	良 長石	淡灰褐色	良	図10 Y−1
351 PL4-22	SB28	壺	−	〃 0.5	−		薄手。	3本1単位の櫛描平行線が9条施される。	良	赤褐色	良	図106 SB21 M−1
	SB29	壺	−	〃 0.8	−			体部外面タテハケ、部分的にヨコハケ。	良長石金雲母	橙褐色	良	
	SB31	壺	−	〃 0.7	−			3条1単位の櫛描平行線が8条施される。	良 長石	淡灰褐色	良	
	SB28	壺	−	〃 0.5	−		薄手。	3条1単位の櫛描平行線が9条施される。	良	赤褐色	良	
	SD34	壺	−	−	−	小片		斜格子文＋6本1単位の櫛描平行線。	良 長石	淡茶褐色	良	
354 PL4-22	SK32 (F17−2SK)	壺	−	〃 0.6	−	1／12		体部外面タテハケ、上胴部に4条1単位の櫛描平行線。	良 長石を含む	橙褐色	良	図109 M−3
355	深長古墳 南周溝	広口壺 A	−	〃 0.9	−		口縁部が上下に肥厚する。	口縁部側縁、櫛描波状文、口縁部内面に櫛描波状文。	良	橙褐色	良	図109 M−3
356 PL4-22	深長古墳 東南周溝	広口壺 A	−	〃 0								
357 PL4-22	深長古墳 東南周溝	広口壺 A	−	〃 0.9	−		口縁部が上下に肥厚する。	口縁部側縁櫛描波状文。口縁部内面に櫛描波状文。	良	橙褐色	良	
358 PL4-22	深長古墳	広口壺 A	−	〃 0.9	−		口縁部下方に肥厚する。	口縁部側縁櫛描波状文。口縁部内面櫛描波状文。	良	淡褐色	良	図109 M−4
359	深長古墳 東南周溝	広口壺 A	−	〃 0.7	−		口縁部が上方に引き出される。	口縁部側縁に右上りの櫛状工具による刺突文が施される。	良	橙褐色	良	図109 南周溝 A−2

360 ＰＬ4-22	深長古墳 2023	壺	－	器厚1.0	－		厚手。	８本１単位の簾状文と、櫛描平行線が交互に施される。	良 長石	淡褐色	良	図111 Ｙ－19
361 ＰＬ4-22	深長古墳 Ａトレンチ№１	壺	－	〃0.6			体部がソロバン玉状になる。	４本１単位の櫛描横線。	良 白石砂	茶褐色	良	図109 Ｍ－106
362	深長古墳 面拡張 2023	壺	－	〃0.9				12本１単位の簾状文が３単位施される。（１単位1.7㎝）	良長石 赤色土	淡橙褐色	良	図111 Ｙ－16
363 ＰＬ4-22	深長古墳 Ａトレンチ№１	壺	－	〃0.7		小片		４本１単位の櫛描横線が７条施される。	良 白石砂	茶褐色	良	324と同一個体か
364	深長古墳 2023	壺	－	〃0.8	－	小片	厚手	11本１単位の簾状文が３条施される。	良 長石 赤色土	淡橙褐色	良	図121 Ｙ－２
365	深長古墳 東北拡張	壺	－	〃0.6	－			９本１単位の櫛描横線が４条施される。	並	淡褐色	良	
366	深長古墳 Ｆ11－15	壺	－	〃0.6	－	小片		３本１単位の櫛描横線が６条施される。	良	橙褐色	良	図109 Ｍ－104
367	深長古墳	壺	－	〃0.5	－	小片		３本１単位の櫛描横線が６条施される。	良	茶褐色	良	
368	深長古墳	壺	－	〃0.5	－			８本１単位の櫛描横線が２条施される。	良	淡茶褐色	良	
369 ＰＬ4-22	深長古墳 Ａトレンチ№７	壺	－	〃0.6	－	小片	上胴部残存	４本１単位の櫛描横線が５条。	良 白色砂	茶褐色	良	324と同一個体か A.T.№7
370	深長古墳 東南拡張	壺	－	〃0.5	－	頸部片	上胴部がソロバン玉状になる。	体部外面タテハケ、内面ヨコハケ。	良	橙褐色	良	
371	深長古墳	壺	－	〃0.8	－	小片	上胴部。	４本１単位の櫛描横線が６条施される。	良	淡茶褐色	良	図110 Ｙ－７
372 ＰＬ4-22	深長古墳	壺	－	〃0.6	－	小片	胴部最大径部が残存。	上段に櫛描横線、下段に櫛描波状文が施される。	良 長石	暗茶褐色	良	
373	深長古墳	壺	－	〃0.7	－	小片		櫛描波状文が施される。（６本１単位）	良長石 金雲母	暗茶褐色	良	図110 Ｙ－10
374	深長古墳	壺	－	〃0.8	－	小片		櫛状工具による波状文が施される。	良	橙褐色	良	
375 ＰＬ4-22	深長古墳	壺	－	〃0.7	－	小片		８本１単位の櫛状工具により流水文が施される。体部外面ハケ調整。	良	濁橙褐色	良	図107 水路直線化Ｍ－４
376 ＰＬ4-22	深長古墳 東南周溝	壺	－	〃0.7	－	小片	口縁部が肥厚する。	上胴部に斜格子文（櫛状工具２本１単位）を施す。下段に櫛描横線。	良	橙褐色	軟	図110 Ｙ－２
377 ＰＬ4-22	深長古墳	壺	－	〃0.7	－	小片		２本１単位の櫛状工具による斜格子文、下位に７条１単位の櫛描横線。	良 長石	橙褐色	良	図109 Ｍ－106

378 ＰＬ4-22	深長古墳	大型受口状口縁壺	－	器厚0.8	－		口縁部上端を持つ。	口縁部に４状の凹線文が施される。	良 長石	暗茶褐色	良	図110 Ｔ－11
379 ＰＬ4-22	深長古墳 東南拡張	細頸壺	－	0.5	－			体部に簾状文。	良 白色砂	濁褐色	良	
380	深長古墳 Ａトレンチ№11	甕	－	0.5	－	１／６	口縁部外反。	胴部外面タテハケ＋ヨコハケ。	良	橙褐色	良	
381 ＰＬ4-22	深長古墳	台付鉢	－	0.5	－		口縁部が折り返され上端面を持つ。	８本１単位の簾状文を２条施文。 口縁部折り返し。	良	濁褐色	軟	

（増田安生）

付表15　杉垣内遺跡　Ｃ地区石製品観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	名　称	長さ （cm）	幅 （cm）	厚さ （cm）	重量	形態の特徴	技法の特徴	材　質	色調	備考
382	Ｄトレンチ　Ｄ３包含層	スクレーパー	10.9 （刃部）	4.5	0.9		刃部が長い。	刃部を両面から敲打して作っている。	サヌカイト	黒灰色	
383	深長古墳 南周溝	スクレーパー	7.4 （刃部）	4.0	1.1		背面が未調整で原石の自然面が残る。		サヌカイト	黒灰色	図126 ～3
384	深長古墳 北東拡張	石サジ	5.4 （刃部）	3.2	0.35		逆台形をなし、つまみ部を持つ。	薄い剝片から細い調整を加えて刃を作っている。２ケ所欠損部がある。	サヌカイト	黒灰色	図119 Ｍ－５
385		フレイク	3.0	2.2	0.5		木の葉状の小片である。	８面の剝　痕がみられる。	サヌカイト	黒灰色	
386 PL４－22	深長古墳	打製石斧	15.1	3.8	1.2		厚さが薄い。	側縁を両側から敲打している。表面下半を打ち欠く。弓部の研磨。	凝灰岩	暗緑色	図126 －４
387 PL４－22	Ｆ13－５	摩製石斧	9.8	推定 4.6	1.6		乱棒状をなし、断面形は円形に近い楕円形である。	刃部の研磨痕がみられる。	凝灰岩	淡緑色	
388 PL４－22	Ｆ12－12	摩製石斧	9.8	推定 4.6	1.6		刃部の方にすそ広がりになる。	側縁を研磨面を持つ刃部は両側より研磨	頁岩	黒色	図117 Ｍ－１
389 PL４－22	深長古墳 Ｄトレンチ	棒状摩製石製品	残存部 12.4	3.2	2.6		断面は楕円形	９面を縦方向に研磨している。	緑泥片岩	緑灰色	図103 Ｗ－２
390 PL４－22	深長古墳 Ｆ17－２	砥石	残存部 9.4	残存 8.0	2.5		径15cmの円形の板石であるが１／４が残存する。	図示した側に３面、裏面に３面の研磨痕あり。	砂岩	淡緑灰色	図74 Ｙ－33
391 PL４－22	深長古墳 F17－２	砥石	9.8	12.2	2.1		円形の板石	図示した側に５面、裏面に３面の研磨痕あり。	砂岩	暗緑灰色	
392	深長古墳 西拡張	凹石	残存 11.0	10.2	3.7		原形は、たて長であったと推定される。	擦痕あり。	砂岩	暗褐色	図103 Ｎ－３
393 PL４－19	Ｆ17－２	大型石庖丁	推定 32.7	15.2	0.8		塑形の本体に台状の握部がつくり出されている。	両側研磨、刃部両側研磨、２個の穿孔あり（Ｐ1.1cm）。	緑泥片岩	緑灰色	図114 Ｍ－１

（増田安生）

付表16　杉垣内遺跡　C地区包含層遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
394	深長古墳 Dトレンチ	土師器 甕	18.2	－	－	1／8	体部が張り出す。	口縁部ヨコナデ。 体部外面タテハケ、 内面ヨコハケ。	良	淡褐色	良	W－26
395	F11－14	須恵器 杯蓋	15.6	5.2	－	1／3	天井部と口縁部の境に稜を持つ。	天井部ヘラケズリ。	良	淡灰白色	良	W－25
396 PL4-23	深長古墳 69S 9 E17－9	須恵器 杯身	12.0	4.0	－		口縁部が内傾する。	底部ヘラケズリ。	粗白色砂	明灰色	良	図117 M－7
397 PL4-23	深長古墳68 SG－C地区	須恵器 杯蓋	11.5	3.1	－		カエリ部を持つ。	ロクロナデ。 宝珠つまみ、ハリツケ。	良	明灰色	硬	図117
398	深長古墳 Cトレンチ	土師器 ⅢA	19.0	－	－		口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	暗赤褐色	良	C.T. RNo. M－4
399	深長古墳 Dトレンチ	須恵器 ⅢA	17.6	－	－		器高が高く、口縁部が上方に立ち上がり外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	図117 M－9
400 PL4-23	深長古墳 Cトレンチ	土師器 杯C	13.5	－	－		器高が高い、体部内弯。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	C.T. M－1
401 PL4-23	深長古墳 Cトレンチ	土師器 杯C	12.6	3.4	－		体部が丸味を持つ。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	C.T. No.6
402	深長古墳 Dトレンチ	土師器 ⅢB	21.0	－	－	1／6	口縁部内面に沈線。	口縁部ヨコナデ。 底部外面ヘラケズリ	良	橙褐色	良	図73 D.T. No.1
403	深長古墳 Cトレンチ	土師器 ⅢB	20.7	－	－			口縁部ヨコナデ。 底部ヘラケズリ。	良	暗橙褐色	良	包含層 No.3
404	深長古墳 西拡張	土師器 ⅢB	16.8	－	－		口縁部内面に沈線を持つ。	口縁 底部ケズリ。	良	橙褐色	良	図117 M－8
405 PL4-23	深長古墳 Dトレンチ D－3	土師器 ⅢB	14.6	－	－		口縁部が上方に引き出され端面を持つ。	底部ヘラケズリ。	0.5mm程度の砂	明赤褐色	良好	W－22
406	深長古墳 Cトレンチ	土師器 甕	21.8	－	－		口縁部が先細る。	内面ヨコハケ、外面タテハケ。	良	淡褐色	良	C.T. M－8
407	深長古墳 F16－5	須恵器 杯蓋	20.0	－	－		大ぶり。接地面の断面形が三角形になる	天井部ヘラケズリ。 包①	良（内質）	明灰色	良	
409	深長古墳 Dトレンチ D4	須恵器 壷蓋	12.4	3.2	－		蓋部が直立する。	宝珠つまみ、ハリツケ、C地区包含層追加。	白色微砂	褐灰色	軟	図117 No.2
408 PL4-23	深長古墳 DTD－4	須恵器 杯B	12.8	－	－		口縁部がわずかに外反する。	底部ヘラ切り、ハリツケ高台。	精良	明灰白色	良好	墨書 「釈」 W－24
410 PL4-23	深長Cトレンチ	須恵器 杯B	14.5	4.1	10.2		口縁部外反。	ハリツケ高台。	良 0.5mm程度砂	淡灰白色	良好	W－28

411 PL4-23	深長古墳 Cトレンチ	須恵器 杯	14.2	−	−		平坦な底部から杯部は、斜めの方に立ち上がる。	底部ヘラケズリ。	良	褐灰色	良	C.T. M−5
412 PL4-23	深長古墳 Dトレンチ D4	須恵器	12.6	3.8			口縁端部わずかに外反する。	底部ヘラ切りの後ナデ。	0.5mm程度の砂粒	暗灰茶褐色 器質	良好	W−30
413 PL4-23	深長古墳 Dトレンチ D4	須恵器 皿	16.9	2.4			丸味を持つ。口縁部やや外反。	ロクロナデ。底部外面ヘラケズリ。	良　長石英多	淡褐灰色し	良	図105
414 PL4-23	深長古墳 西拡張	円面硯	18.0	−	−				良	灰色	良	
415	深長古墳 Cトレンチ	須恵器 甕	32.4			1／8	口縁部が外反する。	波状文、（8本1.5cm）2条の波線が区画。	良	青灰色	硬	図22
416	深長古墳 Dトレンチ	土師器 杯A	16.0	−	−		口縁部内面に沈線を持つ。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	図73 No.4
417	深長古墳 F17−18	土師器 杯B	16.5				口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。 底部外面乱ナデ。	良	橙褐色	良	図28
418	深長古墳 Dトレンチ	土師器 杯B	14.4				内面にスス付着。	口縁部ヨコナデ。 底部乱ナデ。	良	橙褐色	良	No.3
419	6GSG E16−9	土師器 杯B	14.4	2.9	−	3／4	口縁部が外反した後斜め上方につまみ出される。	口縁部ヨコナデ。 底部乱ナデ、C地区追加	良	濃橙褐色	良	図117 −6
420	深長古墳 Dトレンチ	土師器 杯B	13.6	2.7			口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。 底部乱ナデ。	良	橙褐色	良	図119 M−4
421	深長古墳 F17−18	製塩土器	17.8	−	−	1／8	平底。		良	橙褐チャート	良色	図28
422	6GSG 深長古墳 Cトレンチ	製塩土器	18.0	−	−		薄手、平底。	粘土ひも、巻き上げ	良	濃橙褐色	粗砂粒多し	図22
423	深長古墳 Cトレンチ	製塩土器	16.8	−	−		薄手、平底。	粘土ひも巻き上げ。 南トレンチ土手。	良	濃橙褐色	粗砂粒多し	図22
424	深長古墳 Cトレンチ	土師器 甕	16.4	−	−		小ぶりで口縁部が上に引き出される。	外面タテハケ（8本1.3cm）。内面ヨコハケ。	良	淡赤褐色	やや軟	C.T. M−7
425	深長古墳 F17、18	土師器 甕	17.8	−	−	1／5	口縁端部が上方に引き出される。	体部外面タテハケ。 内面ヨコナデ。	良	橙褐色	良	図28
426	深長古墳 東角拡張	土師器 甕	17.8	−	−	1／5	口縁部がわらび手状に立ち上がり、上端面を持つ。	口縁部ヨコナデ、体部内外面とも上半部タテハケ。下半部ヘラケズリ。	良	橙褐色	良	図119 M−1
427	深長古墳 Dトレンチ	灰釉陶器椀	−	−	7.2	1／2	高台が、三日月状になる。	ハリツケ高台。	良	灰白色釉 灰緑色	良	No.5
428	DT D3	山茶椀	−	−	−	1／2	高台、わずかにふんばる。	底部糸切り。	良	明灰白色	良好	W−20

429	深長古墳	山茶椀	－	－	7.2			ハリツケ高台。	良	明灰色	良	図119 M－4
430	深長古墳 DT D3	山茶椀	－	－	7.6	1／3	高台部立ち上がり弱い。	ハリツケ高台。	良好	淡灰白色	良好	図104 W－1
431	深長古墳 東拡張区	山皿	－	－	4.4		平底。	糸切り痕あり。	良	灰色	硬	図119 M－3
433	深長古墳 西拡張区	平瓦	推定全長 24.4		－	1／2	厚手。	凸面に縄目多 凹面にハギ取り痕あり。	良	灰色	良	
434	6GSG E18－8	鉄斧	長 11.5	帳 5.0	厚 3.3				－	－	－	図116 W－1

（増田安生）

付表17　杉垣内遺跡　D・E地区土器観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
435	道路古代の道 確認トレンチ SK1	甕	16.0	－	－		口縁部ゆるやかに外反する。	口縁部内面ヨコハケ 口縁部端面に刻み目 体部外面タテハケ。	良	乳白色	良	
436	幹線道路 確認トレンチ（古道）	甕	17.6	－	－		口縁部が外反し、先端が上方に引き出される。	口縁部側縁に刻み目 口縁部内面ヨコハケ 体部外面タテハケ。	良	暗茶褐色	良	
437	道路古代の道 確認トレンチ SK1	壺	17.2	－	－		口縁部が上方に肥厚する。	口縁部側縁に波状文がつく。頸部に櫛描横線、口縁部内面に突起。	良	橙褐色	良	
438	幹線道路 確認トレンチ（古道）	受口状口縁壺	9.6	－	－		口縁部の立ち上がりが短い。	口縁部に1条の凹線 頸部外面タテハケ。	良	淡褐色	良	
439	幹線道路 確認トレンチ（古道）	細頸壺	6.3	－	－		口縁部が肥厚し、上端面を持つ。	9条1単位の簾状文＋下段に3段にわたり櫛描横線が施される。	良	淡茶褐色	良	
440	道路古代の道 確認トレンチ SK2	S字状口縁台付甕	14.7	－	－		口縁部が短く直立する。	頸部に横方向の櫛描横線が施される。体部外面タテハケ。	良	黒褐色	良	
441	道路古代の道 確認トレンチ SK3	S字状口縁台付甕	14.6	－	－		口縁部がシャープに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面タテハケ。	良	暗灰褐色	良	
442	道路古代の道 確認トレンチ SK4	S字状口縁台付甕	12.2	－	－		体部上半の肩が張る 口縁部は上方に立つ。	口縁部ヨコナデ、体部外面タテハケ＋横方向櫛描横線（7条1単位）	良	白褐色	良	
443	道路古代の道 確認トレンチ SK3	S字状口縁台付甕	14.2	－	－		口縁部はシャープに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面タテハケ。	良	暗灰褐色	良	
444	道路古代の道 確認トレンチ SK3	S字状口縁台付甕	－	－	8.3		口縁部は斜め上方に直線的に引き出される。	口縁部ヨコナデ、体部外面ヨコ方向のケズリ。	良	淡茶褐色	良	
445	道路古代の道 確認トレンチ SK3	壺	16.1	－	－		口縁部先端が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。体部外面タテハケ。	良	淡橙褐色	良	

446	幹線道路 確認トレンチ （古道）	壺	－	－	－		口縁部は斜め上方に立ち上がる。	体部外面ヘラケズリ。	良	橙褐色	良	
447	道路古代の道 確認トレンチ ＳＫ２	鉢	10.7	8.8	5.0		口縁部が斜め上方に短く立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面に指圧痕残る体部内面ナデ。	良	淡褐色	良	
448	道路古代の道 確認トレンチ ＳＫ３	小型鉢	7.7	4.8	2.8		体部は、直線的に斜め上方に立ち上がる。	体部外面ヘラミガキ。	良	暗褐色	良	
449	排水路 古道トレンチ	鉢	－	－	5.2		底部くぼみ底。	底部ナデ。	良	暗褐色	良	
450	道路古代の道 確認トレンチ ＳＫ３	高杯	－	－	－		脚部は外開きになる	脚部上端ヨコ方向櫛描横線。	良	橙褐色	良	
451	道路古代の道 確認トレンチ ＳＫ３	高杯	－	－	9.2		脚部はやや厚手で外反する。		良	乳白褐色	良	
452	幹線道路 確認トレンチ （古道）	高杯	－	－	－		脚部が裾ひろがりになる。	脚部３方透し孔あり	良	淡橙褐色	良	
453	排水路 古道トレンチ		－	－	8.9				良	淡茶褐色	良	
454	幹線道路 確認トレンチ （古道）		12.8	－	－				良	暗褐色	良	
455	幹線道路 確認トレンチ （古道）	高杯	－	－	－		脚部が細長い。	脚部外面ナデ、脚部内面しぼり痕あり。	良	淡橙褐色	良	
456	幹線道路 確認トレンチ （古道）	甕	26.6	－	－		口縁部が２層になっている。	口縁部ヨコナデ。脚部外面ハリ。	良	暗茶褐色	良	
457	幹線道路 確認トレンチ （古道）	鉢	28.6	－	－		口縁部が肥厚し上端面を持つ。	口縁部ヨコナデ。	良	淡茶褐色	良	
458	排水路 古道トレンチ	甕	17.0	－	－		口縁部がやや厚く外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	茶褐色	良	
459	排水路 古道トレンチ	甕	26.9	－	－		口縁部が斜め上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ、体部外面タテハケ。	良	淡褐色	良	
460	幹線道路 確認トレンチ （古道）	土師器 Ｓ字状 口縁台 付甕	13.8	－	－		Ｓ字状口縁はシャープに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	良	暗褐色	良	
461	排水路 古道トレンチ	須恵器 杯Ｂ	－	－	6.7		高台が外に張り出す	底部外面に糸切痕、高台ハリツケ。	良	灰色	良	
462	排水路 古道トレンチ	高杯	17.0	－	－		杯部が深く、口縁端部が先細る。	杯部外面斜め方向のハケ、脚部との接合部ケズリ。	良	淡茶褐色	良	
463	排水路 古道トレンチ	台付甕	21.3	－	－		口縁端部に面を持つ	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	

464	幹線道路確認トレンチ（古道）	須恵器直口壺	10.0	－	－		口縁部は内弯しつつ直立する。	ロクロナデ。	良	灰色	良	
465		縄文土器深鉢	－	器厚	－		波状口縁。波頂部に円形刺突＋２条の波線。	体部内外面ミガキ。	暗褐色	良	良	

（増田安生）

付表18　杉垣内遺跡　ＳＥ23・24　斎串観察表（値は現存値）

遺物番号	図版番号	分類	出土位置	法量（cm）			木取り	樹種	特徴・技法	備考
				長さ	幅	厚				
468	ＰＬ4-24	ＣⅢ	ＳＥ24(内)	19.9	1.6	0.26	板目		上端部やや圭頭状。下端部剣先状。先端部切り。切り込み３回。	
469	ＰＬ4-24	ＣⅢ	ＳＥ24(内)	20.5	1.7	0.25	板目		上端部やや丸味をもつ圭頭状。下端部剣先状。切り込み３回。	
470	ＰＬ4-24	ＣⅣ	ＳＥ24(内)	20.3	1.9	0.20	板目		上端部やや丸味をもつ圭頭状。下端部剣先状。切り込み３回。	
471	ＰＬ4-24	ＣⅢ	ＳＥ24(内)	20.3	1.9	0.23	板目	スギ	上端部やや丸味をもつ圭頭状。下端部剣先状。切り込み３回。	
472	ＰＬ4-24	ＣⅢ	ＳＥ24(内)	20.7	1.8	0.44	板目	スギ	上端部やや丸味をもつ圭頭状。下端部剣先状。切り込み３回(推定)。	
473		ＣⅢ	ＳＥ24(内)	22.7	1.7	0.25	板目		上端部圭頭状。下端部剣先状。切り込み３回。	
474	ＰＬ4-24	ＣⅢc	ＳＥ24(内)	19.3	1.6	0.32	板目	スギ	上端部平ら。下端部剣先状。切り込み２回。	墨書あり。
475		ＢⅢ	ＳＥ24(内)	23.6	2.4	0.3	板目		上端部平ら。下端部圭頭状。切り込み３回。	
476		Ｄ	ＳＥ24(内)	22.8	3.8	0.25	板目	スギ	上端部台形状。下端部剣先状。	
477	ＰＬ4-24	不明	ＳＥ24(内)	20	2.5	0.3	板目			
478	ＰＬ4-24	不明	ＳＥ24(外)	16	2.0	0.2	板目		下端部剣先状。	
479	ＰＬ4-24	不明	ＳＥ24(外)	13.8	1.3	0.18	板目		切り込み不明。下端部剣先状。	
480		不明	ＳＥ24(外)	9.5	1.3	0.2	板目		上端部圭頭状。	
481	ＰＬ4-24	不明	ＳＥ24(外)	7.1	1.1	0.22	板目		上端部圭頭状。	
486		ＢⅢ	ＳＥ23(内)	27.8	2.1	0.21	板目		上端部圭頭状。下端部やや長い圭頭状。切り込み３回。	
487		ＢⅢ	ＳＥ23(内)	26.7	2.0	0.28	板目		上端部圭頭状。下端部やや長い圭頭状。切り込み３回。	
488	ＰＬ4-24	ＢⅢ	ＳＥ23(内)	24.6	1.7	0.4	板目		上・下端部圭頭状。切り込み３回。	
489		ＣⅢ	ＳＥ23(内)	16.3	1.2	0.35	板目		下端部剣先状。切り込み回数不明。	

（河瀬信幸）

付表１９　杉垣内遺跡　ＳＥ２３・２４木製品観察表

名称	遺物番号	図版番号	出土位置	法量(cm) 長さ	幅	厚さ	木取り	樹種	特徴・技法	備考
薄　板	482	PL 4-28	ＳＥ24(内)	29.8	4.0	0.45	板目			
不　明	483		ＳＥ24(内)	径 1.6		1.4			中央に径0.6cmの孔を穿つ。	完形
横　櫛	484		ＳＥ24(内)	11.8	4.4	0.7		イスノキ	肩部丸味。刃数90本。	ＡⅡ型式
横　櫛	485	PL 4-28	ＳＥ24(内)	8.4	3.9	0.7		不　明	肩部張る。刃数９～10本／１cm。	ＡＩ型式
薄　板	490		ＳＥ23(内)	14.1	2.6	0.14	板目			

（河瀬信幸）

付表20　杉垣内遺跡　斎串観察表（値は現在値）

遺物番号	図版番号	分類	出土位置	法量（cm） 長さ	幅	厚	木取り	樹種	特徴・技法	備考
491	42-3	ＡＩ	Ｂ－25－６	27.5	1.8	0.7	板目	イヌガヤ	両端部をそれぞれ一側面から鋭く斜めに切り落す。	ほぼ完形
492	40-2	ＢＩ	Ｂ－25－３	15.7	1.6	0.4	板目	イヌガヤ	両端部圭頭状。	完　形
493	60	ＢＩ	不　明	14.8	1.2	0.9	板目	ヒノキ	両端部圭頭状。	完　形
494	1	ＢⅢ	Ｂ－25－３	18.1	3.2	0.3	柾目	ヒノキ	両端部圭頭状。切り込み１回。	ほぼ完形
495	16	ＢⅢ	Ｂ－24－１	19.5	1.8	0.4	板目	ヒノキ	両端部圭頭状。切り込み１回。	ほぼ完形
496	32	ＢⅢ	Ｂ－24－４	17.2	2	0.6	板目	ヒノキ	下端部圭頭状。 切り込み３回(推定）。	上部欠損
497	44-5	ＢⅢ	不　明	29	1.2	0.5	柾目	スギ	両端部圭頭状。切り込み１回。	½割れ
498	17	ＢⅢ	Ｂ－24－２	32.1	1.7	0.3	板目	ヒノキ	両端部圭頭状。切り込み１回。	完　形
499	65	ＢⅢ	Ｂ－24－８	25.2	2.7	0.5	板目	カヤ	上端部圭頭状。切り込み１回。	下部欠損
500	7	ＢⅢ	Ｂ－23－２	29	3.1	0.4	板目	スギ	両端部圭頭状。切り込み１回。	ほぼ完形
501	6	ＢⅢ	Ｂ－23－２	28.6	2.8	0.5	板目	ヒノキ	両端部圭頭状。切り込み１回。	ほぼ完形
502	25	ＢⅢ	Ｂ－23－２	27.8	3.4	0.4	板目	ヒノキ	両端部圭頭状。切り込み１回。	ほぼ完形
503	2	ＢⅢ	Ｂ－25－３	23.9	1.6	3.1	板目	カヤ	両端部圭頭状。切り込み１回。	完　形 中央部上折れ
504	13	ＢⅢa	Ｂ－23－２	27.8	2.6	0.6	板目	ヒノキ	下端部圭頭状。切り込み１回。上部片側面削り込み。	ほぼ完形

505	70	B Ⅶ	B－25－10	9.1	2.5	0.5	板目	ヒノキ	下端部圭頭状。 両側面に三角形・台形状の切り欠き。	上部欠損
506	30	B Ⅶ	B－25－3	18.6	1.9	0.5	板目	ヒノキ	両端部圭頭状。両側面に三角形・台形状の切欠き。 切り込み2回(推定)。	完　形 中央部上折れ
507	87	B Ⅶ	B－24－5	11.2	1.6	0.4	板目	ヒノキ	下端部圭頭状。両側面に三角形の切欠き。	上部欠損
508	15	C Ⅲ	B－24－1	27.3	2.2	0.4	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み3回。	ほぼ完形
509	62	C Ⅲ	B－18－25	27	2.2	0.5	板目	イヌガヤ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み2回(推定)。	ほぼ完形
510	12	C Ⅲ	B－25－7	33.6	2.5	0.9	板目	カヤ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み1回。	ほぼ完形
511	57	C Ⅲ	B－25－7	35.5	2.6	1.2	板目	カヤ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み1回。	ほぼ完形
512	39-1	C Ⅲ	B－24－10	25.4	2.5	0.5	板目	スギ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み1回(推定)。	上部折れ 下部½割れ
513	56	C Ⅲ	B－24－2	34.8	2.2	0.6	柾目	カヤ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み2回(推定)。	ほぼ完形
514	37-1	C Ⅲ	B－18－25	31.7	2.5	0.5	板目	スギ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み不明。	中央部下折れ
515	61	C Ⅲ	B－24－10	29.5	2.2	0.4	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み2回(推定)。	上部左⅓割れ
516	24	C Ⅲ	B－23－2	17.2	1.8	0.5	板目	イヌガヤ	上端部圭頭状。切り込み1回。	下端部欠損
517	14	C Ⅲ	〃	20	1.5	0.2	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み2回。	ほぼ完形
518	75	C Ⅲ	B－25－10	16.1	2.2	0.2	柾目	カヤ	上端部圭頭状。切り込み1回。	下部欠損
519	42-2	C Ⅲ	B－24－8	31.1	1.4	0.6	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。切り込み2回(推定)。	下部欠損 下部⅓折れ
520	59	C Ⅲ	B－18－23	18.2	2.8	0.6	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。切り込み1回。	下部欠損
521	94	C Ⅲ	B－19－21	21.2	2.4	0.5	板目	カヤ	上端部圭頭状。切り込み1回。	下部欠損
522	82	C Ⅲ	B－19－21	17.5	2.7	0.5	板目	カヤ	上端部圭頭状。切り込み1回。	下部欠損
523	37-4	C Ⅲ	B－24－2	19.9	2	0.5	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。切り込み2回。	下部欠損
524	44-4	C Ⅲ	B－25－5	26.1	2.7	0.5	板目	イヌガヤ	上端部圭頭状。切り込み1回。	下部欠損 上部折れ
525	31	C Ⅲ	B－25－10	29.1	2.4	0.7	板目	カヤ	上端部圭頭状。切り込み2回。	下部欠損
526	63	C Ⅲ	B－23－2	29.8	2.4	0.4	板目	イヌガヤ	上端部圭頭状。切り込み1回(推定)。	下部欠損
527	73	C Ⅲ	B－25－10	28	2.1	0.5	板目	カヤ	上端部圭頭状。切り込み1回(推定)。	下端部欠損

528	36	CⅢ	B－24－4	16.6	1.4	0.4	板目	ヒノキ	下端部剣先状。切り込み3回(推定)。	上部欠損
529	38	CⅢ	不　明	14.8	1.9	0.6	板目	ヒノキ	切り込み3回(推定)。	上部欠損 下端部欠損
530	5	CⅢa	B－24－5	25.3	1.9	0.6	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み1回。	ほぼ完形 中央部½割れ
531	4	CⅢa	B－24－5	26.3	2.1	0.5	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。下端部剣先状。 切り込み1回。	ほぼ完形
532	47-2	CⅢb	B－18－14	27.5	2.5	0.6	板目	イヌガヤ	上端部三角形。切り込み1回。	下端部欠損
533	3	CⅢb	B－24－2	26	1.7	0.7	板目	カヤ	上端部三角形。下端部剣先状。 切り込み1回。	ほぼ完形
534	58	CⅢc	B－24－4	22.3	2	0.6	板目	ヒノキ	上端部平ら。下端部剣先状。 切り込み3回。	ほぼ完形
535	28	CⅦ	B－25－10	17.1	2.7	0.7	板目	スギ	上端部圭頭状。下端部剣先状切り込み2回（推定)。 両側面に三角形の切欠き。	ほぼ完形
536	68	不明	B－25－10	9.2	1.8	0.5	板目	スギ	上端部圭頭状。切り込み1回（推定)。 両側面に三角形の切欠き。	下部欠損
537	46-1	不明	B－18－25	7.9	2.5	0.5	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。切り込み3回 両側面に三角形の切り欠き。	下部欠損
538	72	不明	B－25－10	16.4	2.1	0.8	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。切り込み1回（推定)。 両側面に切り欠きを入れる。	下部欠損
539	38-1	不明	C－21－6	14.5	2.6	0.3	板目	ヒノキ	上端部圭頭状。 片面のみ切り込み1回。片面削り込み。	下部欠損

（河瀬信幸）

付表21　杉垣内遺跡　祭祀用木製品観察表

遺物番号	図版番号	名　称	出土位置	法量（cm）			木取り	樹種	特徴・技法	備　考
				長さ	幅	厚さ				
540	PL 4-28	人形	旧河道 B－18－23	13.9	2.5	0.9	板目		頭部台形。肩部表現なし。 脚部V字形切込み。	
541	PL 4-28	陽物	旧河道 不　明	12.8	最大径 3.2	－	割材		割材使用。 茎部太い。	
542	PL 4-28	陽物	旧河道 B－18－24	15.8	3.9	2.8	〃		割材の一部使用。 亀頭部に小さな溝。	
543	PL 4-28	陽物	旧河道 不　明	現存 17.7	最大径 1.9	－	心持丸木		全体的に細い。	
544	PL 4-28	馬形	旧河道 B－25－1	現存 18.4	3.0	1.0	板目		裸馬。背を窪める。	A型式
545	PL 4-28	刀子形	旧河道 B－19－23	現存 20.4	2.3	1.5	〃		片面には削り加工痕が明瞭に残る。	A型式
546	PL 4-28	刀形	旧河道 B－19－23	現存 41.2	4.3	3.4	〃		茎断面楕円形。刀背と茎の片側そろえる。	B型式
547	PL 4-28	刀形	旧河道 B－19－23	現存 45.1	6.0	1.3	〃		刀背と茎の片側そろえる。 刀身部の作り薄い。	B型式

（河瀬信幸）

付表22　杉垣内遺跡　荷札・木簡観察表

遺物番号	図版番号	名　称	出土位置	法量（cm）			木取り	樹種	特徴・技法	備　考
				長さ	幅	厚さ				
548	PL 4-28	荷札	旧河道 不　明	現存 20.4	4.0	0.7	板目		上端部に切込み。下端部剣先状。剣先部との境にも切込み。	
549	PL 4-28	荷札	旧河道 B－18－25	16.4	4.4	0.4	板目		頭部台形。上部端に切込み。	
550	PL 4-28	荷札	旧河道 B－24－4	現存 15.8	2.8	0.5	板目		頭部台形。上端部に切込み。	
551	PL 4-28	荷札	旧河道 B－23－2	現存 12.8	2.7	0.9	板目		頭部台形。上端部に切り込み。	
552	PL 4-28	木簡	旧河道 B－23－2	現存 7.7	2.4	0.4	柾目			

（河瀬信幸）

付表23　杉垣内遺跡　容器観察表（1，刳物・挽物）

遺物番号	図版番号	名　称	出土位置	法量（cm）			木取り	樹種	特徴・技法	備　考
				長さ	幅	厚さ				
553		蓋板	旧河道 B－23－2		現存 24.8	1.0	横木取り		口縁端部面。内外底面ハツリ痕（長）。口縁部内外面ハツリ痕(短)。体部浅い。	口縁部外面1部炭化。
554		蓋板	旧河道 不　明	径 (22.3)	現存 11.8		横木取り		中央部に径(4.7cm)の円孔。円孔の周囲に四角小孔。	内面の1部炭化。
555	PL 4-28	長方形槽	旧河道 B－23－2	39.8	現存 10.4	6.0	横木取り		底部内外面とも平坦。口縁部立ち上がり斜め。口縁端部長辺薄く、短辺厚い。	
556	PL 4-28	長方形槽	旧河道 B－24－1	36.8	現存 14.5	1.1～1.8			底部内外面平坦。口縁部立ち上がり斜め。体部比較的浅い。薄手。	口縁端部丸い(磨滅)。
557	PL 4-29	小形槽	旧河道 B－23－2	24.4	11.4	3.1～4.5	横木取り		口縁部立ち上がり斜め。口縁部片面平面を成す。	完形。
558	PL 4-29	長方形槽	旧河道 B－18－22	現存 41.8	現存 17.9	2.9	横木取り		口縁部立ち上がり斜め。口縁部片面平面を成す。口縁部片面切り込み。	体部腐蝕ひどい。
559	PL 4-29	杓子	旧河道 B－19－23	21.2 柄長 11.6	柄幅 2.7～4.3 体部幅 8.6 深さ 4.0～5.2	柄厚 1.5～1.8 体部高 8.0	横木取り		体部径6.3cm、深さ4.0～5.2cmの刳抜き。	体部に炭化痕。ほぼ完形（一部に割れ）。
560	PL 4-29	コップ状木製品	旧河道 B－23－2	口径 6.6～7.4	底径 5.5～5.9	器高 6.9	芯取り		底部外面切り放しのみ。体部口径4.4～5.3cm、深さ5.3cmの刳り抜き。	完形(一部に割れ)。

561		小形角鉢	旧河道 C－21－6	9.0	7.7	3.2	横木取り		体部一辺6.0～7.1cm、 深さ1.9～2.0cmの刳り抜き。 外面に面取り痕。	完形。

（河瀬信幸）

付表24　杉垣内遺跡　容器観察表（２，曲物底板）

遺物番号	図版番号	名　称	出土位置	法量（cm）			木取り	樹種	特徴・技法	備　考
				長さ	幅	厚さ				
562	ＰＬ 4-30	曲物底板	旧河道 Ｂ－19－23	径 18.7	－	1.1	板目		板の周囲に低い段をめぐらす。 ２ケ所に桜樹皮による結合痕跡。	痕跡あり。
563	ＰＬ 4-30	曲物底板	旧河道 Ｂ－18－25	径 19.8	－	0.8	板目		板の周囲に低い段をめぐらす。 ２ケ所に桜樹皮による結合痕跡。	
564		曲物底板	ＳＥ23	径 14.8	－	1.0	板目		やや厚手。	角材のあたり。
565		曲物底板	旧河道 Ｂ－23－２	径 16.1	－	1.0	柾目		やや厚手。	
566		曲物底板	旧河道 Ｂ－18－25	径 18.2	－	1.2	板目		周囲を面取り。 １ケ所に竹釘が残る。 やや厚手。	
567		楕円形 曲物底板	旧河道 Ｂ－23－２	現存 31.9	現存 10.8	0.9	板目		周囲に低い段をめぐらす。 １ケ所に結合痕跡残る。	
568	ＰＬ 4-30	楕円形 曲物底板	ＳＥ23	50.8	現存 11.5	1.5	柾目		周囲に低い段をめぐらす。 ３ケ所に桜樹皮による結合痕跡。	

（河瀬信幸）

付表25　杉垣内遺跡　農具観察表

遺物番号	図版番号	名　称	出土位置	法量（cm）			木取り	樹種	特徴・技法	備　考
				長さ	幅	厚さ				
569	ＰＬ 4-30	鋤身	旧河道 Ｂ－18－21	現存 29.5 身部 (24.0)	(15.0)	2.0 柄部 2.3	板目		肩部丸い。身と柄の間やや肥厚。	崩れ著しい。
570	ＰＬ 4-30	ナスビ形 股着柄鋤	旧河道 Ｂ－18－25	28.5 刃部 12.9	現存 5.4	1.2 刃部 1.2	板目		抉部刃部より上に位置。 刃部内外縁とも両刃。	
571	ＰＬ 4-30	ナスビ形 股着柄鋤	旧河道 Ｂ－18－25	現存 27.8	現存 6.0	0.3～ 1.8	板目		抉部刃部より上で、深い。 刃部円外縁とも両刃で、幅広。抉部と刃部の間断面三角形に肥厚。	内縁丸部表欠。
572	ＰＬ 4-31	木錘	旧河道 Ｂ－19－21	16.3	8.0	5.2	柾目		中央に紐通し方孔。 木口端部片面に面取り。	完形
573	ＰＬ 4-31	田下駄	旧河道 Ｂ－23－２	37.4	11.0	1.3	板目		片側山形に尖る。 中央部に鼻緒孔３ケ所。 前壺左に片寄る。	残２孔の性格不明

574	PL 4-31	田下駄	旧河道 B－18－25	27.2	現存 7.4	1.5	板目		前後の端が直線的。 2ケ所の鼻緒孔。	
575	PL 4-31	竪杵	旧河道 B－24－1	現存 27.9	握部径 3.1	杵部径 6.7	芯取り		縦長に削り出し、握部作る。 搗部面取りなし。 杵部と握部の間段なし。	
576	PL 4-31	竪杵	旧河道 B－19－23	現存 44.2	杵部径 8.3	握部径 3.4	芯取り		握部と杵部の間斜めの段作る。 搗部丸い。	

（河瀬信幸）

付表26　杉垣内遺跡　その他木製品観察表

遺物番号	図版番号	名称	出土位置	法量（cm）			木取り	樹種	特徴・技法	備考
				長さ	幅	厚さ				
577	PL 4-31	下駄	旧河道 B－24－4	21.8	8.8	1.4 歯部 1.9～2.1	板目		台前縁部を隅切風。 後縁部半円形。 3ケ所の鼻緒円孔。前壺左にかたよる。	BⅡa型式
578		用途不明	旧河道 不明	43.5	一辺 2.0～2.5		柾目		上端部ややコブ状に作り出す。 下端部細く削り出す。	
579		用途不明	旧河道 C－21－1	45	径 1.8～5.1		板目		楕円形の棒の1端をコブ状に作り、他の1端は半円形に削る。	
580		用途不明	旧河道 B－25－2	15.7	頭 1.8～2.2	柄 1.0	板目		一端を頭に、他端をコブ状に作る。	
581		杓子型木器	旧河道 B－18－24	25.5	2.6～4.5	0.9～1.9	板目		身比較的長く、幅は狭い。 柄部楕円形。	
582	PL 4-31	糸巻	旧河道 B－18－14	現在 12.5	1.1	2.2	柾目		背面丸い。腹面に柄孔。	横木の芯残る。 AⅢ型式
583	PL 4-31	糸巻	旧河道 B－22－8	現存 18.8	1.6	1.7	柾目		背面丸い。腹面に柄孔。	結合部孔内に木釘。 AⅢ型式
	PL 4-31	横櫛	旧河道 B－24－1	現存 7.5	現存 3.0	1.1			肩部角張る。背の断面三角形。切通線背上縁と平行。歯14本／3cm	AⅠ型式
	PL 4-31	横櫛	旧河道 B－24－1	現存 7.3	現存 3.8	0.8			肩部丸い。背の断面半面形。 切通線背上縁と平行してやや曲線に引く。 歯21本／3cm	AⅡ型式

（河瀬信幸）

付表27　杉垣内遺跡　A地区ＳＥ２４井戸材観察表（ＰＬ４－32、33）

遺物番号	名称	法量（cm）			木取り	特徴・技法	備考
		長	幅	厚			
586	縦板	70.0	21.0	3.7～6.0	板目	表及び側面は、手斧によるハツリ。表は、1／3のハツリ。木口切断。下部の一隅を斜に切り落とす。	年輪幅大きい。
587	縦板	104.0	21.7	4.5～5.3	板目	表裏及び側面は、手斧によるハツリ。木口切断。	
588	縦板	85.7	31.6	4.6	板目	板目部分の片面は、ケズリか。側面、木口は切断。枘6ケ所、うち1ケ所は未貫通。	
589	縦板	85.4	20.0	6.0	板目	表及び側面は、手斧によるハツリ。木口切断。下部の一隅の角を斜に切り落とす。	
590	小片	－	－	－	－	南辺の縦板列で、東辺の横板組と縦板（No.6）の間隙をつめる小片。	
591	縦板	80.5	23.4	6.5	板目	表裏面とも手斧によるハツリ。側面、木口切断。下部の一隅の角を斜めに切り落とす。	
592	縦板	73.8	17.0	5.2	板目	表裏は、保存状況悪く、加工痕不明瞭。側面は、切断。	
593	縦板	75.6	24.0	6.8	板目	表は、手斧によるハツリ。側面ケズリ。木口切断。	
594	縦板	73.4	24.0	5.8	板目	表裏面及び側面とも、手斧によるハツリ。木口切断。	
595	縦板	86.4	22.6	5.5～7.1	板目	表裏面及び側面とも、手斧によるハツリ。木口切断。枘1ケ所。	
596	縦板	（残）73.0	20.0	6.5	板目	表裏面及び側面とも、手斧によるハツリ。木口切断のあと手斧によるハツリ。	年輪幅大きい。
597	縦板	（残）89.0	15.0	3.8	木口	全体に保存状況が悪いが、表と側面の一部に手斧によるハツリ。	
598	縦板	（残）80.0	19.5	4.0	板目	表及び側面は、手斧によるハツリ。裏面は、木割りのまま未調整。木口切断。	年輪幅大きい。
599	縦板	（残）56.0	21.5	2.5～2.8	板目	表のみ手斧によるハツリ。裏及び側面は、木割りのまま未調整。	2片。
600	縦板	76.0	24.5	5.2～5.6	板目	表裏面及び側面とも手斧によるハツリ。木口切断後手斧によるハツリ。枘2ケ所。	
601	縦板	86.6	18.5	3.1～3.8	板目	表裏面及び側面とも手斧によるハツリ。木口切断。	
602	縦板	90.0	19.5	5.3～5.7	板目	表裏面及び側面とも手斧によるハツリ。木口切断。枘2ケ所。	
603	縦板	88.0	36.0	3.5～3.9	板目	表裏面及び側面とも手斧によるハツリ。枘1ケ所。	

604	横　板	144.2	17.2	4.2～5.5	板　目	全体に保存状況悪く、加工痕不明瞭。縦板の圧痕2ケ所。	
605	横　板	113.0	26.7	3.2～4.8	?	全体に保存状況悪く、加工痕不明瞭。下辺に枘2ケ所。	
606	横　板	160.2	19.2	2.3～3.4	板　目	表及び側面に手斧によるハツリ。木口切断。上辺に枘2ケ所。	
607	横　板	117.4	24.0	3.2～3.7	板　目	表裏面及び側面とも手斧によるハツリ。木口切断。両木口に枘各1ケ所。	
608	横　板	199.5	19.0	5.2	板　目	表及び側面は、手斧によるハツリ。木口切断。	
609	横　板	126.0	26.0	3.7	板　目	表裏面は、保存状況悪く加工痕不明瞭。両側面は、手斧によるハツリ。木口切断。下辺に枘2ケ所。	
610	横　板	120.0	30.5	2.6～2.8	追柾目	表は、手斧によるハツリ。木口は、ノコギリによる切断。上辺に枘2ケ所。	
611	横　板	115.0	23.0	2.7	板　目	表及び側面に手斧によるハツリ。木口切断。両木口に枘各1ケ所。	
612	横　桟	122.0	7.5	7.0	柾　目	4面とも、手斧によるハツリ。両端に枘をもち、その間隔は94.0cm。	
613	横　桟	119.5	7.7	7.0	柾　目	4面とも、手斧によるハツリ。両端に枘をもち、その間隔は、94.5cm。	
614	横　桟	122.4	17.0	5.2～7.2	柾　目	4面とも、手斧によるハツリであるが、保存状況悪く、加工痕不明瞭。木口切断。枘3ケ所。	
615	横　桟	117.2	10.0～8.7	7.1～5.5	心　材	4面とも、手斧によるハツリ。枘2ケ所。	

（田中久生）

付表28　深長古墳　遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器種 器形	口　径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎　土	色調	焼成	備　考
1	3001	A	30.8	－	－	1／8	一重目口縁が上下に肥厚。	口縁部ヨコナデ、頸部ナデ、口縁部内外面＋頸部外面丹塗。	良	淡褐色	良	M3001－a
2	3001	C	30.0	－	－		口縁端部が斜め上方に引き上げられる。	口縁部ヨコナデ。 口縁部内外面丹塗。		淡褐色	良	M3001
3	3003	A	29.4	－	－	1／5	口縁端部が上下に肥厚する。	口縁部ヨコナデ。 頸部内外面ハケ＋ナデ。	良、 白色砂	淡褐色	良	M3003－a
4	3004	B	30.0	－	－	1／4	口縁部が斜め上方にシャープに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M3004
5	3005	D	30.8	－	－		口縁端部が外反し先細る。	口縁部ヨコナデ。	精良	橙褐色	良	M3005

6	3009		29.8	−	−		口縁端部が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良	明褐色	良	M3009−c
7	3004	A	30.2	36.5	8.4	完形	底部上底。	口縁部ヨコナデ、体部内面ヨコナデ、前面丹塗、底部焼成前穿孔。	良、長石石英、赤色土	淡褐色	良	M3004
8	3009	C	29.0	36.0	7.0	完形	一重目口縁がゆるく立ち上がる、体部球形。	口縁部ヨコナデ、体部内面ヨコナデ、体部ハケ＋ナデ、底部焼成前穿孔、口頸部、体部丹塗。	良	淡褐色	良	M3009
9	3009b	A	31.0	−	−	1／3	口縁端部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。	長石石英金雲母	明褐色	良	M3009−b
10	3011	B	30.0	37.5	8.9	完形	口縁端部外反。	口縁部ヨコナデ、体部内外面ハケ＋ナデ、底部焼成前穿孔、丹塗。	良	濁褐色	良	M3011
11	3001		−	−	8.2		底部上底。	体部内外面ハケ＋ナデ。底部焼成前穿孔。	良	淡褐色	良	M3001−b
12	3001−C		−	−	8.2		平底、焼成前穿孔	底部ケズリ。	良	淡褐色	良	M3001−c
13	3006−b	高杯B	−	−	−		脚部がやや外開きになる。	脚部外面タテ方向ナデ。	良	淡褐色	良	M3006−b
14	ＡＴ周溝	C	29.8	34.0	9.2	完形	一重目の口縁がゆるやかに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、体部外面下半板ナデ、口縁部内外面＋体部外面丹塗。	良	淡褐色	良	M 2
15	ＡＴ周溝No.4		29.8	−	−	1／3	口縁端部が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ、口縁内外面＋頸部外面丹塗。	良	淡褐色	良	M 4
16	ＡＴ周溝	C	30.0	−	−	1／16	口縁部が上下に引き出され短くおわる。	口縁部ヨコナデ。口縁部内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M50
17	ＡＴ周溝No.24	C	29.5	−	−	1／8	一重目口縁の立ち上がりがゆるやかである。	口縁部ヨコナデ。	良、白色砂、金雲母	淡橙褐色	良	Y24
18	ＡＴ周溝		29.0	−	−	1／10	口縁端部が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良	淡褐色	良	Y51
19	ＡＴNo.28		27.5	−	−		口縁端部が上方を向く。	口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良、長石金雲母	淡灰白色	良	Y28
20	ＡＴ		27.0	−	−	1／12	口縁端部外反。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M56
21	ＡＴ周溝No.54		30.4	−	−	1／16	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ、口縁部内外面丹塗。	良	淡褐色		M54
22	ＡＴ周溝		27.0	−	−		口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M52
23	ＡＴ周溝No.21	C	29.8	−	−	1／12	口縁部がやや外反する。	口縁部ヨコナデ、頸部内面指圧痕、口縁部内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M21
24	ＡＴ周溝No.10		29.0	−	−	1／8	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ、部分的にハケ痕、内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M10
25	ＡＴ ＳＤ1		27.0	−	−	1／9	口縁部が外反する	接合部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M 1

26	ＡＴ周溝		－	－	8.2	1／5	平底。	体部内外面ハケ＋ナデ。底部焼成前穿孔。	良	淡褐色	良	M59
27	ＡＴ周溝		－	－	8.6	1／6	平底。	体部内外面ハケ＋ナデ。底部焼成前穿孔。	良	淡褐色	良	M58
28	ＡＴ	S字甕	脚上端 5.2	5.0	－	2／5	脚の器厚薄し。	脚部外面ハケ。	良	淡褐色	良	M23
29	西北拡	C	30.0	－	－	1／6	口縁部が上下に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良 白色砂	淡褐色	良	M2001
30	〃		27.8	－	－	1／8	口縁部は外へ張り出し端部は立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。内外部に朱がみられる。	良、金雲母、長石	淡白赤色	良	2002
31	〃	A	28.0	－	－	口縁部完形	口縁部が上方に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	〃
32	〃	A	29.2	－	－	1／8	二重目口縁屈曲強い。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2009
33	〃	C	29.0			1／8	口縁部が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。丹塗が良く残る。	良、長石石英、赤色土	淡褐色	良	2010－a
34	〃	C	28.0			1／9	口縁部が真上に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2012－a
35	〃	A	29.8			1／9	口縁部が真上に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良 白色砂	淡褐色	良	
36	〃	C	30.0			1／5	口縁部が上下に引き出される。丹塗が不明瞭。	口縁部ヨコナデ。	良 白色砂	淡褐色	良	M2015
37	〃	A	28.0			1／4	一重目口縁水平に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2016－a
38	〃	A	30.0			1／4	口縁部が外反して立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	良	濁褐色	良	2016－b
39	〃	A	27.0			1／2	口縁部が真上に引き上げられる。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2017
40	〃		27.0			1／15	口縁部がやや外反して斜め上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	明乳褐色	良	2018－a
41	〃		30.8			1／2	頸部斜め上方に立ち上る。	内外面ナデ。	良、長石石英金雲母	淡褐色	やや軟	2018－b
42	〃		29.4			3／4	一重口目縁が水平に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2019
43	〃	A	31.5			1／2	体部より上方へのび途中立ち上がりさらに外側へ張り出す、端部は強くナデ立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、外面及び内面上方に朱が見られる。	良 長石含	乳褐色	良	2020
44	〃					1／3	頸部やや外変。	体部は内面指圧痕＋ナデ	良 白色砂 赤色土	橙褐色	精良	2003
45	〃					1／3	上胴部やや張る。	内外面ナデ。	良	淡褐色		2016－c

46	西北拡				8.8	1／3	底部上底。	底部ケズリ、底部内面ハケ。	良、長石石英	橙褐色	良	2004
47	〃				8.4	1／4	底部に穿孔（二段にケズル）。	底部外面ヘラケズリ、内面ハケ＋ナデ、下胴部外面ハケ＋ナデ、ハケ＋ナデ消し。	良、長石石英、金雲母	淡褐色	良	2018－c
48	〃				8.6	1／4	底部焼成前穿孔。	底部外面ケズリ。	良、長石石英、金雲母	黒褐色	やや軟	2016－d
49	〃				8.5	1／5	底部平底。焼成前穿孔。	底部外面ヘラケズリ、内面ハケ。	良、長石石英	淡褐色	やや軟	2013－c
50	〃	高杯		－	脚幅3.8	脚完形	脚裾広がりになる。	底部外面ヘラミガキ。	良	暗褐色	良	2001
51	〃	C	29.6			1／5	口縁部が真上に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2020－a
52	〃	A	29.8			1／4	一重目口縁水平に引き出される。	口縁部ヨコナデ、頸部外向タテハケ＋ナデ消し内面ハケ＋ナデ。	良	淡褐色	やや軟	2021
53	〃	A	28.0			1／5	口縁部が真上に引き出される。丹塗	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2008
54	〃	C	28.0			1／8	口縁部が上方に引き出される。丹塗	口縁部ヨコナデ。	良	濁褐色	やや軟	2021－b
55	〃		29.0			1／5	口縁部が上下に肥厚する。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	2022
56	〃	A	29.6			1／5	口縁部が外反して急に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	良 白色砂	淡褐色	良	2025
57	〃	A	29.0			1／4	口縁部は斜め上方に引き上がり先細る。	口縁部ヨコナデ、頸部内面ヨコハケ＋ナデ。	良、長石石英、金雲母	淡褐色	良	2025
58	〃				8.6	2／3	体部偏平球状になる。	体部外面ケズリ＋ナデ。	良、白	淡褐色	良	2025
59	〃		29.0			1／8	口縁部が上下に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良、長石石英、金雲母	淡褐色	良	2024－b
60	〃	A	31.0			1／6	口縁部がやや外反する。	〃	良	暗褐色	良	2024－a
61	〃		30.4				口縁部上方に引き出される。	〃	良	淡褐色	良	2026－a
62	〃		30.4			1／8	口縁部が斜め上方に引き出される。	〃	良	淡褐色	良	2026
63	〃	C	31.0			1／6	接合部のつくりがあまい。	頸部内面ヘラアタリ。内外面丹塗。	良	淡褐色	良	2024－c
64	〃		29.8			1／5	口縁部が真立する	口縁部ヨコナデ。内外面丹塗。	良	淡褐色	良	2032
65	〃		29.0			1／3	口縁部が上下に引き出される。	口縁部外面ヘラアタリ。頸部ヨコナデ。				2033
66	〃	F	27.2			1／2	接合部が段をもつ	頸部内部面ヨコナデ。				2027

67	西北拡	I	27.0			1／8	複合口縁の器壁が厚い(1.1cm)。	口縁部内面ヨコハケ、外面タテハケ。				
68	〃				9.2		底部焼成前穿孔。	体部内面ヘラ、粘土ひも巻き上げ痕あり、底部やや上底。	良	淡褐色	良	2026
69	〃				8.4		底部焼成前穿孔。平底。	底部内面ハケ、穿孔はから二段に施される、体部外面指オサエ。	良	淡褐色	良	M 4
70	〃				8.2		底部平底。	下胴部外面ハケ＋ナデ。	良	淡褐色	良	2025－b
71	F17－6	A	28.8	－	－	3／5	一重目口縁が横にひらく。	口縁部ヨコナデ。頸部に指圧痕が残る、内外面丹塗。	良 0.5mm 砂粒	淡褐色	良	I 6
72	F17－6	C	30.2	－	－	1／4	口縁部が斜め上方に引き上げられる	口縁部ヨコナデ。	粗	淡褐色	やや軟	I 10
73	F17－19 3	B	30.0	－	－	1／2	口縁部が上方に引き上げられる。	口縁部ヨコナデ、体部外面ナデ、口縁部内外面丹塗、体部外面丹塗。	粗 0.5mm～3mm 砂粒	淡茶灰色	良	I 15
74	F17－19 2	B	30.4	38.0	6.8	3／10	口縁部が上方に拡張される。	口縁部丹塗、体部外面丹塗。	粗 0.5mm～4mm 長石、石英	淡茶褐色	良	I 16
75	F17－19 2	A	28.2	－	－	7／10	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ、頸部ナデ、口縁部丹塗、体部外面丹塗。	粗 0.5mm～2mm 長石、石英	乳灰色	良	I 20
76	F17－19 1		30.2	－	－	2／5	口縁部の外傾が大きい。	口縁部ヨコナデ、体部外面丹塗。	粗 0.5mm～4mm	淡茶灰色	良	I 21
77	西土器列 1		29.2	－	－	1／5	一重目口縁の立ち上がりがゆるやか	口縁部ヨコナデ、頸部内外面ナデ、内外面丹塗。	粗 0.5mm～2mm 長石、石英	淡茶褐色	良	I 36
78	F17－6	A	28.1	－	－	1／2	口縁部が上方に引き上げられやや外反する。	口縁部ヨコナデ、丹塗。	粗 0.5mm～3mm 長石、石英	淡褐色	良	I 18
79	F17－6	A	27.7	－	－	1／4	口縁部が上方に引き上げられやや外反する。	口縁部ヨコナデ。	粗 0.5mm～3mm 長石、石英	淡褐色	良	I 9
80	F17－6 D	C	25.8	－	－	2／5	口縁部が斜め上方にゆるやかに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。内外面丹塗。	粗 0.5mm～3mm 石英、長石	淡茶灰色	良	I 22
81	F17－20 4		30.8	－	－	4／5	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。頸部内外面ハケ＋ナデ＋丹塗。	粗 0.4mm～0.5mm 砂粒	淡茶灰色	良	I 1
82	F17－6	壺C	29.8	－	－	2／5	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ、頸部内外面ナデ。内外面丹塗。	粗 0.5mm～2mm 長石、石英金雲母	淡褐色	良	I 2
83	F17－6	C	26.2	－	－		一重目口縁がゆるやかに外反。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	W 5
84	F17－6 SD（周溝）	B	29.1	－	－	1／5	一重目の口縁上下に拡張。口縁部外反。	口縁部ヨコナデ。頸部ナデ。	やや粗 0.5mm～4mm 砂粒	淡茶褐色	良	I 31

85	F17－6		－	－	－	頸部完形	一重目口縁部が上下に拡張される。	頸部外面ナデ。	良	茶灰褐色	良	I 8
86	F17－6 周溝	D	23.6	－	－	1／2	口縁部が外反し先細る。	口縁部内面に丹塗が残る	良 0.5mm 砂粒	淡茶灰色	良	I 5
87	F17－6 周溝	A	－	－	－	4／5	一重目口縁が水平にひろがる。	頸部外面ナデ、内面ナデ口縁部ヨコナデ。	粗 0.5mm～4mm 長石、石英雲母	淡褐色	良	I 3
88	F17－6	A	－	－	－	7／10	一重目口縁が上下に拡張される。	頸部外面丹塗。	粗 0.5mm～5mm 長石、石英	淡茶褐色	良	I 34
89	F17－6	A	－	－	8.2	2／5	平底。	底部焼成前穿孔（棒状工具による突き）。	粗 0.5mm～5mm 長石、石英	乳灰色	良	I 38
90	F17－25	A	－	－	7.2	1／4	平底。	体部内面ハケ＋ナデ外面工具ナデ。 底部焼成前穿孔。	粗 0.5mm～3mm 砂粒	白茶灰色	良	I 26
91	F17－25	B	－	－	8.8	7／10	平底。	体部外面指圧痕、内面ナデ、丹付着。	粗 0.5mm～0.3mm 砂粒	淡乳灰色	良	I 24
92	F17－6		－	－	9.6	1／4	平底。	体部内外面ナデ、底部焼成前穿孔（ケズリ）。	粗 石英	淡褐色	良	I 37
93	F17－6		－	－	9.4	1／4	平底。	体部内外面ナデ、底部焼成前穿孔、内面朱付着。	粗、長石 石英	淡茶灰色	良	I 40
94	F17－6		－	－	8.2	2／5	平底。	体部内外面ナデ、底部焼成前穿孔、内面一部朱付着。	粗	淡茶褐色	良	I 27
95	F17－6		－	－	9.6	1／2	平底。	体部内外面ナデ、底部焼成前穿孔。	粗	淡茶灰色	良	I 13
96	F17－6 周溝		－	－	9.2	1／3	穿孔が大きい。	体部内面指圧痕、内面ハケ調整、底部焼成前穿孔	粗 0.5mm～4mm 砂粒	淡褐色	良	I 23
97	F17－6		－	－	9.4	1／4	底部が形をなさず孔が大きい。	体部外面粗くケズル、外面一部丹有り、内面ハケ調整、底部焼成前穿孔。	粗 0.5mm～4mm 長石、石英	淡褐色	良	I 39
98	F18－15 西上半	A	31.0	－	－	1／4	口縁部が上下に拡張される。	頸部ナデ、口縁部ヨコナデ、丹塗。	良	淡茶褐色 内面褐色	良	I 30
99	F18－21		30.0	－	－	1／4	口縁部外反	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	W11
100	F18－15	C	30.2	－	－	7／10		口縁部ヨコナデ、頸部内面下半ヨコ方向ハケ調整	粗 0.5mm～3mm 長石、石英	淡褐色	良	I 17
101	F18－16 南半	B	30.4	－	－	1／2	口縁部が斜め上方に張り出される。	口縁部ヨコナデ。 頸部外面ヨコ方向ナデ。	粗 0.4mm 砂粒	淡茶灰色	良	I 7
102	F18－16	A	30.8	－	－	1／4	一重目口縁が水平にひらく。	口縁部ヨコナデ。 丹不明。	粗 0.5mm～4mm 石英、長石	茶灰褐色	良	I 33
103	F18－16		29.6	－	－		口縁部外反。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	W16

104	F18−21	A	29.2	−	−	1／6	口縁部外反。		良	淡褐色	良	W10
105	F18−15		−	−	−	4／5	一重目口縁上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ、頸部内外面ナデ、外面丹塗。	粗 0.5mm〜2mm 石英、長石	淡茶褐色	良	I 35
106	F18−16 南周溝	D	25.0	−	−	1／5	水平にのびる一重口縁と外反する二重口縁をもつ。	口縁部ヨコナデ。丹塗はナシか？。	良、砂粒 雲母	明茶褐色	良	I 29
107	F17−6			9.2			平底。	外面に指圧痕あり。	良	淡褐色	良	W 7
108	4003	A	27.4				口縁部上方に引き上げられる。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	4003
109	南西拡張 4009	A		−	7.4		薄手。	外面ケズリ	良	淡褐色	良	M211
110	南西拡張 4006	A					底部上底	底部ヘラ状工具による焼成前穿孔	良	明茶褐色	良	M204
111	南西拡張 4009	A	27.4			1／8	口縁部が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M212
112	南西拡張 4010	C	29.8				一重目口縁部と二重目口縁部の屈曲がゆるやかである	内外面ヨコナデ。	良	淡褐色	良	W67
113	南西拡張 4008	C	一重目口縁 18.2				一重目口縁部が斜め上方に引き出される。	内外面ナデ。内外面丹塗。	良、白色砂含む	淡褐色	良	M210
114	南西拡張 4011		一重目口縁 22.6			1／4		内外面ヨコナデ。	良 白色色含む	淡	良	W59
115	南西拡張 4010	A	一重目口縁 24.6			1／6	一重目口縁部が水平に引き出される		良	淡褐色	良	W68
116	南西拡張 4013			8.4		1／2	平底	内面ハケ＋ナデ。底部。	良	淡褐色	良	M203
117	南西拡 4005	G	17.0			1／3	頸部は斜め上方に直線的に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、底部焼成前穿孔。	良	淡褐色	良	W53
118	南東拡張 4023	A	29.2	38.0	8.2	完形	一重目口縁部が水平に引き出される	口縁部ヨコナデ、底部焼成前穿孔。	良	淡褐色	良	W68
119	東南拡張 4005−b	A	28.0	−	−	1／5	一重目口縁部が上下に拡張され、二重目口縁が外反する。	口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M200
120	東南拡張 4001−c		30.2				口縁部が外反する	口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M254
121	東南拡張 4004−a	C	30.6				二重目口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M255
122	東南拡張 4001−b		一重目口縁 22.8				一重目口縁部が斜め上方に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M253
123	東南拡張 4005−b		27.2				口縁部外反。		良	淡褐色	良	M201

124	東南拡張4007	C	29.8				口縁部はゆるやかに外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	W45
125	東南拡張4007		一重目口縁 22.2				一重目口縁が下方に拡張される。	内外面ヨコナデ。内面にハケ。	良	淡褐色	良	W44
126	東南拡張4007－b	C	27.0					口縁部ヨコナデ、内外面丹塗。	良	淡褐色	良	M258
127	東南拡張4007－a	A					一重目口縁外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M257
128	東南拡張4001－a	A			9.2		平底	体部外面板状工具によるナデ。	良	淡褐色	良	M252
129	東南拡張4004－b	A			9.6		平底	焼成前穿孔（棒状工具による）、内面ハケ調整。	良	淡褐色	良	M256
130	東南拡張4005－c	C			9.0		平底	焼成前穿孔（棒状工具による）、内面ハケ調整。	良	淡褐色	良	M202
131	東南拡張4007		22.4		8.6		底部の穿孔が側縁まで来ている。	底部焼成前穿孔。	良	淡褐色	良	M254
132	F19－2	壺	27.8			1／4	一重目の口縁がゆるやかに外反する	口縁部ヨコナデ、頸部横方向ハケ調整＋ナデ。	良 0.5mm砂粒	明淡褐色	良	W14
133	F19－2	壺	29.8			1／12	口縁部端部が短く外反する。	口縁部ヨコナデ、内外面朱塗。	良 白色砂	明淡褐色	良	W10
134	東南拡張4007	壺A			9.2		口縁部外反。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	W13
134	F19－2	壺	28.0			1／12	口縁部がゆるやかに外反する。	口縁部ヨコナデ、内外面朱塗。	良 0.5mm砂粒	淡褐色	良	W13
135	F19－2	壺	一重口縁（24.0）			1／12	一重目の口縁部の外反がゆるやかである。	頸部内外面ハケ調整＋ヨコナデ。	良	明淡橙褐色	良	M 6
136	F19－2		一重口縁（21.2）			1／6	一重目の口縁部が短く上方に引き出される。	頸部ヨコ方向ハケ調整＋ナデ。	良 0.5mm砂粒	淡褐色	良	W24
137	F19－2	壺	31.6			1／2	口縁部外反、端部の立ち上がりが短い。	一重目の口縁部が水平にひろがる、外面朱塗。	良 0.1mm砂粒	暗淡褐色	良	W15
138	F19－2	壺	30.2			1／6	口縁部が短く外反する。	口縁部ヨコナデ。	良 白色砂	暗淡褐色	良	W11
139	F19－2	壺	27.6			1／8	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。内外面朱塗。		暗淡褐色	良	W18
140	F19－2	壺	29.2			1／6	口縁部外反。	口縁部ヨコナデ。内外面朱塗。	良 0.5mm金雲母	暗淡褐色	良	W10
141	F19－2	壺	26.8			1／6	口縁端部がゆるやかに斜め上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。内外面朱塗。	良 0.5mm砂粒	淡褐色	良	W13
142	F19－2	壺	－		8.0	1／8	底部平底。	底部焼成前穿孔。体部下半外面ハケ調整＋ナデ。	良	淡褐色	良	W27
143	F19－2	壺	－		8.0		底部平底。					W28

144	B トレンチ	壺	29.6			1／16	薄手で一重目口縁部が短く上方に伸びる。	ヨコナデ。	精良	橙褐色	良	M 6
145	B トレンチ	壺	28.0				口縁部は外反し先細る。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	M 1
146	B トレンチ	壺	30.5			1／10	口縁部は上方に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。 内外面朱塗。	良	濁褐色	良	M 1
147	B トレンチ	壺	31.4			1／10	口縁部が短く上方に引き上げられる	口縁部ヨコナデ。 内外面朱塗。	良	淡乳褐色	やや軟	M 2
148	B トレンチ	壺	30.4			1／16	口縁部が短く上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。 内外面朱塗。	良	濁褐色	良	M 3
149	B トレンチ	壺	29.8			1／8	口縁部が上方に引き出され、短く外反する。	口縁部ヨコナデ。 内外面朱塗。	良	濁褐色	良	M 4
150	B トレンチ	壺	31.0			1／8	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。 内外面朱塗。	良	濁褐色	良	M 5
151	B トレンチ	壺	頸部径 11.5			1／8		体部外面ケズリ＋ナデ。	良	淡褐色	良	M 6
152	B トレンチ	壺	—		8.6	1／3	平底	焼成前底部穿孔、体部下半ハケ調整＋ナデ。	良	淡褐色	良	M 7
153	B トレンチ	壺	20.6				厚手で口縁部が上下に肥厚。	口縁部外面にハケ調整残る。内面に櫛状工具、刺突文、外面刺突、山形文	良	淡褐色	良	M11
154	東北拡張 Dトレンチ付近	高杯	—			脚部完形	脚部が八ノ字状に開く。	棒状工具に粘土をまきつけて成形。	良 白色砂 金雲母	淡褐色	良	東北拡No.1
155	B トレンチ	高杯					脚部が台上に裾広がりになる。	脚部に4本1単位の櫛描横線三方透孔。	良	赤褐色	良	M12
156	D トレンチ	壺	36.0			1／16	口縁部が上方に引き出される。	口縁ヨコナデ。 丹塗。	良 金雲母	淡茶褐色	良	Y 1
157	D トレンチ	壺	31.0			1／16	口縁部が上方に引き出されやや外反する。	口縁ヨコナデ。	良	淡茶色	良	M 6
158	D トレンチ	壺	—			1／8	一重目口縁部が上下に拡張される。	一重目口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M 7
159	東三角拡張	壺	31.4			1／8	口縁部が上下に拡張される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	M 2
160	東拡張	壺	28.0			1／10	口縁部が上下に引き出される。	口縁部ヨコナデ。 内外面丹塗り。	良	淡褐色	良	M 6
161	F13－5	壺	—									M 1
162	東拡張	壺	28.0			1／10	口縁端部が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡黄褐色	軟	M 1
168	東拡張 5002	壺			4.8		上底	体部外面ハケ調整。	良	褐色	良	5002
169	東北拡張	壺			11.0		大型、平底。	体部外面ヘラミガキ。内面ハケ＋ナデ、底部焼成前穿孔	良 白色砂	橙褐色	良	M 3

170	B トレンチ	壺	29.4				一重目の口縁部がやや下垂する。	一重目の口縁ヨコナデ。	良 白色砂	淡褐色	良	M3
171	東北拡張	壺	30.0				一重目の口縁部が上下に拡張される	一重目の口縁ヨコナデ。	良 白色砂	淡褐色	良	M1
172	東北拡張	壺			4.4	1／2	平底。	焼成前底部穿孔。	良	淡褐色	良	M2
173	東北拡張	高杯					脚部が八の字状に開く。	機械工具による成形時の支柱痕、三方透かし孔。	良	淡褐色	良	
174	東北拡張	船形土製品	長径 18.0	4.0	横幅 8.0	1／3	長楕円形を呈する	手づくね、丹塗。	良	淡褐色	良	

（増田安生）

付表29　本堂遺跡　遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
10	SB7	土師器 高　杯	11.8	－	－		杯部は直線的。端部尖り気味で丸い。	内面ナデ。外面ヘラミガキ。	精　良	黄褐色	良	
11	SB7	土師器 甕	－	－	－		S字状口縁の退化。	保存状況悪い。				
12	SB7	土師器 甕	－	－	9.0		脚部わずかに内弯。端部折り返し。	内面オサエ。外面右下りのハケメ。		淡黄褐色	－	
13	SK9	土師器 高　杯	－	－	10.2		杯部内弯。脚裾部で外反。	杯部ナデツケ。	わずかに砂粒含む	黄褐色	良	
14 PL6-3	SK9	土師器 高　杯	18.8	13.5	11.6		杯部外反。脚裾部で外反。	杯部・脚部ヨコナデ。脚部内面指頭圧痕。	砂粒含む	茶褐色	良	
15 PL6-3	SK9	土師器 高　杯	20.0	15.0	12.1		杯部外反。口縁端部でつまみ上げられる。	杯部・脚裾部ヨコナデ。	砂粒含む	茶褐色	良	
16 PL6-3	SK9	土師器 高　杯	20.7	15.0	13.4		杯部わずかに外反。脚裾部で外反。	杯部・脚裾部ヨコナデ。	砂粒含む	茶褐色	良	
17 PL6-3	SK9	土師器 高　杯	22.5	16.5	14.1		杯部外反。脚太く、裾部でゆるく外反。	杯部・脚裾部ヨコナデ。脚部内面絞り痕をのこしナデツケ。	砂粒含む	茶褐色	良	
18	SK9	土師器 高　杯	16.9	－	－		杯部は、口径に対して深い。杯端部で外反。	杯部ヨコナデ。	砂粒含む	茶褐色	良	
19	SK9	土師器 甕	11.0	－	－		口縁部「く」の字状に外反。体部は球形。	口縁部ヨコナデ。胴部下半は、内外面ともヘラケズリ。	砂粒含む	灰茶褐色	良	胴部下半に煤付着。
20	SK9	土師器 甕	20.0	－	－		口縁部「く」の字状に外反。 端部は外方する面をもつ。	口縁部内面ヨコハケ。口縁部外面タテハケ。体部外面右下りのハケメ。	小石含む	黄褐色	良	
21	SK9	土師器 台付甕	16.0	32.1	10.1		口縁部「く」の字状に外反。 体部球形。脚部折り返しなし。	口縁部ヨコナデ。体部外面右下りの粗いハケメ。内面ナデ。	砂粒含む	茶褐色	良	口縁部・胴部中央部に煤。
22	SK5	土師器 杯	14.0	3.1	－		口縁部外反。端部は内側に軽く巻きこむ。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。外面未調整。	良	赤褐色	良	

23	SK5	土師器 Ⅲ	16.7	1.8	−		口縁部大きく外反。端部は丸い。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。外面未調整。	良	茶赤褐色	良	
24	SK5	土師器 Ⅲ	18.3	2.1	−		口縁部わずかに外反。端部で内弯。	口縁部ヨコナデ。底部内面ナデ。外面未調整。	良	暗赤褐色	良	
25	SK5	土師器 甕	16.6	−	−		口縁部「く」の字状に大きく外反。端部肥厚。	口縁部ヨコナデ。体部外面粗いタテハケ。	良	暗茶褐色	良	
26	SK6	土師器 甕	33.4	−	−		口縁部「く」の字状に大きく外反。端部で内弯し、つまみ上げられる。	口縁部ヨコナデ。体部内面ヨコハケ。外面右下りのハケメ。	砂粒含む	黄褐色	良	

（小林直人）

付表30　堂ノ後遺跡　遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器　種 器　形	口径 (cm)	器厚 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎　土	色調	焼成	備　考
1	B区包	深鉢	41.2	0.7			波状口縁。	口縁部を2条の沈線で飾る。RL縄文施文。	粗白色砂	濃赤褐色	良	No.36 No.42 接合
2	B区包	〃		1.0			凹線による横位区画文＋J字文。	横位区画文内に、LR縄文。	1㎜砂多	暗茶褐色	良好	No.1
3	S4　P11	〃		0.7			波状口縁。	5条の沈線、幅4㎜。	良	淡橙褐色	良	No.165
4	E3包	〃		0.6				9条の連弧。	〃	赤褐色	〃	No.205
5	F25包	壺型土器	23.0	0.7		1／4	波状口縁、口縁部外面に竹管による2列の刺突文。	口縁部の内外面ナデ。	長英石多し	濁褐色	〃	No.111
6	F25包	〃		0.7			波状口縁、口縁部外面に竹管になる列の刺突文。	内外面ナデ、外面刺突文。	1㎜砂粒	淡褐色	良好	No.21
7	F25包	〃		0.9			波状口縁。	内外面ナデ、外面のみ突文。	7.5㎜砂	〃	〃	No.20
8	F25包	〃		0.7			頸部橋状突起4つと推定（刺突文）。	橋状突起、ハリツケ、頸部。	並長石チャート	褐色	良	No.209
9	F25包	〃		0.9			外面矢羽根状文。	外面、隆帯あり、沈線あり。	1㎜程砂	淡褐色	良好	No.26
10	H25包	〃		0.9			外面タテ方向の隆帯、沈線あり。	内面ナデ。	0.5㎜程砂粒を含む	〃	〃	No.70
11		〃		0.8 〜 1.0			外面隆帯と沈線による矢洞根状文。	内面ナデ、外面沈線＋隆帯。	〃	〃	〃	No.99
12	E19包	〃		0.6 〜 0.7			突起部がやや上方を向く。	橋状突起ハリツケ。	良	淡褐色	〃	No.83
13	F25包	〃		0.7			〃	〃	〃	〃	〃	No.22

14	F24包	深鉢		0.6			突起部がやや上方を向く。	橋状突起ハリツケ。	良 長石	淡褐色	良	No.88
15	Pit 29	〃		0.7				矢羽根状文。	良砂粒少ない	褐色	〃	No.124
16	Pit 5130	〃		0.6				外面沈線による矢羽根状文。	良	橙褐色	〃	No.127
17	D23包	〃		0.7				沈線による矢羽根状文	〃	淡橙褐色	〃	No.171
18	DO5包	〃		0.7				内面ヨコナデ、LRの縄文、区画たて位沈線と矢羽根状沈線。	良 長石	褐色	〃	No.46
19	F20包	〃		0.5				2～3条1単位の沈線が3単位たて位に施される。	良	橙褐色	〃	No.168
20	B区包	〃		0.5 ～ 0.8			体部大きくはり出す。	矢羽根状沈線。	良白色砂多し	暗橙褐色	〃	No.120
21		〃		0.7			山形の波頂部を持つ。	2条の沈線。	良	淡褐色	〃	No.84
22	F25包	〃		1.1			〃	内面ナデ、口縁、細、沈線あり、LR縄文。	0.5mm程度砂粒を含む	〃	良好	No.104
23	D27 Point 2－1	〃		1.3			波状口縁。	内面ナデ、外面ナデ凹線による区画と2つの凹点。	1mm程度砂	〃	〃	No.29
24	DO5S －1	〃		0.7			口縁部段状肥厚。	円形刺突文、沈線など。	0.5mm程砂	暗褐色	〃	No.52
25	No.31	〃		0.9			〃	アヤスギ文、ハリツケセンイ条痕。	良	褐色	良	No.25
26	T包28	〃		0.6			口縁部肥厚。	外面上押圧、下沈線、内面ナデ、肥厚部竹筒による刺突文。	0.5mm程砂	明赤褐色	良好	No.76
27	D27包	〃		1.5 ～ 0.8			口縁部段状肥厚。	内外面ナデ、外面、刺突文あり。	0.5mm程砂	濃赤褐色	〃	No.39
28	D23包	〃		0.9			口縁部が肥厚。	体部外面、矢羽根状沈線。	精良	濁橙褐色	良	No.123
29	D27包	〃		約 0.7			やや口縁部段状に肥厚する。	外面刺突文あり。	一部金雲母を含む	濃赤褐色	良好	No.40
30	D5	〃		0.7			口縁部段状肥厚。	内面ナデ、外面縄文、沈線2本。	1mm程砂粒	暗茶褐色	〃	No.31
31	J17	〃		1.1			〃	沈線による区画文。	1mm程度砂	暗黄褐色	〃	No.16
32		〃		0.8			〃	外面RL縄文、沈線、内面ナデ。	1mm程度砂粒	暗褐色	〃	No.102
33	E20包	〃		0.5			口縁脚上端面を持つ。	外面LR（原体8cm）。	良	淡褐色	良	No.183

34	E26包	深鉢		0.8			口縁部が肥厚する、縦位棒状はりつけ文あり。	内外面ナデ外面沈線による区画文あり。	砂粒多し良長石石英金雲母	暗茶褐色	良好	No.35
35	H25包	〃		0.6			口縁部段状に肥厚する。	ハリツケ縦突帯、沈線。	0.5mm程砂粒	淡茶褐色	〃	No.61
36	SB41埋土	〃		0.6			口縁部くの字状に外反。	頸部2条の凹線、体部刺突文。	良	暗褐色	良	No.150
37	E26包	〃		0.8			口縁部平縁。	内面ナデ、外面LR縄文沈線あり。	1mm程小砂粒	暗茶褐色	やや軟質	No.41
38	SK13	〃		1.1			突起がつく。	突起ハリツケ　突起外面に二つの凹点。	良（長石）	橙褐色	良	No.122
39	Pit 9	〃		1.0			平縁で口縁部が先細る。	ナデ、沈線（2条1単位）。	0.5mm程砂	暗茶褐色	良好	No.63
40	E25包	〃		0.6			波状口縁。	口縁部外面に2条の沈線。	白色砂	橙褐色	良	No.164
41	J26包	〃		0.8			波状口縁か。	口縁ナデ、外面ナデ、沈線あり。	0.5mm程砂多	淡茶褐色	良好	No.62
42	B区包	〃		0.6			口縁部外反。	外面2条の凹線。	金雲母多し	暗褐色	やや軟	No.199
43	E26包	〃		0.6			口縁部平縁。	ナデ、沈線。	0.5mm程砂粒を含む	暗茶褐色	良好	No.80
44	J26包	〃		0.9			口縁部平縁で先細る。	沈線、ナデ。	1mm程砂粒多し	暗褐色	〃	No.57
45	E26包	〃		0.6				沈線、ナデ刺突文。	0.5mm砂粒	淡褐色	〃	No.87
46	D27包	〃		0.7			口縁部丸味を持つ。	LR縄文あり楕円文。	0.5mm粗砂	暗茶褐色	〃	No.30
47	H25包	〃		0.7			体部やや外弯する。	内面ナデ、外面ナデの中に沈線による区画がありその中に刺突文。	0.5mm程砂多	濃赤褐色	〃	No.54
48	H21包	〃		0.7			上胴部やや外傾する。	垂下沈線垂面を区画。	良	淡橙褐色	やや軟	No.169
49	D25包	〃		0.7			胴張りになる。	沈線による縦位区画刺突文、ナデ。	0.5mmの砂粒を含む	淡褐色	良好	No.103
50	F24包	〃		1.0			体部斜上方に立ち上る。	2条の垂下沈線。結び目の押圧。	1mm程度の砂粒を含む	明赤褐色	〃	No.89
51	D26包	〃		0.7			〃	沈線、ナデ。	1mm程度の砂粒を含む	暗赤褐色	〃	No.98
52	F25包	〃		0.6			〃	内面ナデ、外面3条の沈線あり。	0.5mm程度の砂を含む	灰茶褐色	〃	No.34
53	西拡張	〃		0.6			〃	地文LR縄文、沈線による斜位区画。	1mm程砂粒を含む	暗茶褐色	〃	No.96
54	E26	〃		0.7			〃	タテ方向LR縄文、沈線ナデによる縦位区画。	0.5mm程砂粒	暗褐色	〃	No.86

55	H８包	深鉢		0.8			胴張りになる。	縄文、ナデ。	１㎜小石粒多し	暗褐色	良好	No.43
56	包	〃		0.7			〃	帯状施文縦位に施すＰＬ施文。	良（白色微砂）	赤褐色	良	No.118
57	J27包	〃		0.9			体部斜め上方に立ち上る。	外面ＬＲ縄文、外面１条の区画沈線あり。	１㎜程砂粒を含む	暗褐色	良好	No.74
58	H25包	〃		0.9			〃	無節ＲＬ縄文内面ナデ。	0.5㎜砂	暗褐色	〃	No.58
59	D26包	〃		0.9			〃	帯状施文、ＲＬ施文。	１㎜程砂粒を含む	赤褐色	〃	No.100
60	包含層	〃		0.7		1／8	体部斜め上方に立ち上る。	帯状施文、ＲＬ縦位縄文。	良（白色微砂）	赤褐色	良	No.119
61	西拡張	〃		0.9		1／8	口縁部肥厚し、丸味を持つ。	外面ヨコ位１条の凹線タテ位。	良	暗褐色	〃	No.210
62	A地区Ｄ５包	〃		0.6			口縁部上端面を持つ。	外面タテ方向。	〃	褐色	〃	No.170
63	F25包	〃		0.8			体部斜め上方に立ち上る。	垂下沈線、沈線ナデ。	0.5㎜砂	暗茶褐色	良好	No.23
64	F25包	〃		0.8			〃	波線による懸垂文。	0.5㎜程度の砂粒	〃	〃	No.48
65	西拡張	〃		0.8			〃	８条１単位の条線を弧状に施文。	並	淡褐色	良	No.191
66	E28 Pit 1	〃		0.7			波状口縁になる。	状線、ナデ。	１㎜程度の砂少	暗茶褐色	良好	No.37
67	F25包	〃		0.7			体部斜め上方に立ち上る。	内面ヨコナデ、外面縦位条線、４条１単位。	良	暗褐色	良	No.184
68	西拡張	〃		0.8			〃	タテ方向の沈条線。	〃	暗赤褐色	良好	No.8
69	B区包	〃		0.7			上胴部張り出す。	３条１単位の沈線の区画文。	〃	暗褐色	良	No.121
70	ＳＢ40 埋土	〃		0.5			薄手。	外面に縦位の条線を施す。	〃	褐色	〃	No.196
71	包含層	〃		0.7			体部斜め上方に立ち上る。	５条１単位の条痕、内面ヨコ方向センイ条痕	〃	暗褐色	〃	No.200
72	西拡張	〃		0.7			〃	タテ方向、５条縦位条痕。	１㎜程砂	暗茶褐色	良好	No.13
73		〃		0.8			薄手。	外面タテ方向条痕、内面ヨコナデ。	良	濁橙褐色	良	No.188
74	J27包	〃		0.6			口縁部外反する。	沈線ナデ。	一部金雲母含む	暗茶褐色	良好	No.17
75	B６包	〃		0.7			体部下半残存。	５条１単位のタテ方向条痕。	１㎜程砂	淡黄褐色	〃	No.51
76	西拡張	〃		1.0				タテ方向の凹線、ナデ。	〃	暗赤褐色	〃	No.12
77	E26包	〃			10.8	1／8	底部平底。	外面タテ方向条線。	良	褐色	良	No.186
78	E23	〃		0.7		1／12	口縁部左右に肥厚。	内外面ナデ。	0.5㎜程	暗赤	良好	No.29

79	ＳＢ40 埋土	深鉢		0.8		1／10	口端部外反。	内外面ヨコ方向ナデ。	良	暗褐色	良	No.156
80	包含層	〃		0.7			〃	内外面センイ擦痕。	〃	橙褐色	〃	No.181
81	〃	〃	20.8	0.7			口縁部上端面を持つ	内外面、ヨコ方向センイ条痕。	良白色砂	黒あり橙褐色	〃	No.194
82	Ｊ27包	〃		0.7			口縁部丸味を持つ。	内外面ナデ。	0.5mm程度の砂粒を含む	淡茶褐色	良好	No.73
83	Ｅ26包	〃		0.8			〃	内外面ヨコナデ。	良	茶褐色	良	No.193
84	Ｊ27包	〃		0.5			〃	内外面ナデ。	0.5mm砂	暗茶褐色	良好	No.172
85	Ｆ25包	〃		0.6			〃	内外面ナデ、外面１条の沈線あり。	１mm程砂粒	暗茶褐色	〃	No.27
86	Ｄ27包	〃		0.6			口縁部外反。	内外面ナデ。	１mm程度砂粗	暗赤褐色	〃	No.24
87	Ｄ24包	〃		0.6			口縁部帯状に肥厚。	口縁部指圧痕残る、内面ヨコナデ。	良	暗褐色	良	No.214
88	Ｅ26包	〃				1／20	口縁部外反。	内外面せんい擦痕。	〃	橙褐色	〃	No.161
89	Ｅ26包	〃	32.0	0.8		1／20	〃	外面せんい擦痕、内面せんい擦痕。	〃	暗橙褐色	〃	No.211
90	Ｈ25包	〃		0.9			口縁部段状肥厚。	内外面ナデ。	１mm程少砂粒	淡赤褐色	良好	No.60
91	Ｈ28包	〃	35.8	0.7		1／15	口縁部が折り返され帯状に肉厚になる。	内外面せんい擦痕（ナデ）口縁部折り返し。	良 金雲母	暗褐色	良	No.212
92	Ｃ27包	〃		0.7			口縁部上端面を持つ。	口縁部刻み目を持つ。	0.5mm程砂	淡褐色	良好	No.79
93	Ｊ25	〃	34.0	0.8		1／16	波状口縁。	ヨコ方向のせんい擦痕。	並、長石石英多し	暗褐色	軟	No.213
94	Ｅ20包	〃		0.6		〃	口縁部上端面をもつ。	内外面ナデ。	１mm程砂粒	淡褐色	良好	No.85
95	Ｊ３ Pit 2	〃		0.6		〃	波状口縁で突起を持つ。	外面斜方向条痕、内面ヨコ方向の条痕。	良	暗褐色	良	No.203
96	Ｄ23 No.24	〃		0.8		〃		ケズリ＋ナデ。	粗砂多し	暗褐色	〃	No.180
97	Ｊ26包	〃				〃	口縁部上端面を持つ。	内外面条痕。	良 0.5mm砂	暗茶褐色	〃	No.68
98	Ｅ26包	〃		0.6		〃		条痕＋ケズリ。	良	赤褐色	〃	No.98
99	Ｂ区包	〃		0.6		〃	体部斜め上方に立ち上る。	内面ヨコナデ、外面条痕。	良白色砂多し	暗褐色	〃	No.189
100	Ｂ区包	〃		0.7		〃	〃	内面ヨコ位巻貝条痕、外面タテ位条痕。	良	暗茶褐色	〃	No.179

101	G28包	深鉢		0.6		1／16	体部斜め上方に立ち上る。	内面巻貝条痕＋ナデ。	粗砂粒多し	暗褐色	良	No.75
102	H25包	〃		0.6		〃	上胴部に張りを持つ。	両面ナデ、外面条痕。	0.5mm程砂粒	淡褐色	良好	No.183
103	D28包	〃		0.8		〃	体部下半残存。	外面条痕。	粗	暗褐色	良	No.179
104	F26	〃		0.7			体部下半残存。	外面ヨコ位巻貝条痕、内面ヨコ位巻貝条痕。	粗長石	暗橙褐色	〃	No.178
105	D27包	〃		0.7			薄手。 外部外張りになる。	凹線による区画、区画内に条痕。	良	淡褐色	〃	No.105
106	H25包	〃		0.6			体部斜め上方に立ち上る。	内外面ナデ、外面楕円区画沈線あり。	0.5mm程度の粒砂を含む	淡褐色	良好	No.53
107	B区包	〃		0.6			〃	ＬＲ縄文、凹線による区画文。	良	暗褐色	良	No.197
108	D26包	壺型土器		0.6			体部内側に曲がる。	沈線文。	〃	〃	〃	No.166
109	包含層	深鉢		0.6			上胴部残存。	凹線による区画、区画内にＬＲ縄文を施す。	〃	〃	〃	No.195
110	E28包	〃	31.0	0.9		1／4	口縁胴厚い。 上胴ぶに最大壁。	口唇部に波線、４条１単位の縦位波線で区画される＋渦文。	〃	〃	〃	No.190
111	〃	〃		1.1		口縁部	口縁部肥厚。	外面、口縁部沈線ありたて方向２本のＬＲ縄文横位に施文。	0.5mm程の砂粒を含	暗褐色	良好	No.111
112	包含層	〃		0.9		〃	波状口縁か。 条のタテ位沈線縄文。	内面ミガキ、外面２条のタテ位沈線縄文。	良	濁褐色	良	No.153
113	H25包	〃		0.7		〃	波状口縁。	渦巻、沈線。	0.5mm程砂粒	淡褐色	良好	No.55
114	E28包	〃		0.9		〃	〃	外面沈線になる波状文。	0.5mm程	暗褐色	〃	No.91
115	B区包	〃		0.9		〃	口縁部が縁帯になる。	縁帯に渦文を施す。	良	暗褐色	良	No.128
116	J27包	〃		1.0				口縁部突帯、縄文の中に沈線あり、内面ナデＲＬ縄文。	0.5mm程度	淡褐色	良好	No.78
117	Ｊ３包	〃	12.8	0.6		1／10	低い波状口縁。	波状になる区画文。	0.5mm程砂粒	〃	〃	No.97
118	E28包	〃		0.8			頸部より上器厚くなる。	内面全体ナデ、外面上部、沈線あり、下部刻み目あり。	0.5mm砂粒を含む	暗褐色	〃	No.90
119	B区包	〃		0.5			体部斜め上方に立ち上る。	２条のタテ方向の淡線文、内面ヨコナデ。	良白色砂多し	〃	良	No.172
120	包含層	〃		0.5			薄手。	３条の沈線、横位区画ＬＲ縄文内面巻貝条痕。	良	濁褐色	〃	No.117
121	東拡張	〃		0.6			波状口縁。 内外面条痕＋ナデ。	沈線による区画文。	良長石多し	暗褐色大溝	〃	No.154

122	ＳＢ34埋土	深鉢		0.6			突帯断面四角形。	ハリツケ突帯。	良	淡褐色	良	No.131
123	F02包	〃		0.8			平底。	外面ミガキ、内面ナデ。	0.5mm砂粒を含む	淡赤褐色	良好	No.135
124	Ｎ８包	深鉢底部		器厚1.1		1／4	平底。	内外面ナデ。	0.5mm程砂粒を含む	暗褐色	やや軟質	No.138
125	包含層	〃		0.9		1／4	〃	〃	1mm程砂粒を含む	明赤褐色	軟質	No.139
126	B区包	〃		1.0		底部完形	〃	底部網代痕。	0.5mm程砂粒を含む	淡褐色	良好	No.134
127	B区D25包	〃		－	9.0		〃	底部。	粗	淡橙褐色	良	No.174
128	E18包	〃		0.8			〃	内外面ナデ。	1mm程砂粒を含む	赤褐色	良好	No.137
129	B区包	〃		0.7	12.0		〃		良金雲母長石硬	褐色	良	No.113
130	G23包	〃		0.7		底部完形	やや上底。	内面ナデ、外面乱雑なナデ、底部ミガキ。	1mm程度の小石粒を含む	暗茶褐色	良好	No.133
131	H25包	〃		1.0		2／3	〃	上ナデ、上端指押えナデ、剥離面あり。	1mm程度の砂	暗茶褐色	〃	No.56
132	包	〃		0.9		1／3	〃	内外面ナデ。	〃	暗黄褐色	やや軟質	No.19
133	E28包	〃		0.7		1／4	〃	内外面ナデ。	0.5mm程度の砂粒を含む	淡褐色	良好	No.93
134	〃	〃		0.6			〃	内外面ナデ。	0.5mm程砂粒	〃	〃	No.134
135	J27包	〃		0.9			〃	側面内外面ナデ。	0.5mm程度の砂	〃	やや軟質	No.81
136	Ｂ６包	〃		1.0			〃	内面外面上部ナデ、外面下部ヨコナデ、底部ナデ。	0.5mm程砂	〃	良好	No.50
137	G27包	〃					〃	外面ナデ。	良	〃	良	
138	ＳＢ１	壺C	19.4	－		1／2	口縁部の突起は６～８個１単位で４方に配置されると予想される。	外面櫛描横線　９本／1.5cm、ヨコハケ15本／1.5cm。	良赤白砂含む赤色チャートを含む	淡褐色	並	No.461
139	〃	壺Ａ－ｂ	16.6			1／6	口縁部が下に拡張される。	口縁部内面に２段の刺厚文。	良	〃	良	No.303
140	〃	壺Ａ－ｃ	18.4			1／8	口縁部が上下に拡張される。	口縁部に波状文。	〃	赤褐色	〃	No.304
141	〃	壺B	26.0			1／4	器壁が厚い。	口縁部外面ハケ＋ナデ外面　斜め格子。	良白色砂多し	暗赤褐色	〃	No.466
142	〃	壺	－			1／4	体部下半扁平状になる。	外面ヘラミガキ。	良	〃	〃	No.224

143	ＳＢ１	壺	－		8.2	１／４	平底。	底部外面ヘラミガキ。	良白色微砂	ＳＢ №１ 暗赤褐色	良	№388
144	〃	〃	－		8.5	底部完形	平底。	底部外面ケズリ、内面剥落して不明、下胴部外面タテ方向、ヘラミガキ。	並白色砂多し	淡褐色	やや軟	№301
145	〃	〃	－		4.8	１／４	外面ヘラミガキ。	ケズリ。	良	淡赤褐色	良	№305
146	〃	甕Ｂ	20.4			１／２	口縁部がやや急に立ち上がり口縁端部上面に刻み目を持つ。	口縁部刻み目、外面ハケ＋ナデ消し、内面ヨコハケ。	〃	暗赤褐色	〃	№465
147	〃	甕Ｂ	23.4			１／８	口縁部外反。	口縁部刻み有り、内外ナデ。	〃	良	良	№225
148	〃	甕Ｂ	20.0	18.0	5.2	１／４	体部がやや長い。	内面ハケ＋ナデ、口縁部上端面刻み目、体部外面タテハケ。	〃	赤褐色	〃	№299
149	〃	台付鉢	－		12.8	１／３	脚部が外開きになる。	外面ケズリ、内面ヨコナデ。	〃	暗赤褐色	並	№306
150	ＳＢ２	壺Ｄ	17.0			１／４	直立する頸部、頸部径9.6cm 器壁が厚い	頸部外面ハケ、２条ハリツケ突帯（６本／1.3cm）。	良金雲母長石、石黄	暗橙褐色	硬	№464
151	〃	壺Ｃ	19.2			１／８	口縁部が上下に引き出される突起がつく。	口縁部、側縁刺突。		橙褐色	良	№467
152	〃	受口状口縁壺Ｄ	8.2			１／８	受口状口縁を持つ。	口縁部ヨコナデ、円形文。	良	〃	〃	№223
153	〃	甕Ｅ	12.0	1.0		１／10	口縁部先端が上方につまみ出される。	口縁部ヨコナデ。	〃	〃	〃	№222
154	Ｆ３ Pit １	弥生土器細頸壺Ａ	5.4			２／３	口縁部が内傾し上端面を持つ。	口縁部ヨコハケ刺突、頸部タテハケ沈線（４条）。	〃	濁褐色	〃	№383
155	ＳＢ１	弥生土器壺		器厚 0.6		小片	体部片。	外面上方、中央ヨコハケ目、1.1cm７本そのハケメナデ消し。	〃	〃	〃	№462
156	〃	〃		0.6		〃	〃	体部櫛描直線。	〃	淡褐色	〃	№463
157	〃	〃		器厚 0.7		〃	体部がソロバン玉にひらく。	外面上部状文＋４条１単位の櫛目内面（1.1cm７本）その前ハケ＋ナデ消し。	〃	〃	〃	№302
158	ＳＢ28	土師器壺	12.6			１／５	口縁の立ち上がりは短く外反する。	全体に乱雑なナデ。	不良 0.5mm程度の砂粒	明黄褐色	良好	№311
159	〃	〃	13.6			１／８	胴部やや下半部でふくれるようである。	外面縦方向のミガキ、一部縦ミガキのち櫛描横線＋貝がら反文。	良好	明赤褐色	〃	№314
160	〃	〃	10.4			１／４	胴部より下半部下方にくると思われる。	縦ハケを基にして後にヨコハケ内面ナデ上胴部櫛描文＋刺突文。	良一部金雲母含む	明赤褐色	〃	№307

161	ＳＢ28	土師器 壺				1／2	平底。	外面ハケ、内面ハケ。	良（砂粒を含む）	淡褐色	良好	No.328
162	〃	〃	－			1／2	底面が狭く胴部下半で最大径がくる。	胴部下半部ハケ、その上部ハケの後ミガキ。	1㎜程度の砂粒を含む	淡黄褐色	〃	No.317
163	〃	土師器 Ｓ字甕	9.8			1／5	口縁部が直立した後外反し先細る。	体部外面タテハケ、肩部に櫛、横方向に４条の条線。	〃	淡褐色	良	No.384
164	〃	土師器 Ｓ字甕	21.0			1／8	口縁部が直立し先細る	口縁部ヨコナデ、体部外面ハケ、内面指圧。	〃	褐色	やや軟	No.384
165	〃	土師器 高杯	31.0			1／10	口縁部が先細る。	口縁部ヨコナデ、脚台部穿孔。	良	乳白色	〃	No.263
166	〃	土師器 高杯	21.4			1／4	杯部が半球状である。	杯部内面ヘラミガキ、杯部外面ヘラミガキ。	〃	赤褐色	良	No.264
167	〃	土師器 手焙型土器	最大径 20.9			1／5	ハリツケ突帯。	カサ部ハケ目、突帯に刻み目あり、内面ハケ。	良白色砂	暗褐色	〃	No.385
168	ＳＢ12	土師器 壺	－			〃	底部から胴部への広がりは、屈曲する。	内面のハケは断続的にハケを施す、底面しぼるようなナデ。	0.5㎜程度の砂粒含む	明淡赤褐色	〃	No.468
169	〃	土師器 高杯	脚頸径 0.3			1／3	裾部外開。	三方透かし孔（φ0.5㎝）脚部外面ヘラミガキ、脚部内面ハケ。	良	褐色	〃	No.336
170	ＳＢ16	土師器 甕	10.4			1／6	口縁部に外反して立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	〃	暗赤褐色	〃	No.291
171	〃	〃	－			1／12	上底。	底部外面ケズリ。体部外面ハケをヘラミガキで消している。	〃	橙褐色	〃	No.292
172	ＳＤ44	土師器 甕	11.2			1／6	口縁部は直線的に斜め上方に立ち上がる	口縁部ヨコナデ。	〃	暗橙褐色	〃	No.424
173	〃	土師器 Ｓ字甕	19.2			1／4	口縁部がＳ字状に外反する。	口縁部ヨコナデ、体部外面ハケ目。	〃	淡褐色	やや軟	No.423
174	ＳＢ４	土師器 Ｓ字甕			9.6	1／2	やや中程でふくれる。	脚端部を折り返す。	0.5㎜程度の砂	暗褐色	良好	No.406
175	ＳＢ15	土師器 高杯	11.6			1／2	透し穴、３方透し右に大きく傾く。	内面上半部指なで、下半部逆時計まわりに強くなで下げる。	0.5㎜程度の砂粒を含む	明赤褐色	〃	No.471
176	ＳＢ	土師器 鉢	－			1／2	底部平底。	体部外面、ケズリ＋ヨコナデ、体部内面ヨコナデ	精良	淡橙褐色	軟	No.406
177	ＳＫ13	土師器 鉢	12.2			1／2	底部上底、口縁部が先細る。	内外面ともヘラミガキ（タテ方向）。	粗金雲母白色砂	暗茶褐色	〃	No.334
178	ＳＢ34	土師器 壺	13.0	26.2	5.8	完形	体部やや偏平球状になる。	口縁部、ヨコナデ（内面）タテハケ（外面）粘土ひも巻き上げ痕跡底部ケズリ痕跡あり、内面ヨコナデ。		褐色	軟	No.403
179	〃	〃	18.7			1／6	口縁部斜め上方に拡がる、口縁部張り出して接合痕。	口縁部ヨコナデ。	良 金雲母長石含む	乳白色	良	No.229

180	ＳＢ34	土師器壺	17.6			1／4	口縁部が直立気味に立ち上がり先端部が外反する。	口縁部内面ヨコハケ＋ヨコナデ。	良	淡褐色	良	No.407
181	〃	〃	19.2			1／5	棒状浮文１つ残存。	頸部外面ハケ＋ナデ消し。	〃	〃	〃	No.319
182	〃	土師器小型丸底壺	10.3	10.3		完形	口縁部内弯	体部内面ハケ＋ナデ、口縁部内面ハケ。	良金雲母長石	濁褐色	〃	No.318
183	〃	〃	12.0	6.0	0	体部完形	口縁部大半欠損。	内面底部ヘラあたり、体部ヨコナデ、外面底部ヘラケズリ、体部ナデ。	わずかに砂粒白雲母含む	灰茶色	〃	No.414
184	〃	土師器壺			5.6	1／2	上げ底。	底部外面ケズリ出し。	精良	淡乳褐色	やや軟	No.320
185	〃	〃			6.4	2／3	やや上げ底になる。	底部ケズリ。	良	淡赤褐色	良	No.330
186	〃	土師器器台	10.0			2／5	口縁部外反。	体部ハケ、ケズリ風。	〃	淡褐色	〃	No.333
187	〃	〃	10.4			2／5	口縁部外反。	外面ケズリ＋ナデ、内面ケズリ＋ナデ。	〃	暗乳褐色	〃	No.187
188	〃	土師器	12.7			2／3	口縁端面が外反する。	全体に丁寧なミガキ。	良好	明赤褐色	良好	No.310
189	〃	〃	22.3～24.0	杯部高 9.0		杯部完形	脚部欠損、器面ののこり悪い。歪み大。	外面、内面ヘラミガキ上部ヨコナデ。	細砂金雲母含む	外面褐色内面暗褐色	良	No.416
190	〃	土師器Ｓ字甕	14.4	24.4	8.8	完形	口縁部Ｓ字の突出弱く丸く収める。	外面乱雑なハケ、内面主にナデによる調整。	0.5mm程度の砂粒	暗茶褐色	良好	No.470
191	〃	〃	－		12.0	1／2	胴部高台ハケ（７本／13cm）高台貼付底部ハメ込あとハケ。	底部内面へ折り返し。	密	茶褐色	良	No.422
192	〃	〃	14.0			1／2	口縁部Ｓ字状に屈曲する。	口縁部ヨコナデ、外面ハケ。	細砂金雲母含む	内暗茶外黒茶	良	
193	〃	〃	12.8				口縁端部は軽く外反する。	内面屈曲部に綾杉文のハケ。	良好	暗茶褐色	良好	No.312
194	〃	〃	16.0			1／5	内面端面はやや外反し面を持つ。	頸部ハケ、タテハケの後ヨコハケ。	〃	〃	〃	No.313
195	〃	〃	16.0			1／4	口縁部Ｓ字状に屈曲する。	口縁ミガキ、（４本／3.1cm）胴部ハケ（４本／１cm）内面ハケの後ナデ。	密	淡黄色	良	No.420
196	〃	〃	15.8			1／2	口縁部が「く」の字に大きく外反する。	外面タテハケ＋ヨコハケ。	良	淡濁褐色	〃	No.329
197	〃	〃				1／3	口縁部Ｓ字状に屈曲する。	口縁部ヨコナデ、外面ハケ。	〃	淡褐色	〃	
198	〃	〃	－			1／2	台部のみ先に作っている。	外面櫛状工具＋ナデ、脚台部接地面折り返し。	〃	淡橙褐色	良金雲母長石硬	No.321

199	ＳＢ34	土師器 Ｓ字甕			6.5	脚部 完形	脚部折り返し部の断面丸い。	脚部施文の後貼付の脚部底部折り返しの後ナデ、ハケ９本／1.6cm（胴）ハケ６本／1.7cm。	やや密	胴黒褐色台淡茶色	良	No.421
200	〃	〃			12.5	１／２	口縁部端面を折り曲げる。	全体に斜め方向のナデ下げ。	0.5mm程度の砂粒を含む	淡赤褐色	良好	No.309
201	〃	〃			7.8	底部 完形	脚部はやや中央部でふくれストレートにのびる。	ハケの切り合いはげしい。	0.5mm程度の砂粒を少し含む	暗茶褐色	〃	No.308
202	ＳＢ33	〃	12.6			１／４	口縁部Ｓ字状になる。	口縁部ヨコナデ、外面ハケ縦９本／1.5cm後横４本／５mm。	密	外面淡褐色内面淡茶色	良	No.490
203	〃	土師器 高杯	16.6	杯部 高 6.7		１／２		内面ハケの後ナデ、下部ナデ、外面上部ヘラケズリの後ヨコナデ、下部ヘラケズリ、砂ののとんだあとが多く残る。	やや密	暗褐色	〃	No.486
204	〃	土師器 壺	－		7.0	底部 完形	上底。	粘土ひも巻き上げ、底部内面ヘラあたり。	良	淡褐色	〃	No.332
205	ＳＢ35	須恵器 台付杯	11.7	9.4	11.0	２／３	薄手。	脚部貼付、ロクロナデ。	やや密	面赤褐色（杯部）	〃	No.483
206	〃	〃	11.5			１／２	〃	〃	密	暗灰色	〃	No.485
207	〃	〃			9.4	１／４	〃	〃	〃	〃	〃	No.489
208	〃	須恵器 杯	14.0			１／５	口縁部下方に立ち上がり端部外面へ張り出す。	口縁部ヨコナデ、上部ケズリ。	良長石砂	灰色	〃	No.227
209	〃	〃	14.0	3.7	7.0	１／４	器壁が薄く杯部の立ち上がりがゆるい。	天井部ヘラケズリ。	良	暗灰色	〃	No.325
210	〃	〃	12.0	4.5	5.8	１／２		ロクロナデ、底ヘラミガキ。	密	外面暗灰色	〃	No.484
211	〃 カマド	土師器 甕	22.6			１／６	口縁部斜め上方に拡がり端部上方に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ、内側ハケ目。	良白色長石含む	淡茶褐色	〃	No.226
212	〃	〃	18.4			１／７	口縁部斜め上方に拡がり端部方向に立ち上がる、脚部強くナデる。	口縁部ヨコナデ。	良長石等含	〃	〃	No.228
213	ＳＢ36	須恵器 杯	12.0	3.8	6.5	１／６	器壁が薄い。 口縁部内傾。	ロクロナデ、底部ケズリ。	良	青灰色	〃	No.425
214	〃	土師器 甕				体部下半完形	底部丸味を持つ。	体部外面ハケ。	〃	橙褐色	〃	

215	ＳＢ36	土師器 高杯				1／3	杯部先端先細る。	口縁部ヨコナデ、脚部外面ナデ。	良	橙褐色	良	
216	ＳＢ26	須恵器 杯	13.4	3.5	0	1／6	器高低い。	ロクロナデ。	〃	淡褐色	〃	
217	ＳＢ11	〃	12.0	3.1	7.3	1／12	口縁部が内傾する、器壁がうすい	〃	〃	暗灰色	〃	No.327
218	ＳＢ23	須恵器 杯蓋	10.2	5.8	－	完形	ヘラケズリ。	口縁部ロクロナデ、宝珠ツマミ、ハリツケ。	良白色砂含	〃	堅い	No.374
219	Ｎ７ Pit 3	須恵器 椀	10.0	6.5	3.5	1／2	器高が高い。	ロクロナデ。	良	青灰色	良	No.259
220	ＳＢ40	土師器 甕	18.0	－	－	1／8	口縁部端部上方へ上がる、ハケ目、側部内外部。	口縁部ヨコナデ。	良白色砂含	茶褐色	〃	
221	〃	土師器 杯	16.2	3.8	9.1	1／2	口縁部内面に沈線を持つ。	口縁部ヨコナデ。	良	赤褐色	〃	
222	〃	土師器 皿	20.3	2.1	16.9	1／2	器高が低い。	体部内面外面上部ヨコナデ、体部外面下部ケズリ。	〃	淡橙褐色	〃	No.404
223	〃 カマド	土師器 甑			17.4	1／6	円筒部で底部がくびれる。	外面タテハケ、内面ヘラケズリ	〃	濁褐色	〃	No.473
224	ＳＢ40	土師器 広口甕	33.4			1／5	体部外面タテハケ７本／1.2cm、内面ヨコハケ14本／1.5cm。	外面タテハケ、内面ヨコハケ。	良均質	淡褐色	〃	No.335
225	〃	土師器 甕	29.0			1／5	口縁部強く外反。	外面タテハケ、12本／2.2cm、内面ハケ目。	良	〃	〃	No.280
226	〃	土師器 長胴甕	19.8			1／4	口縁部先端が上方を向く。	口縁部ヨコナデ、外面タテハケ、内面ヨコハケ。	〃	褐色	〃	No.296
227	〃 カマド	〃	27.4			1／4	口縁部角ばる。	内面ヨコハケ。	〃	濁褐色	〃	No.227
228	〃	〃	28.4			1／4	口縁部がやや外反し端面を持つ。	口縁部ヨコナデ、体部外面タテハケ、内面ヨコハケ。	〃	〃	〃	No.472
229	ＳＢ15 Pit 1	土師器 甕	15.8			1／6	口縁部が外反する。	口縁部先端が上方を向く、体部外面ハケ。	〃	暗褐色	〃	No.323
230	〃	〃	26.0			1／20	口縁先端が上方を向く。	口縁部ヨコナデ。	〃	橙褐色	〃	No.324
231	ＳＢ39	土師器 杯	15.0	3.0		1／6	口縁部は１度屈曲して立ち上がる。	〃	〃	〃	〃	No.326
232	ＳＤ９	山茶椀	17.8	6.1	9.0	完形	底部糸切り痕。	口縁部ロクロナデ、高台ハリツケ。	〃	白灰色	堅	No.372
233	〃	ロクロ土師器椀	17.0	5.3	8.2	1／4	口縁部外傾へ張り出す、高台高い。	〃	粗粒状の砂多	暗灰色	良	No.373
234	〃	土師器 鍋	21.2			1／5	指圧痕が残る、口縁部張り出した後折り返される。	口縁部ヨコナデ。	良（白色粒含む）	乳白色	〃	No.375
235	ＳＢ11 Pit 1	山茶椀	16.6			2／3	口縁部外反。	底部に糸切り痕を残す。高台ハリツケ。	良	明灰色	〃	No.398

236	ＳＢ11 Pit	山皿	9.4	2.8	5.4	4／5	口縁部外反。	底部に、糸切り痕を残す。高台はりつけ。	良	明灰色	良	No.399
237	〃 Pit260	土師器鍋	19.4			1／6	口縁部上端面を持つ。	口縁部はやや斜め上方に立ち上がり口縁端部が上端面を持つ。	〃	褐色	〃	No.401
238	ＳＥ19	山茶椀	16.8	4.7	7.4	完形	器高が低く、口縁部が外反する。	高台ハリツケ。	〃	灰白色	〃	No.390
239	〃	山皿	9.3	3.2	5.2	4／5	底部の糸切痕をナデ消している口縁部が外反する。	〃	〃	〃	〃	No.393
240	〃	クロク土師器杯	15.5	3.7	6.0	完形	平底、口縁部外反	ロクロ成形、糸切痕。	〃	明茶褐色	〃	No.391
241	ＳＢ11 Pit 1	山茶椀	17.3	6.0	8.4	1／2	輪花あり。	底部に糸切痕あり、高台ハリツケ。	〃	淡灰色	やや軟	
242	ＳＤ8	〃	16.9	5.2	7.0	1／2	口縁部外反。	ロクロナデ（時計まわり）、高台ハリツケ（モミガラ痕が3ケ所あり）底部糸切痕。	粗1～2㎜の砂を多く含む	黄茶褐色	〃	No.396
243	〃	山茶椀	15.3	6.2	6.7	1／3	口縁部外反。	高台ハリツケ。	良長石細粒少々含	淡灰色	良	No.426
244	〃	〃	16.4	5.6	6.8	完形	〃	ロクロナデ、高台ハリツケ。	良 0.5～0.3㎜の小石を含	白灰色	〃	No.395
245	ＳＢ１東北	打製石斧	残存長2.8	幅0.6			重量12.6ｇ。	敲打によるハクリ	サヌカイト	黒灰色	硬	No.441
246	Ｄ５包	扁平片刃石庖		幅3.4	厚0.8		偏平である、重量17.8ｇ	刃部斜めの方向研磨、側縁研磨。	凝灰岩	淡灰緑色	軟	No.437
247	Ａ区包	石庖丁	長24.0	幅5.5	厚0.9	完形	刃部凹形、重量 222ｇ。	刃渡20.5㎝、14ケ所の敲打縁研磨。	緑泥片岩	灰緑色	〃	No.435
248	〃	〃	長4.2	幅10.0	厚0.9	4／5	重量54.6ｇ。	刃部研磨	〃	〃	〃	No.445
249	〃	〃	長	幅	厚	1／2	板状剥離。	ミガキの方向が多方向に走る。	〃	緑灰色	〃	No.444
250	Ｂ18包	敲石	長10.9	幅9.4	厚3.8	完形	丸型で偏平である。重量 685.1ｇ。	両面使用（すり石）	砂岩	灰褐色	〃	No.446
251	Ｌ４包	〃	長6.5	幅5.8	厚4.7	完形	球体、重量 257.3ｇ。	上端面、下端面に畝打痕あり。	〃	黄褐色	〃	No.447
252	Ａ区包	打製石斧	残存長6.2	幅5.1	厚2.8	〃	断面菱形	４面使用。	〃 色	黄灰	〃	No.375
253	西拡張	〃	長13.0	幅4.1	厚1.0	〃	断面菱形、重量81ｇ。	打圧剥離。	〃	暗灰褐色	やや軟	No.378
254	Ｌ４包	砥石	長17.3	幅17.2	厚5.3	完形	断面長方形、平面台形、重量 217ｇ。	両面使用。	〃	灰褐色	軟	No.448
255	Ｉ27包	〃	長16.5	幅6.8	厚3.4	1／3	断面長方形 重量 658.6ｇ。	使用痕あり、両面使用。	〃	黄灰色	〃	No.438
256	Ｒ５包	砥石	長16.1	幅4.6	厚1.0		重量 120.5ｇ。	上面研磨痕あり。	黄灰色			No.32

257	表土	弥生土器受口状口縁壺A－b	10.8	－	－	完形	口縁部受口になる。	口縁部に2条の沈線2本有り、体部外面ヨコ方向の強いナデ。	良	淡橙褐色	良	No.450
258	〃	〃	16.4	－	－	1／5	口縁部受口になる。	口縁部外に3㎜幅の沈線が4本有り、体部上半内面ハケあり、中部内面ハケ。	良白色砂金雲母を含む	淡褐色	〃	No.449
259	〃	弥生土器甕B	20.6	－	－	1／6	口縁部先端が上方を向く。	口縁部刻み目を持つ、内面ヨコハケ、外面タテハケ。	良	濃褐色	〃	No.452
260	A区包	〃	17.2	－	－	1／8	口縁部がわずかに開く。端部肥厚する。	端面に刻み目を残す。	0.5㎜の砂粒を含	暗茶褐色	良好	No.356
261	表土	〃	20.1			1／6	口縁部先端上方につまみ出される。	外面、たて方向のハケ調整、口縁部ヨコ方向のハケ。	良（白色微粉）	濁褐色	良	No.452
262	F3包	弥生土器甕E	24.8	－	－	1／5	口縁部の立ち上がりは短く外反する。	内面丁寧になでる、外面ハケの後ナデ。	精良	明赤褐色	良好	No.356
263	M5包	土師器甕	18.6	－	－	1／6	口縁端部がやや外反する。	内面ハケの後ナデ。	0.5㎜程度の砂粒を含む	暗赤褐色	〃	No.345
264	表土	弥生土器高杯	18.0	8.0杯部	－	1／2	杯部が深い。	内外面、タテ方向のヘラミガキ。	良金雲母微粉	〃	良	No.408
265	〃	弥生土器甕			4.4	底部完形	やや上底になる。	外面タテ方向ハケ目。	良白色微粉	濁褐色	〃	No.355
266	F3包	高杯	柱状部4.0			柱部完形	柱部柱状。	外面ミガキ。	0.5㎜の砂粒	暗黄褐色	良好	No.354
267	M5包	弥生土器壺	－	－	－	小片	器厚0.8㎝。	櫛描横線5本／5㎜。	〃	淡橙褐色	〃	No.478
268	包含層	〃	－	－	－	〃	器厚0.8㎝。	6条の簾状文、3条1単位の櫛描横線。	〃	暗赤褐色	〃	No.482
269	西拡張	〃	－	－	－	〃	器厚0.7㎜。	体部外面に櫛描横線有り0.9㎝ 厚～幅7㎜。	〃	淡褐色	〃	No.474
270	包含層	〃	－	－	－	〃	〃	外面4条1単位の櫛描横線、6単位施される。	〃	〃	〃	No.456
271	〃	〃	－	－	－	〃	〃	内面ハケ目、外面4条1単位の櫛描横線。	〃	暗褐色	〃	No.454
272	H2包	〃	－	－	－	〃	器厚0.9㎝。	内面タテハケ＋ナデ、外面簾状文と8条1単位の櫛描線。	良白色砂	橙褐色	〃	No.480
273	包含層	〃	－	－	－	〃	器厚1.2㎝。	頸部ナデ、幅10㎝、6条1単位の櫛描横線。	良	淡褐色	〃	No.479
274	〃	〃	－	－	－	〃	胴部が張る。器厚0.9㎝。	6本1単位（幅8㎜）の櫛描横線。	〃	橙褐色	〃	No.477
275	西拡張	〃	－	－	－	〃	器厚1.0㎝。	外面タテハケ＋凹線4条（原体幅3㎜）内面ヨコハケ。	〃	淡橙褐色	〃	No.475
276	包含層	〃	－	－	－	〃	器厚0.7㎝。	5㎜間隔で幅2㎜の凹線、頸部に鋸歯文7条。	〃	濁褐色	軟	No.280

277	包含層	弥生土器壺	—	—	—	小片	器厚0.7cm	外面条線（7本／2.4cm）。	良	橙褐色	良	No.288
278	〃	〃				〃	器壁薄い。器厚0.6cm。	外面ハケ目凹線。	〃	赤褐色	やや軟	No.457
279	〃	壺	13.0			1／6	口縁部直立。	内外面ハケ、口縁部外面刺突文。	良	暗赤褐色	良	No.346
280	G2含	土師器二重口縁壺	16.4	(7.8) —	—	1／2	口縁部が二重になる頸部突帯は、するどく突出する。	胴部内面は指押えの後不定方向のナデによる調整がなされる。	0.5mm程度の砂粒を含む	明赤褐色	やや軟質	No.351
281	D13包	土師器壺	18.4	—	—	1／10	口縁端部はやや肥厚する。	口縁内面綾杉文。	0.5mmの砂粒を量少不	淡茶褐色	〃	No.352
282	包含層	〃	—	—	7.0	1／3	上底。	放射状にハケ調整。	良	褐色	良	No.410
283	G2包	〃	—	—	6.4	2／3	底部わずかに張る。	底部きわを軽くなでる内面ハケを施した後なでる。	1mm程度の少砂粒をわずかに含む	暗赤褐色	良好	No.343
284	H3包	土師器高杯	—	(5.3) —	6.8	脚完形	脚部内面は脚部下半部ほどの深さを有する。	内部をしぼったあと、あらくなでる	精良 0.5mmの砂粒含む	明赤褐色	〃	No.349
285	D18包	土師器甕	—	(2.7) —	4.2	〃	内部端部わずかに屈曲。	高台接合部指圧。	0.5mm程度の砂粒を含む	暗茶褐色	〃	No.347
286	表土	土師器脚台	—	—	8.2	1／2	裾部内弯ぎみに外開。	内面人さし指の爪あたり痕。	良白色微砂	橙褐色	良	No.353
287	A区包	〃	—	—	8.8	4／5	底面端面がやや外反する。	底面が指圧の後なでる。	0.5mm程度の砂粒を含む	明赤褐色	良好	No.412
288	G2包	土師器S字甕	15.8	(2.6) —	—	1／4	口縁端部はやや外反する。	外面タテハケは太くて粗い。	0.5mm程度の砂粒を含む不良	乳茶褐色	〃	No.341
289	P3包	〃	16.0	(3.3) —	—	2／5	口縁部外面はするどく外反する。	口縁部及び胴部接合を指押えのあとなでる。けずりについては不明。	0.5mm程の砂粒含む	明黄褐色	〃	No.350
290	M5包	〃	16.6	—	—	1／4	口縁端面はやや外反する。	口縁部胴部接合部をハケによって調整する。	0.5mm程度の砂粒	明茶褐色	〃	No.344
291	包含層	須恵器杯	11.3	4.0		1／5	受口端面が屈曲し玉状になる。	受部端面をするどくなでる。	0.5mm程度の砂粒を含む	暗灰褐色	〃	No.359
292	M5包	〃	10.6	3.2		1／5	口縁端部が内傾する。	全体に丁寧になでる。	0.5mmの程度の砂粒	淡灰色	〃	No.363
293	E16包	〃	13.4	4.3		1／4	口縁端面がわずかに内傾する。	底面下部曲をヘラ削りを施す。	1mm程度の砂粒含む	灰褐色	〃	No.360
294	G7含	〃	10.0	3.0	—	1／5	受口端面が丸みを帯び立ち上がりも短い。	ロクロナデ。	0.5mmの砂粒をわずかに含む	明灰白色	〃	No.362

295	表土	須恵器杯	9.8	3.2		1／5	口縁部内傾。	ロクロナデ	良	明灰色	良鉄粉	No.409
296	J27包	〃	11.8	3.4	－	1／5	受部端面が明瞭な面を持つ。	内面が全体になでで、全体に丸みを帯びる。	0.5mm程度の砂粒少	暗灰青褐色	良好	No.339
297	包含層	須恵器蓋	－	－	4.6	1／4	全体に丸みを帯びる。	つまみ接合部を丁寧になでる。	0.5mm程度の砂粒を含む	暗灰色	〃	No.337
298	J4包	〃	13.6	4.1		〃	口縁端面がやや内弯する。	底部ヘラ切り後調整のナデ。	0.5mm程度の砂粒	明灰色	〃	No.340
299	R7	〃	11.0	2.8		〃	口縁端面がやや内傾する。	天井部けずる。	0.5mm程度の砂粒	明白色	〃	No.338
300	包含層	土師器杯	9.8	4.4		〃	口縁部がやや内弯する。	口縁端面を指圧した後なでる。	精良金雲母を含む	暗茶褐色	〃	No.348
301	P13包	須恵器台付壺	－	(4.4) －	14.4		方形の透かし穴を有し一部沈線を有す。		1mm程度の砂粒を含む	暗灰褐色	〃	No.361
302	表土	土師器杯	13.8	2.6	10.2		口縁部内面に沈線を持つ。	内面ケズリ＋ナデ。	〃	橙褐色	良（赤色粉）	No.418
303	P7包	〃		3.4	8.6	4／5	口縁部上強いナデ、底部指圧痕。	口縁部ヨコナデ	〃	〃	良	No.376
304	西拡張	〃	14.6	3.5	8.0		口縁部外反	底部。	良赤色土金雲母	橙褐色	〃	No.429
305	E11包	〃	12.4	3.4	6.8	1／3	体部は丸みを持つ。	粘土ひも、まき上げ痕口縁部ヨコナデ。	良	乳白色	〃	No.269
306	E6包	土師器杯C	12.6	3.9	5.0		粘土ヒモ巻き上げ痕。	口縁部ヨコナデ。	良金雲母微	〃	〃	No.379
307	I27包	土師器皿	16.4	2.7	9.4		口縁部内面に沈線を持つ。	口縁部ヨコナデ、底部乱ナデ、指圧痕。	良赤色土少	橙褐色	〃	No.270
308	E6包	土師器皿	18.8	2.3	14.0		口縁部外側、強いナデ、底部指圧痕多。	口縁部ヨコナデ、底部乱ナデ。	良金雲母赤色土等含	橙褐色	良	
309	P7包	土師器杯	15.8	3.4	7.4		器高が低い。	口縁部ヨコナデ、底部。	良	淡橙	良	
310	西拡張	〃	14.4	3.0	10.7		立ち上がりが丸い。	〃	良	橙褐色	良	No.430
311	E6包	土師器杯B	15.2	4.3	11.4	1／5	高台外に張り出す。	口縁部ヨコナデ、高台ハリツケ。	〃	〃	〃	No.377
312	西拡張	土師器杯	14.6	3.0	－	3／5	口縁部が斜めに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	〃	〃	〃	No.428
313	D28包	〃	13.4	2.8	9.6	1／6	口縁部先細る。	口縁部ヨコナデ、底部乱ナデ。	良金雲母	〃	〃	No.273
314	M5包	土師器製塩土器	18.0	5.5	16.4	1／10	口縁部上方に直線的に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。	粗	〃	〃	No.371
315	包含層	土師器甑	24.5	－	－	1／6	口縁部直線的に立ち上がり先細る。	口縁部ヨコナデ、側部外面ハケ目内面ケズリ。	良	乳白色	〃	No.260

316	E 6包	土師器甕	21.6	—	—	1／6	口縁部外反。	口縁部内外面ヨコナデ側部外面タテハケ。	良	橙褐色	良長石等焼成砂	No.268
317	表土	〃	27.0	—	—	1／4	〃	口縁部ヨコナデ、外面タテハケ内面ヨコハケ。	〃	淡褐色	良	No.268
318	〃	〃	27.0	—	—		口縁が上方につまみ出される。	口縁部ヨコナデ、体部外面タケハケ、内面ヨコハケ。	〃	淡褐色	〃	No.411
319	E 6包	〃	31.0	—	—	1／6	口縁部端面角ばる。	〃	〃	乳白色	〃	No.419
320	P 7包	須恵器杯B	—	—	8.0		腰部は斜めの上方に直線的に立ち上がる。	ロクロナデ、高台部ハリツケ。	良白色砂含	暗灰褐色	堅	
321	P 7包	須恵器長頸瓶	—	—	8.0	2／5	底部外張になる。	高台ハリツケ。	〃	〃	〃	No.382
322	E 6包	須恵器杯	—	—	—	1／4		宝珠つまみハリツケ、ロクロナデ。	良砂含	灰色	〃	No.378
323	西拡張	須恵器杯蓋	宝珠2.0	宝珠R1.2	—	宝珠完形	宝珠つまみソロバン状になる。	宝珠つまみハリツケ。	良	白灰色	良	No.267
324	E 7包	須恵器壺	28.4	—	—	1／8	口縁部直立。	口縁部にヨコナデ、ロクロナデ。	良砂	暗灰褐色	〃	No.368
325	表土	須恵器鉄鉢	28.4	—	—	1／4	口縁部上下に肥厚。	ロクロナデ。	〃	灰褐色	〃	No.281
326	包	須恵器甕	28.4			〃	〃	外面2段に波状文を施す。	〃	青灰色	〃	No.265
327	包	土師器甕	15.8			1／5	口縁部端部上下へつまみ出される。	口縁部ヨコナデ。	〃	茶褐色	〃	No.265
328	K42包	土師器	19.2			1／8		口縁部が折り返され上	〃	暗橙褐色	〃	No.367
329	表土	土師器鍋	21.0			1／5	口縁部上端面をもつ。	口縁部折り返し。	〃	淡褐色	〃	No.288
330	〃	土師器椀	21.0		7.7	1／2	高台外反。	底部糸切痕残る。	粗	暗茶褐色	軟	No.282
331	E 5包	ロクロ土師器皿	13.4	2.8	6.0	底部完形	底部。	底部糸切痕のこる、ロクロナデ。	良白色微砂	淡褐色	良	No.366
332	包	〃	8.4	1.8	3.5	1／4	底部平底。	ロクロナデ。	良	赤褐色	〃	No.369
333	表土	土師器皿	9.0	1.5	4.2		〃	下半外面指圧痕。	〃	淡褐色	〃	No.290
334	〃	〃	8.0	1.6	6.7		薄手、口縁部内弯。	口縁部ヨコナデ。	荒砂多含む	〃	〃	No.285
335	〃	土師器鍋	29.8				口縁端部、折り返され肥厚。	〃	良（均質）	淡乳褐色	〃	No.289
336	〃	山茶椀	17.4	5.6	8.8	1／3	口縁部外反。	内部コテアタリ、底部糸切痕残る。	良	灰白色	堅緻	No.283
337	K 4包	〃	17.0	5.5	7.4	1／6	器高が低い、口縁部が外反する。	糸切痕ナデ流、高台ハリツケ。	〃	灰色	良	No.365

338	表土	青磁椀	16.0	—	—	1／10	口縁部丸味を持つ。	鎬蓮弁。	良	釉灰緑色胎土灰白色	硬	No.364
339	西拡張	〃	—	—	6.0	底部完形	高台が低い。	ケズリ出し高台、内面にスタンプ文あり。	〃	灰色釉灰緑色	良	No.364
340	表土	常滑産陶器甕	—	—	—		頸部残存。	外面にスタンプ文あり。	〃	褐色	〃	No.285
341	E 7 包	〃	5.2	—	—			口縁部折り返し。	〃	暗褐色	〃	No.370
342	表土	常滑産陶器捏鉢	36.0	—	—	1／12	口縁端部がやや上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	〃	褐色	硬	No.417
345	A区包	石製紡錘車	最小径 1.9	1.6	4.4	完形	半截円錐形。	孔0.55cm。	材質滑石	灰緑色	〃	No.387
346	〃	瓦製紡錘車	良φ 7.0	A－ 1.8	—	完形	円形幅7.0cm、厚さ1.8cm。	格子叩き平瓦転用。	瓦質	灰色	〃	No.431
347	〃	土師器土馬	残存表 10.4	—	—		高さ10.1cm。	目→竹筒刺突、口→ヘラ描、丹塗。	良	淡塗橙褐色	良	No.427
348	C 3 包	磁器くらわんか椀	9.4	3.7	5.0	1／2	器壁が厚い、染付色藍色。	底部ケズリ出し、外面に梅花文。	〃	灰白色釉表	硬	No.243
349	〃	半陶半磁器椀	9.4	5.0	3.5	〃	陶胎（瀬戸美濃産か）明青色線入りあり。	梅花文あり。	並	黄褐色釉白色	軟	No.242
350	C 3 包	磁器くらわんか椀			5.6	1／4	腰部張る。	草花文あり。	良	灰白色	硬	No.254
351	C 3 包	磁器広東椀			6.2	1／2	薄手で高台が高い。	見込みに円形染付。	〃		〃	
352	C 3 包	磁器広東椀	12.5	6.5	6.2	〃	高台が高い。	山水画を染付で描かれる。	〃	灰白色釉淡乳白色	良	No.241
353	〃	磁器Ⅲ	13.0	7.0	4.0	1／4	高台断面形三日月状。	底部内面周縁をケズる内面に唐草文、見込みに梅花文、体部外面にもくずれた枝状の文様。	〃	灰白色釉青灰色	硬	No.244
354	包	磁器椀	6.5	5.6		1／3	口縁部直立。	外面菊花文。	〃	胎土灰色釉青色	〃	No.386
355	C 3 包	〃		—		1／5	〃	外面松文。	〃			
356		陶器鉄釉刷絵丸Ⅲ				〃	〃	外面菱文。	良		軟	
357	C 3 包	くらわんか椀	9.4	5.0	3.7	1／3	口縁部が味を持つ。	ケズリ出し、梅花文（染付）。	〃	胎白包	硬	No.380

358	西拡張	陶器 蓋	10.0	3.2		1／2	つまみあり。	ロクロ、つまみはりつけ、蓋部鉄釉がかかる。	良	淡黄褐色釉褐色	良	No.240
359	C５包	〃	7.4	1.0	6.2	〃	平らな蓋である。	外面自然釉、ロクロナデ。	〃	淡黄褐色白色釉	〃	No.238
360		陶器鉄釉刷絵丸皿				〃	口縁部外反	内面に鉄釉刷絵。	〃	灰白色	〃	
361	C３包	唐津条刷毛目椀	12.2	6.0	5.0	1／6	口縁部はゆるやかに立ち上がり、やや肥厚する。	刷毛により、白色釉を塗っている。	〃	黄褐色釉白色	〃	No.232
362	〃	陶器 猪口	6.0	4.4	4.4	1／2	体部が直立し円筒状。	底部外面ケズリ、体部外面ケズリ。	〃	黄灰色釉浅灰緑色	〃	No.246
363	C５包	磁器 仏具	5.6	3.8	4.0	完形	底部が横にひろく。	脚部中空。	〃	淡黄灰色釉灰緑色	〃	No.235
364	〃	陶器 皿	10.8	2.2	6.8	1／3		底部高台ケズリ出し、底部外面に重ね焼き痕があり。	〃	黄褐色釉乳白色	〃	No.248
365	〃	陶器 灯明皿	10.0	2.2	4.8	1／2	桟付き。	底部ケズリ、鉄釉かかる、体部外面ケズリ。	〃	灰色釉暗褐色	〃	No.245
366	〃	陶器 皿	8.4	1.5	5.0	1／3		鉄釉かかる ハリツケ高台		灰色釉暗褐色		
367	C５包	花瓶		7.4		1／2	肩部が丸い、頸部が斜め上方に急に立ち上がる。	内面上半にも釉がかかる、肩部にハリツケの装飾。	良	灰白色下半鉄釉上半灰緑色	良	No.355
368	〃	急須	8.2	9.6	9.1	〃	注口を持つ。	内外面にも施釉、外面に鉄釉を竹で描く。	〃	灰色釉灰緑色	〃	No.236
369	包	土師器 鍋	33.4	8.0		1／4	体部が肩平である。	口縁部ヨコナデ、体部下半外面ヘラケズリ。	〃	橙褐色	〃	No.355
370	C３包	陶器 捏鉢	35.0	－	－	1／5	口縁部が肥厚する。	外面ハケ状工具によるケズリ内面使用痕あり。	〃	暗赤褐色	〃	No.251
371	〃	陶器 擂鉢	20.1	－	－	1／8	口縁部が帯状になる。	櫛目、６本／1.2cm。	〃	〃	〃	No.351
372	〃	〃	32.8	13.3	15.0	1／4	口縁部が拡張される。	櫛目18本／4.2cm。	〃	胎黄褐色	やや軟	No.257
373	〃	〃	36.0	14.8	17.5	1／5	口縁部が屈曲した後端部が丸くなる。	櫛目14本／3.5cm （28単位）。	〃	黄褐色釉	良	No.255
374	西拡張	陶器 建水	30.2	19.0	21.2	〃	口縁部が垂直に内側に引き出る。	ロクロナデ鉄釉。	〃	黄褐色釉茶色	〃	No.250

375	C５包	擂鉢	17.0	8.1	15.0	1／4	口縁部が外側に引き出される。	ロクロナデ、擂目。	良	黄褐色釉黄白色	良	No.247
376	西拡張	瓦器鍋	24.0			1／8	口縁部が屈曲したあと直立する。	口縁部ヨコナデ。	〃	暗灰色	〃	No.231
377	C３包	陶器壺	14.0			1／4	口縁部が直立する上端。	ロクロ成形、自然釉かかり。	〃	〃	〃	No.252
378	〃	陶器建水	39.0			1／6	口縁部が内側に引き出される。	体部外面にヘラ描。	〃	暗赤褐色	〃	No.249

（増田安生）

付表31　赤城遺跡　遺物観察表

遺物番号 図版番号	出土遺構 位　置	器種 器形	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	遺存度	形態の特徴	技法の特徴	胎土	色調	焼成	備考
1	SD1	皿	17.2	2.0	－	1／16	底部がやや厚く口縁部の立ち上がりは短い。	口縁部ヨコナデ。	良	橙濁色	良	
2	SD1	甑	28.2	－	－	1／15	口縁部は面を持つ。	口縁部ヨコナデ体部外面タチハケ。 体部内面ヨコハケ。	良 砂多し	淡褐色	良	
3 PL8-2	SB4	杯	13.4	2.4		1／8	やや薄手で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	
4	SB4	杯	15.8	2.6	－	1／2	口縁部はゆるやかに立ち上がる。	底部指圧痕残る。 口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	
5 PL8-2	SB4	甕	18.4	－	－	1／2	体部が扁平である。口縁部は上方に引き上げられる。	口縁部ヨコナデ。体部外面タケハケ。 体部内面ヨケハケ。	良	濁橙褐色	良	
6	SB4	製塩土器	17.0	5.0	16.0	1／20	やや薄手で、口縁部に面を持つ。	口縁部ヨコナデ。	良 赤色土を含む	淡橙褐色	良	
7	SB3	甕	20.6	－	－	1／20	口縁部が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良 赤色土含	淡橙褐色	良	
8	SB5	杯	13.2	2.7	－	1／7	口縁部が厚手で先端が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。底部外面指圧痕跡あり。粘土ひも巻き上げ痕あり。	並	濁褐色	並	
9 PL8-2	SB5	甕	29.0	－	－	1／8	器高がやや深く。口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	淡橙褐色	良	
10	P5	杯	14.0	3.0	－	1／4	薄手で、口縁が上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	赤褐色	良	
11	P7	土師器 杯	13.0	2.9		1／12	口縁部が外反し先細る。	口縁部ヨコナデ。体部外面に指圧痕残る。	良	橙褐色	良	
12	P7	土師器 皿	14.6	2.3	－	1／16	やや薄手で口縁部が斜め上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	濁褐色	やや軟	
13	P9	土師器 甕	15.6	－	－	1／12	口縁部が斜め上方に引き出され先細る。	口縁部ヨコナデ。	良	淡橙褐色	良	
14	P6	土師器 高　杯	27.0	－	－	1／17	杯部はゆるやかに立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。杯部外面ハケ調整。	良	淡赤褐色	良	

15	P6	土師器 甕	30.2	−	−	1／4	口縁部は、頸部からくの字状に立ち上がる。	口縁部ヨコナデ。体部内面ヨコ方向ハケ調整。外面タテ方向ハケ調整。	良	淡橙褐色	良	
16	包含層	土師器 杯	15.6	2.8	−	1／15	口縁部先端が内側に引き上げられる。	口縁部ヨコナデ。底部外面乱ナデ。	良	橙褐色	良	
17	包含層	土師器 杯	15.0	2.2	−	1／16	口縁部が斜め上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	
18	包含層	土師器 杯	13.0	2.3	−	1／16	口縁部が斜め上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	淡褐色	良	
19 PL8-2	包含層	土師器 杯	15.2	−	−	1／8	やや薄手で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	
20 PL8-2	包含層	土師器 皿	13.0	1.8	−	1／5	口縁部が横方向に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良	橙褐色	良	
21	包含層	土師器 椀	−	−	7.8	1／12	高台部断面形は三角形	ハリツケ高台。	良	赤褐色	良	
22	包含層	土師器 皿	16.0	2.2	−	1／16	口縁部端に面を持つ。	口縁部ヨコナデ。底部外面乱ナデ。	良	橙褐色	良	
23	包含層	土師器 小　皿	11.2	1.9	−	1／3	底部からの立ち上がりが丸味を持つ。	口縁部ヨコナデ。 底部内外面ハケ調整。	良	淡褐色	良	
24 PL8-2	包含層	土師器 甕	21.4	−	−	1／12	口縁部端がやや上方に引き出される。	口縁部ヨコナデ。	良		良	
25	包含層	土師器 甕	14.4	−	−	1／15	体部球形。口縁部が外反する。	口縁部ヨコナデ。体部外面ハケ調整。	良	淡赤褐色	良	
26 PL8-2	包含層 ロクロ	土師器 皿	9.0	2.1	4.4	1／2	平底。底部器壁厚し。	底部糸切痕残る。ロクロ回転時計廻り。	良・石英長石、鉄粉	淡橙褐色	良	
27	包含層 ロクロ	土師器 皿	9.0	2.1	3.6	1／3	平底。底部器壁薄し。	底部糸切痕残る。口縁部外反	良	淡褐色	良	
28	包含層	製塩土器	15.0	−	−	1／20	器壁がやや薄い。	口縁部ヨコナデ。	良 砂粒多しチャート	濃橙褐色	良	
29	包含層	製塩土器	19.0			1／20	器壁がやや厚い。	口縁部ヨコナデ。	良	濃赤褐色	良	
30	包含層	製塩土器			17.4	1／16	底部平底	外面に指圧痕残る。	並	橙褐色	良	
31	包含層	須恵器 杯　B	13.6	−	−	1／7	口縁部が外反する。	口縁部ロクロナデ。	良	淡灰色	良	
32	包含層	須恵器 器　台	−	−	16.3	1／8	脚部接地面が角ばる。	ロクロナデ。	良	明灰色	良	
33	包含層	須恵器 甕	−	−	12.2	1／4	底部平底	体部外面タタキ。	良	青灰色	良	
34	包含層	須恵器 長頸壺	−	−	13.0	1／5	高台部が外にふんばる。	ハリツケ高台。底部外面ヘラケズリ。	良	灰色	良	
35	包含層	緑釉陶器 椀	−	−	−	底部 完形	台部ケズリ出し。	平底。	良	灰白色 釉淡黄緑色	並	
36	包含層	灰釉陶器 皿	−	−	9.0	1／4	高台部断面形は四角形	ハリツケ高台。糸切痕ナデ消し。	良	灰白色 釉灰緑色	良	
37	包含層	山茶椀	16.0	−	−	1／12	口縁部がやや外反する。口縁部に輪花ありツケガケ	ロクロナデ。	良	明灰色	良	

38	包含層	山茶椀	16.0	—	—	1／18	口縁部が外反する。	ロクロナデ。	良	灰白色	良	
39	包含層	山茶椀	15.0	—	—	1／20	口縁部がやや外反。	ロクロナデ。	良	灰色	良	
40	包含層	山茶椀	—	—	7.0	底部完形	高台部が外反する。	ハリツケ高台、底部外反に糸切痕	良	明灰色	良	
41	包含層	山茶椀	17.0	—	—	1／16	口縁部が外反し先細る。	ロクロナデ。	良	明灰色	良	
42 PL8-2	包含層	山　皿	9.5	3.0	4.2	1／3	口縁部が外反。高台断面形、三角形	ハリツケ高台、底部外面糸切痕残る。	良	明灰色	良	
43 PL8-2	包含層	砥　石	残存長 7.8	最大幅 2.7	厚さ 1.1	ほぼ完形	断面長方形	使用痕あり。	材質泥岩	黒灰色	軟	

付表32　中戸遺跡縄文土器観察表

土器番号	挿図	図版	地　区	層位／遺構	時　期	器　種	色　調	胎土中の砂粒の種類	調　整	縄文原体	備　考
1	2	PL 9-4	I－9	SB1	後期初頭	有文深鉢	暗褐色（F） 黒褐色（B）	石英・長石・雲母	撫で	LR	
2	〃	〃	〃	〃	後期前葉	〃	褐色～暗褐色	〃	〃	—	
3	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黄褐色（F） 暗褐色（B）	〃	〃	—	
4	1・2	PL 9-9	〃	〃	〃	〃	暗褐色（F） にぶい褐色(B)	長石（多い） 石英・雲母	〃	—	
5	2	PL 9-4	〃	〃	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
6	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色（F） にぶい褐色(B)	〃	〃	—	
7	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色	〃	〃	—	
8	〃	〃	〃	〃	〃	条線地深鉢	〃	〃	〃	—	
9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗灰色（F） にぶい褐色(B)	〃	〃	—	
10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色	〃	〃	—	
11	〃	〃	〃	〃	〃	〃	灰褐色～ にぶい褐色	〃	〃	—	
12	〃	〃	〃	〃	〃	無文深鉢	暗褐色（F） 黒褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	—	
13	〃	〃	I－7	〃	〃	条線地深鉢	暗褐色（F） 黄褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	—	
14	〃	〃	I－9	〃	〃	〃	暗褐色（F） 褐色（B）	〃	〃	—	
15	〃	〃	J－9	〃	〃	〃	暗褐色	石英（多い） 長石・雲母	〃	—	
16	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色（F） 褐色（B）	〃	〃	—	
17	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黄褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
18	〃	〃	I－9	〃	〃	〃	暗褐色（F） 黄褐色（B）	〃	〃	—	
19	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色（F） 灰褐色（B）	〃	〃	—	

20	2	PL 9-4	I－9	SB16	後期前葉	条線地深鉢	にぶい褐色（F） 黄褐色（B）	石英・長石・雲母	撫で	—	平底
21	〃	〃	I－7	〃	〃	底部	黄褐色	〃	〃	—	平底
22	〃		I－9	〃	〃	〃	淡灰褐色	〃	〃	LR	
23	〃		I－7	〃	〃		褐色（F） 白褐色（B）	〃	〃	—	〃
24	3	PL 9-5		SK13	後期初頭	有文深鉢	暗褐色	石英（多い） 長石・雲母	撫で	RL	
25	〃	〃		〃	〃	〃	褐色（F） 暗褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	LR	
26	〃			〃	〃	深鉢	暗褐色（F） 黄褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	—	平底
27	〃			〃	〃	〃	淡赤褐色（F） 淡黄褐色（B）	〃	撫でか、劣化著しい	—	平底、 外面火熱で赤化
28	〃	PL 9-5	C－8	SK21	〃	有文深鉢	淡褐色（F） 赤褐色（B）	石英・長石・ 雲母多い、くさり礫	撫で	—	
29	〃	〃	E－8	〃	〃	〃	淡褐色	石英多い・長石 雲母	〃	—	沈線間条線
30	〃	〃	〃	〃	〃	有文浅鉢？	明淡褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
31	〃	〃	〃	〃	〃	有文深鉢	〃	〃	〃	—	29と同一個体
32	〃	〃	〃	〃	〃	無文深鉢	淡褐色	石英・長石 くさり礫	細密条痕（F） 撫で（B）	—	
33	〃	〃	D－2	SK7	〃	有文深鉢	〃	石英・長石・雲母	撫で	RL	34と同一個体
34	〃	〃	〃	〃	〃	〃	灰褐色	石英・長石・雲母	〃	〃	
35	〃	〃	〃	〃	〃	有文浅鉢	淡赤褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	—	
36	〃	〃	〃	〃	〃	有文深鉢	褐色	石英・長石・雲母	撫でか	LR	
37	〃	〃	〃	〃	後期前葉	〃	淡褐色	石英等多い	撫で	—	
38	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色	石英・長石 雲母（多い）	不明（F） 撫で（B）	—	
39	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡白褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
40	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石 くさり礫	撫で（F） 不明（B）	—	
41	1		〃〃	〃	後期初頭 ～前葉	無文深鉢	淡白褐色	石英多い・長石 雲母	削り（F） 撫で（B）	—	
42	3	PL 9-5	H－7	SK4	中期末葉 ～後期初頭	有文深鉢	暗褐色（F） 明褐色（B）	石英・長石・雲母	撫でか（B）	RL	
43	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	不明	〃	
44	〃	〃	〃	〃	〃	条線地深鉢	暗黒褐色（F） 褐色（F）	〃	撫で	—	
45	〃	PL 9-6	E－7	SK15	後期初頭	有文深鉢	淡白暗褐色	石英・長石・雲母	撫で	RL	
46	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗黄褐色	〃	〃	LR	
47	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡褐色	石英・雲母 くさり礫	〃	—	
48	〃	〃	〃	〃	後期初頭 ～前葉	〃	淡茶褐色	石英・長石・雲母	撫でか	—	

49	3	PL 9-6	E－7	SK15	後期前葉	有文深鉢	白茶褐色	石英・長石・雲母	撫で	—	
50	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黄褐色	石英・長石 雲母・くさり礫	〃	—	
51	〃	〃	〃	〃	後期初頭 ～前葉	〃	乳白色	〃	〃	RL	沈線内に赤色顔料
52	〃	〃	〃	〃	後期前葉	〃	白茶褐色	石英・長石・雲母	不明	—	
53	〃	〃	〃	〃	後期初頭 ～前葉	〃	淡白褐色	〃	撫で	RL	
54	〃	〃	〃	〃	〃	条線地深鉢	灰褐色（F） 白褐色（B）	〃	〃	—	
55	〃	PL 9-4		〃	〃	〃	暗褐色（F） 淡橙褐色（B）	〃	〃	—	
56	4		F－8	SK16	〃	有文深鉢	淡白褐色（F） 淡橙色（B）	〃	研磨（B）	RL	
57	〃	〃	〃	〃	後期前葉	〃	褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	撫で	—	
58	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗灰褐色 明淡褐色	〃	〃	—	
59	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗茶褐色	〃	〃	—	
60	〃	〃	〃	〃	〃	〃	褐色（F） 灰褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	—	
61	〃	〃	〃	〃	〃	〃	明褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	—	
62	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色（F） 明褐色（B）	石英・雲母 角閃石	〃	LR	
63	〃	〃	〃	〃	〃	〃	明淡褐色	石英・長石 くさり礫	〃	〃	
64	〃	〃	〃	〃	〃	〃	明赤褐色(F) にぶい褐色(B)	石英・長石	〃	—	
65	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色（F） 明褐色（B）	石英・長石 雲母・くさり礫	撫で（F） 不明（B）	—	
66	〃	〃	〃	〃	〃	〃	にぶい褐色	〃	不明 劣化著しい	—	
67	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色（F） 明褐色（B）	〃	撫で（F） 不明（B）	—	
68			〃	〃	〃		暗褐色	石英・長石 雲母・くさり礫	撫でか	—	
69	〃	〃	〃	〃	〃	〃	にぶい灰褐色	石英・長石・雲母	撫で	—	
70	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石 雲母・くさり礫	撫でか	—	
71	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	不明	—	
72	〃	〃		〃	〃	〃	赤褐色	〃	〃	—	
73	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	—	
74	〃	〃	〃	〃	〃	条線地深鉢	黒褐色（F） 暗黄褐色(B)	〃	撫で	—	
75	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色	〃	〃	—	
76	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	
77	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	石英・長石・雲母	〃	—	

78	1・4	PL 9-6	F－8	SK16	後期前葉	縄文地鉢	黒褐色	石英・長石・雲母	撫で(B)	RL	
79	4		〃	〃	〃	無文浅鉢	淡橙褐色	〃	研磨	—	
80	〃	PL 9-6	〃	〃	〃	深鉢	明淡褐色	石英・長石 とくに多い	撫で	—	平底
81	5		J－12	SK17	〃	無文深鉢	にぶい灰褐色 明褐色	石英・雲母 角閃石とくに多い	〃	—	外面、発掘時の傷
82	〃	PL 9-6	〃	〃	〃	有文深鉢	黄褐色（F） 明るい褐色(B)	長石・角閃石多い 石英・雲母	撫でか	LR	
83	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色（F） 淡灰褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	撫で	—	
84	〃	〃	〃	〃	〃	〃	にぶい褐色	石英・長石・雲母 角閃石・くさり礫	〃	—	
85	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡黄褐色（F） 灰褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	不明	—	
86	〃	〃	〃	〃	〃	条線地深鉢	黒褐色（F） にぶい褐色(B)	石英多い・長石 雲母・くさり礫	〃	—	
87	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡褐色	〃	撫で	—	
88	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	
89	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	—	87・88と同一個体
90	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	石英・長石 雲母・くさり礫	〃	—	
91	〃	PL 9-8	H－8	SK3	〃	有文深鉢	淡褐色	石英・長石 雲母・角閃石	不明	—	
92	〃	〃	〃	〃	〃	〃	明淡褐色	石英・長石 くさり礫	〃	—	
93	〃	〃	〃	〃	〃	〃	明褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	撫で	—	
94	〃	〃	〃	〃	〃	無文深鉢	淡褐色（F） 淡黒褐色（B）	石英・長石・雲母	巻貝(F) 撫で(B)	—	
95	〃	〃	〃	〃	〃	無文深鉢	暗褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石 雲母・くさり礫	撫で	—	
96	〃	〃	〃	〃	〃	深鉢	にぶい褐色(F) 明淡褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	—	平底
97	1		〃	〃	〃	条線地深鉢	にぶい赤褐色 明淡褐色	石英・長石 雲母・角閃石・くさり礫	撫でか(B)	—	
98	5	PL 9-8	E－8	SK6	〃	〃	暗褐色（F） 淡黄褐色（B）	石英・長石・雲母	撫で	—	補修孔
99	〃	〃	〃	〃	〃	〃	灰褐色	〃	〃	—	
100	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色（F） 淡黄褐色（B）	〃	〃	—	
101	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色	〃	撫で(F) 不明(B)	—	
102	〃	〃		〃	〃	〃	暗褐色（F） 灰色（B）	〃	撫で	—	
103	〃	〃	〃	〃	〃	深鉢	淡橙色 白黄褐色	〃	〃	—	平底
104	〃	〃	B－5	SK10	〃	条線地深鉢	暗褐色	〃	〃	—	
105	〃	〃	K－12	SX2	後期初頭	有文深鉢	暗黄褐色（F） 暗褐色(B)	〃	撫で(B)	LR	
106	〃	〃	〃	〃	後期前葉	〃	淡白褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	撫で	—	

107	5	PL 9-8	K－12	SX2	後期前葉	有文浅鉢？	淡茶褐色	石英多い・長石	不明（F） 研磨（B）	—	
108	〃	〃	〃	〃	〃	有文深鉢	淡橙灰色	石英・長石・雲母	研磨？	—	
109	〃	〃	〃	〃	後期初頭 ～前葉	有文鉢	暗褐色	〃	研磨	—	
110	〃	PL 9-8	K－9	SX1	後期初頭	〃	暗黄褐色（F） 黒褐色（B）	〃	〃	RL	
111	〃	〃	〃	〃	後期前葉	有文深鉢	淡灰褐色	石英・長石 角閃石	〃	—	
112	〃	〃	〃	〃	〃	〃	暗褐色（F） 明黄褐色（B）	石英・長石・雲母	撫で	—	
113	〃	〃	〃	〃	〃	条線地深鉢	暗黄褐色		〃	—	
114	5		K－9	SX1	後期初頭 ～前葉	条線地深鉢	暗黄褐色		〃	—	
115	6	PL 9-9	D－4	SD1	後期前葉	有文深鉢	暗褐色	〃	不明(F) 撫でか(B)	—	
116	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡褐色	〃	撫でか	—	
117	〃	〃	C・F －5～7	SD4 黒褐色土	後期初頭	〃	淡黄褐色	〃	不明	—	
118	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色	〃	〃	有無不明	
119	〃	〃	〃	〃	〃	有文鉢	淡褐色（F） 灰褐色（B）	〃	研磨	RL	
120	〃	〃	〃	〃	後期前葉	有文深鉢	黒褐色	〃	撫で	—	
121	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡白褐色	〃	〃	—	
122	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡褐色	〃	〃	—	
123	〃	〃	〃	〃	後期初頭 ～前葉	条線地深鉢	暗褐色	〃	撫で	—	
124	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	〃	〃	—	
125	〃	〃	〃	〃	〃	〃	淡褐色（F） 黒褐色（B）	〃	〃	—	
126	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黒褐色	〃	〃	—	
127	〃	〃	B－4	SD8	後期初頭	有文双耳壺	淡橙色	〃	不明	RL	
128	〃	〃	〃	〃	後期前葉	有文深鉢	明褐色	石英・長石 雲母・くさり礫	〃	—	
129	〃	〃	〃	〃	晩期末葉	突帯文深鉢	暗褐色（F） 淡黄褐色（B）	石英・長石・雲母	撫で	—	
130	1	PL 9-10	D－3	埋設土器	後期初頭	有文深鉢	暗黄褐色	〃	不明	—	
131	〃	PL 9-10	〃	〃	後期初頭 ～前葉	無文深鉢	にぶい褐色	石英・長石・雲母 角閃石・くさり礫	撫で	—	内面に煤付着
132	〃	PL 9-11	D－4	〃	〃	〃	〃	石英多い・長石 雲母・くさり礫	〃	—	外面に煤付着
133	7	PL 9-16	E－9	—	中期初頭	有文深鉢	淡白橙色	石英・長石 雲母・くさり礫	〃（B）	RL	
134	〃	PL 9-12	K－12・13	Ⅳ～Ⅴ層	中期後葉	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃（〃）	LR	
135	3		B－2	Ⅳ層	後期初頭	〃	淡黄褐色	〃	〃	〃	

136	3	〃	B－2	Ⅳ層	後期初頭	有文深鉢	灰褐色	石英・長石・雲母	撫で(B)	―	沈線間に条線
137	7	PL 9-10	―	―	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	撫で	RL	
138	〃	〃	D－5・6	―	〃	〃	〃	石英・長石 雲母・角閃石	〃	LR	
139	〃	〃	D－8	Ⅴ層	〃	〃	淡白褐色	石英・長石・雲母	〃	―	
140	〃	〃	D－7	Ⅳ層	〃	〃	赤褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	〃	LR	突起部分
141	〃	〃	―	―	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃	RL	
142	〃	〃	―	―	〃	〃	明赤褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	〃	〃	
143	〃	〃	南北畔	Ⅴ層	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃	〃	
144	〃	〃	D－4	―	〃	〃	灰褐色 ～暗褐色	〃	〃	LR	
145	〃	〃	I－7	―	〃	〃	灰褐色	〃	〃	―	
146	〃	〃	E－8・9	Ⅴ層下	〃	〃	にぶい黄褐色	〃	〃	LR	
147	〃	〃	―	―	〃	〃	灰褐色	〃	〃	〃	
148	〃	〃	D－7	Ⅳ層	〃	〃	暗褐色	石英・長石 雲母・角閃石	〃	〃	
149	〃	〃	南北畔	Ⅴ層	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	〃	
150	〃	〃	B－2	Ⅳ層	〃	〃	暗褐色	〃	〃	〃	
151	〃	〃	D－8	Ⅴ層	〃	〃	暗黄褐色	〃	〃	―	沈線間に条線
152	〃	〃	―	―	〃	〃	暗褐色	〃	不明（F） 撫で（B）	不明	
153	〃		B－2	Ⅳ層	〃	〃	黒褐色	〃	撫で	LR	
154	〃	PL 9-12	D－5	Ⅴ層	〃	〃	暗褐色	〃	〃	RL？	
155	〃	〃	南北畔	Ⅳ層	〃	〃	暗褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	LR	
156	〃		〃	Ⅴ層	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	〃	
157	〃		D－5・6	―	〃	〃	褐色（F） 暗褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	〃	
158	〃		F－1	―	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃	RL	
159	〃		E－8・9	Ⅴ層下	〃	〃	〃	石英・長石 雲母・角閃石・くさり礫	不明	RL？	
160	〃		D－5	Ⅴ層	〃	〃	灰褐色 黄褐色	石英・長石・雲母	撫で	RL	
161	〃		C－6	〃	〃	〃	暗褐色	〃	〃	LR	
162	〃		D－5	〃	〃	〃	淡橙褐色	〃	不明	〃	
163	〃		D－5・6	―	〃	〃	黄褐色	〃	撫で	〃	
164	〃		南北畔	Ⅴ層	〃	〃	黒褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	撫で（F） 剝落（B）	〃	

165	7		E－10	V層	後期初頭	有文深鉢	灰褐色	石英・長石・雲母	撫で	RL	
166	〃	PL 9-12	C・F －5～7	―	〃	〃	褐色（F） 暗褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	LR	
167	〃	〃	南北畔	V層	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母 角閃石・くされ礫	〃	RL	
168	〃	〃	F－5	―	〃	〃	〃	石英・長石・雲母	〃	LR	
169	〃		J・K －12・13	Ⅳ～V層	〃	〃	黒褐色（F） 明淡褐色（B）	石英・長石 雲母・くされ礫	〃	RL	
170	〃	PL 9-12	南北畔	V層	〃	〃	淡褐色	石英・長石 雲母・角閃石	〃	LR	
171	〃		E－1	〃	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃	〃	
172	〃	PL 9-12	D－7 南北畔	Ⅳ層, V層	〃	〃	〃	石英・長石 雲母・角閃石	〃	〃	
173	〃	〃	E－10	V層	〃	〃	淡灰褐色	石英・長石・雲母	不明	不明	
174	〃		南北畔	〃	〃	〃	暗褐色	〃	撫で	RL	
175	〃	PL 9-13	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	LR	
176	8		D－8	〃	〃	〃	〃	〃	〃	RL	
177	〃	〃	南北畔	〃	〃	〃	淡茶褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	〃	〃	
178	〃	〃	D－8	〃	〃	〃	淡黒褐色	石英・長石・雲母	〃	〃	
179	〃	〃	A－2・3	Ⅲ層	〃	有文壺？	淡褐色	石英・長石 雲母・角閃石	研磨	LR	
180	〃	〃	―	―	〃	〃	赤褐色	〃	不明	RL	
181	〃	〃	D－7	Ⅳ層	〃	有文双耳壺	灰褐色	石英・長石・雲母	撫で	―	
182	〃	〃	D－4	〃	〃	〃	暗褐色（F） 灰褐色（B）	〃	〃	RL	
183	〃	〃	E－10	V層	〃	有文深鉢	灰褐色	石英・長石・雲母	撫でか	―	
184	〃	〃	K－12	〃	〃	〃	黒褐色	〃	研磨	LR	
185	〃	〃	I－13	―	〃	有文鉢	淡灰褐色	〃	〃	RL	
186	〃	〃	G－11	V層	〃	有文深鉢	淡褐色	石英・長石 雲母・角閃石	撫で	―	
187	〃	〃	―	―	〃	〃	黄褐色	石英・長石・雲母	研磨	LR	
188	〃	〃	南北畔	Ⅳ層	〃	有文鉢	黒褐色（F） 暗黄灰色（B）	〃	〃	―	
189	〃	〃	D－7	〃	〃	有文深鉢	黄褐色	〃	撫で	―	
190	〃	〃	E－10	V層	〃	〃	灰褐色	〃	〃	―	
191	〃	〃	E－8	V層下	〃	〃	暗茶褐色	〃	撫でか	―	
192	〃	〃	F－6	―	後期前葉	〃	暗黄褐色	〃	不明	―	
193	〃	PL 9-16	D－5	V層	〃	〃	黒褐色	〃	撫で	―	

194	8	PL 9-16	D－5～6	―	後期前葉	有文深鉢	暗褐色	石英・長石・雲母	撫で	―	
195	〃	〃	F－4	―	〃	〃	淡橙色（F） 暗茶褐色（B）	石英・長石 雲母・くさり礫	撫で（F） 研磨（B）	―	
196	〃	〃	D－7	Ⅳ層	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	撫で	―	
197	〃	〃	J・K －12・13	Ⅳ～Ⅴ層	〃	〃	暗灰褐色（F） 淡褐色（B）	〃	〃	―	
198	〃	〃	E－8・9	Ⅴ層下	〃	〃	にぶい褐色	石英・長石 雲母・角閃石	〃	―	
199	〃	〃	D－5	Ⅴ層	〃	〃	暗褐色（F） 褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	―	
200	〃	PL 9-13	E－8・9	Ⅴ層下	〃	〃	淡褐色	〃	〃	―	
201	〃	PL 9-16	C－8	―	〃	〃	暗褐色	〃	研磨	―	
202	〃	〃	D－5	Ⅴ層	〃	〃	褐色	〃	撫で	―	
203	〃	PL 9-13	I－10	〃	〃	〃	灰褐色	〃	〃	―	
204	9	〃	―	―	〃	〃	淡白橙色	〃	研磨？（F） 不明（B）	―	
205	〃	〃	J・K －12・13	Ⅳ～Ⅴ層	〃	〃	淡褐色	長石・石英 雲母・くさり礫	撫で	―	
206	9	PL 9-13	D－5	Ⅴ層	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	撫で	―	
207	〃	PL 9-16	D－7	Ⅳ層	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	〃	〃	―	
208	〃	PL 9-13	南北畔	Ⅴ層	後期初頭	有文鉢	暗褐色	〃	研磨	RL	
209	〃	〃	B－2	Ⅳ層	〃	有文深鉢	灰褐色	〃	撫で（F） 研磨（B）	〃	
210	〃	〃	D－8	Ⅴ層	後期前葉	〃	暗褐色（F） 黒褐色（B）	〃	不明	―	
211	〃		E－8・9	Ⅴ層下	〃	〃	黒褐色	長石・石英 雲母・くされ礫	〃	―	
212	〃	PL 9-13	C－6	Ⅴ層	〃	〃	淡茶褐色	石英・長石・雲母	撫で	―	
213	〃	〃	F－4	Ⅴ層下	〃	〃	暗褐色	〃	〃	―	
214	〃	〃	E－10	Ⅴ層	〃	〃	〃	〃	〃	―	
215	〃	〃	E－8	Ⅴ層下	〃	〃	淡赤褐色	〃	〃	―	
216	〃	PL 9-14	南北畔	―	〃	〃	淡白褐色	〃	不明	―	
217	〃	〃	―	―	〃	〃	橙灰色	〃	撫でか	―	
218	〃	〃	F－9	Ⅴ層下	〃	〃	黒褐色	長石・石英 雲母・角閃石	〃	―	同一個体か
219	〃	PL 9-14	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	―	218と 同一個体か
220	〃	〃	E－8・9	〃	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石・雲母	撫で	―	
221	〃		I－7	―	〃	〃	灰褐色（F） 黄褐色（B）	〃	〃	―	
222	〃		―	―	〃	〃	褐色	〃	不明	―	

223	9	PL 9-14	F－9	V層下	後期前葉	有文深鉢	黒褐色	長石・石英・雲母 角閃石・くされ礫	撫で	—	
224	〃		D－5	V層	〃	〃	淡褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
225	〃		I－7	—	〃	〃	〃	〃	〃	—	
226	〃		〃	—	〃	〃	黒褐色（F） 褐色（B）	〃	〃	—	
227	〃		—	—	〃	〃	暗褐色	〃	〃	—	
228	〃		K－12	V層	〃	〃	淡褐色	〃	〃	—	
229	9	PL 9-14	南北畔	—	〃	〃	暗灰色（F） 黄褐色（B）	石英・長石・雲母	撫で	—	
230	〃		A－2・3	Ⅲ層	〃	〃	灰褐色（F） 黄褐色（B）	〃	〃	—	
231	〃		G－11	V層	〃	〃	暗褐色（F） 褐色（B）	〃	〃	—	
232	〃		I－12	〃	〃	〃	暗褐色	〃	〃	—	
233	〃		D－6	〃	〃	〃	淡褐色	〃	条痕	—	
234	〃		D－7	Ⅳ層	〃	〃	褐色	〃	不明（F） 撫で（B）	—	
235	〃		F－7	—	〃	〃	淡橙色（F） 灰黄色（B）	〃	〃	—	
236	〃		D－5	V層	〃	〃	淡橙色	石英・長石 雲母・くされ礫	撫で	—	
237	〃	PL 9-14	I－7	—	〃	条線地深鉢	暗褐色（F） 灰褐色（B）	石英・長石・雲母	〃	—	
238	〃	〃	J・K －12・13	Ⅳ～V層	〃	〃	黒褐色（F） 淡白褐色（B）	〃	撫で（F） 研磨（B）	—	
239	〃	〃	E－8・9	V層下	〃	〃	暗褐色	石英・長石 雲母・角閃石	撫で	—	
240	〃	〃	B－2	Ⅳ層	〃	〃	暗褐色（F） 灰褐色（B）	〃	〃	—	
241	〃	〃	C－4	—	〃	〃	褐色（F） 黒褐色（B）	〃	〃	—	
242	〃	〃	C－6	V層	〃	〃	褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
243	10		J・K －12・13	Ⅳ～V層	〃	〃	淡褐色	〃	〃	—	
244	〃	〃	G－11	V層	〃	〃	灰褐色	〃	〃	—	
245	〃	〃	—	—		〃	暗茶褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	〃	—	
246	〃	〃	I－9	V層下	〃	〃	暗黄褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
247	〃		I－12	V層	〃	〃	淡橙色	〃	〃	—	
248	〃		E－8・9	V層下	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	—	
249	〃	PL 9-14	E－10	V層	〃	〃	暗黄褐色(F) 灰褐色（B）	石英・長石・雲母	不明	—	
250	〃	〃	F－3・4	—	〃	〃	灰褐色	〃	〃	—	
251	〃		D－5	V層	〃	〃	褐色	〃	撫で	—	

252	10	PL 9-14	G－11	V層	後期前葉	条線地深鉢	灰褐色	石英・長石・雲母	撫で	—	
253	〃		I－3～9	—	〃	〃	暗茶褐色	〃	〃	—	
254	〃		E－8	V層下	後期初頭～前葉	〃	淡褐色（F） 黒褐色（B）	石英・長石 雲母・くされ礫	〃	—	
255	〃		I－12	V層	〃	〃	淡褐色	石英・長石 雲母・角閃石	〃	—	
256	〃	PL 9-14	G－11	〃	〃	〃	黒褐色（F） 暗褐色（B）	〃	〃	—	
257	〃		E－10	〃	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
258	〃		I－7	—	〃	〃	暗褐色（F） 黄褐色（B）	〃	〃	—	
259	〃		D－5・6	—	〃	〃	黒褐色（F） 褐色（B）	〃	〃	—	
260	〃		南北畔	V層	〃	〃	暗褐色(F) 明褐色(B)	〃	削り(F) 不明(B)	—	
261	〃	PL 9-14	E－8・9	V層下	〃	〃	淡褐色	〃	撫で	—	
262	〃	〃	D－5・6	—	〃	〃	暗褐色（F） 淡褐色（B）	〃	〃	—	
263	〃	〃	F－2	—	〃	〃	暗褐色	〃	〃	—	
264	〃	〃	E－8	V層下	〃	〃	〃	〃	〃	—	
265	〃	PL 9-15	F－9	〃	〃	〃	黒褐色（F） 褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	不明	—	
266	〃		I－7	—	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	撫で	—	
267	〃	PL 9-15	〃	—	〃	〃	〃	〃	〃	—	266と 同一個体
268	〃		〃	—	〃	〃	褐色（F） 灰褐色（B）	石英・長石 雲母・角閃石	〃	—	
269	〃	PL 9-15	E－8・9	V層下	〃	〃	黒褐色（F） 淡褐色（B）	〃	〃	—	
270	〃	〃	南北畔	V層	〃	〃	暗褐色	石英・長石・雲母	〃	—	
271	〃	〃	〃	〃	〃	〃	黄褐色	〃	〃	—	
272	〃		I－3～9	—	〃	〃	灰褐色（F） 黄褐色（B）	〃	〃	—	
273	〃		D－8	V層	〃	〃	暗褐色（F） 淡白褐色（B）	石英・長石 雲母・くされ礫	〃	—	
274	〃	PL 9-15	B－2	IV層	〃	無文深鉢	暗褐色	石英・長石 雲母・角閃石	条痕(F) 撫で(B)	—	
275	〃	〃	—	—	〃	〃	〃	石英・長石・雲母	〃	—	
276	〃	〃	D－5・6	—	〃	〃	灰褐色	〃	条痕	—	
277	〃	〃	E－10	V層	〃	〃	淡白褐色	〃	巻貝条痕	—	
278	〃		C・F －5～7	—	〃	〃	暗灰褐色	〃	撫で	—	
279	11	PL 9-15	—	—	〃	〃	暗褐色（F） 淡赤褐色（B）	石英・長石 雲母・くされ礫	丁寧な 撫で	—	
280	〃		C－6	V層	〃	〃	暗灰褐色	石英・長石・雲母	細密条痕(F) 撫で（B）	—	

281	11		D－5・6	——	後期初頭 ～前葉	無文深鉢	暗灰色	石英・長石・雲母	細密条痕(F) 撫で（B）	——	
282	〃	PL 9-15	E－10	V層	〃	〃	淡褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	二枚貝？ 条痕（F）	——	
283	〃		D－5	〃	〃	〃	灰褐色（F） 白黄色（B）	石英・長石・雲母	削り（F） 撫で（B）	——	
284	〃		C・F －5～7	——	〃	〃	灰褐色	〃	二枚貝？ 条痕	——	
285	〃	PL 9-15	——	——	〃	〃	〃	〃	〃	——	
286	〃	〃	C－6	V層	〃	〃	〃	〃	巻貝条痕	——	
287	〃		J・K －12・13	Ⅳ～V層	〃	〃	褐色（F） 淡橙色（B）	〃	巻条(F) 撫で(B)	——	外面、 炭化物付着
288	〃		C－6	V層	〃	〃	淡褐色	〃	条痕	——	
289	〃		E－8	V層下	〃	〃	暗褐色	〃	撫で	——	
290	〃	PL 9-15	E－8	Ⅳ層	晩期末葉	有文深鉢	淡灰褐色	〃	〃	——	
291	〃		H－1～5	——	後期初頭 ～前葉	深鉢	明淡褐色	〃	〃	——	底部
292	〃		J・K －12・13	Ⅳ～V層	〃	〃	淡白橙色		〃	——	底部
293	〃		I－12	V層	〃	〃	淡明褐色（F） 淡褐色（B）	石英・長石・雲母	不明	——	底部
294	〃		J・K －12・13	Ⅳ～V層	〃	〃	暗褐色	石英・長石 雲母・くされ礫	撫で	——	底部
295	〃		I－12	V層	〃	浅鉢	白黄褐色（F） 黒褐色（B）	石英・長石・雲母	不明	——	底部 内面煤付着

凡例　①　胎土中の砂粒の種類は肉眼で識別されたものを示す。　（千葉　豊）

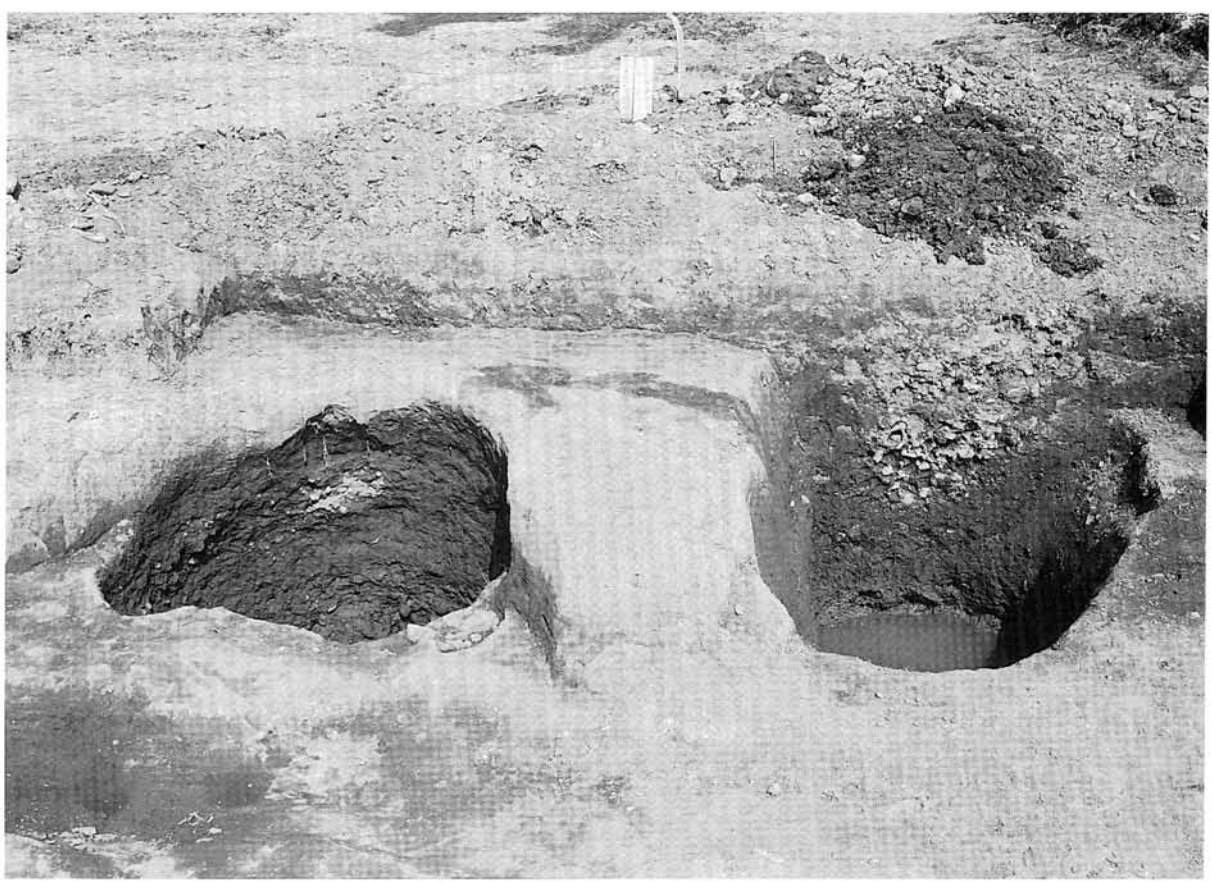
②　色調・調整のFは外面、Bは内面をさす。

表示のないものは内外同一である。

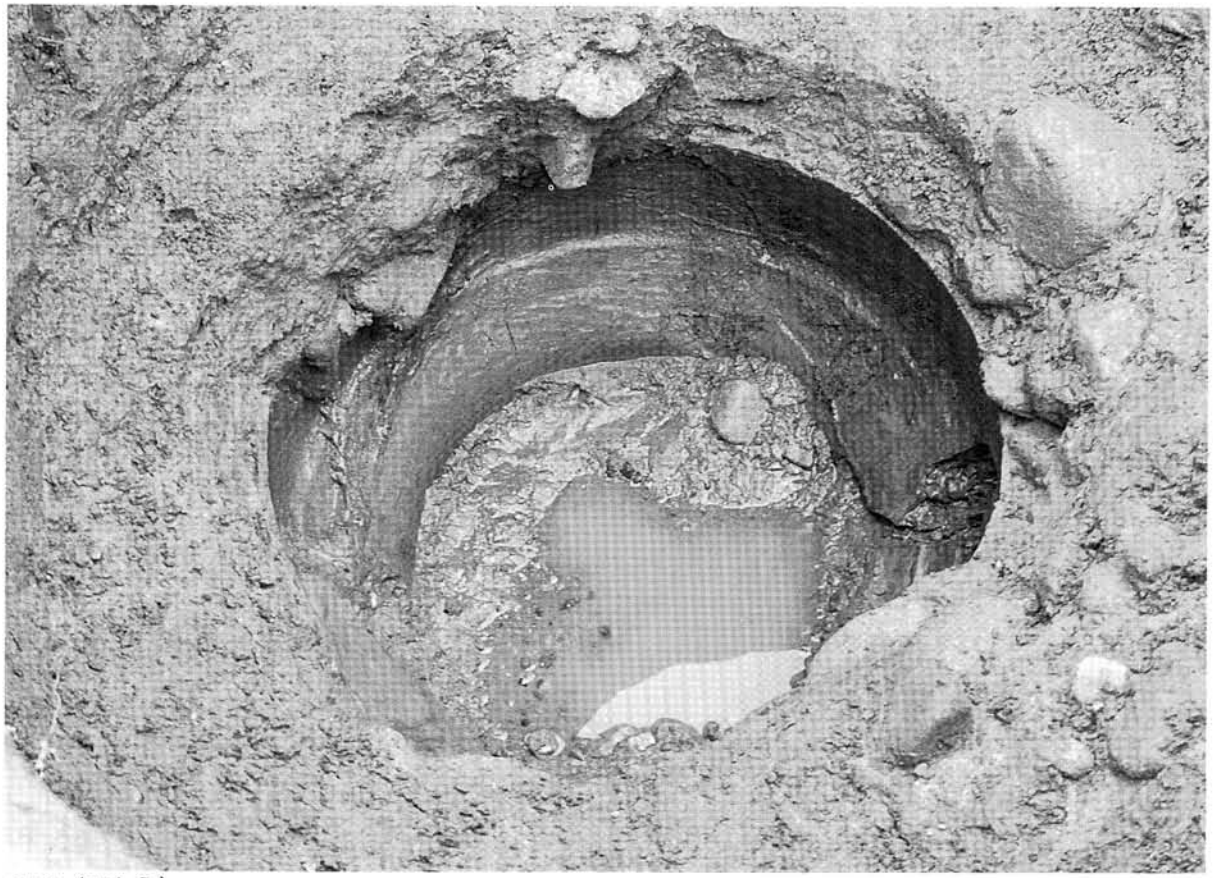
③　調整の巻条は巻貝条痕の略。

図　　版

A地区全景（北から）

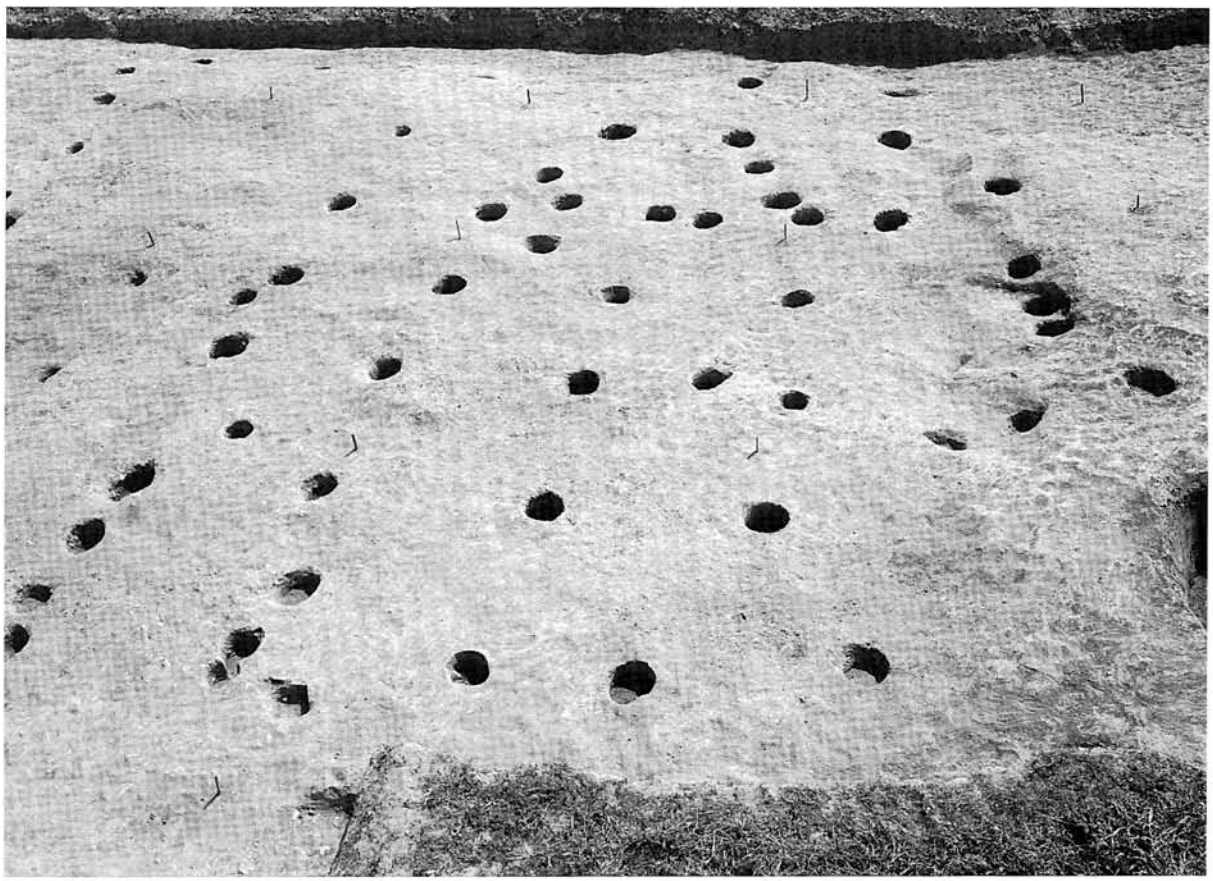


SE 3 ・ 4（西から）



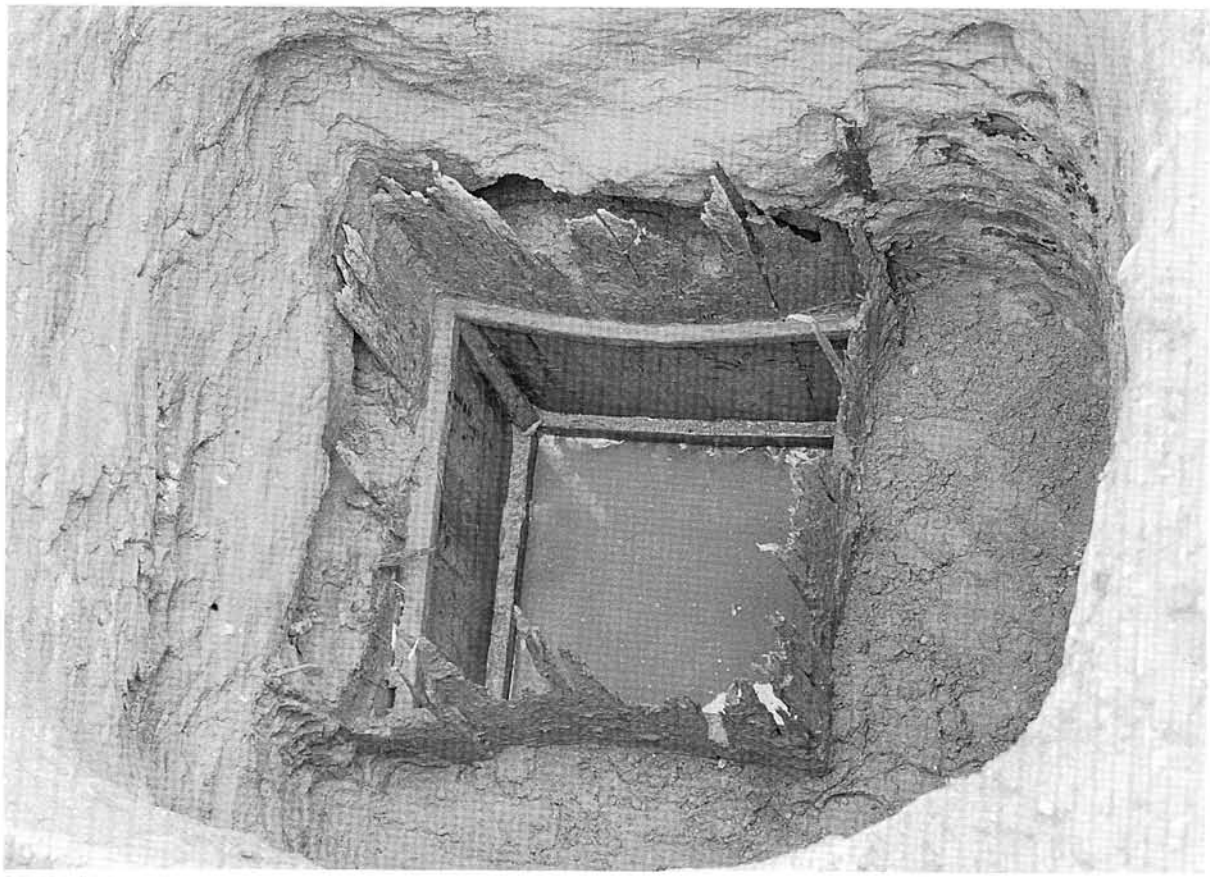
SE 3（西から）

B地区全景（北東から）



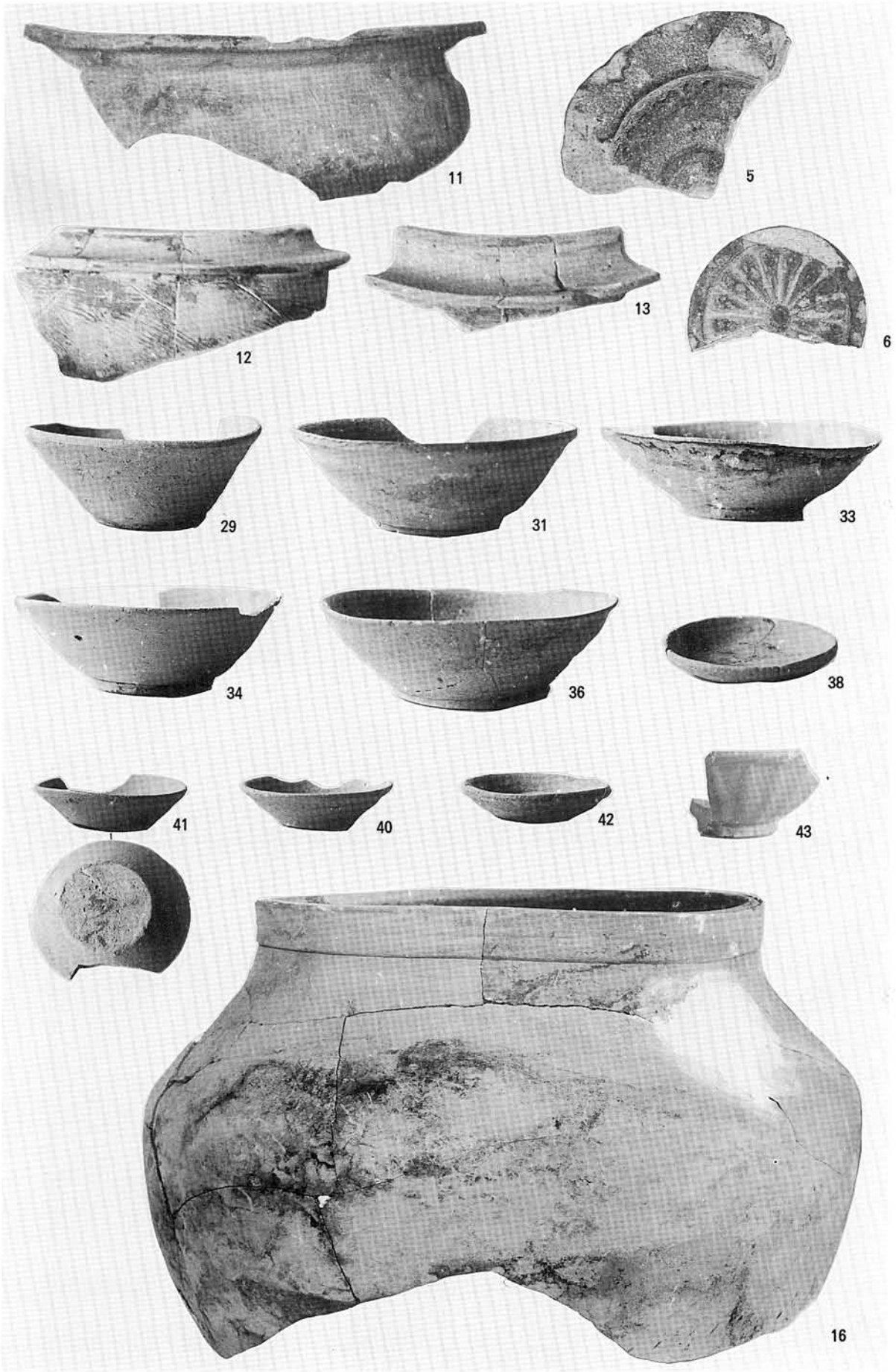
SB14・15（北東から）

SB16・17・18・20（北から）

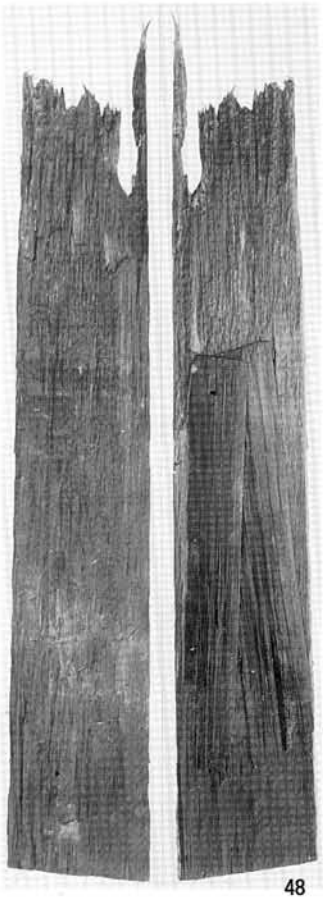


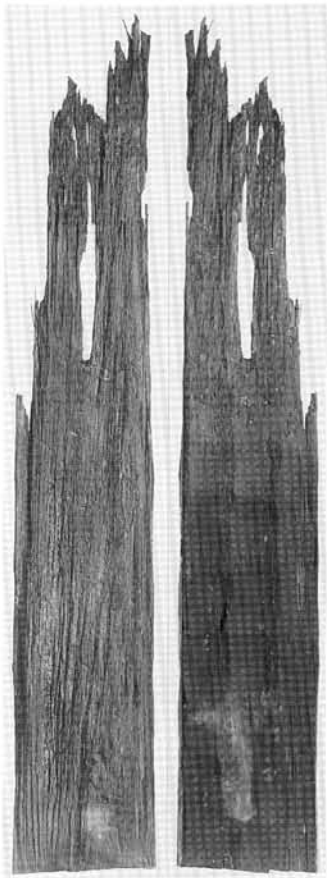
SE22（西から）

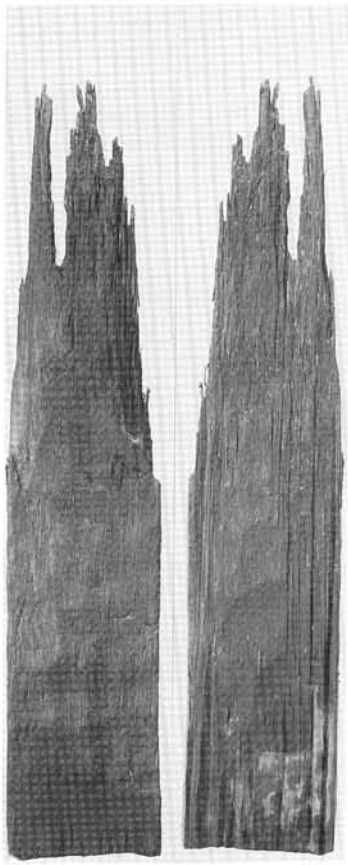
C地区全景（東から）

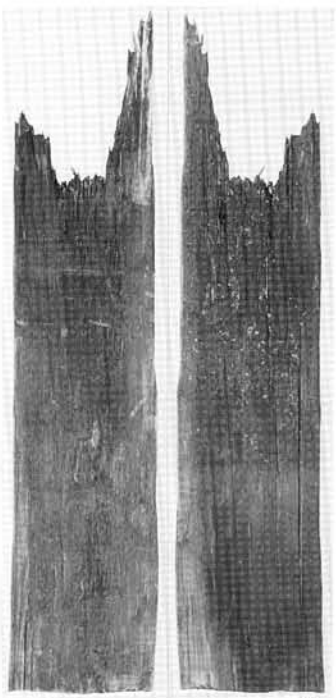


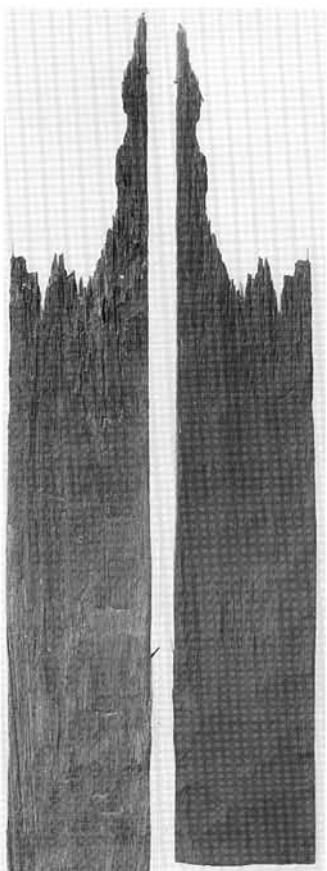
遺物（1：3）

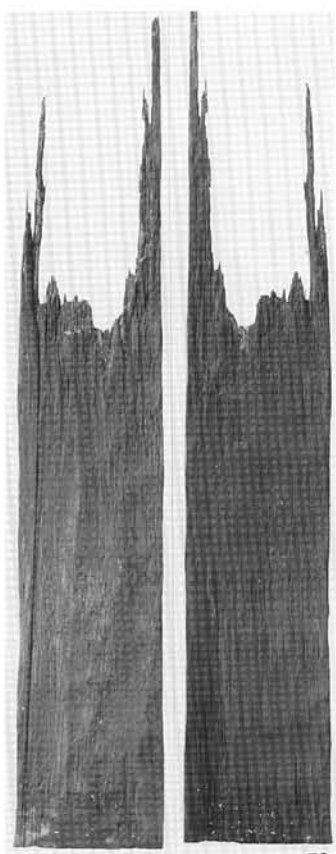

48


49

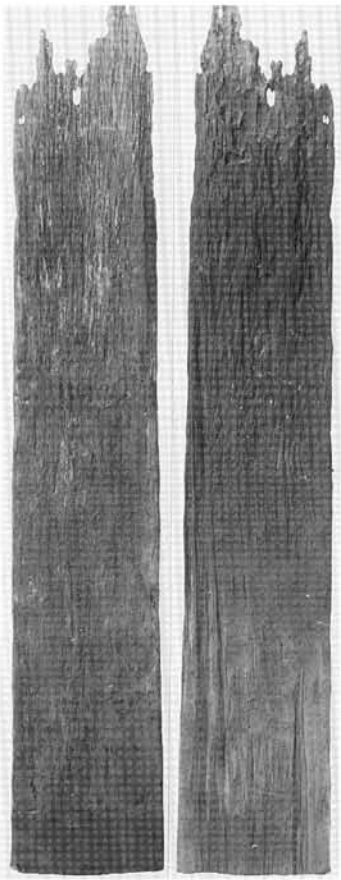

50


51

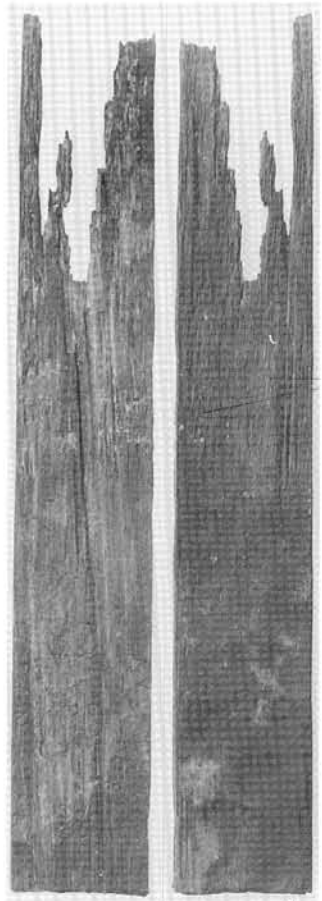

52


53

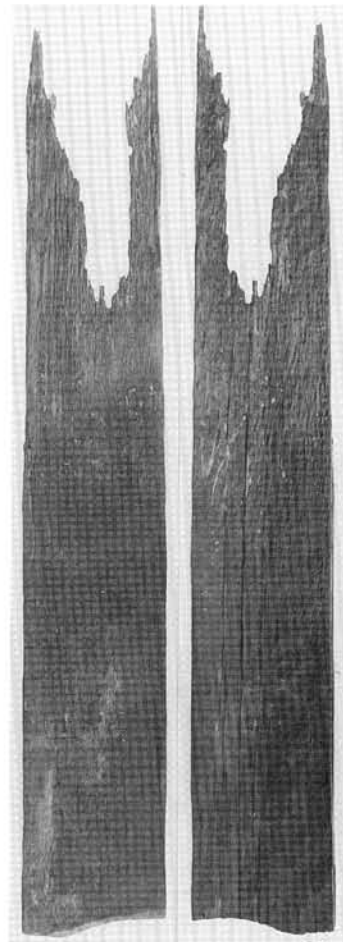
SE22井戸縦板（１）（１：８）



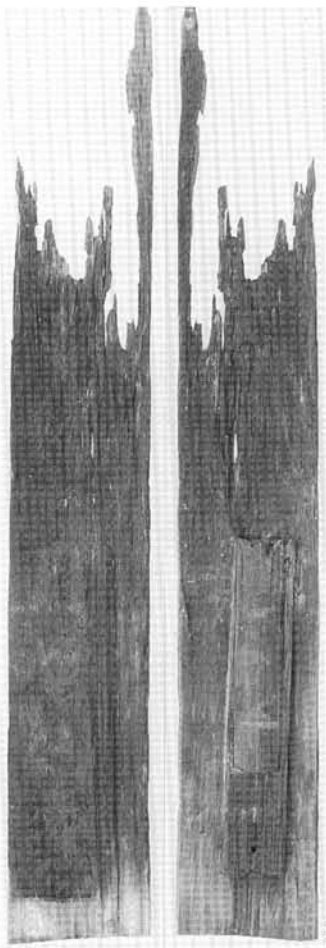
54



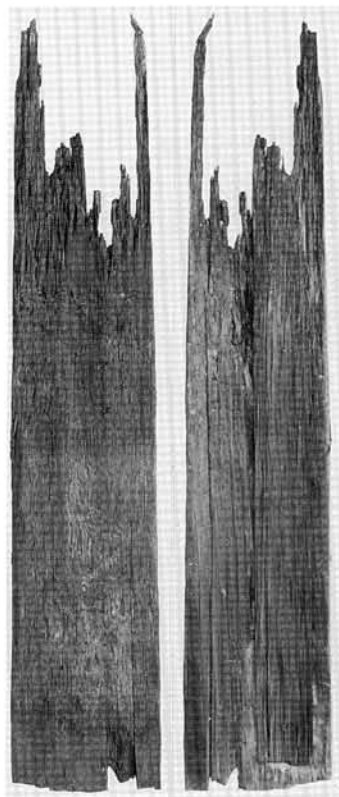
55



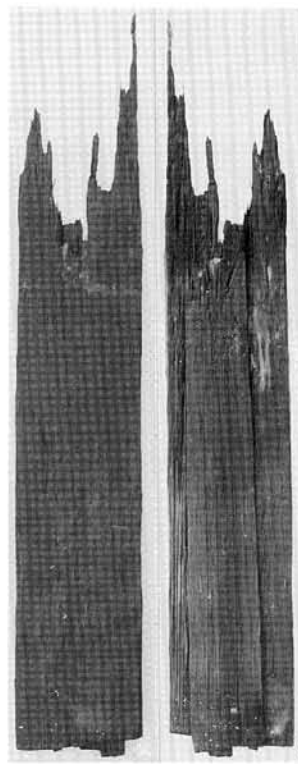
56



57

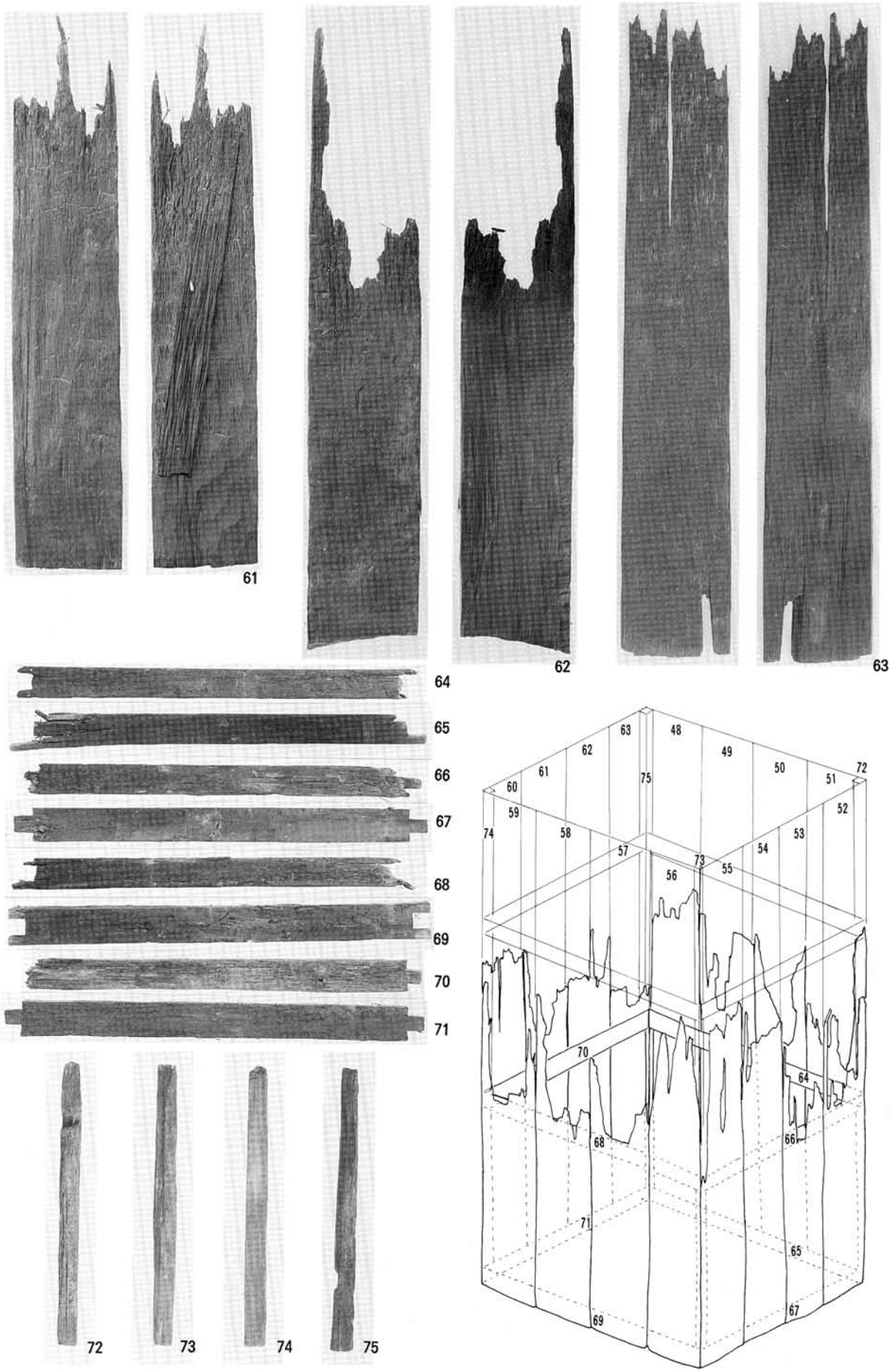


58

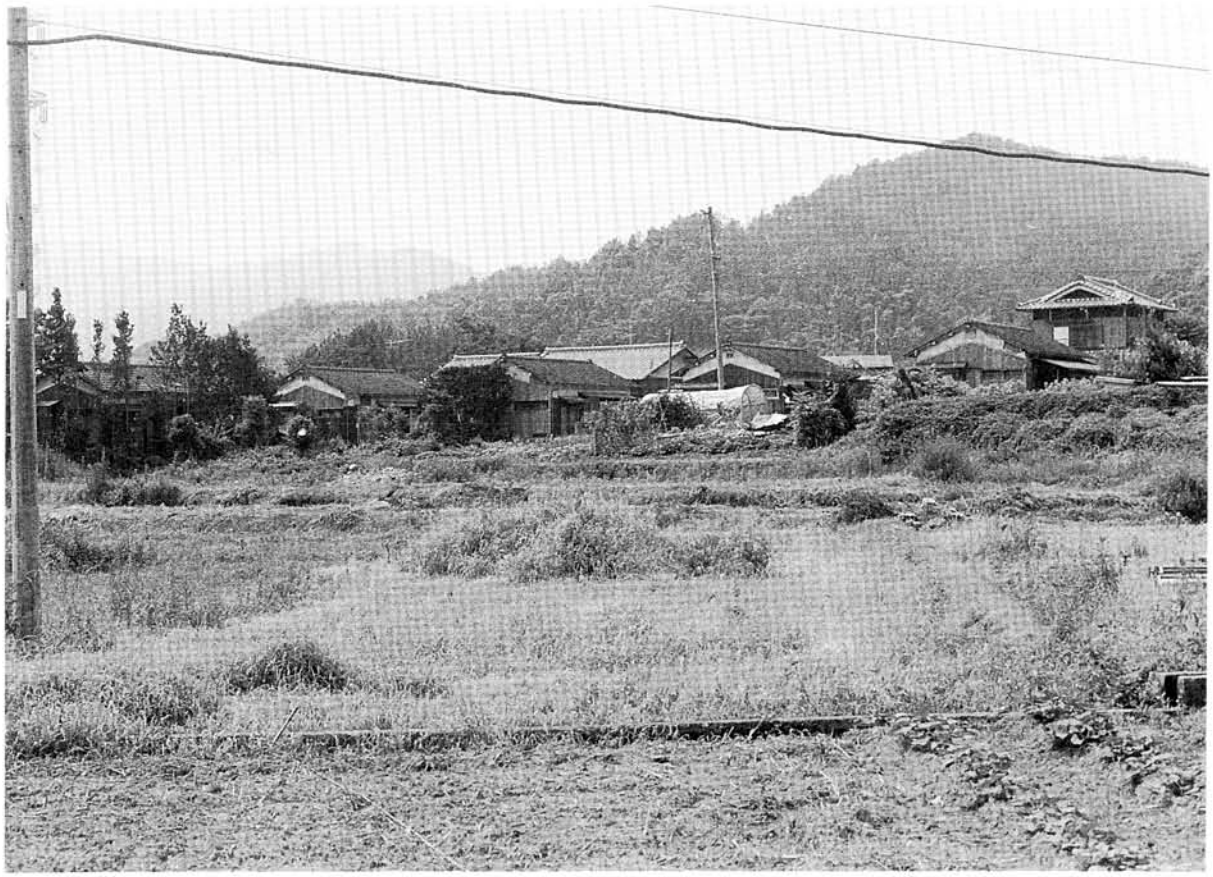


59

SE22井戸縦板（２）（１：８）



SE22井戸縦板（３）・横桟・縦木（１：８）

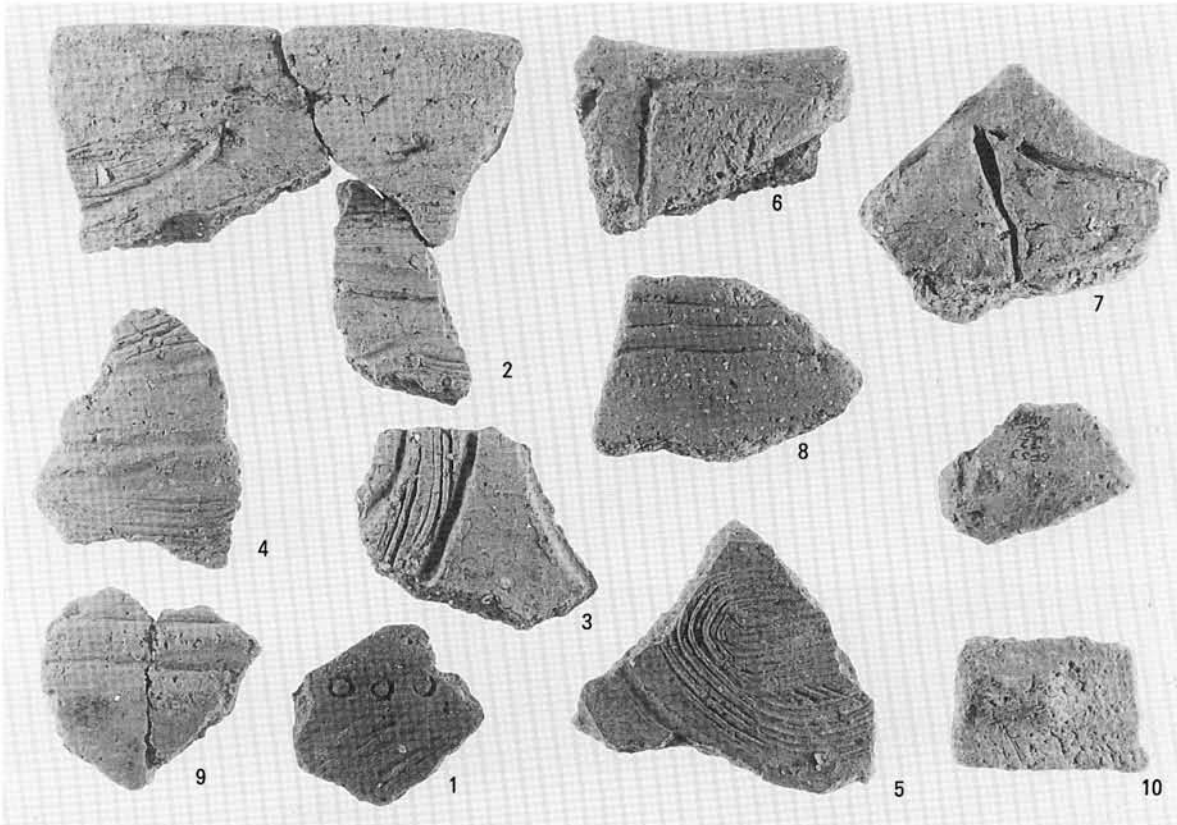


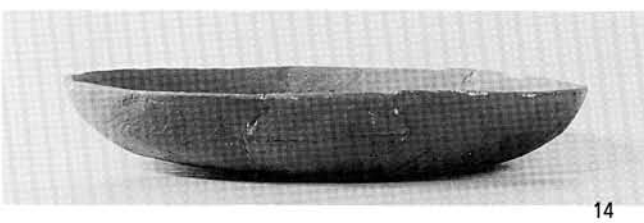
調査前全景（北から）

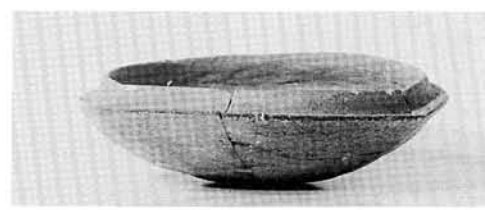
調査後全景（北から）

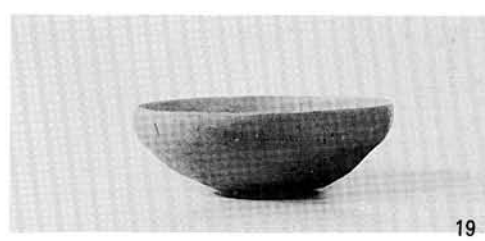
SB 2（南から）

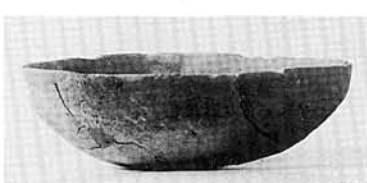
調査風景



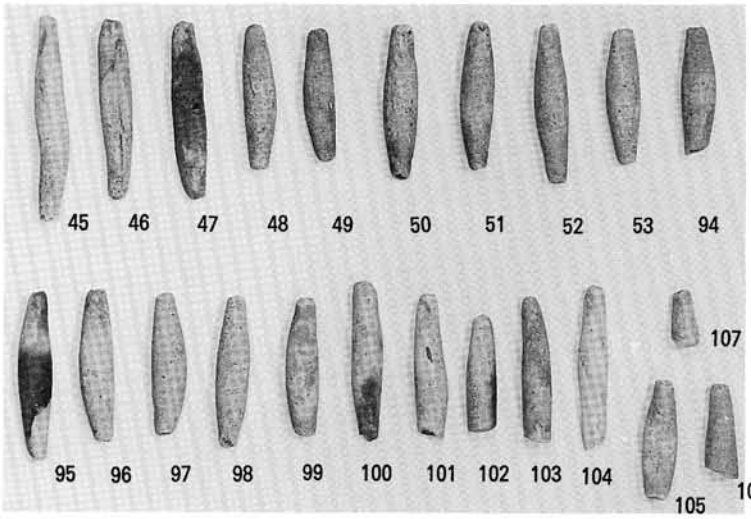


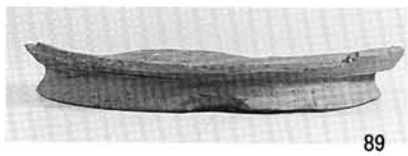


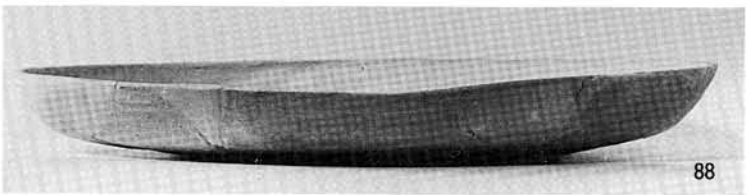


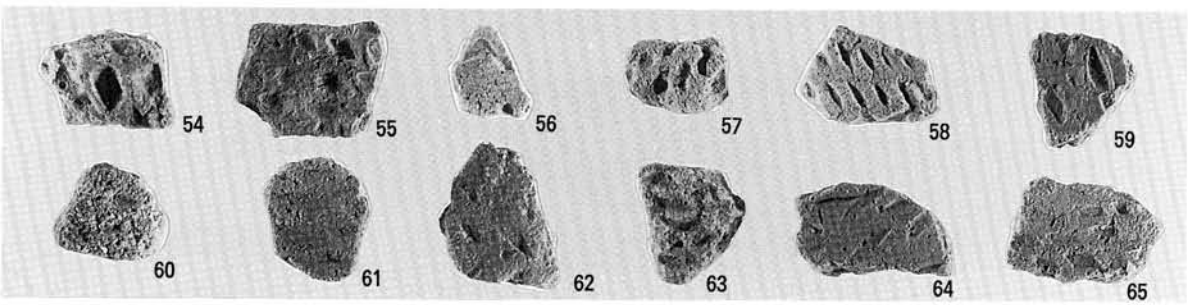


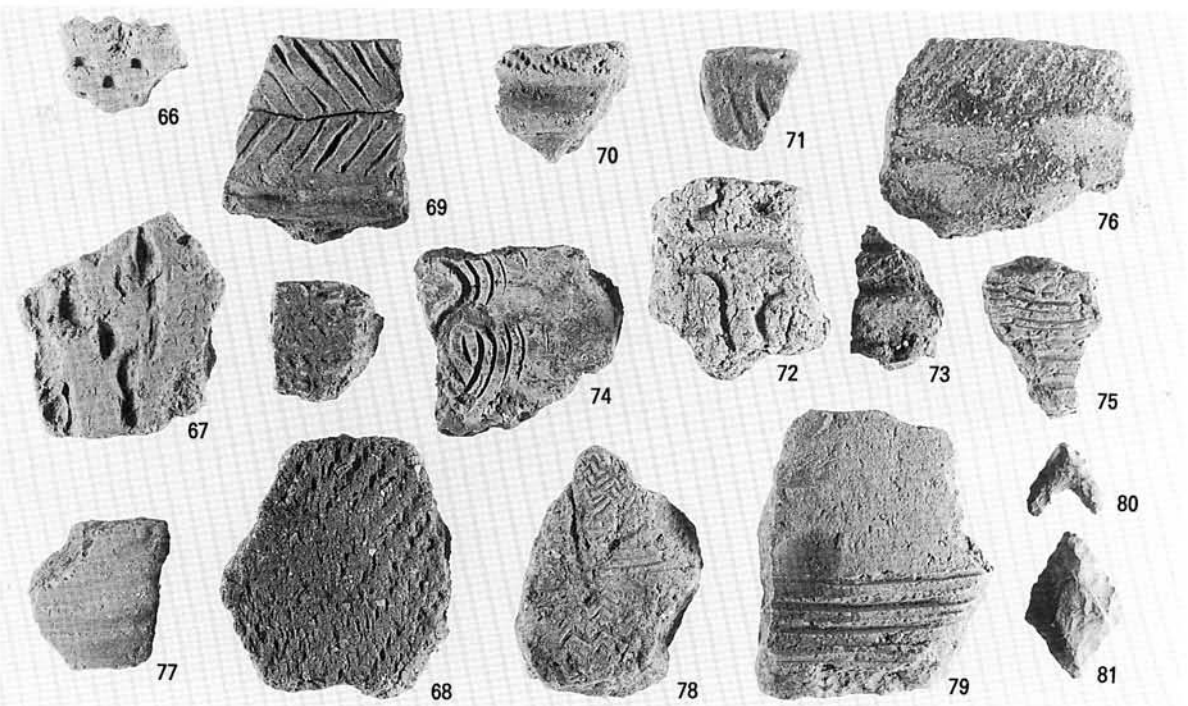
遺物（１～10は２：３、他は１：３）









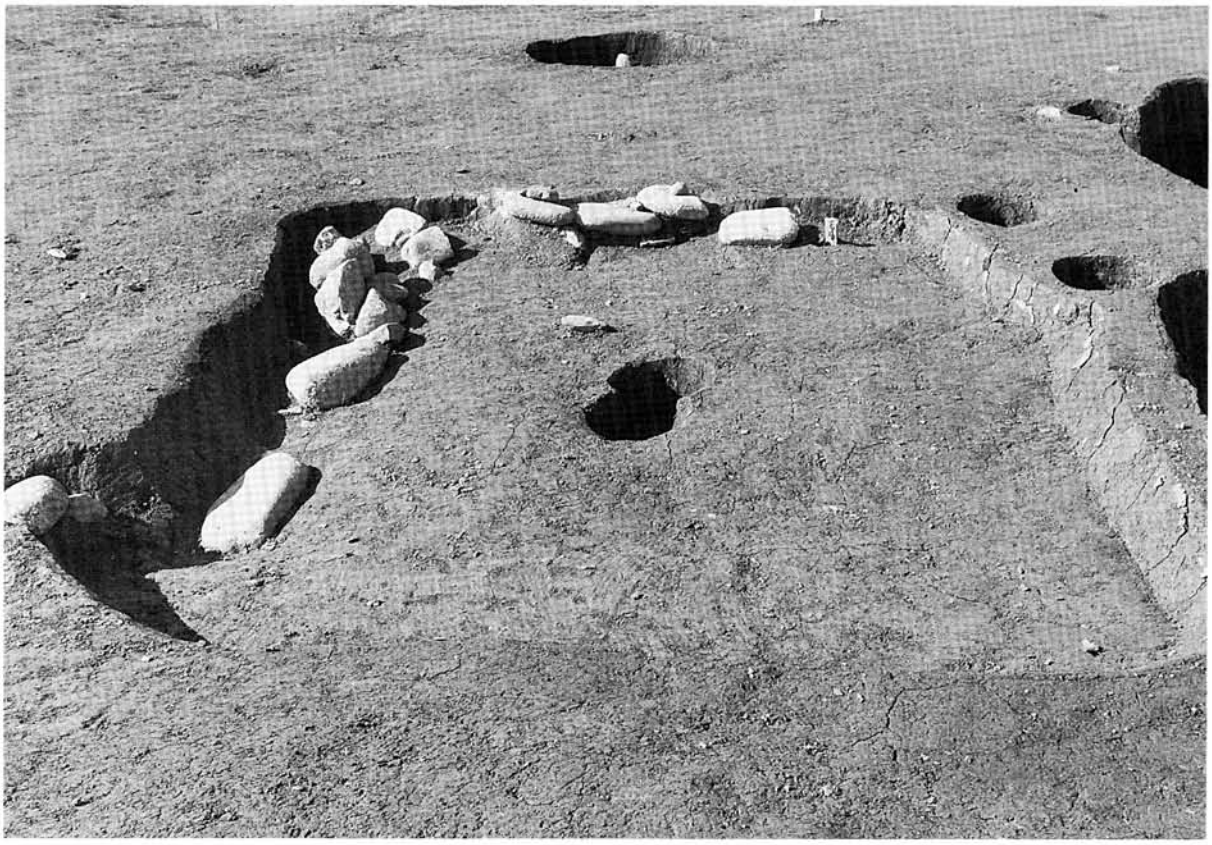


遺物（54～81は２：３、他は１：３）54～65は南出遺跡、66～81西出遺跡、88～93大角遺跡

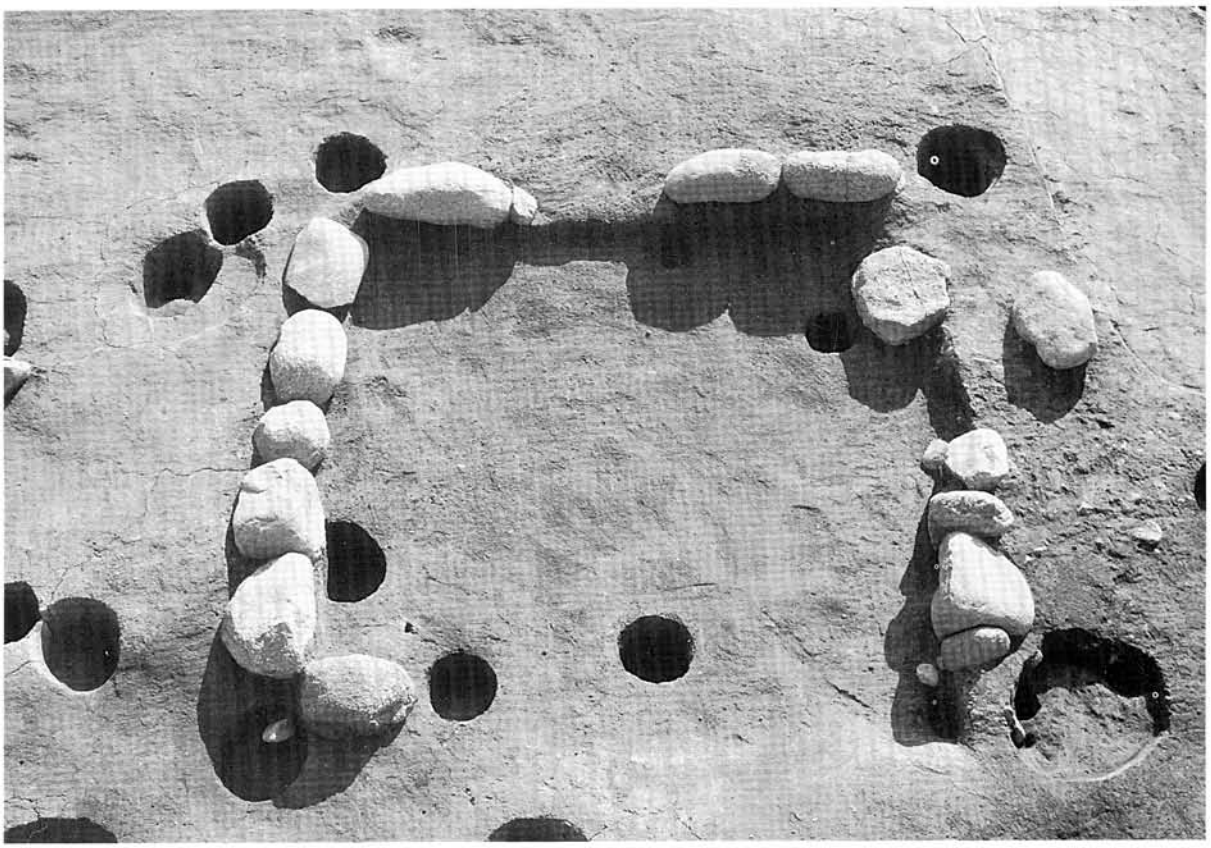
遺跡全景（北から）

遺跡全景（南から）

遺跡全景（から）



SK11（東から）

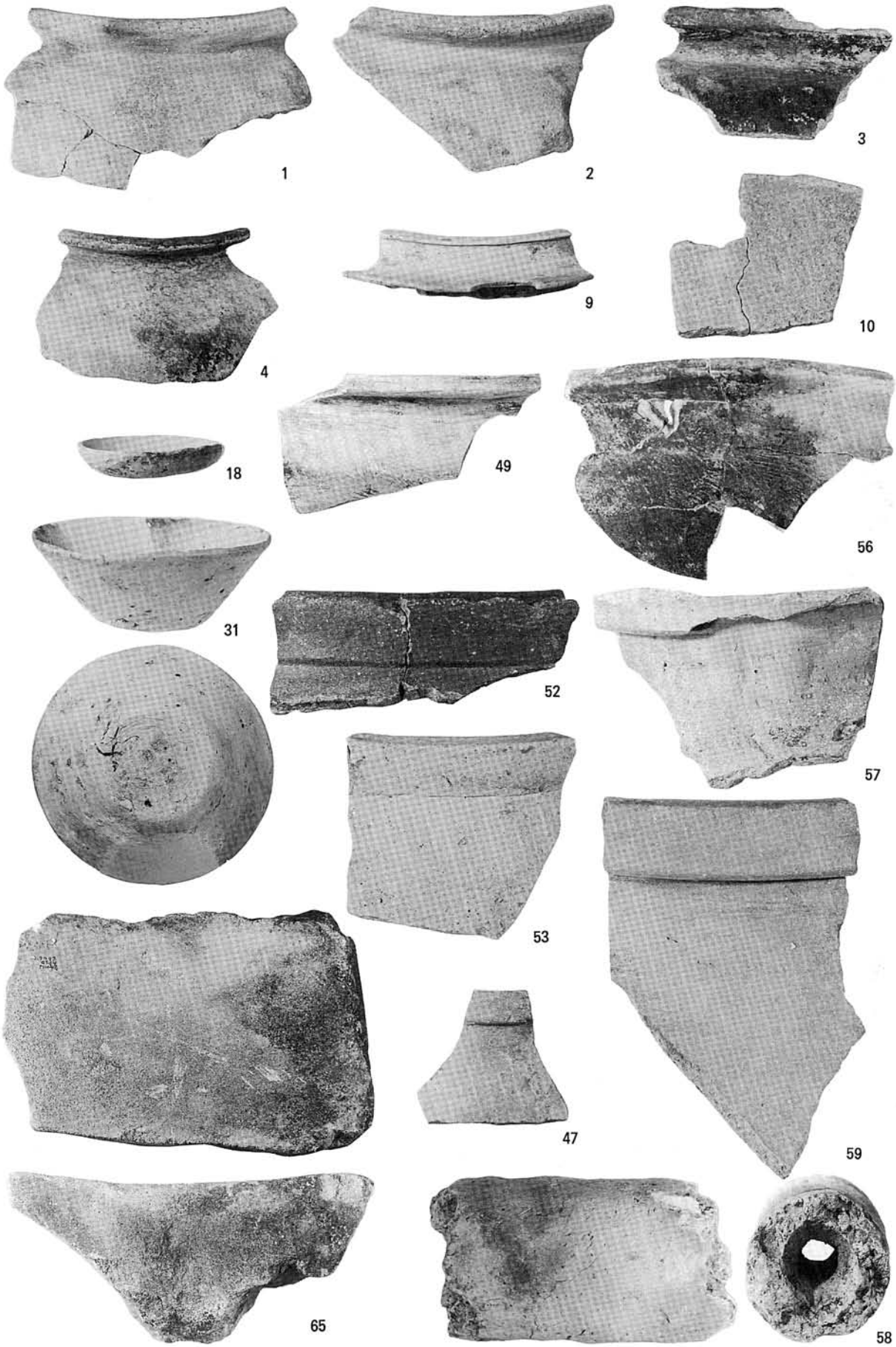


S×13（北から）

S×15（東から）

S×14（北から）

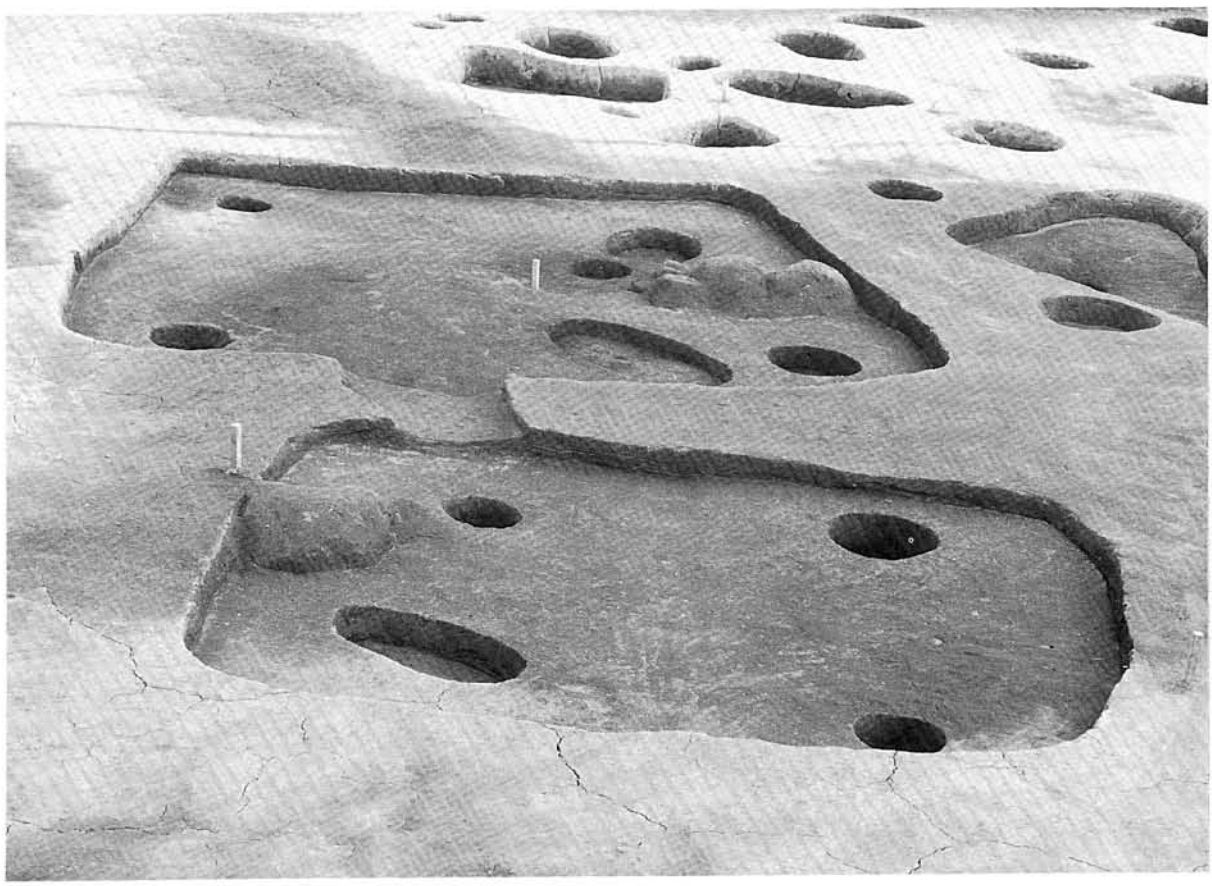
SE17（東から）



遺物（1：3）

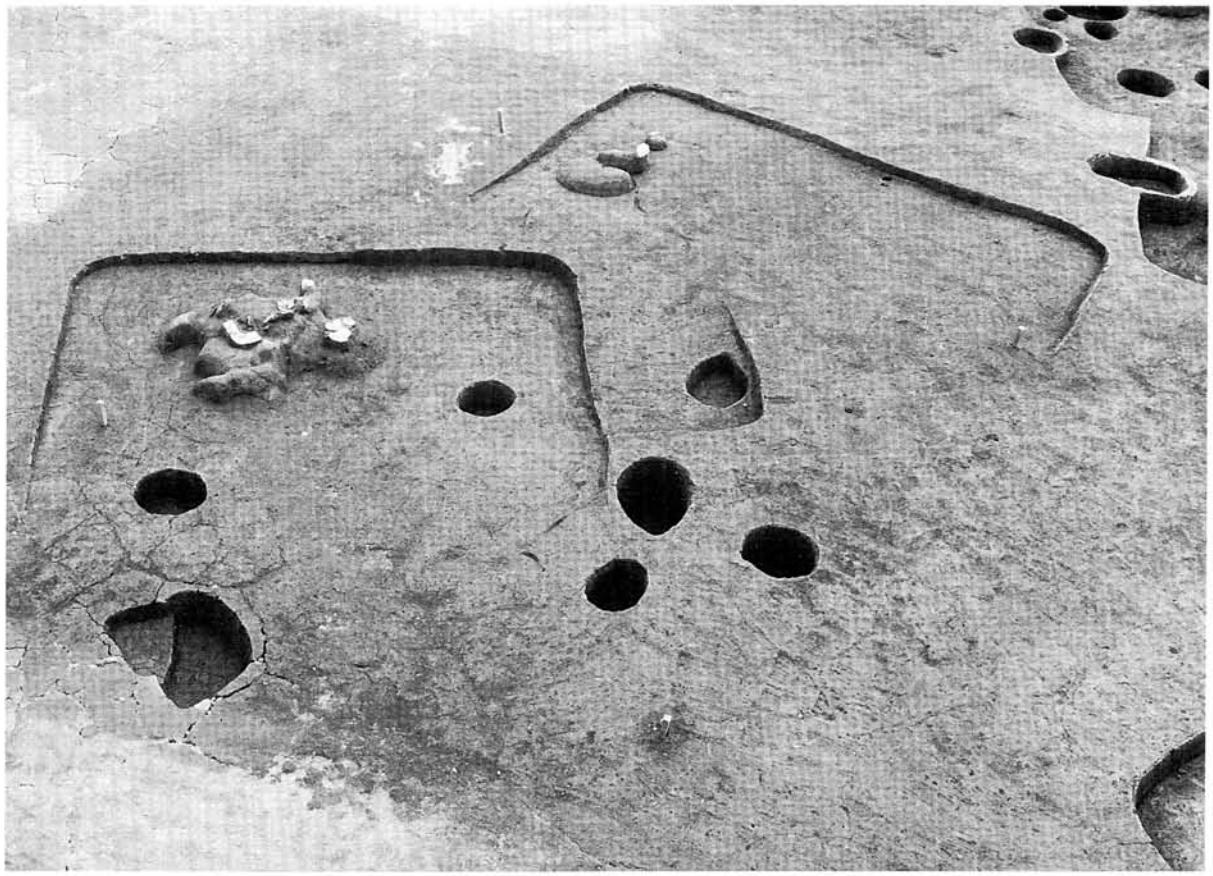
航空写真（1 杉垣内遺跡, 2 深長古墳, 3 堂ノ後遺跡, 4 本堂遺跡）（南から）

A地区近景（東から）

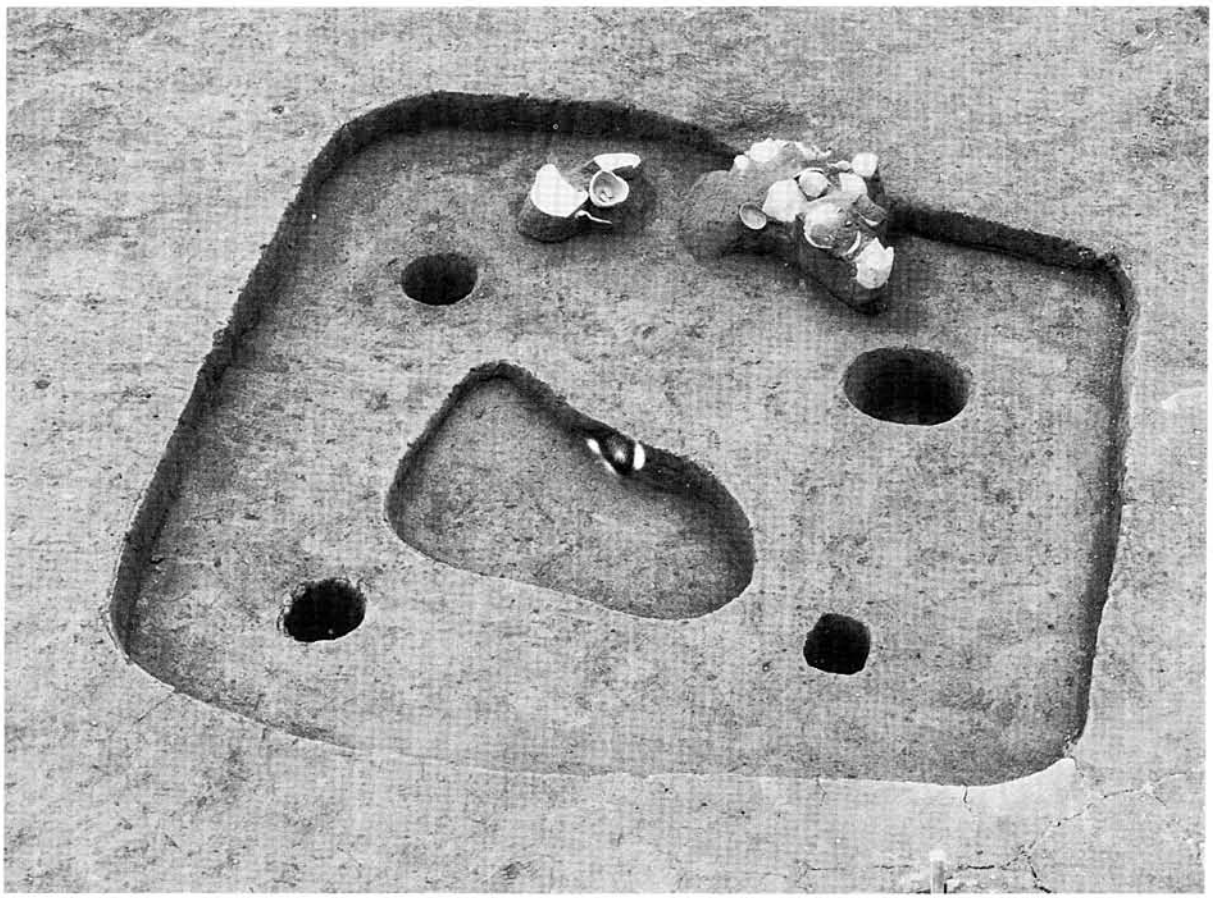


SB 2 ・ 3（北から）

SB16・17（北から）



SB19・20・21（南西から）

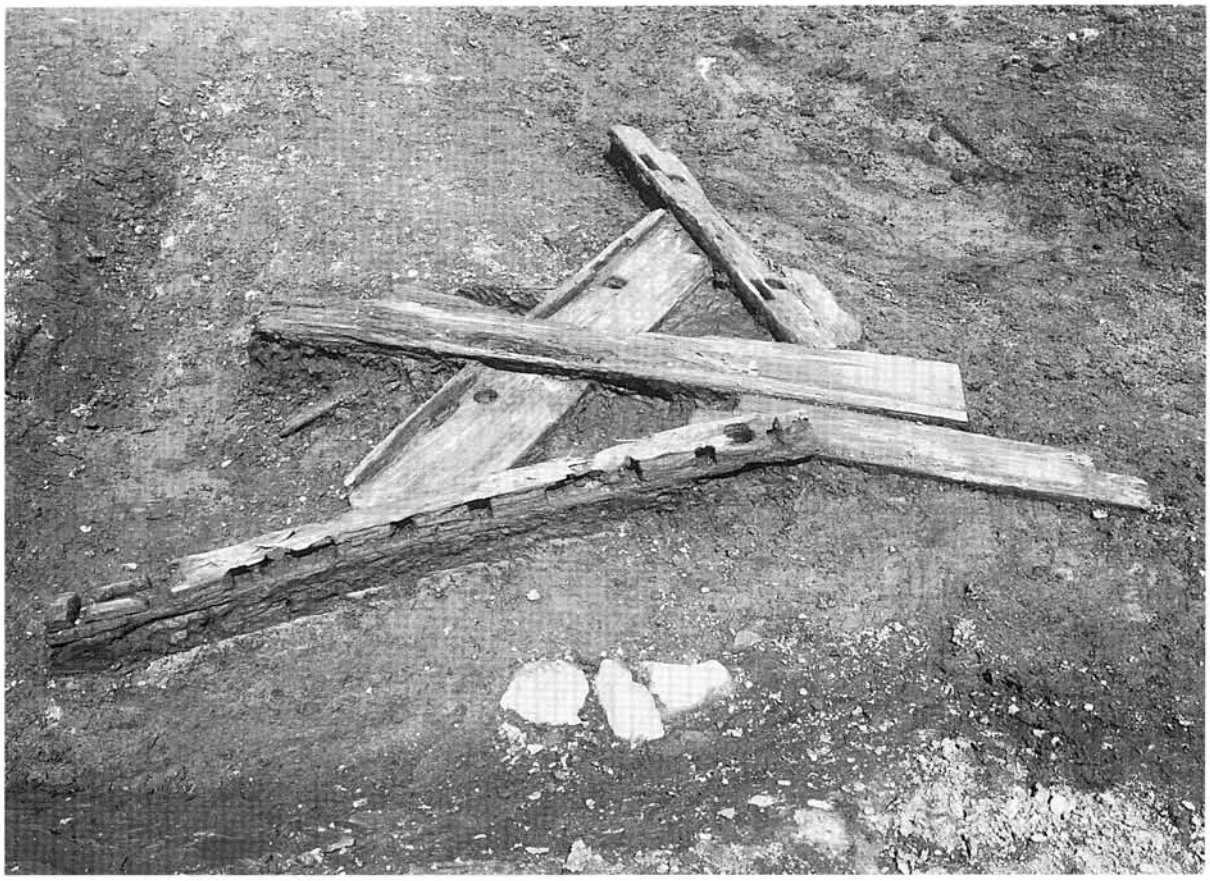


SB22（西から）

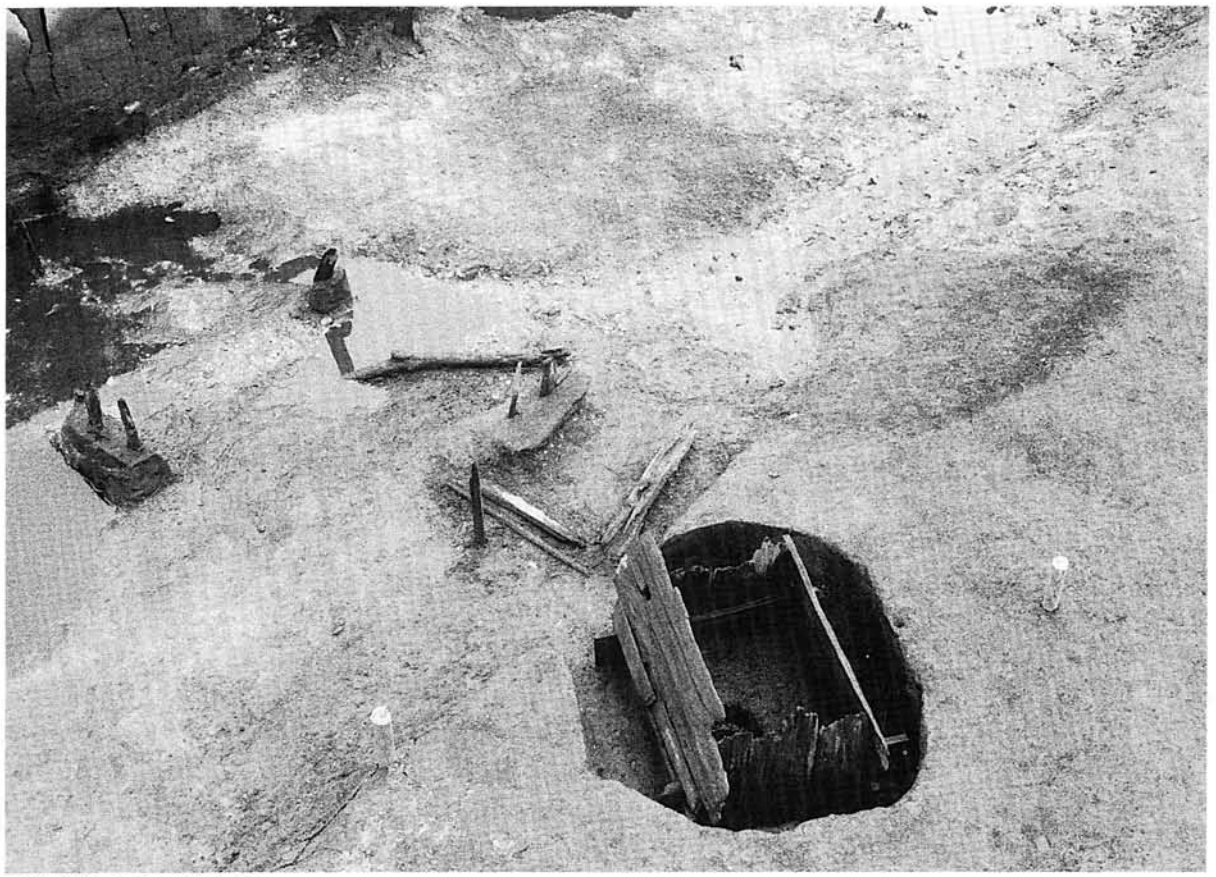
SB 4（東から）

旧河道全景（東から）

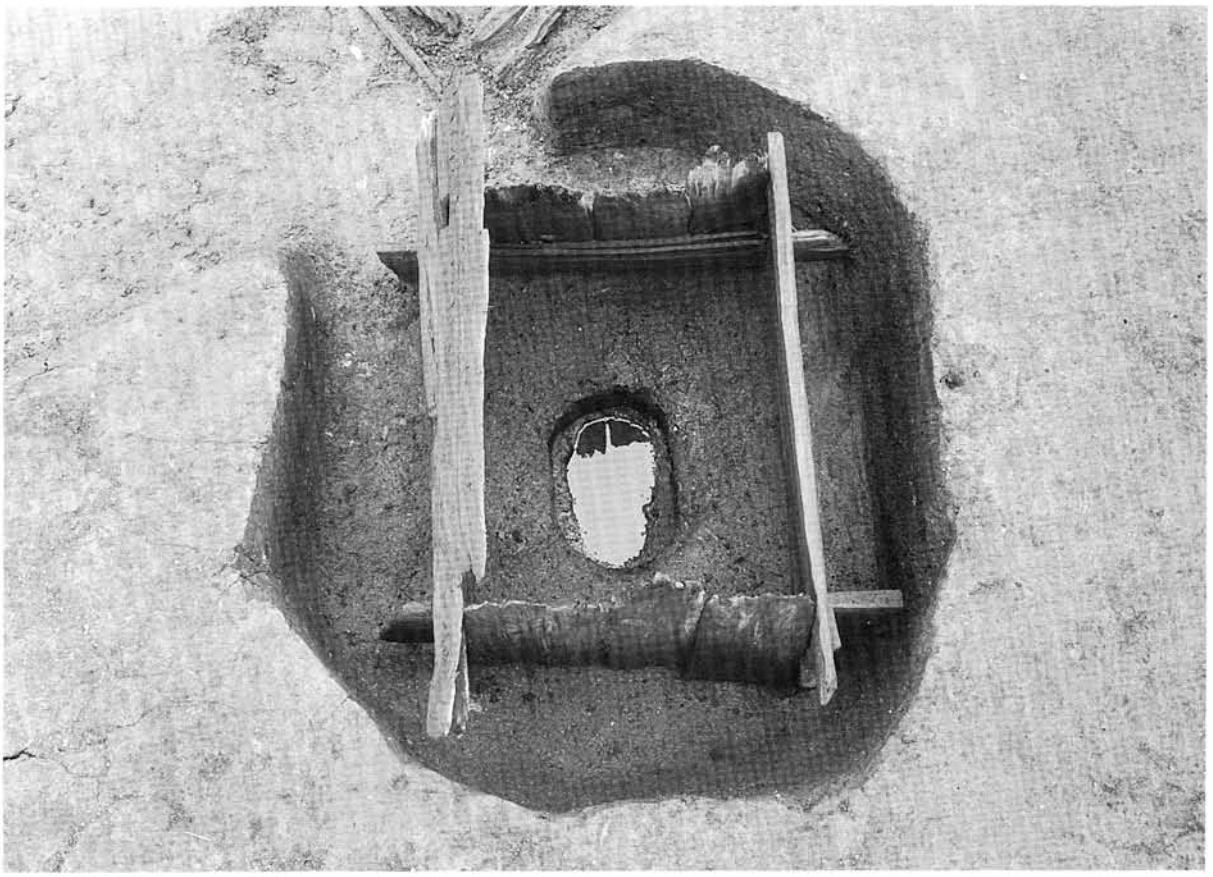
旧河道土器出土状況（南から）



旧河道木製品出土状況（南から）



旧河道とSE23（北から）



SE23（北上から）

SE24（西から）

SE24（直上から）

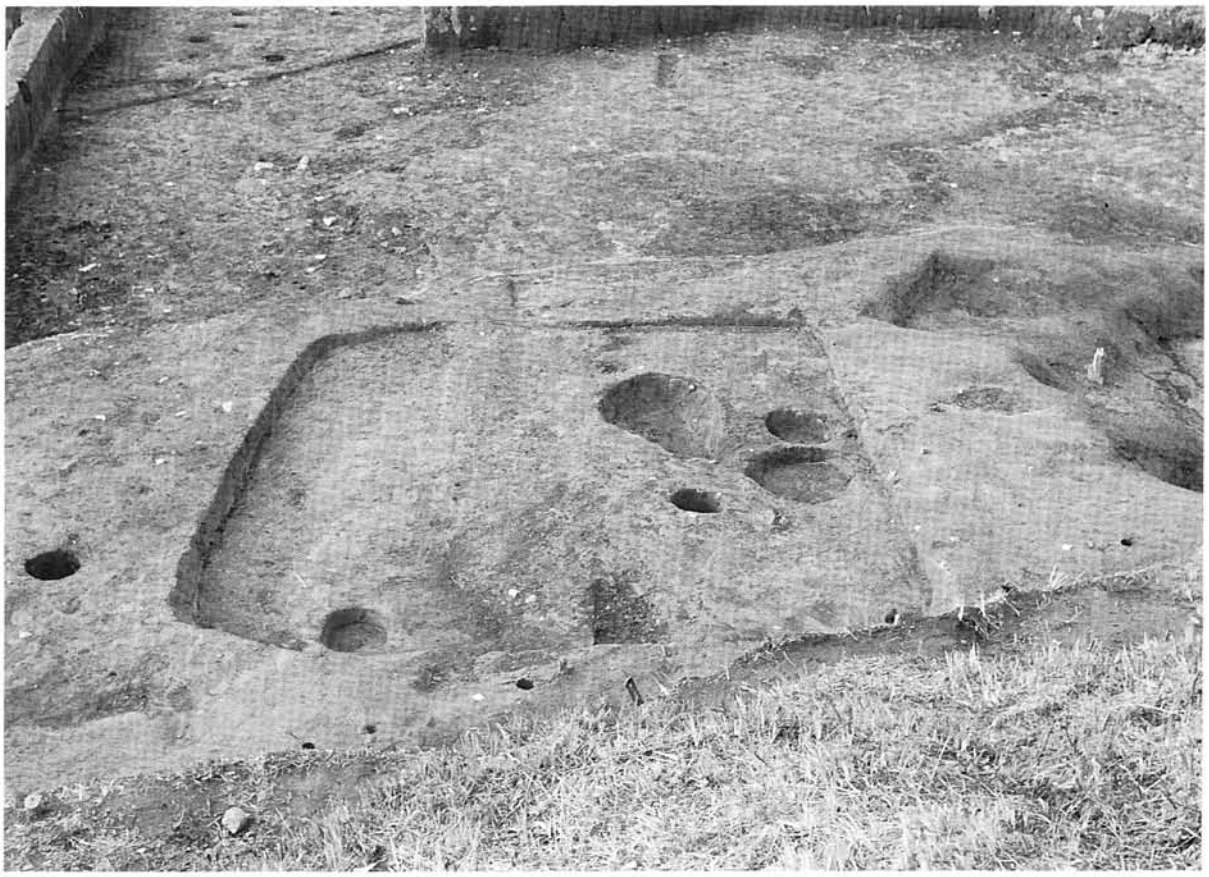
B地区全景（南から）

C地区全景（西から）

SB54（北から）

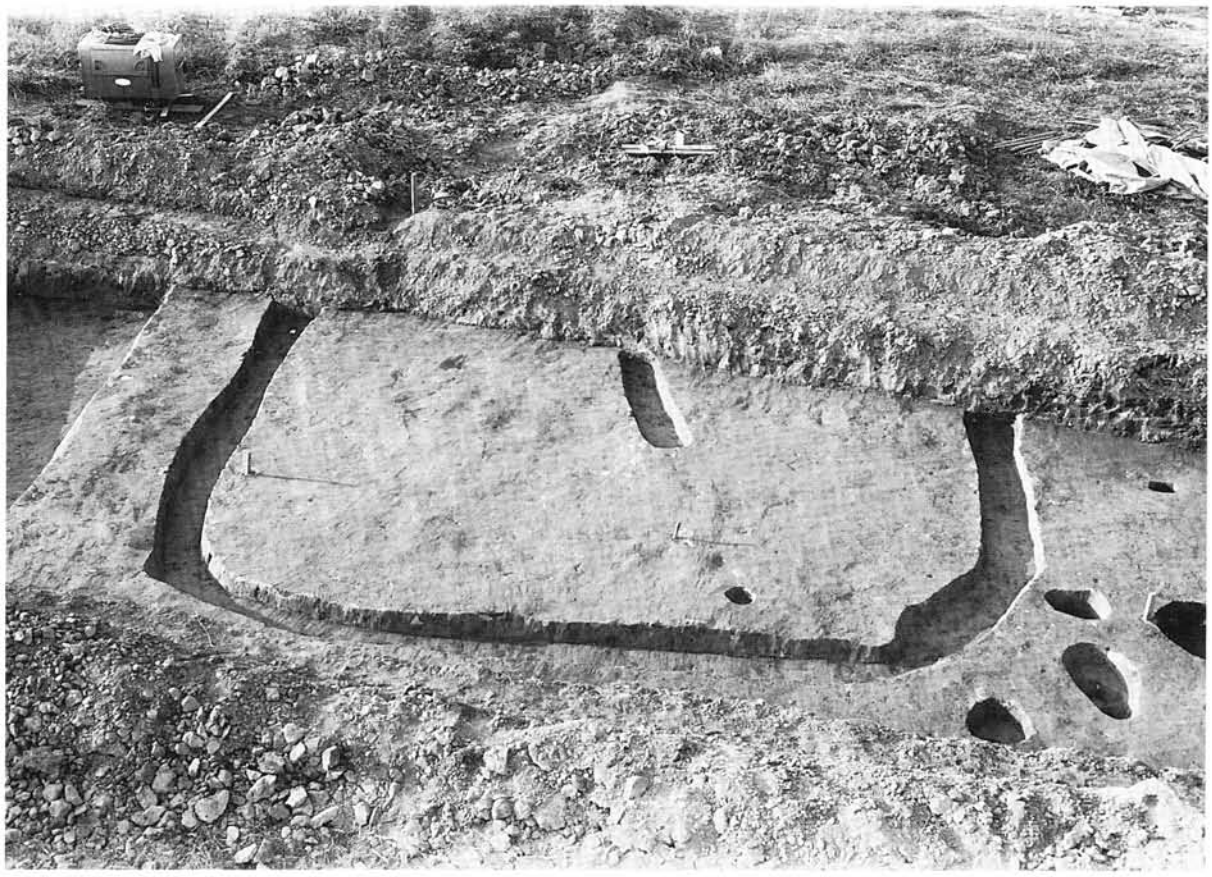
SB49・50,SD47（西から）

SB38（南東から）



SB31（南から）

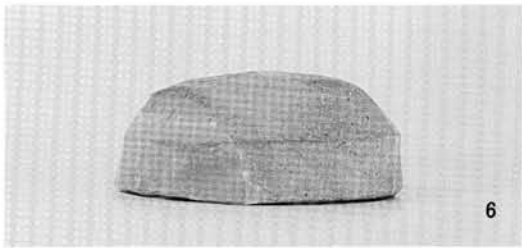
SD43・45・46（西から）

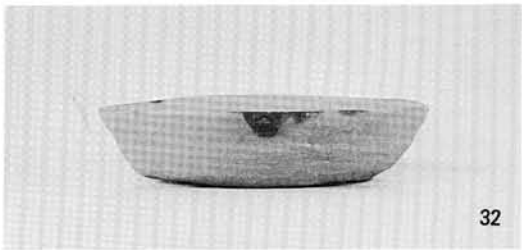


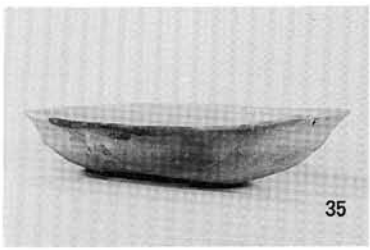
SX41（南から）

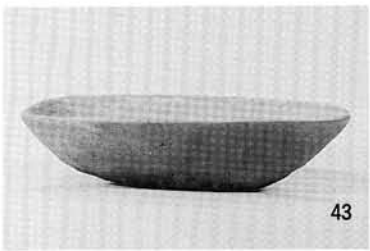
D地区（東から）

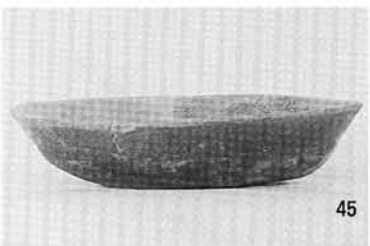
E地区（東から）

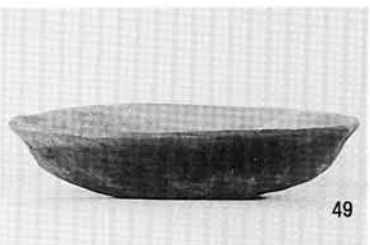




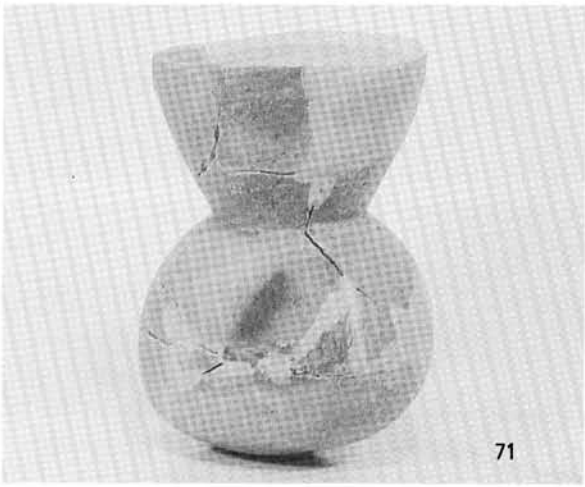


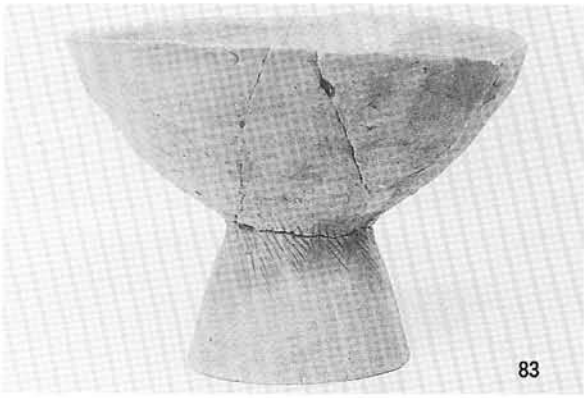




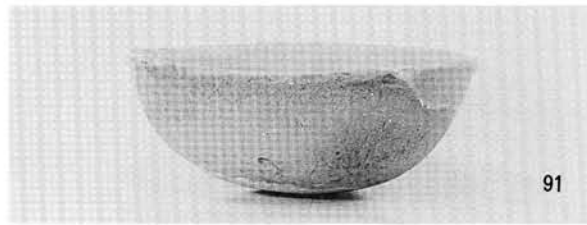


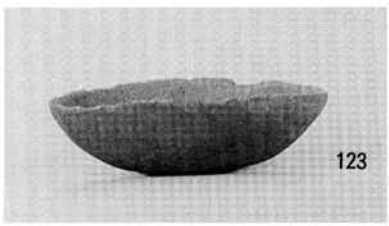
A地区　遺構遺物（1：3）

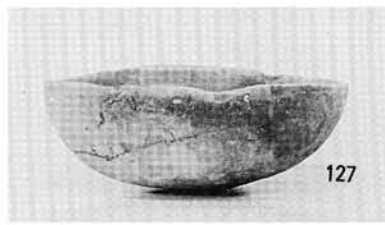


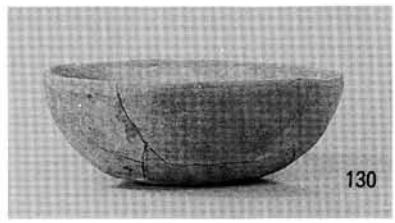


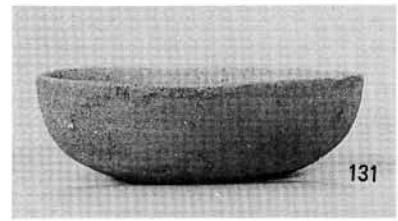
A地区　古墳時代 土師器（１：３）

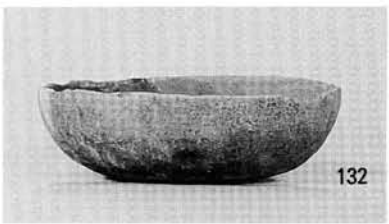


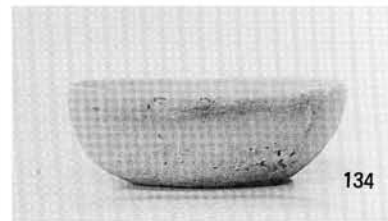


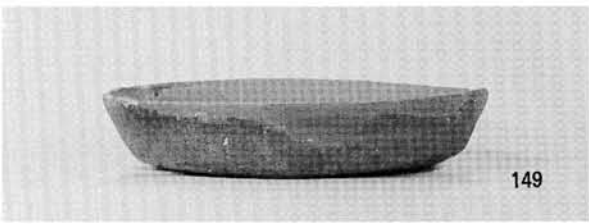


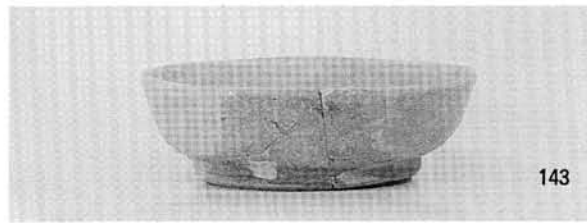


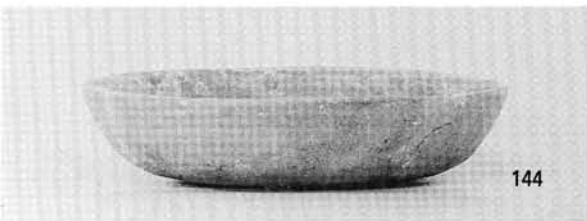


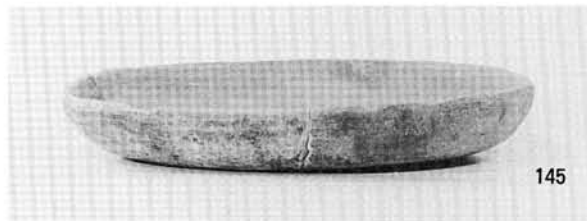


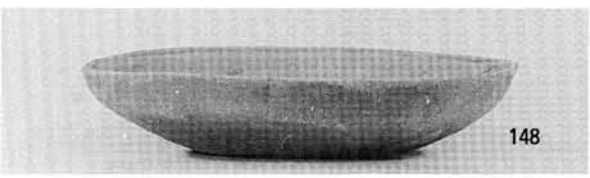


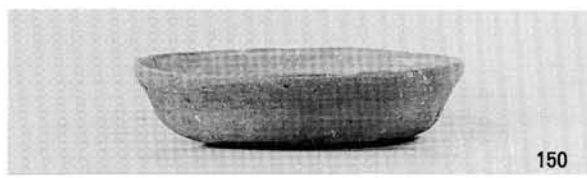




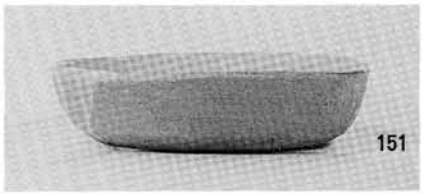




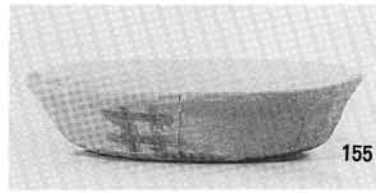


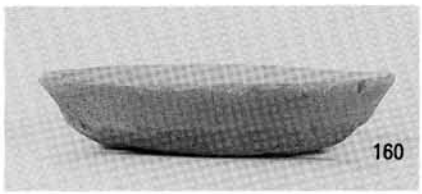


A地区　古墳～平安時代土師器（１：３）


151

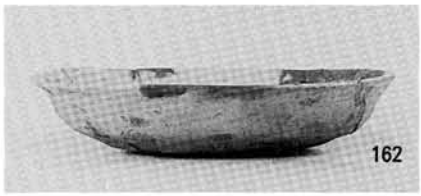
152

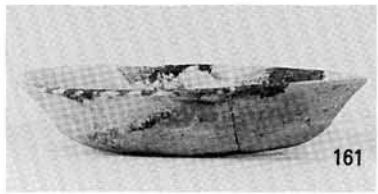

155


160

156

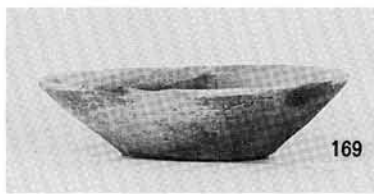
157

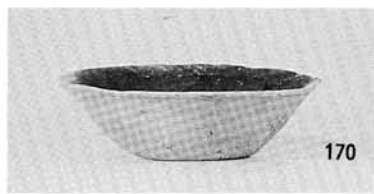

162


161

165

168


169


170

173

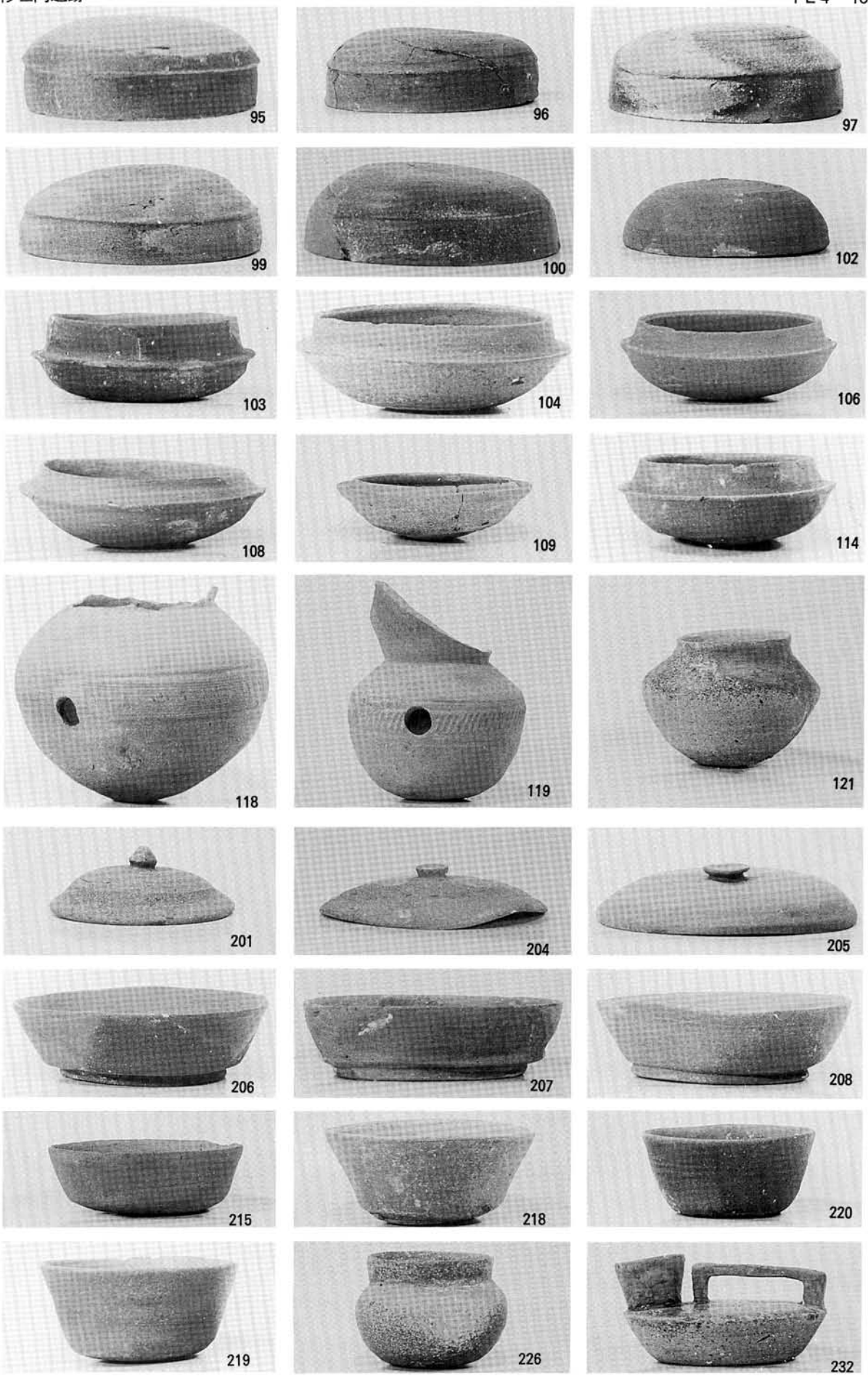
174

181

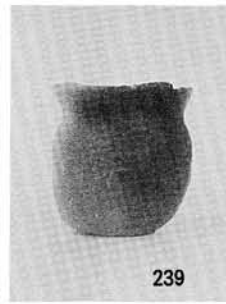
185

A地区　奈良・平安時代土師器（1）（1：3）

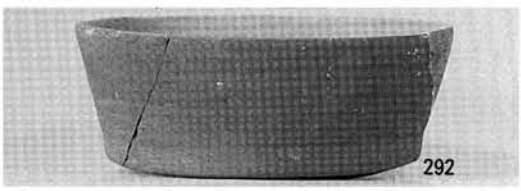
A地区　奈良・平安時代土師器（2）（1：3）

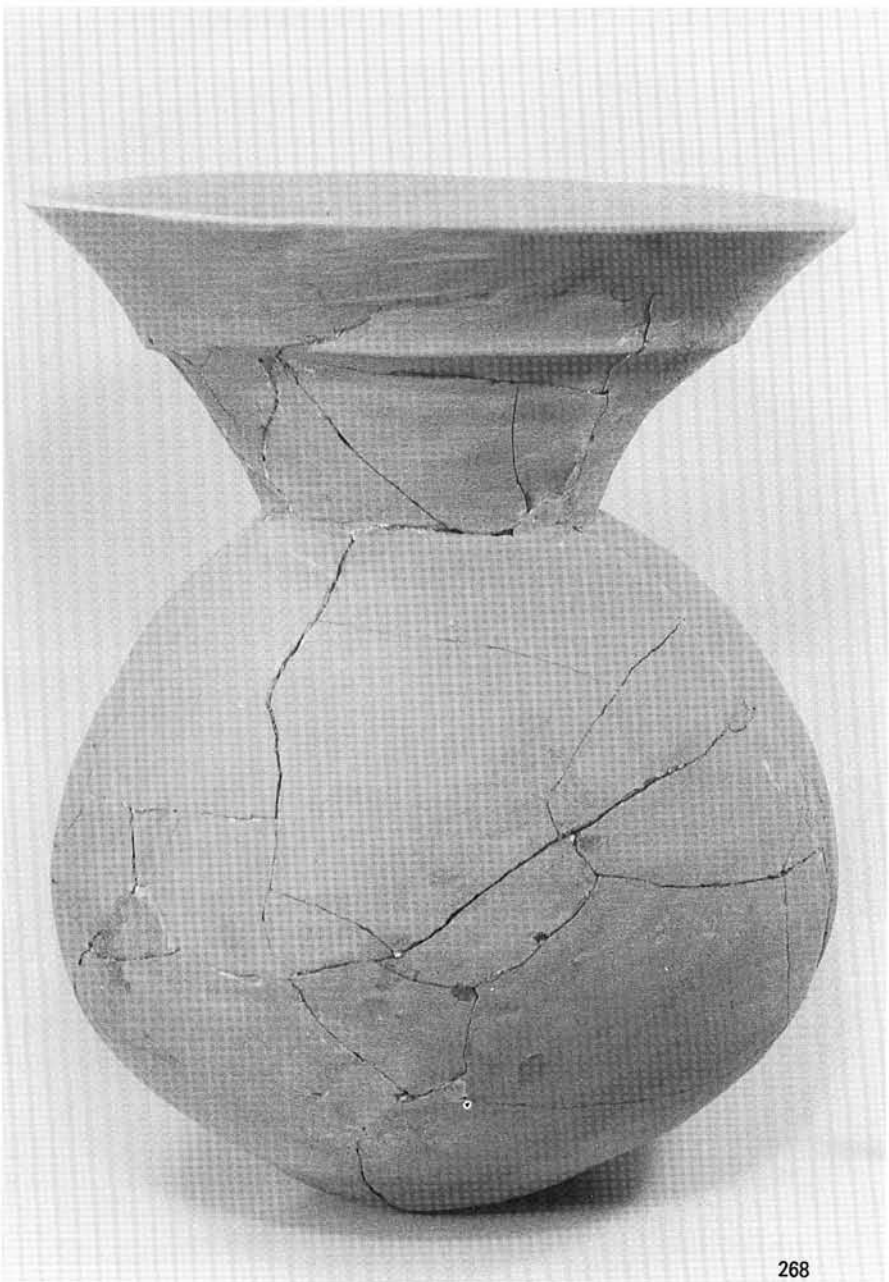


A地区　古墳～奈良時代須恵器（１：３）

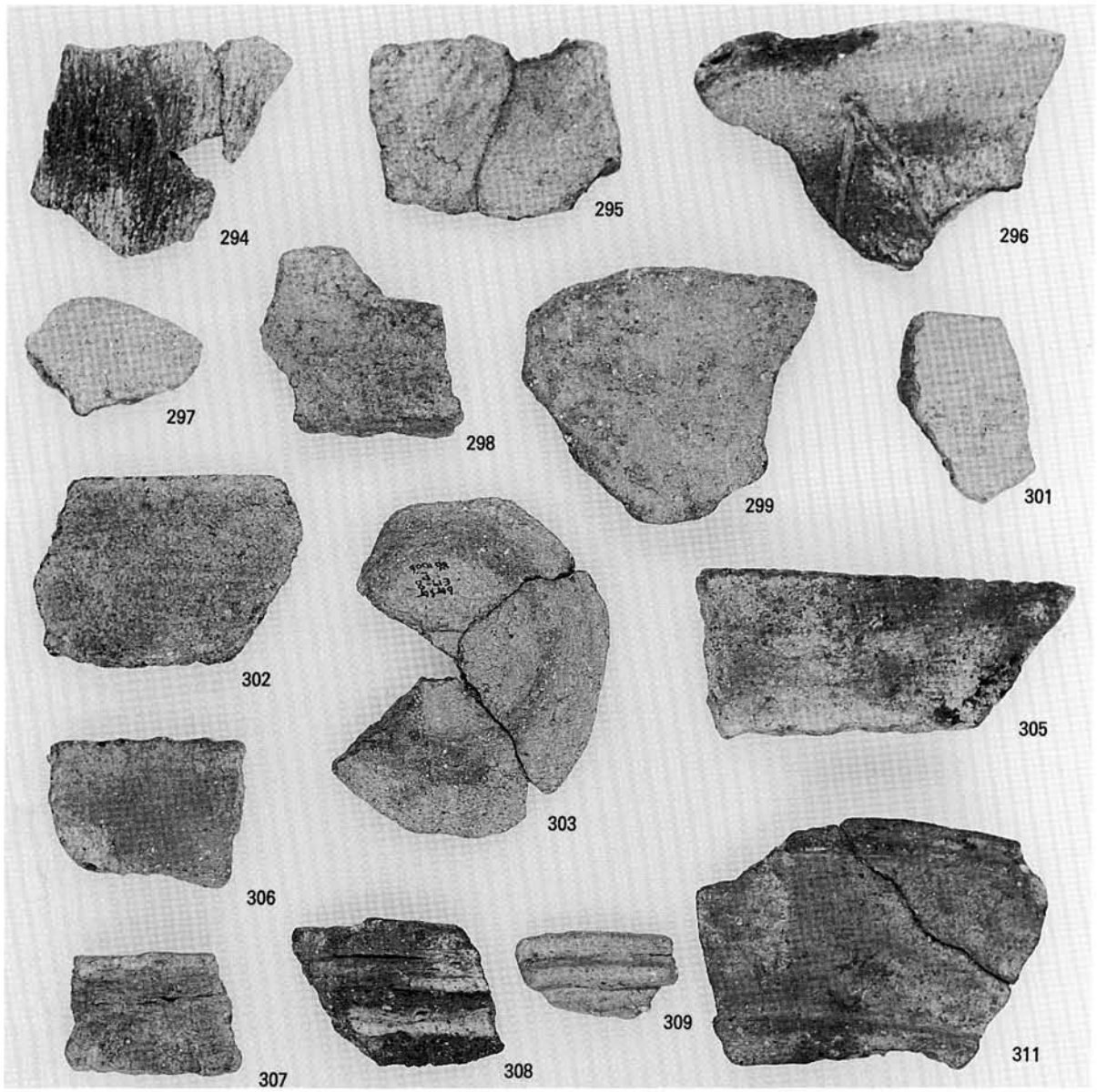


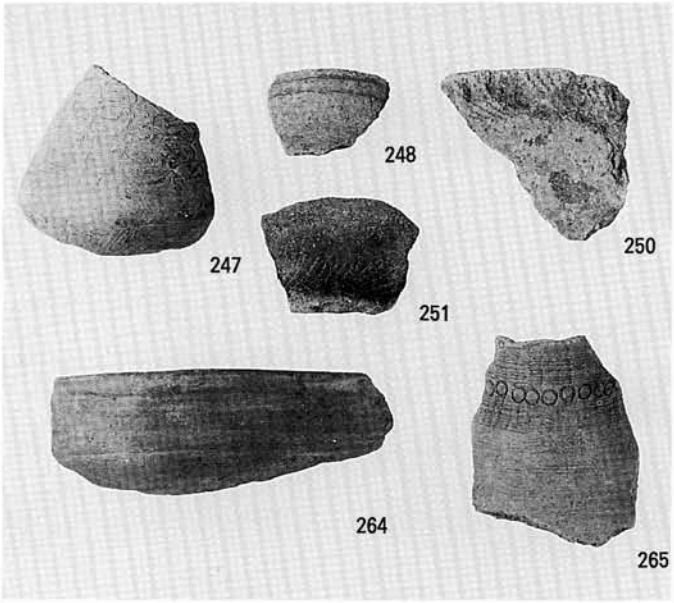
A地区　旧河道土馬・ミニチュア土器・C地区石包丁（1：3）

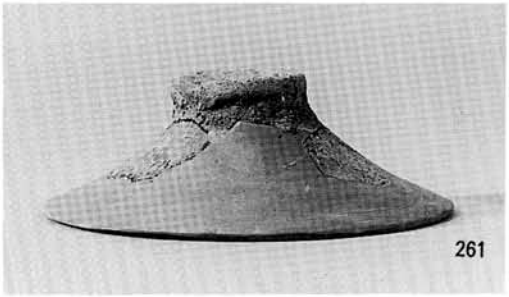




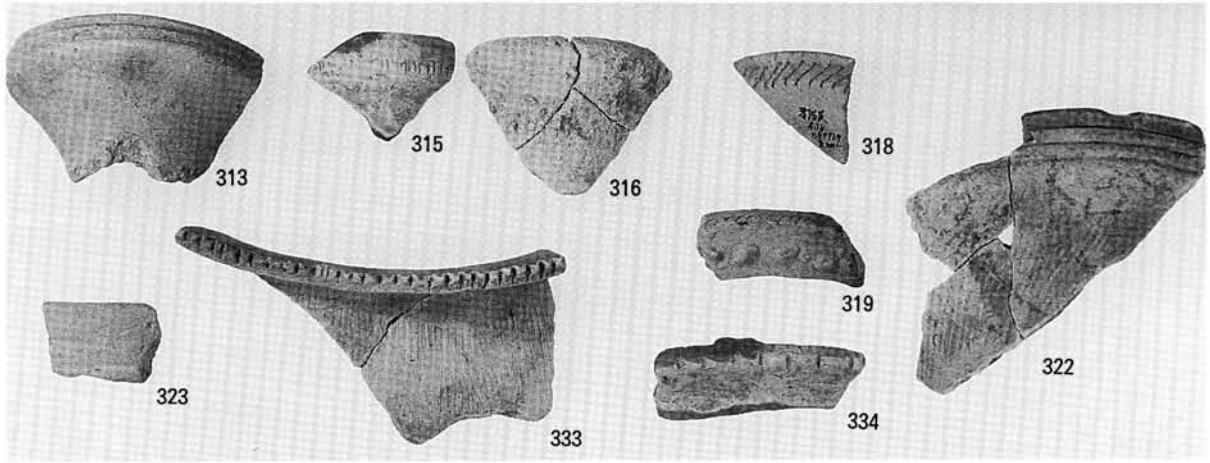
C地区　遺構遺物（1：3）

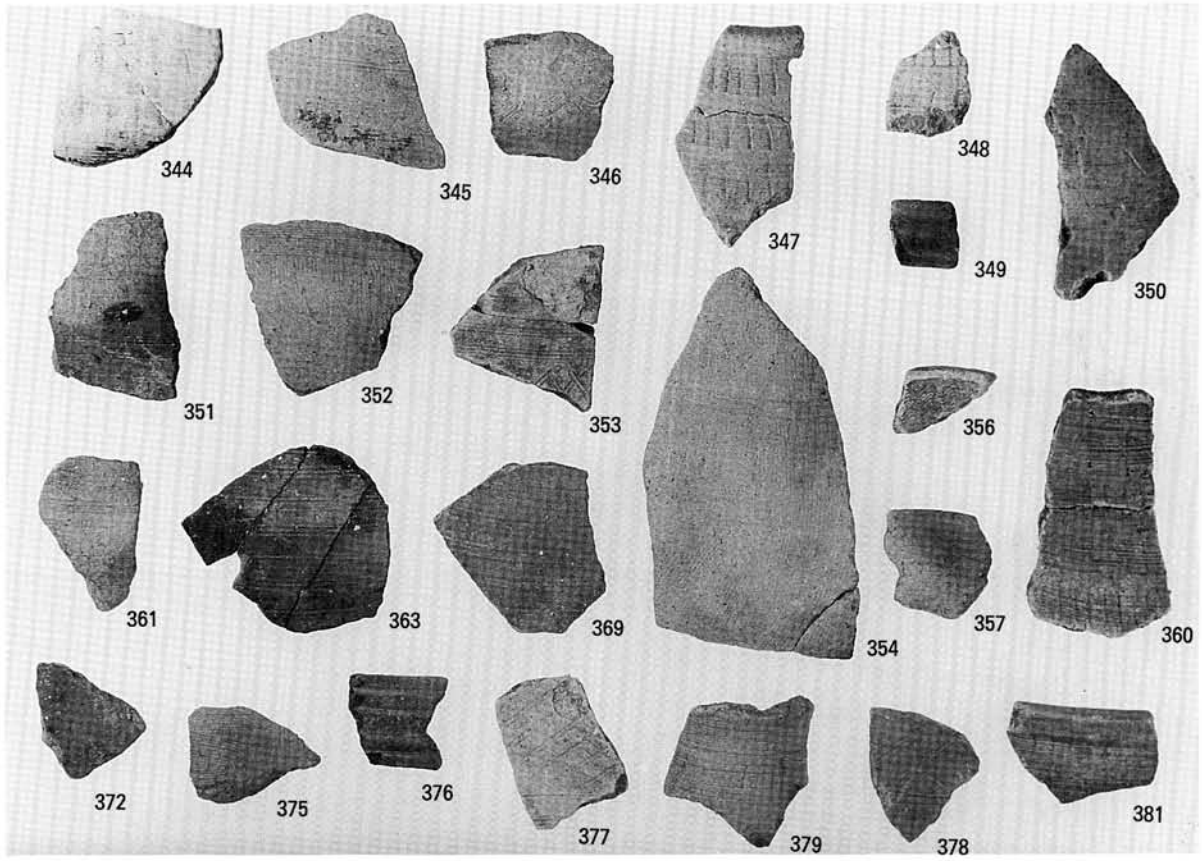


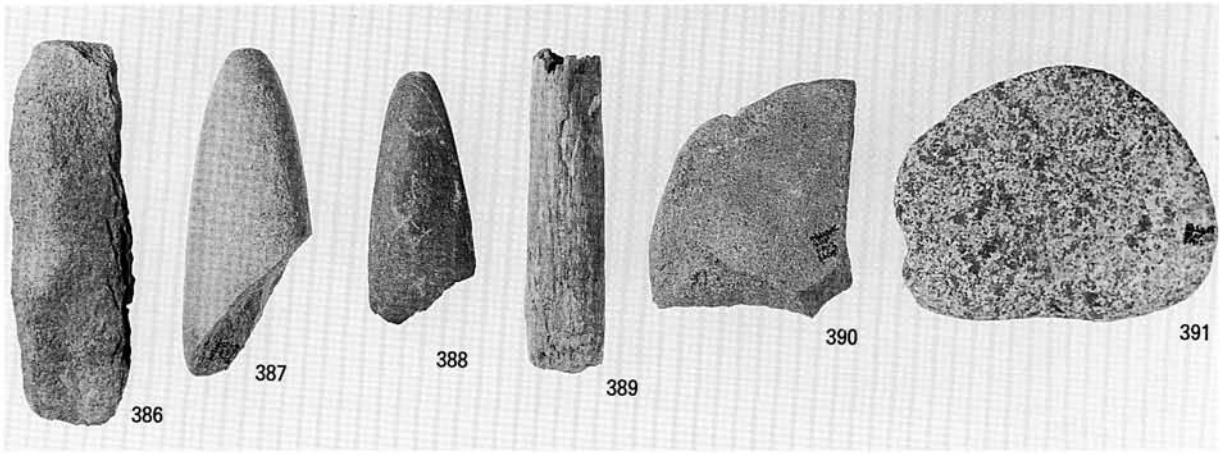




C地区　縄文（294～311　1：2）・弥生土器（247～325　1：3）

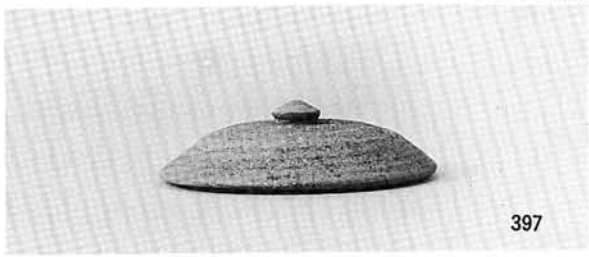






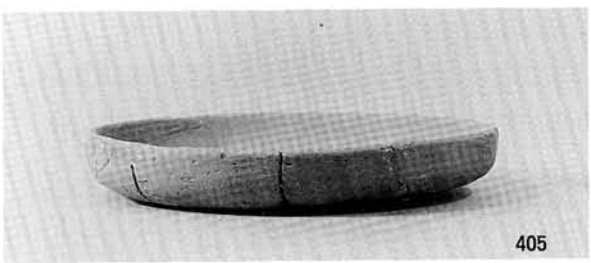
C地区　弥生土器・石器（1：3）

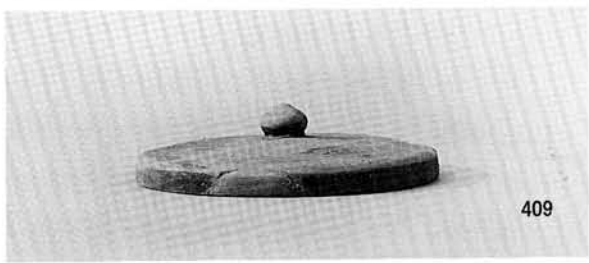
396

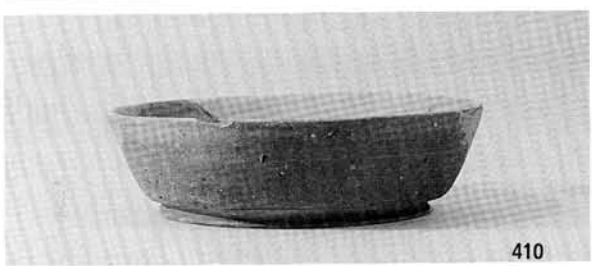

397

400

401

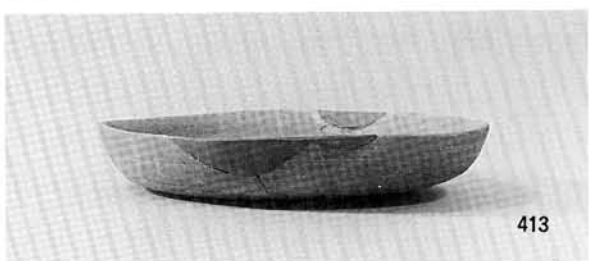

405

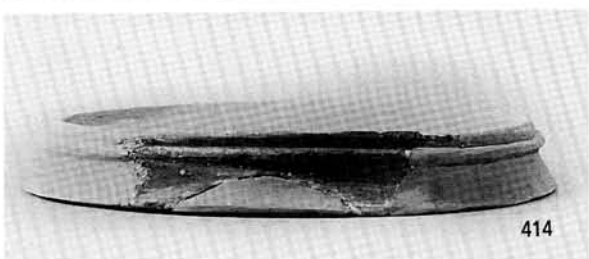

409


410

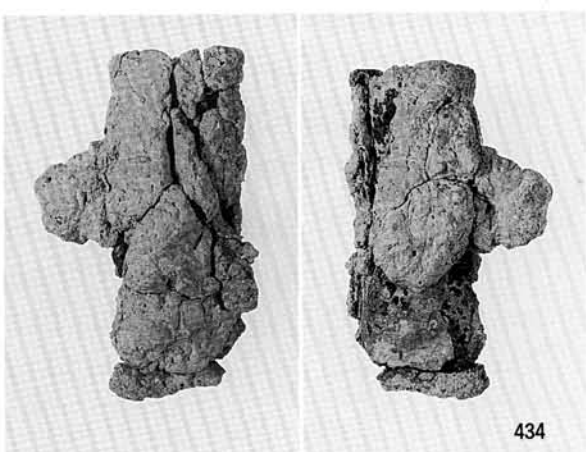
411

412

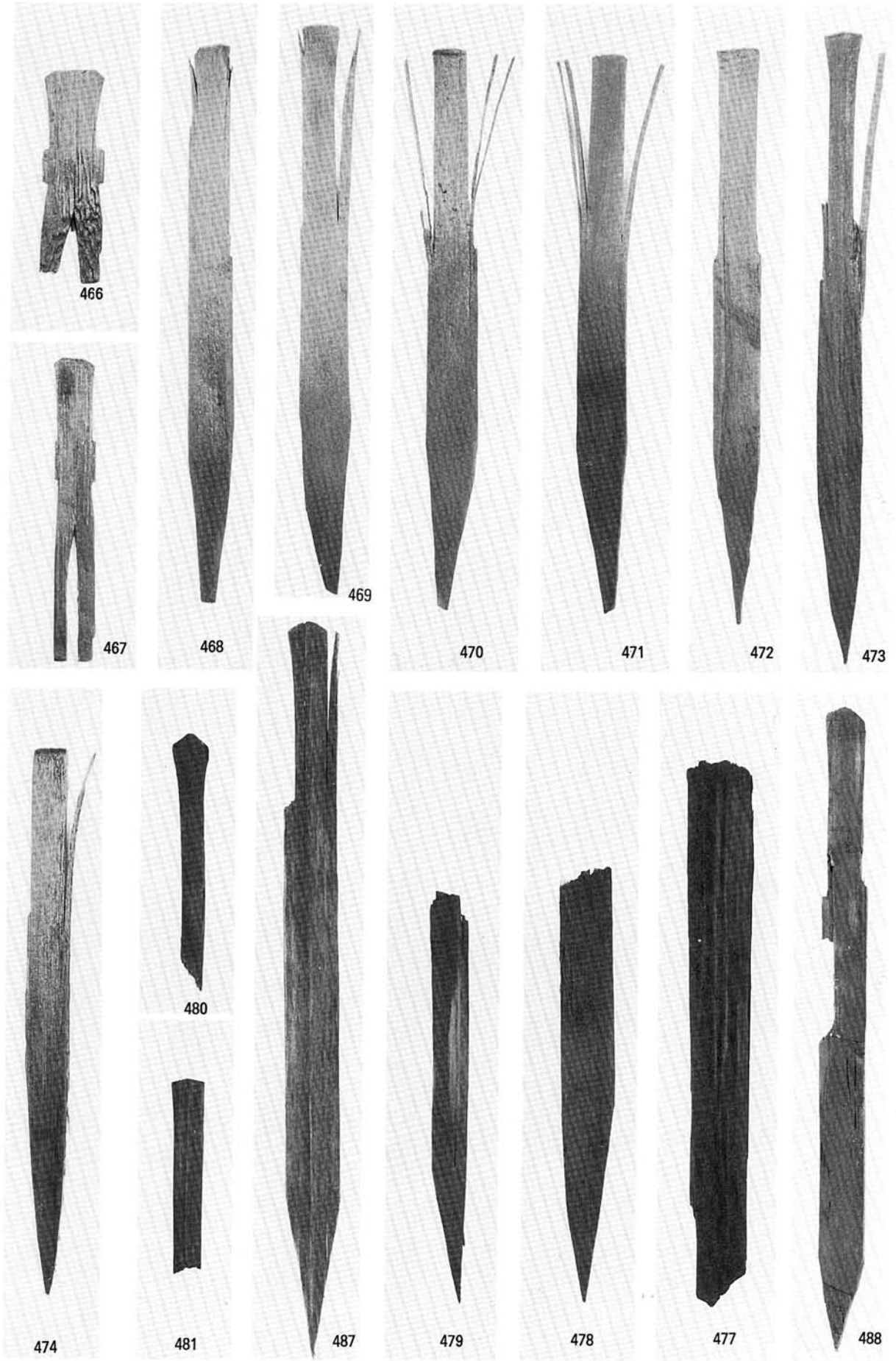

413


414

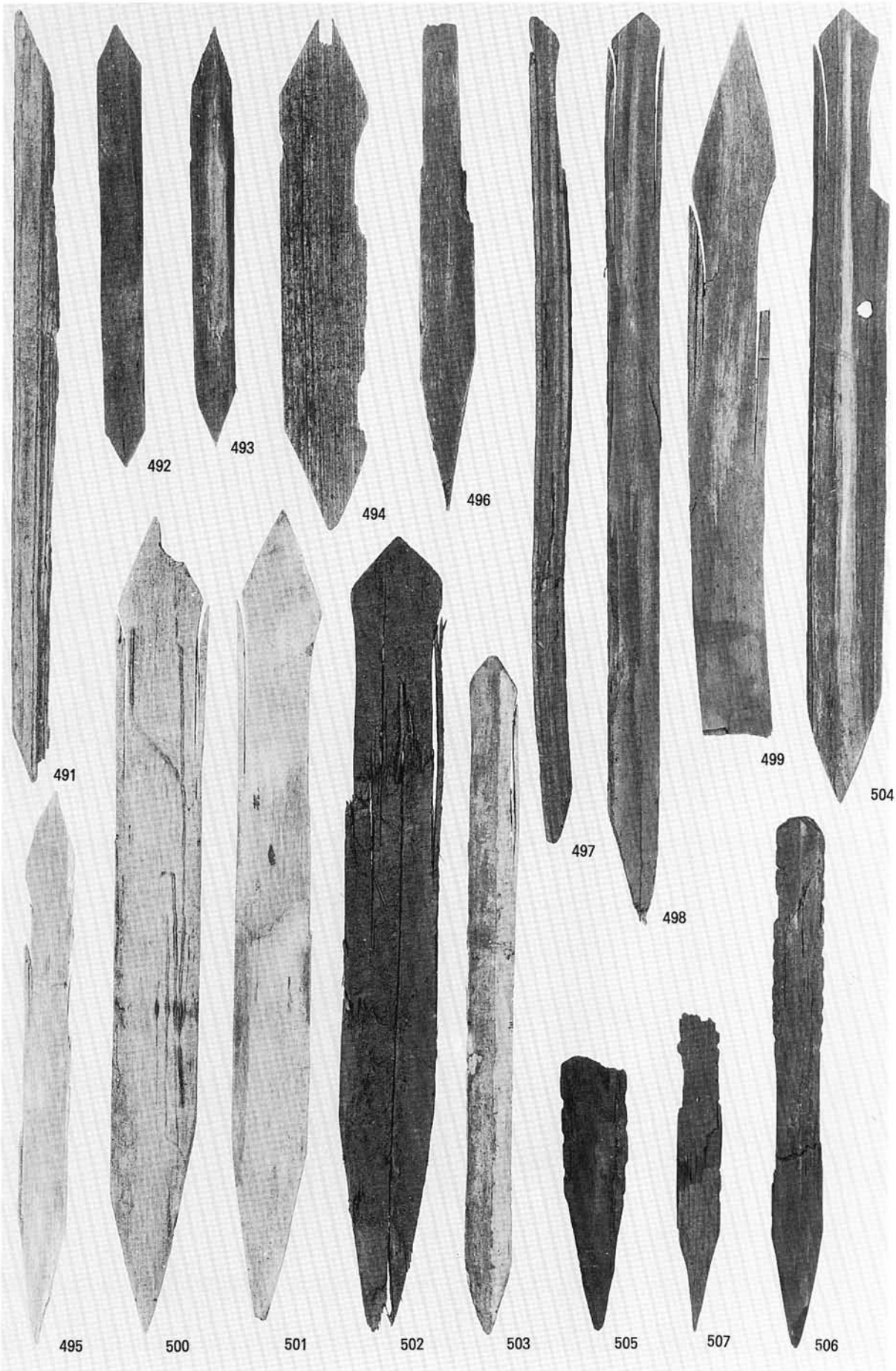
415


434

C地区　古墳〜奈良時代土師器・須恵器・鉄斧（1：3）

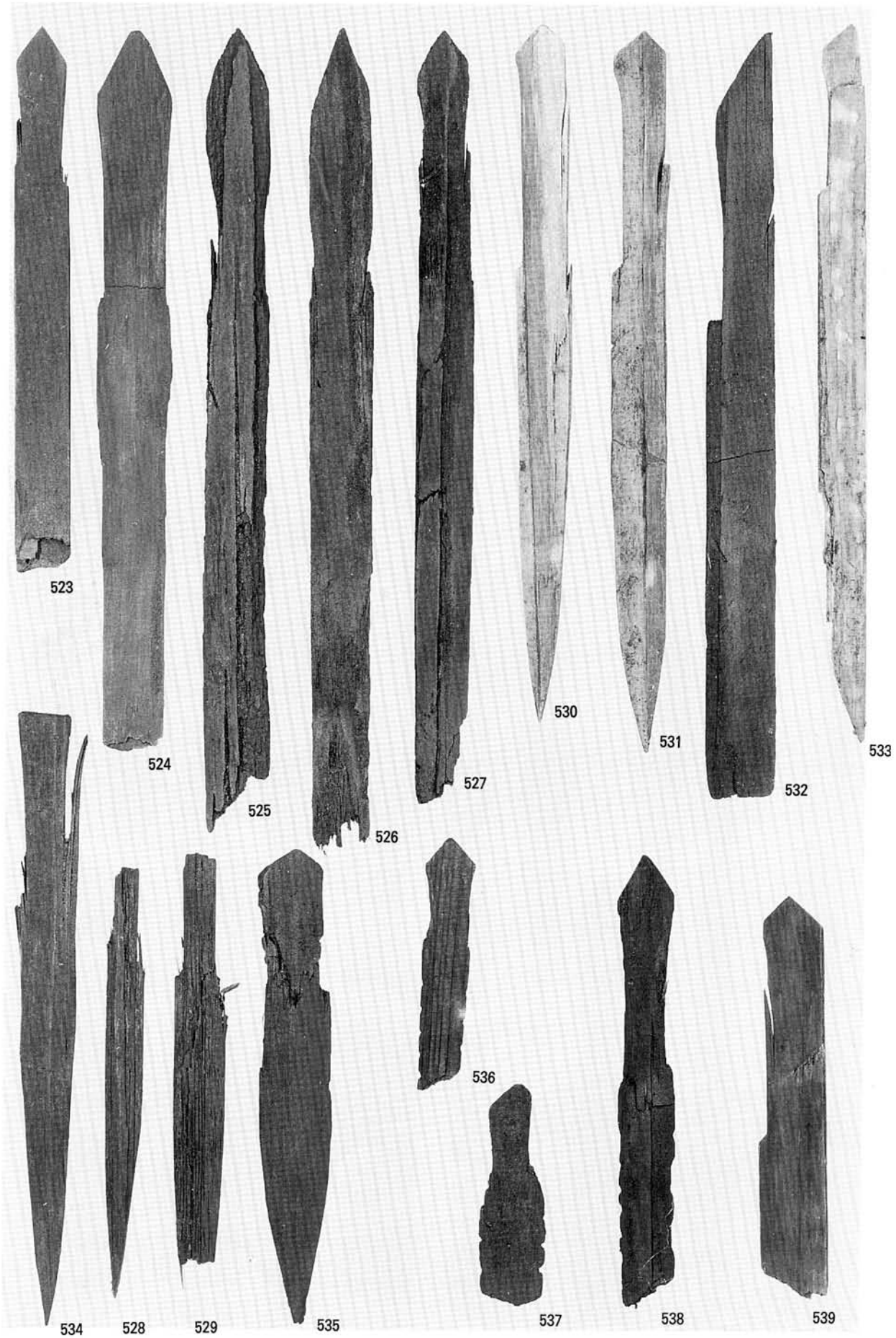


SE24人形木製品・斎串（1 : 2）

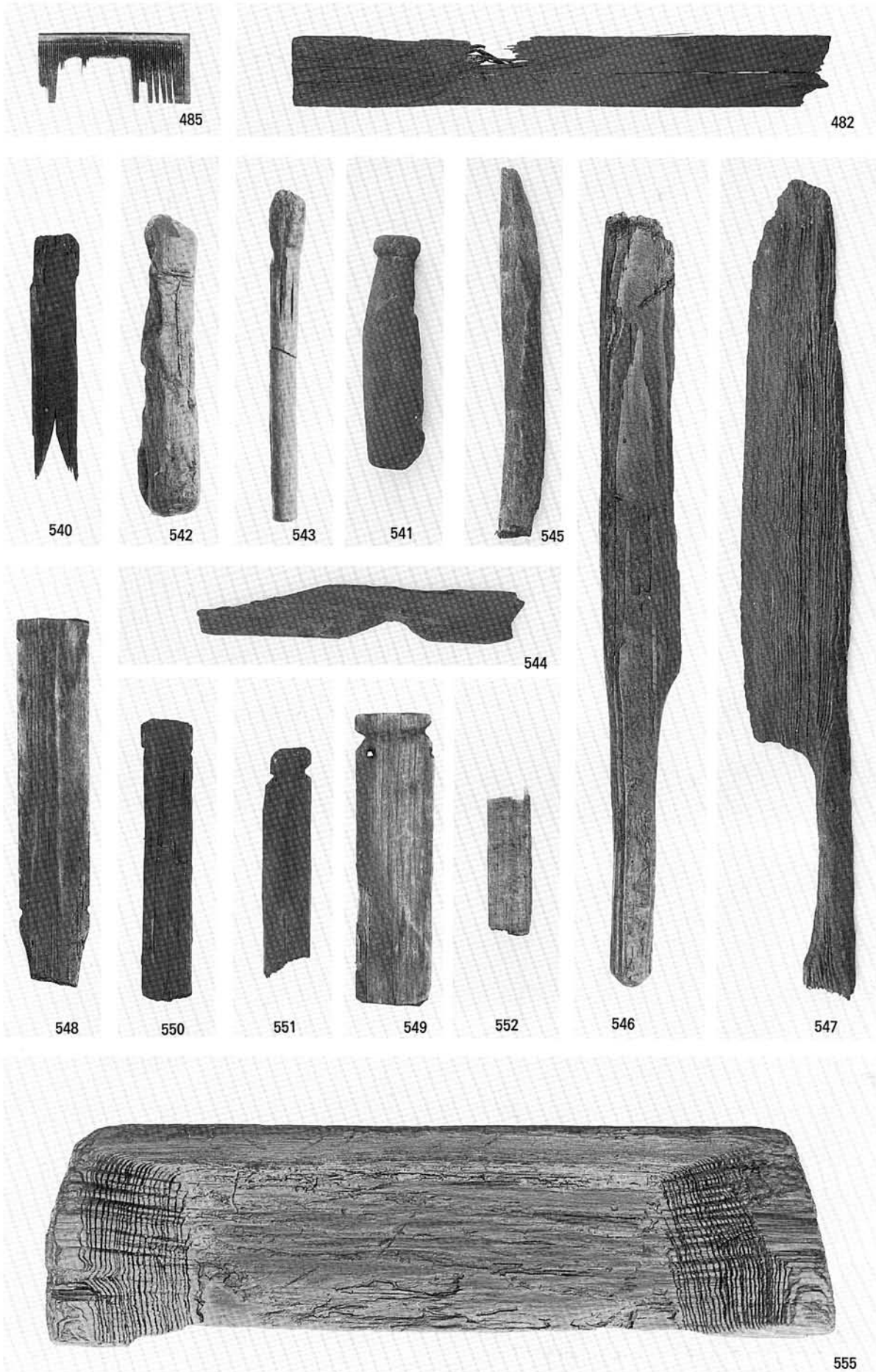

492
493
494
496
491
499
504
497
498
495
500
501
502
503
505
507
506

斎串（1）（1：2）

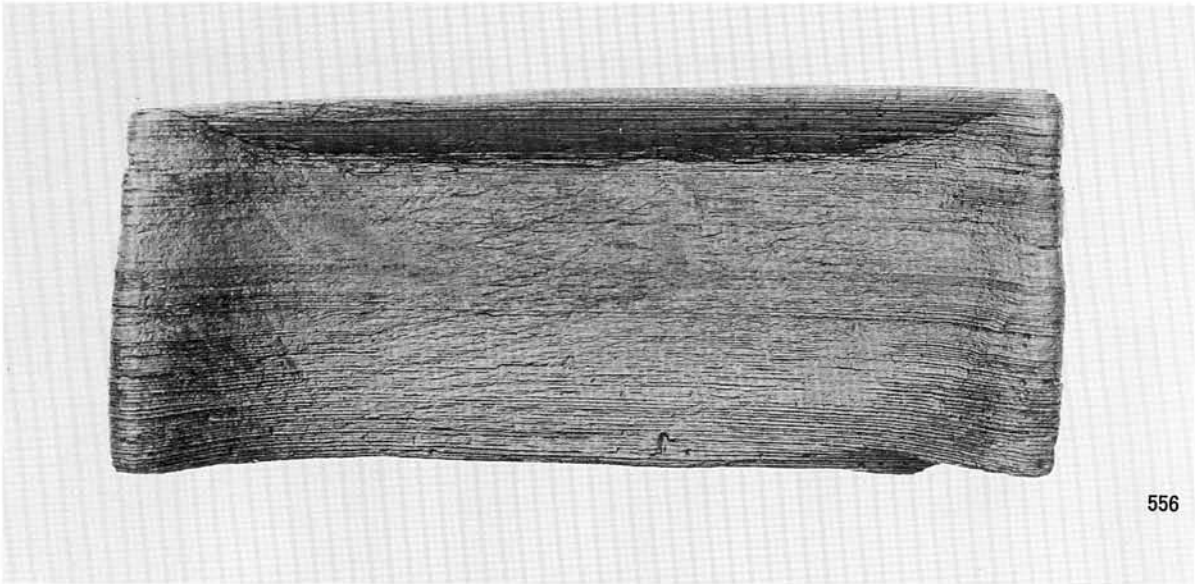
斎串（2）（1：2）

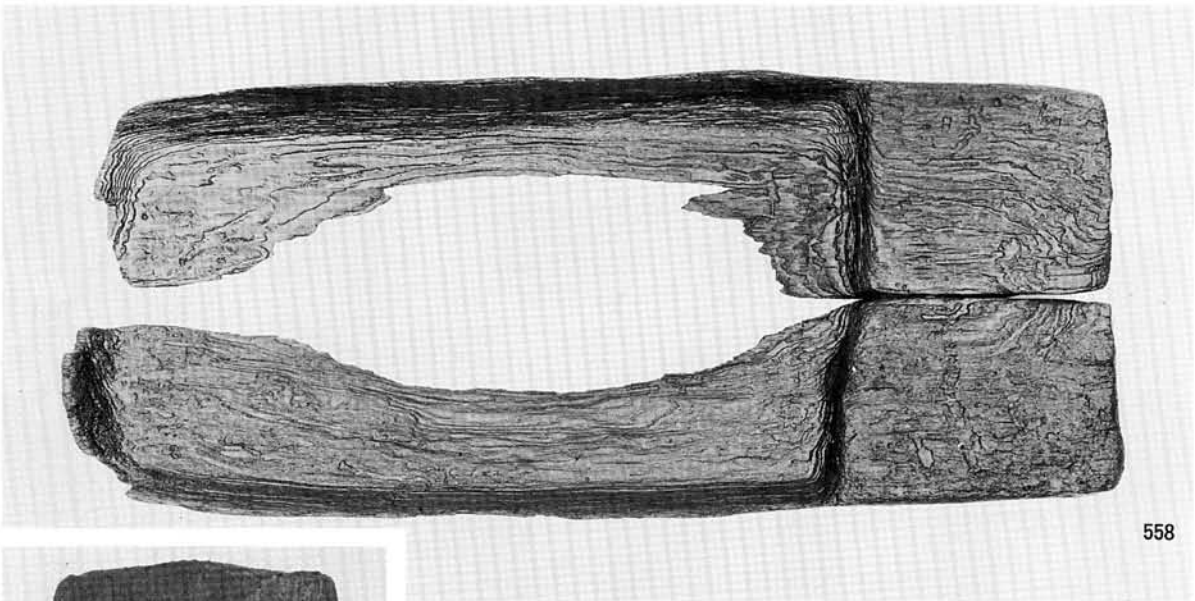

523
524
525
526
527
530
531
532
533
534
528
529
535
536
537
538
539

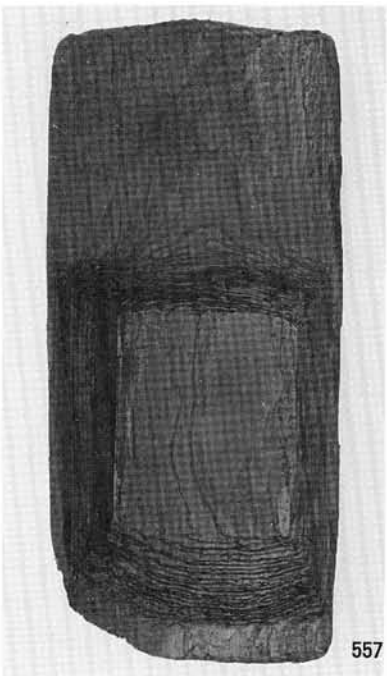
斎串（３）（１：２）



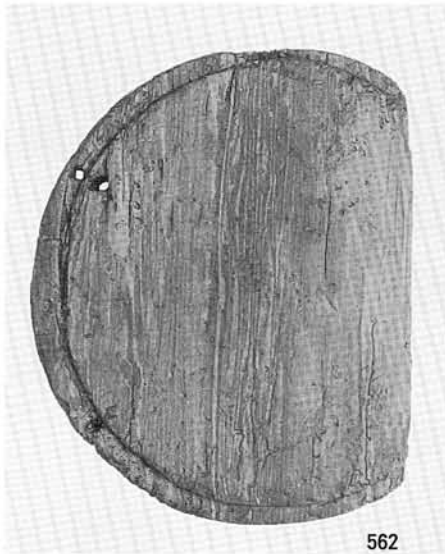
櫛・陽物・刀形木製品・馬形木製品・木簡・槽（1：2）

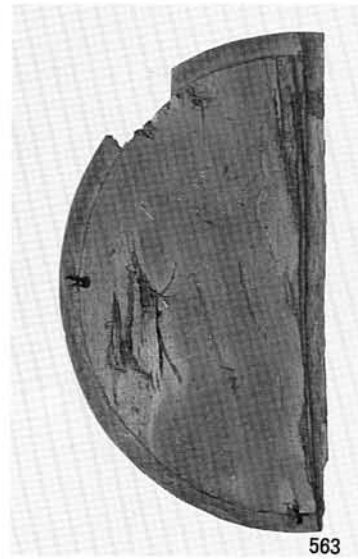


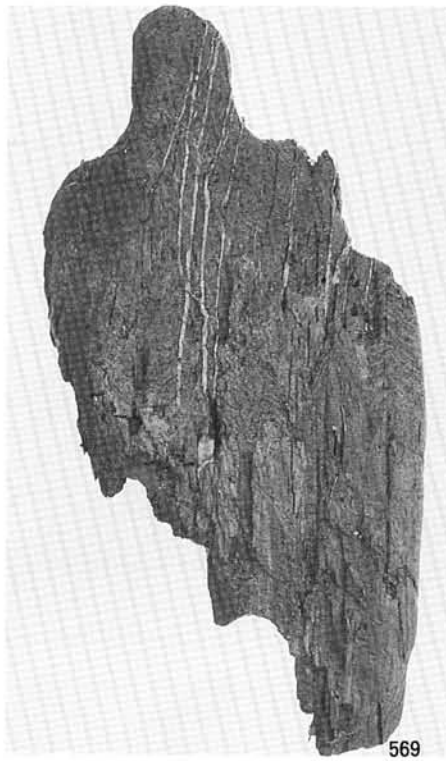


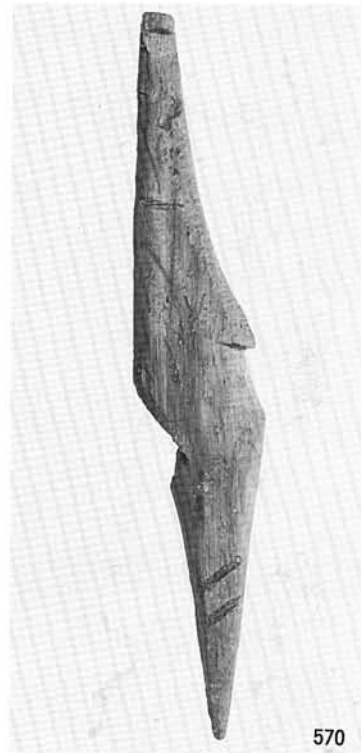


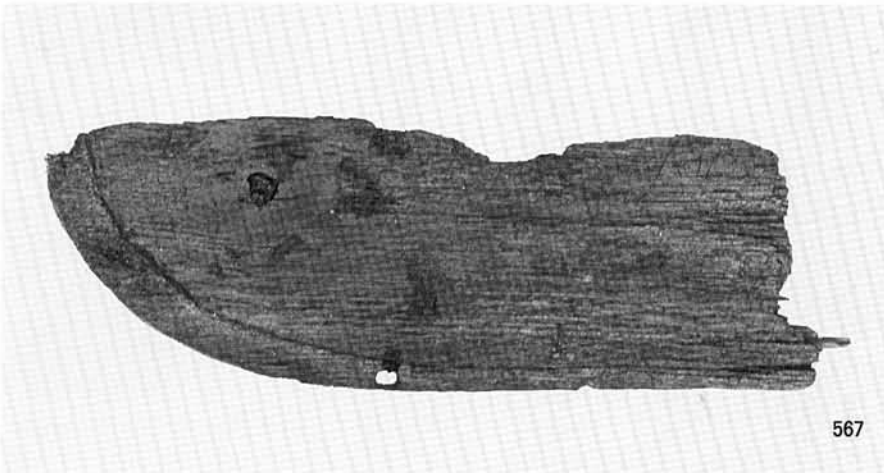
槽・把手付容器・コップ状容器（１：２）

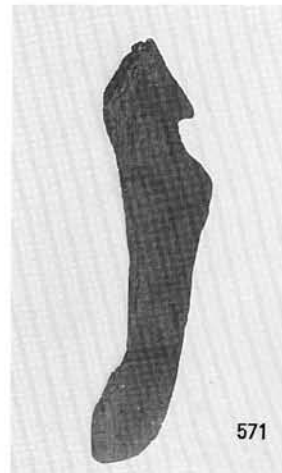




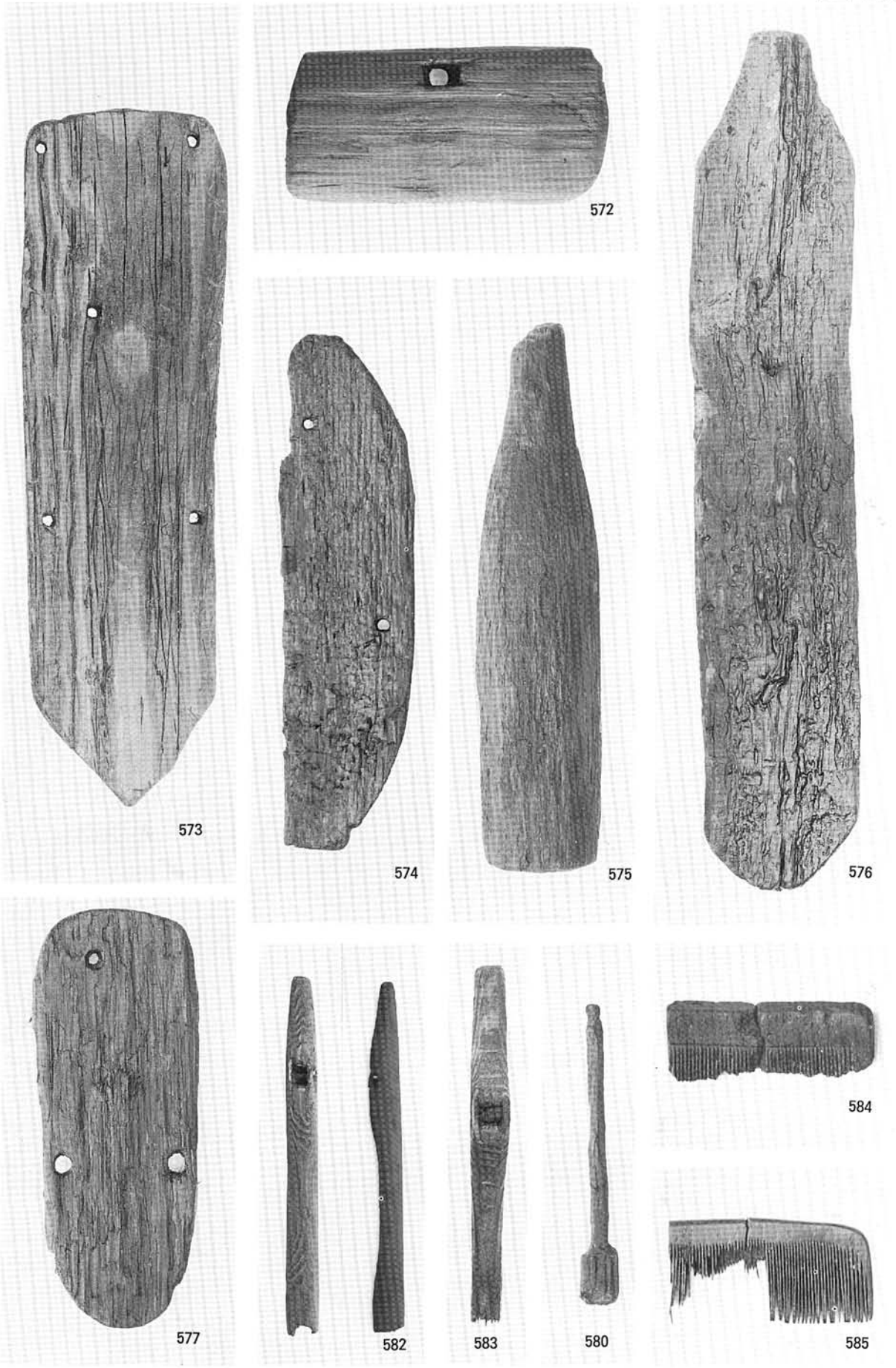




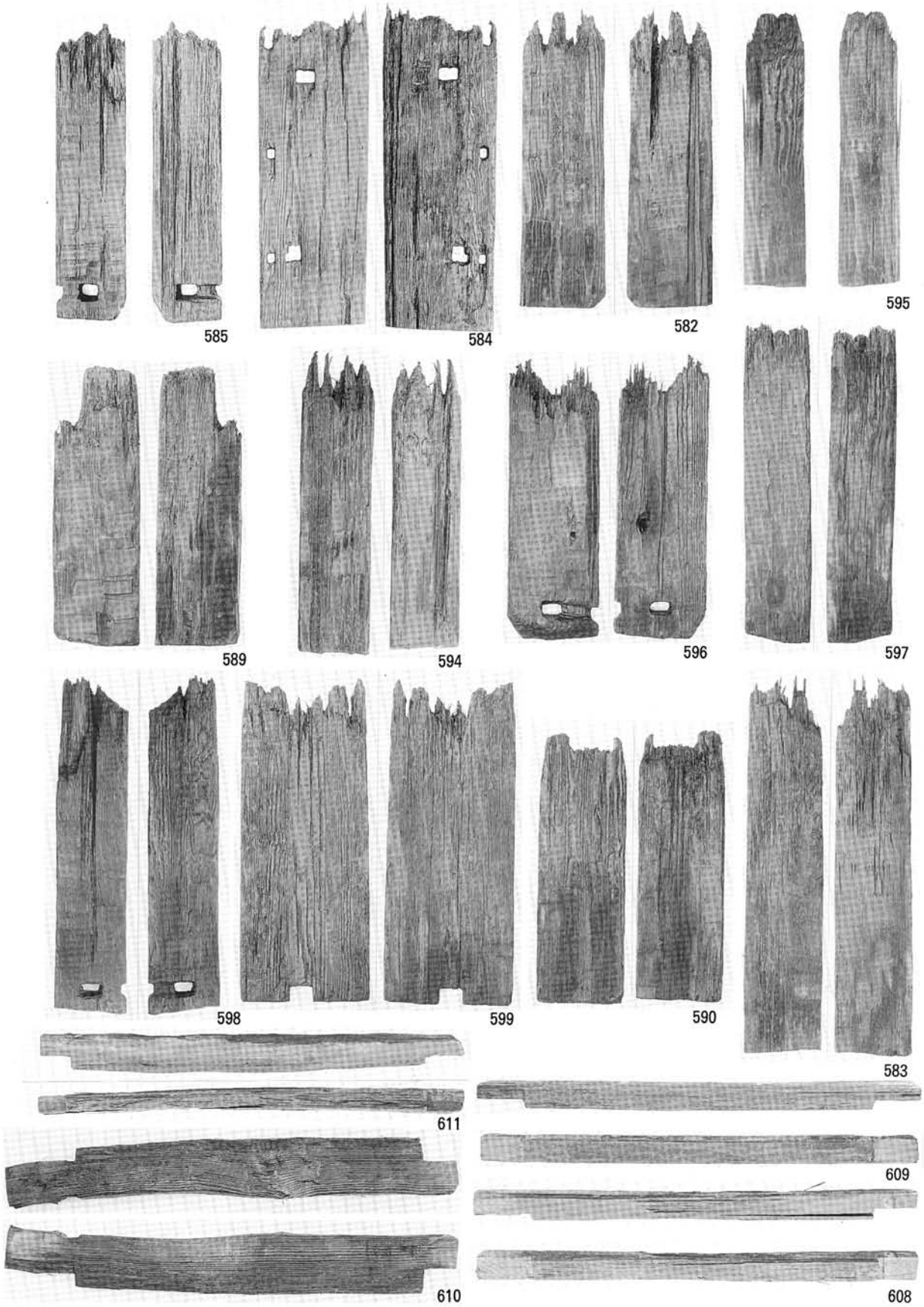




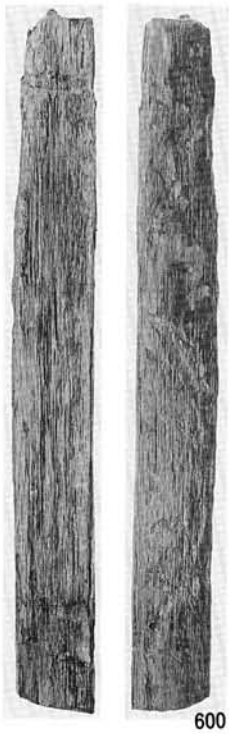
曲物・鋤・ナスビ形二股鋤（1：2）

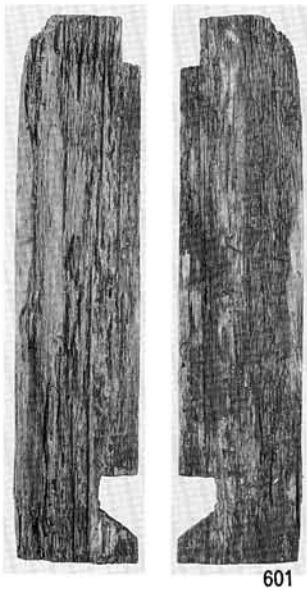


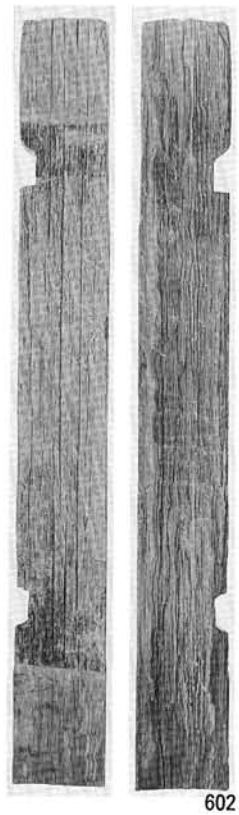
田下駄・下駄・堅杵・櫛・その他の木製品（１：２）

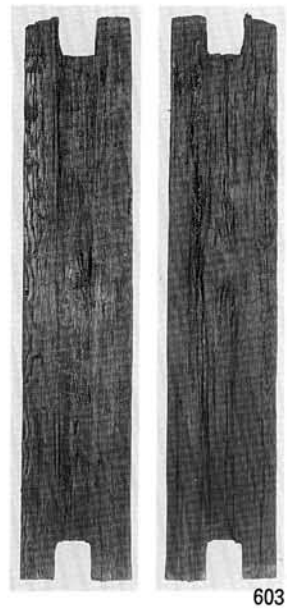


SE24井戸材（1）（1：8）

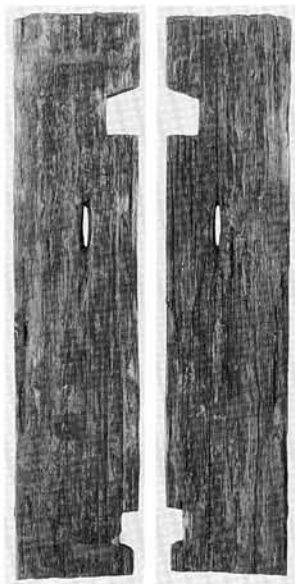

600

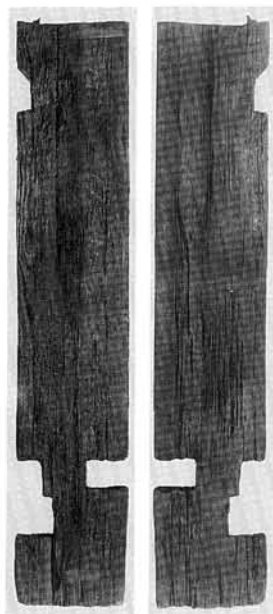

601

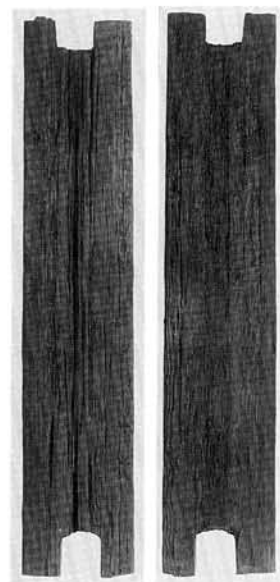

602


603

604


605


606

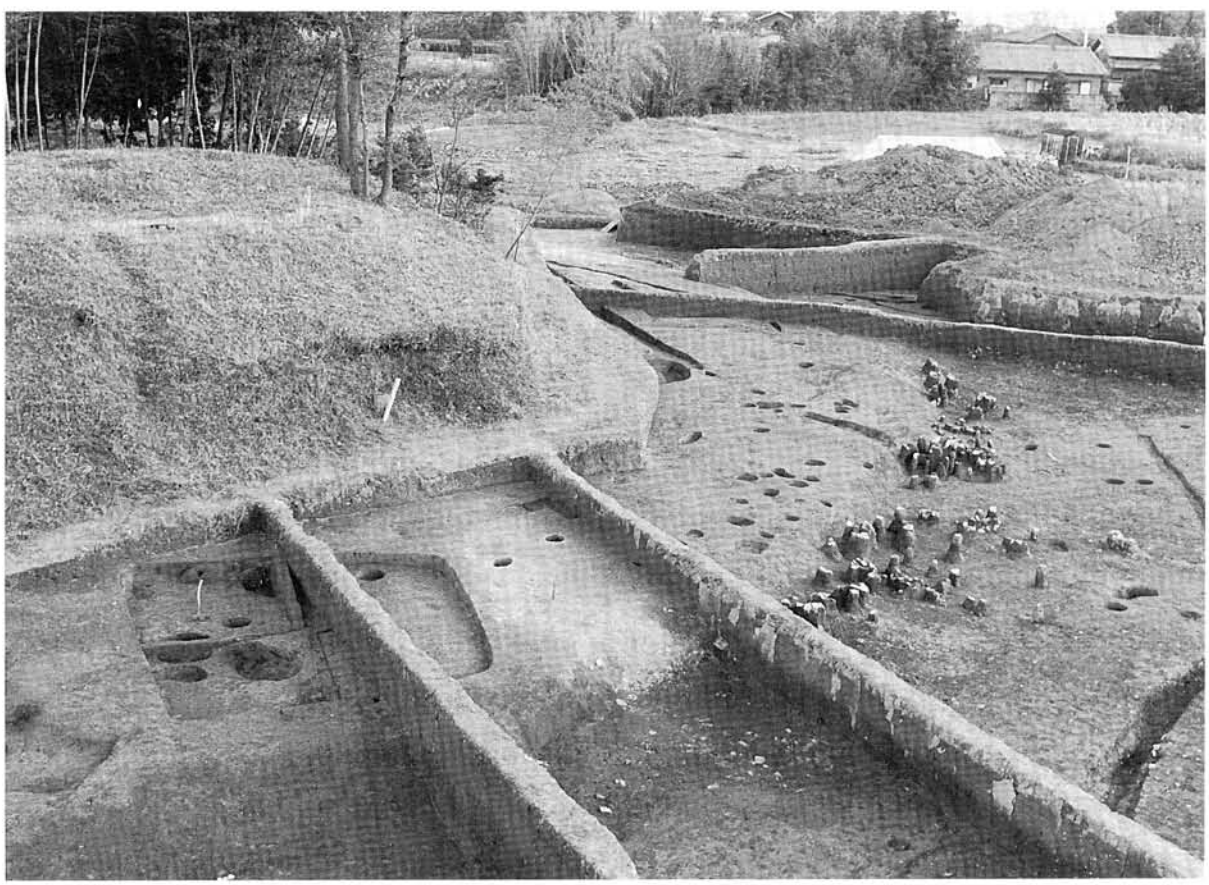

607

SE24井戸材（２）（１：８）

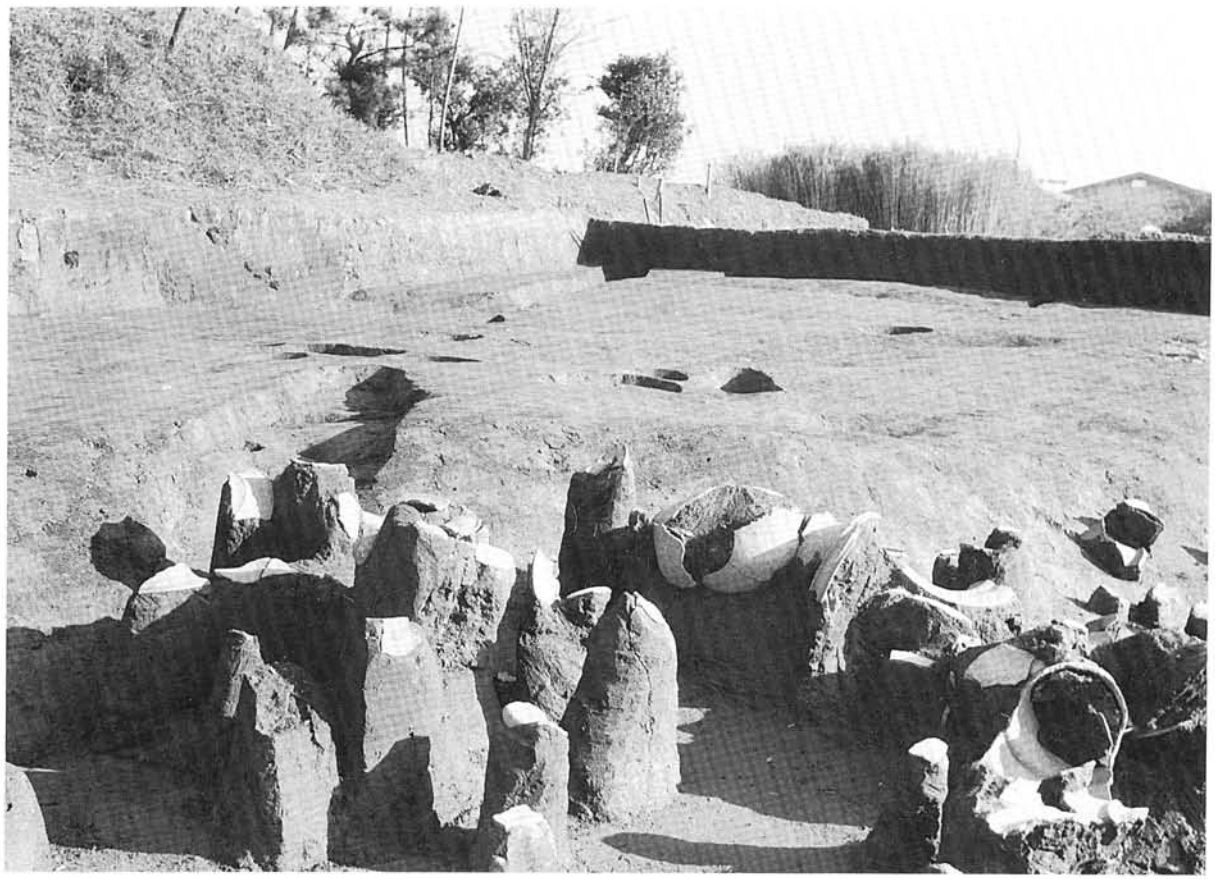
航空写真（西上空から）

航空写真（北西上空から）

全景（北西から）



墳丘裾遺物出土状況（北西から）

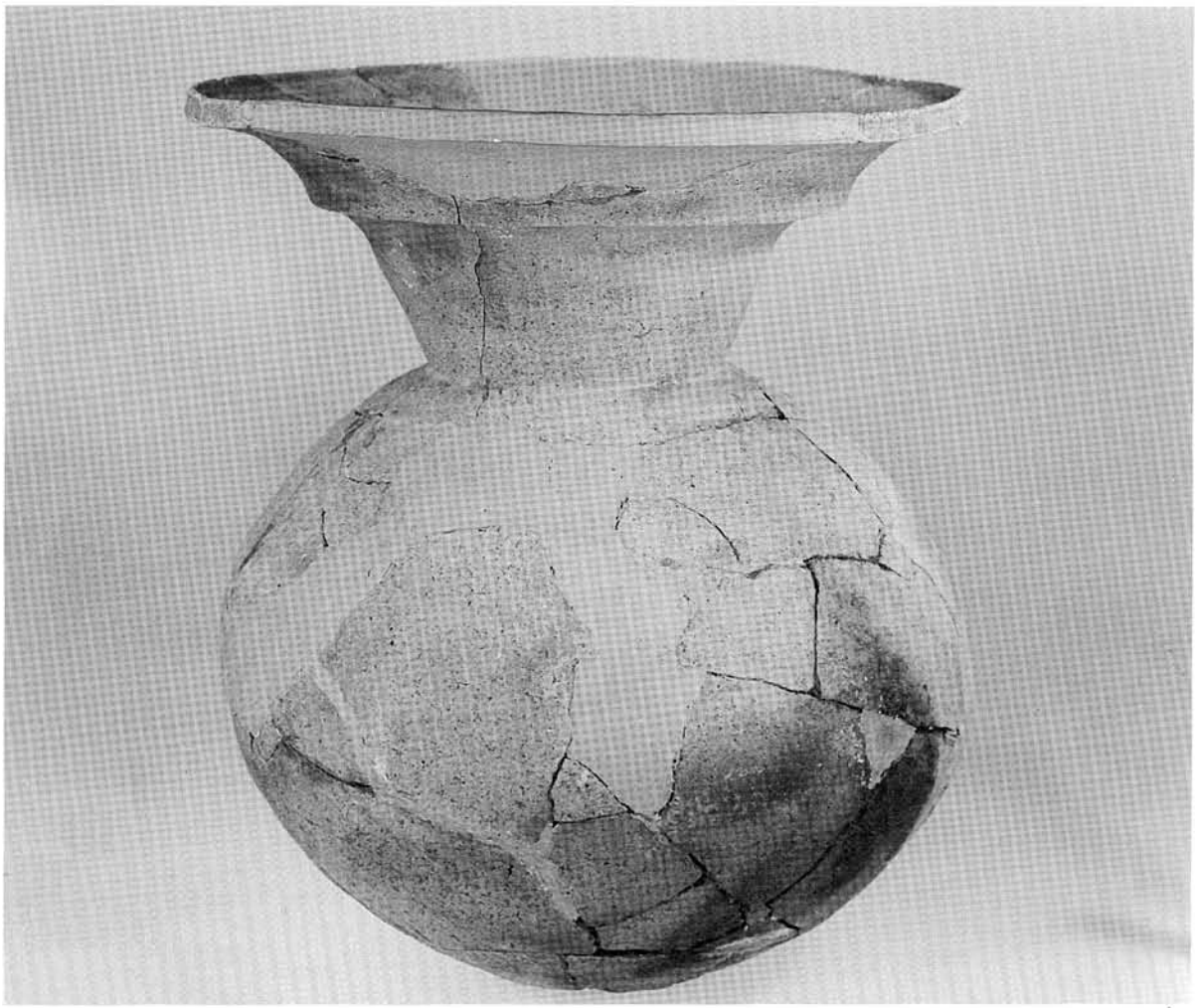


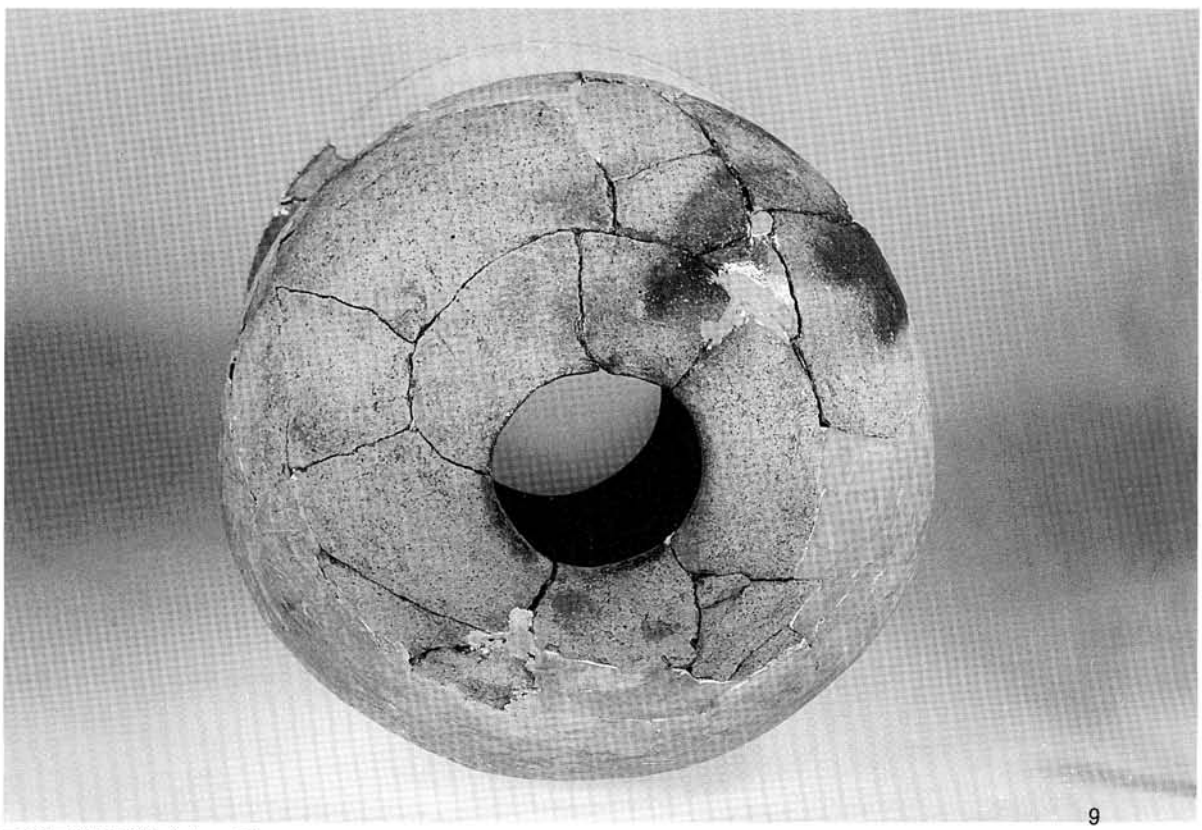
遺物出土状況（西から）

墳丘裾土層と遺物出土状況

二重口縁壺A類・D類（1 ： 3）

二重口縁壺B類（１：３）





二重口縁壺C類（1：3）

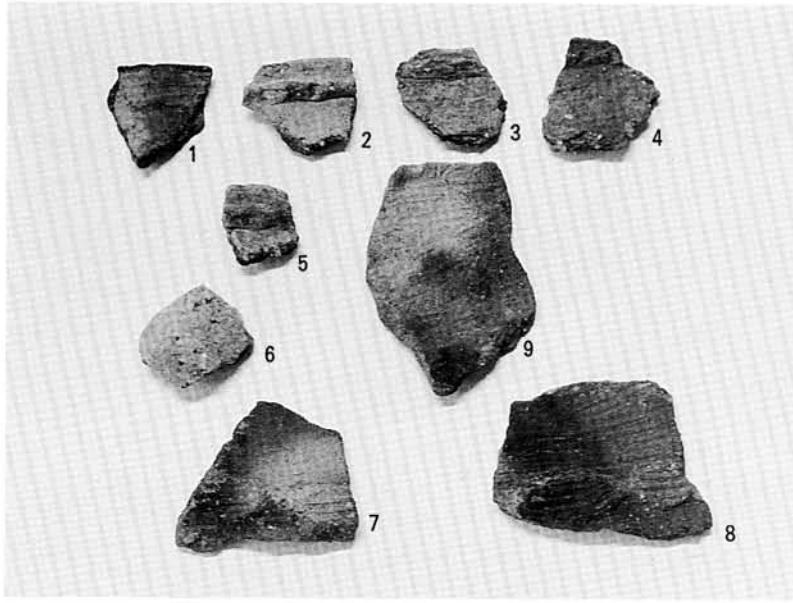
壺E類（1：3）

調査区全景（南から）

SB 6 ・ 7 ・ 8（西から）

SK 5（西から）

SK 9（北西から）



遺物（1 ： 3）

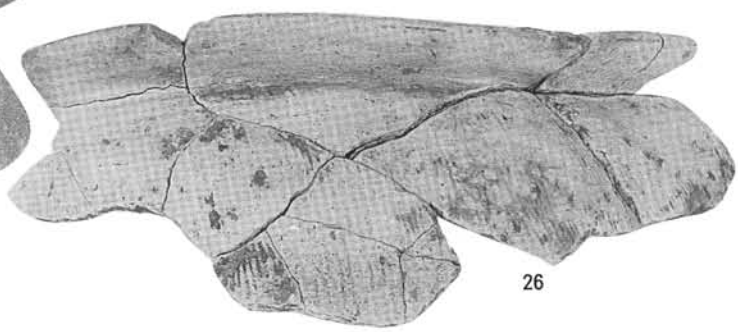
19

22

23

24

21


26

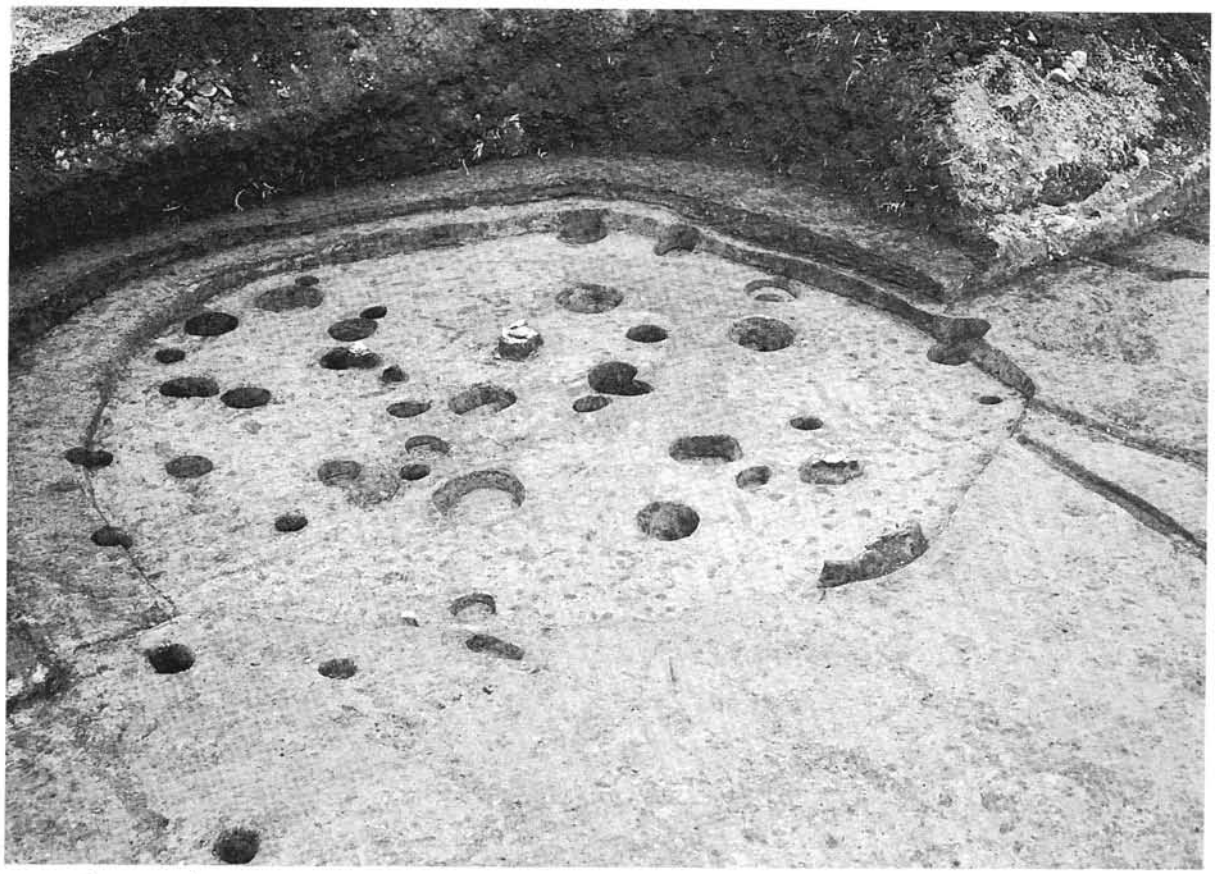
遺物（１：３）

Ａ地区主要遺構（北から）

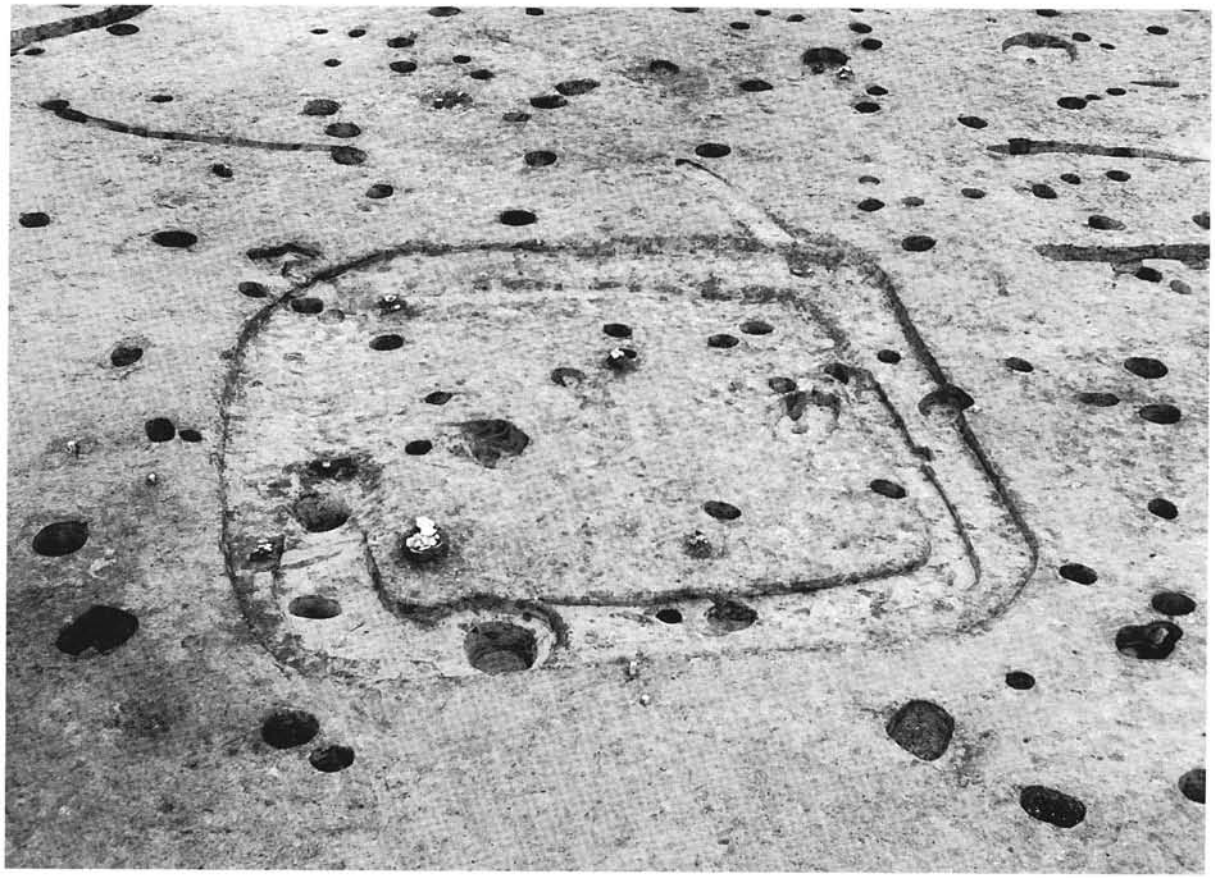
Ａ地区北半・Ｂ地区道路部分（西から）

西拡張区（東から）

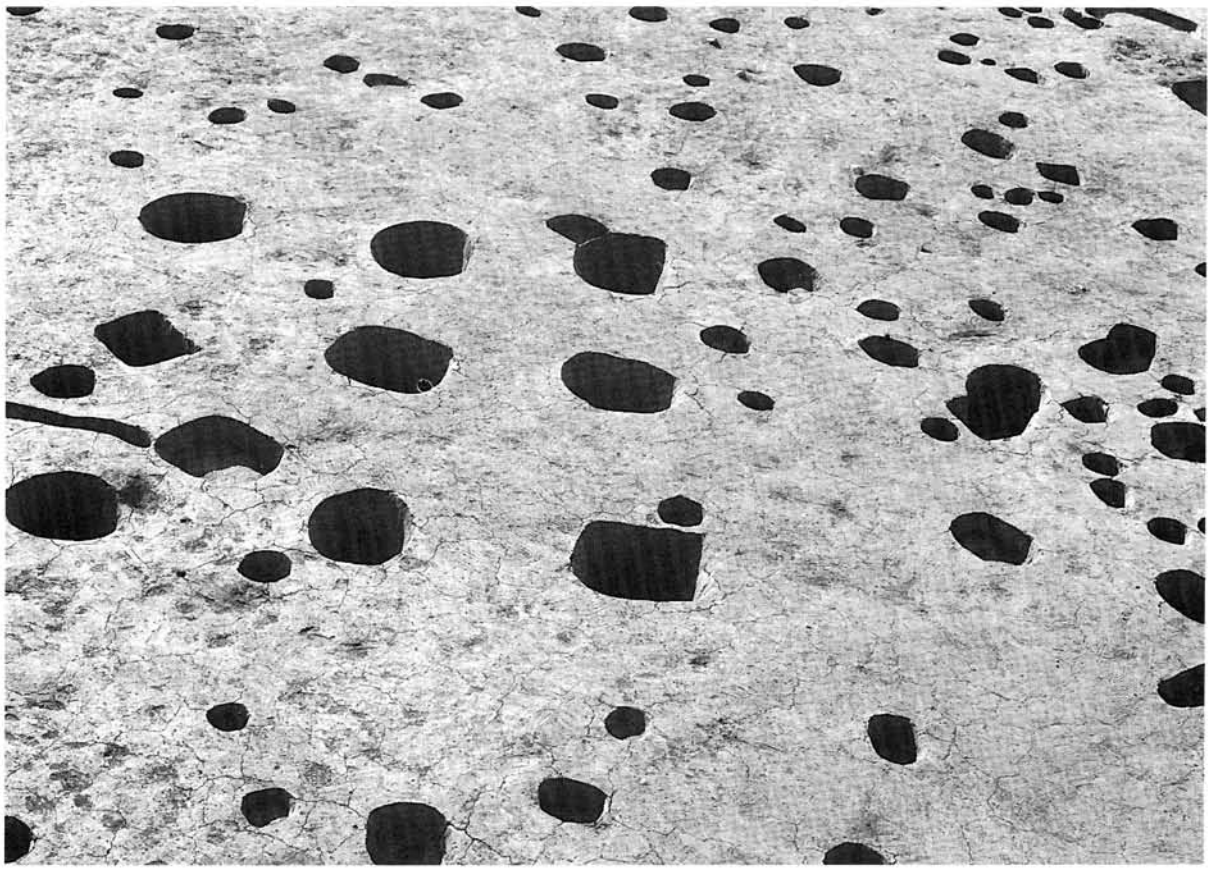
SB 2 ・ 3（西から）



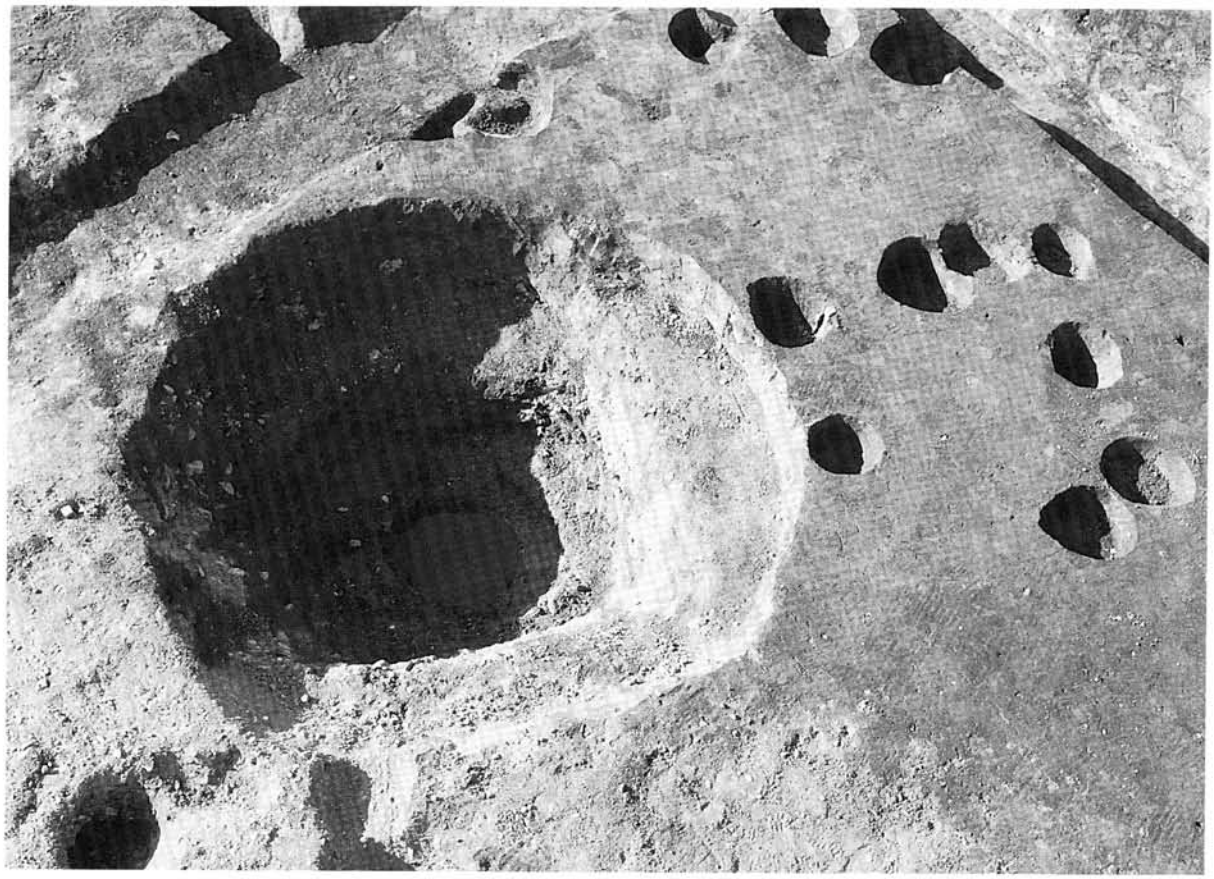
SB I（南西から）



SB12（南から）



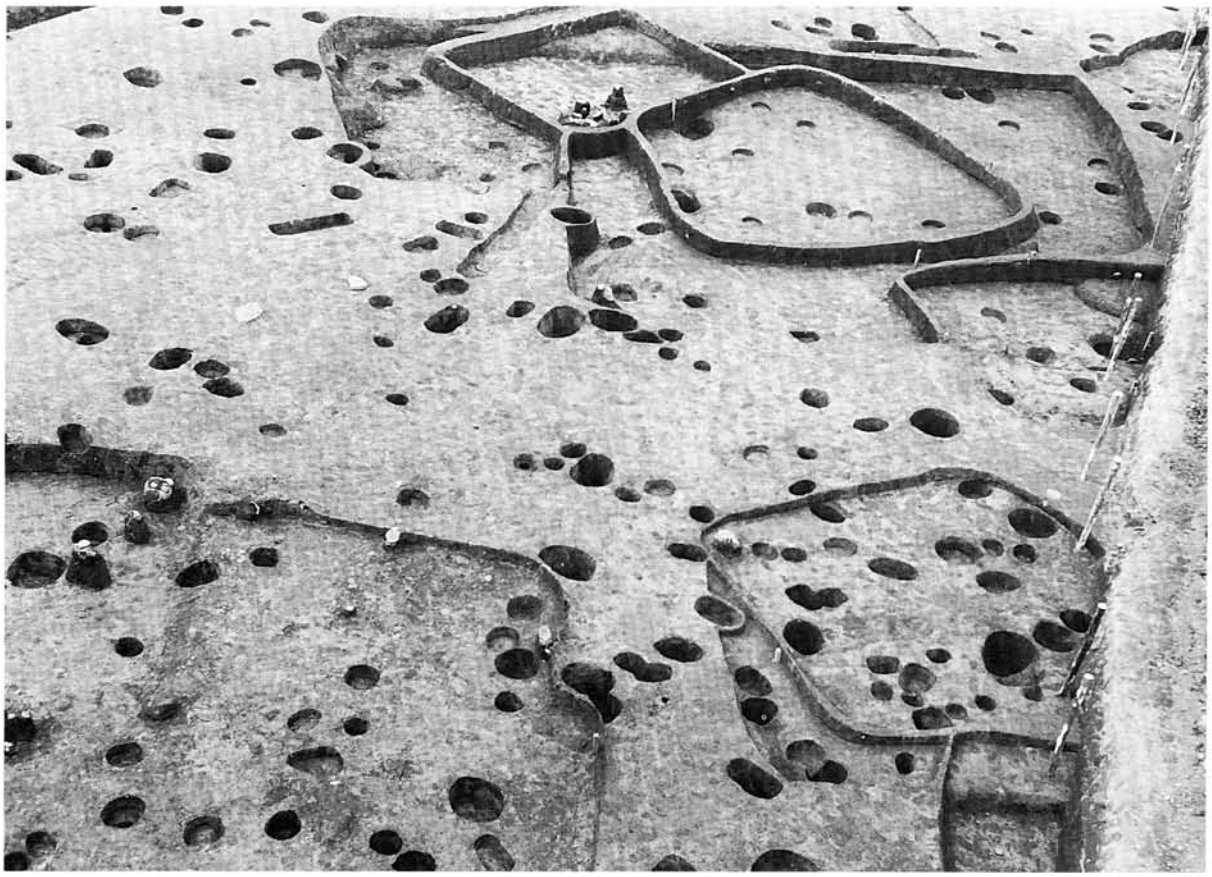
SB25（南から）



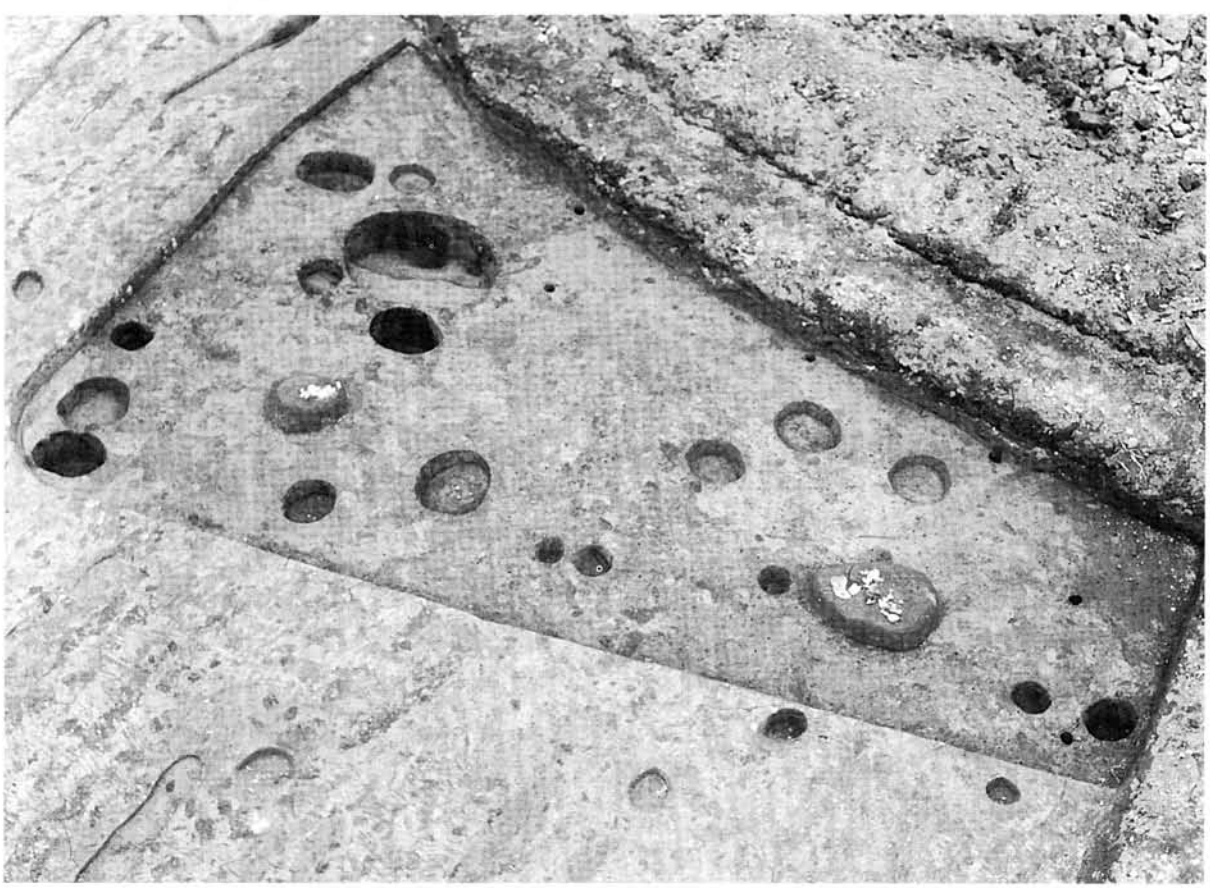
SB19（南から）

B地区全景（北西から）

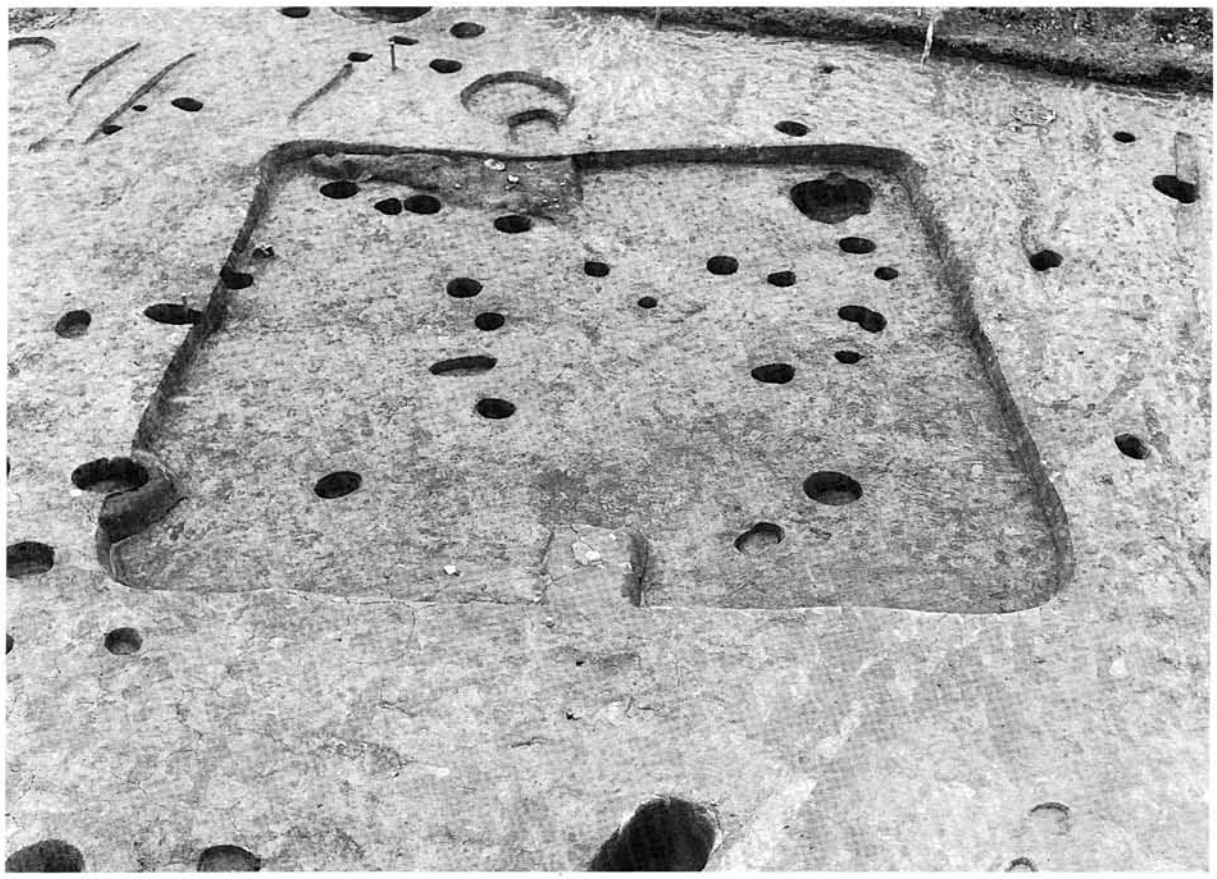
SB 3 ・ 4（南から）



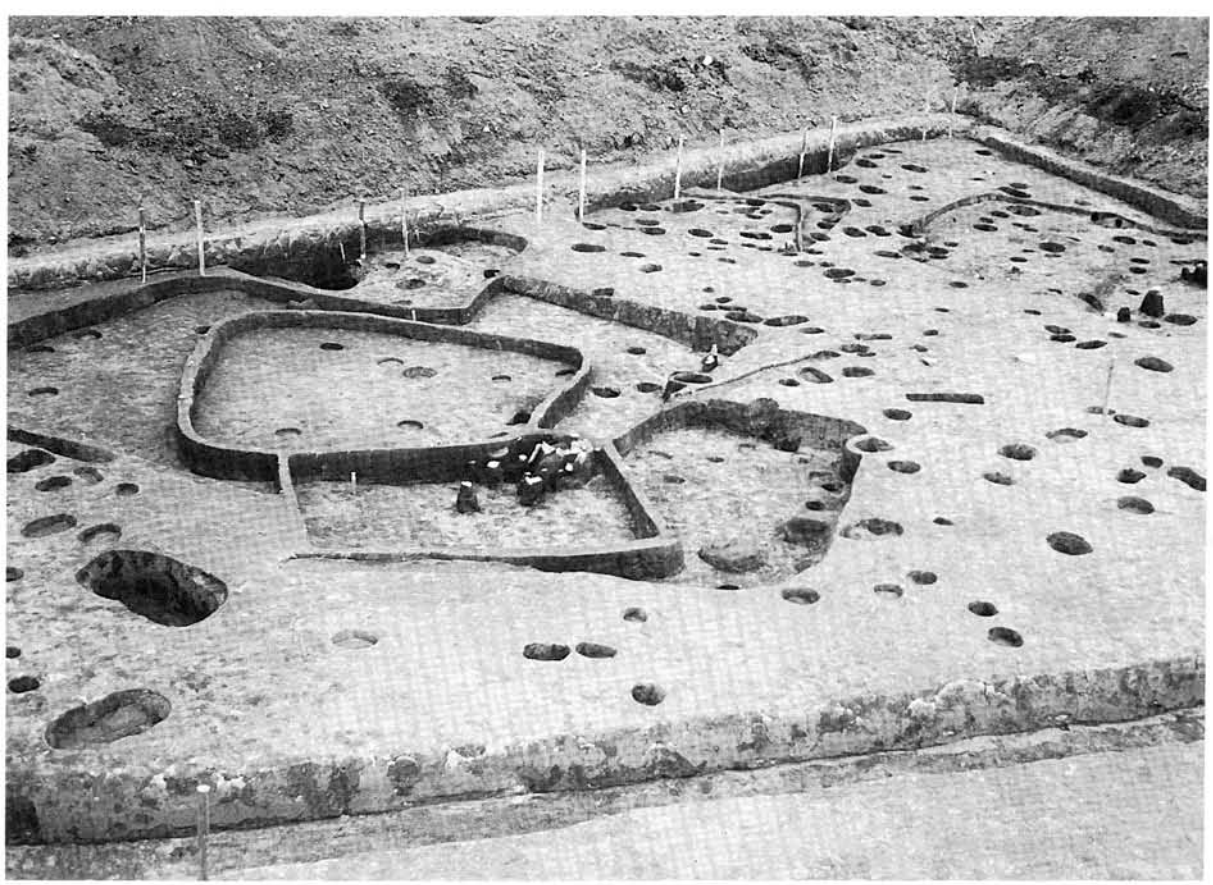
B地区竪穴住居群（南から）



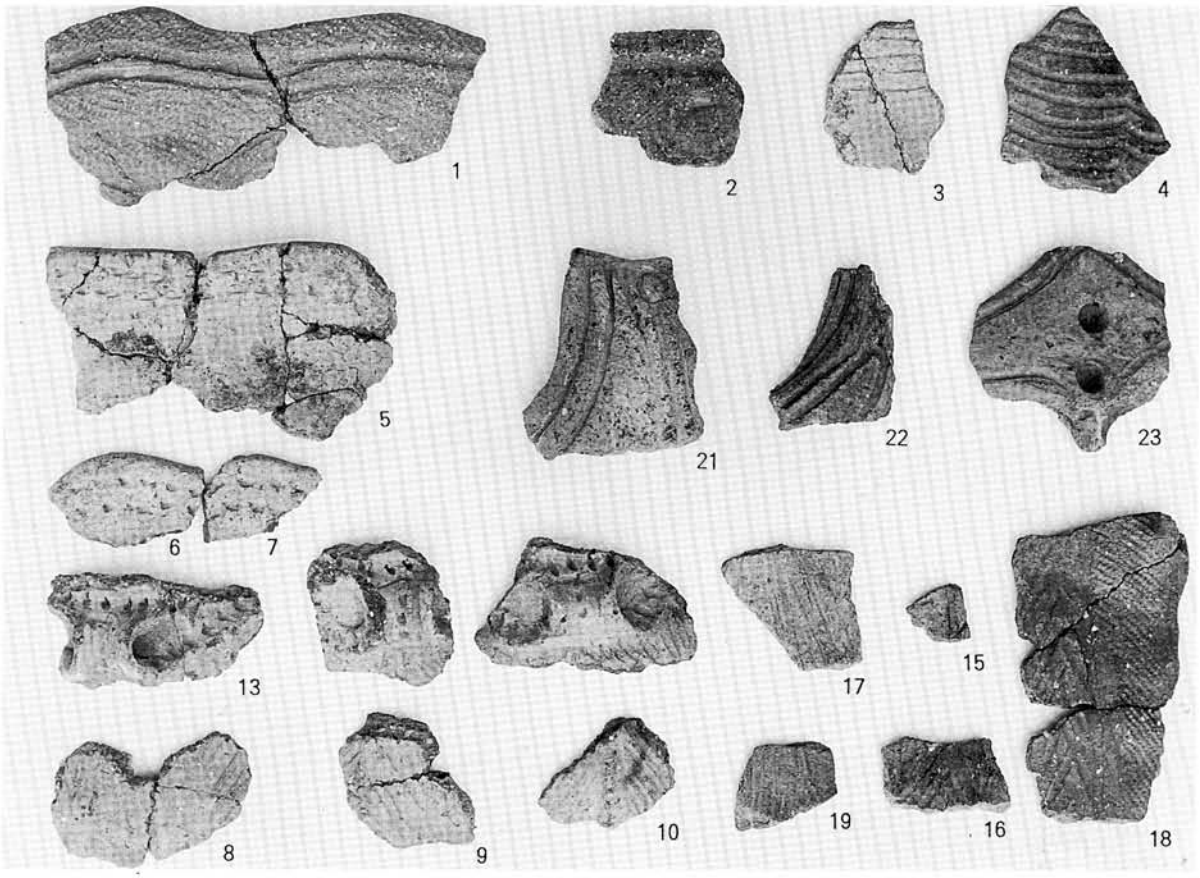
SB36（北から）



SB35（北から）

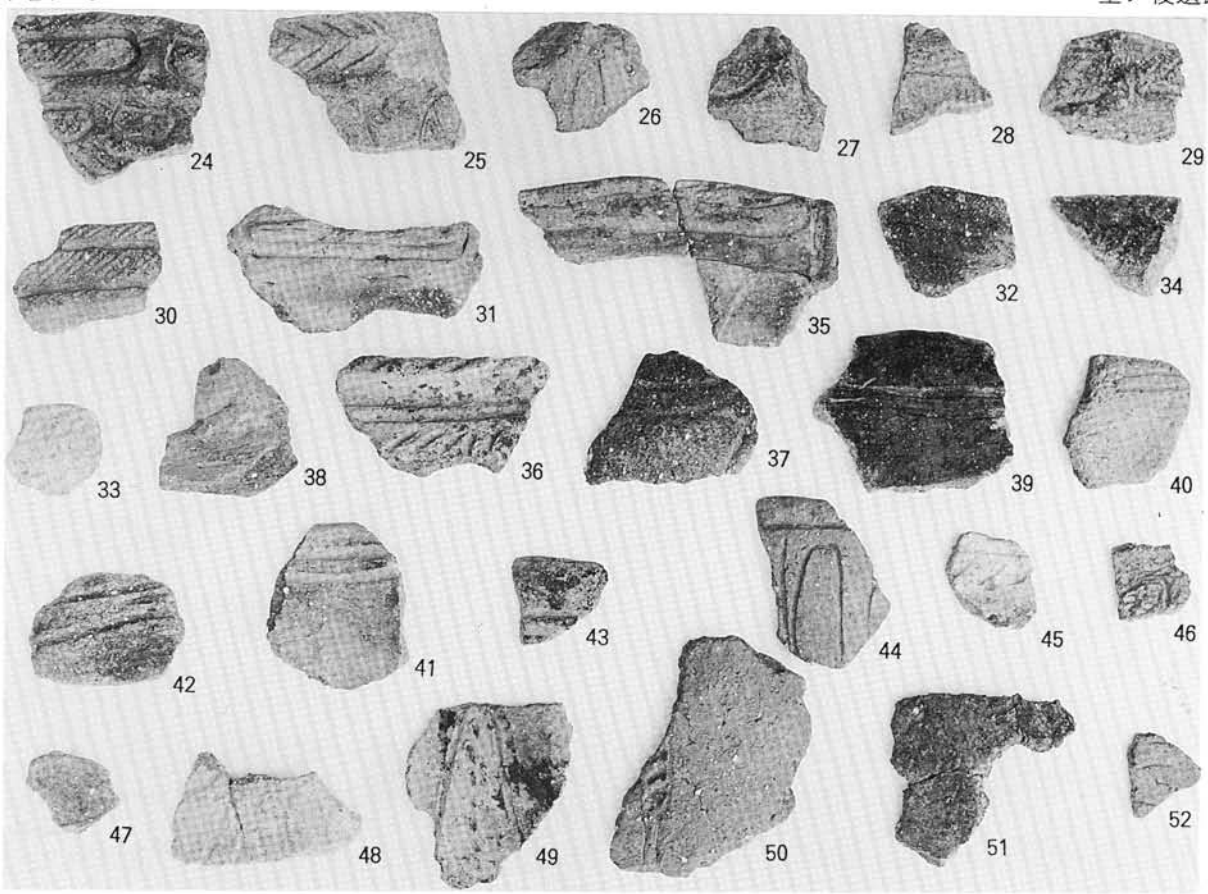


SB37－40（北西から）

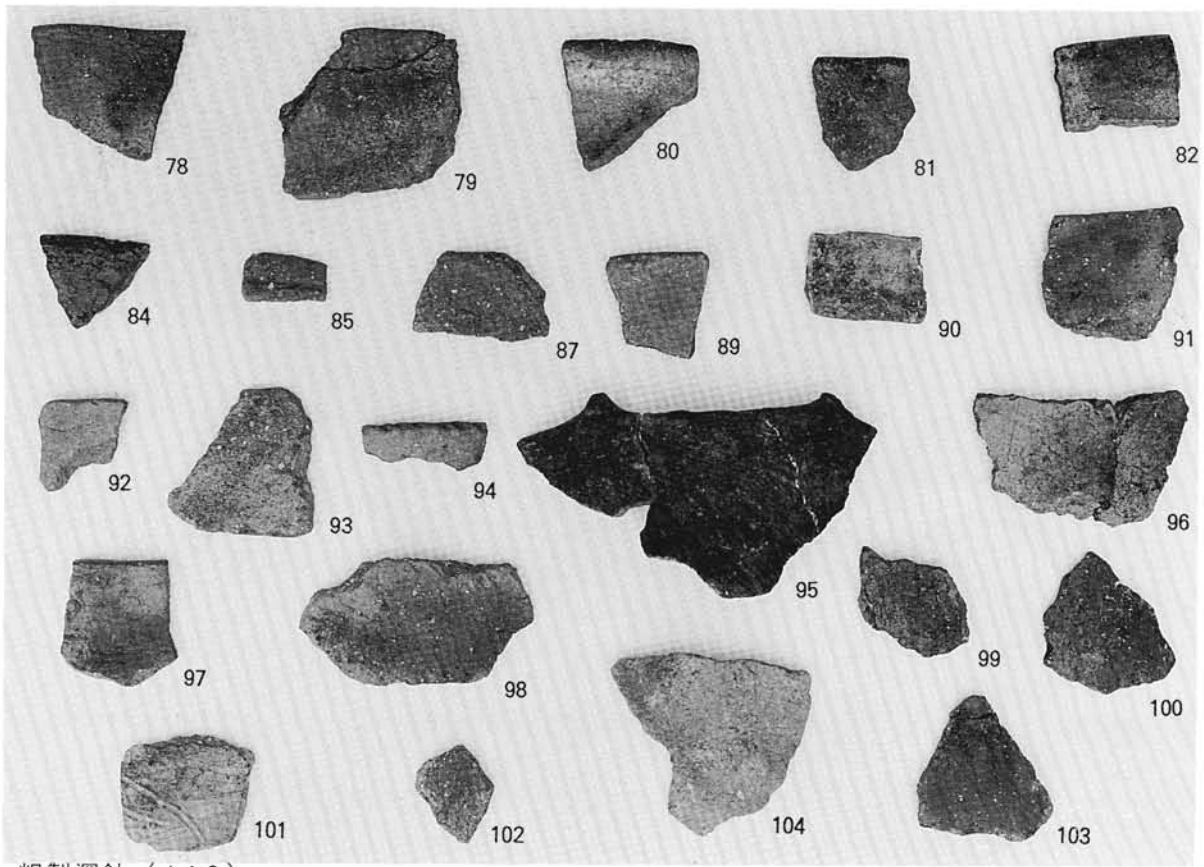


縄文中期末葉の土器（1）（1：3）

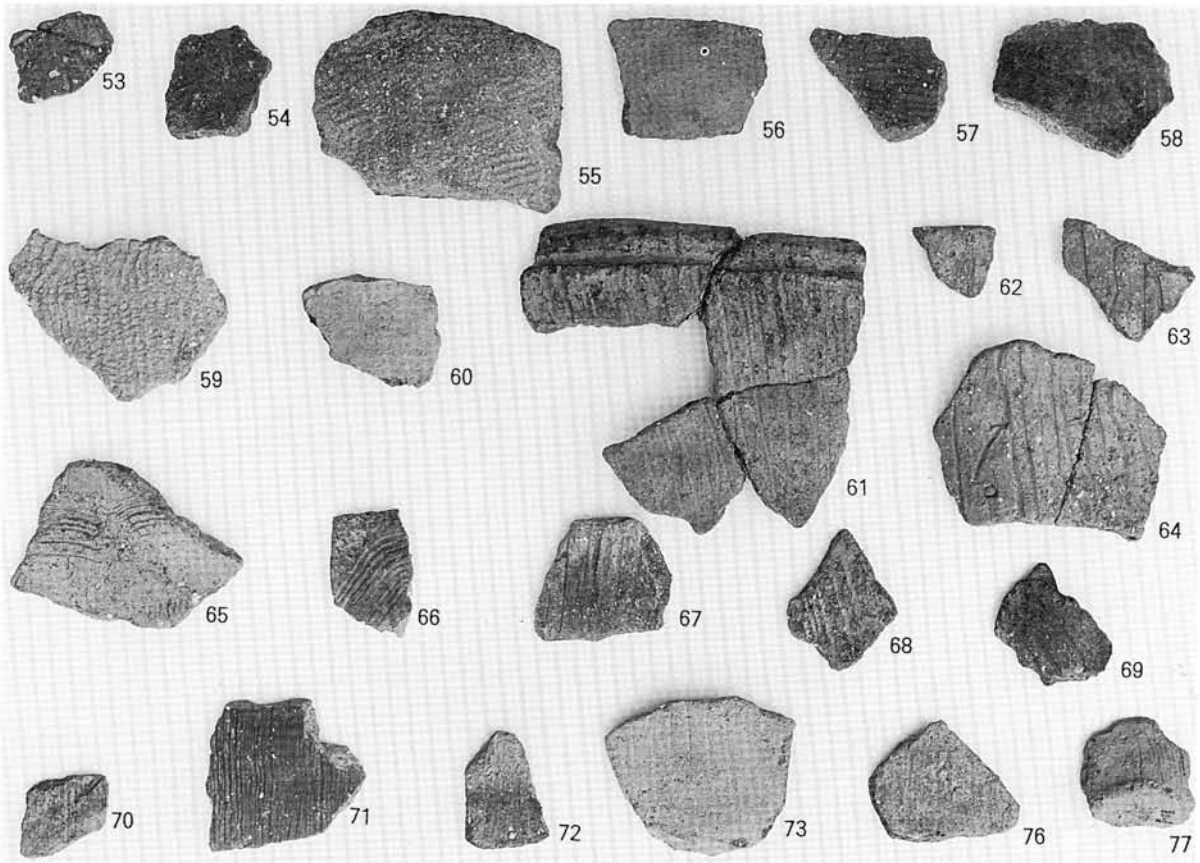
縄文中期末葉の土器（1：5）



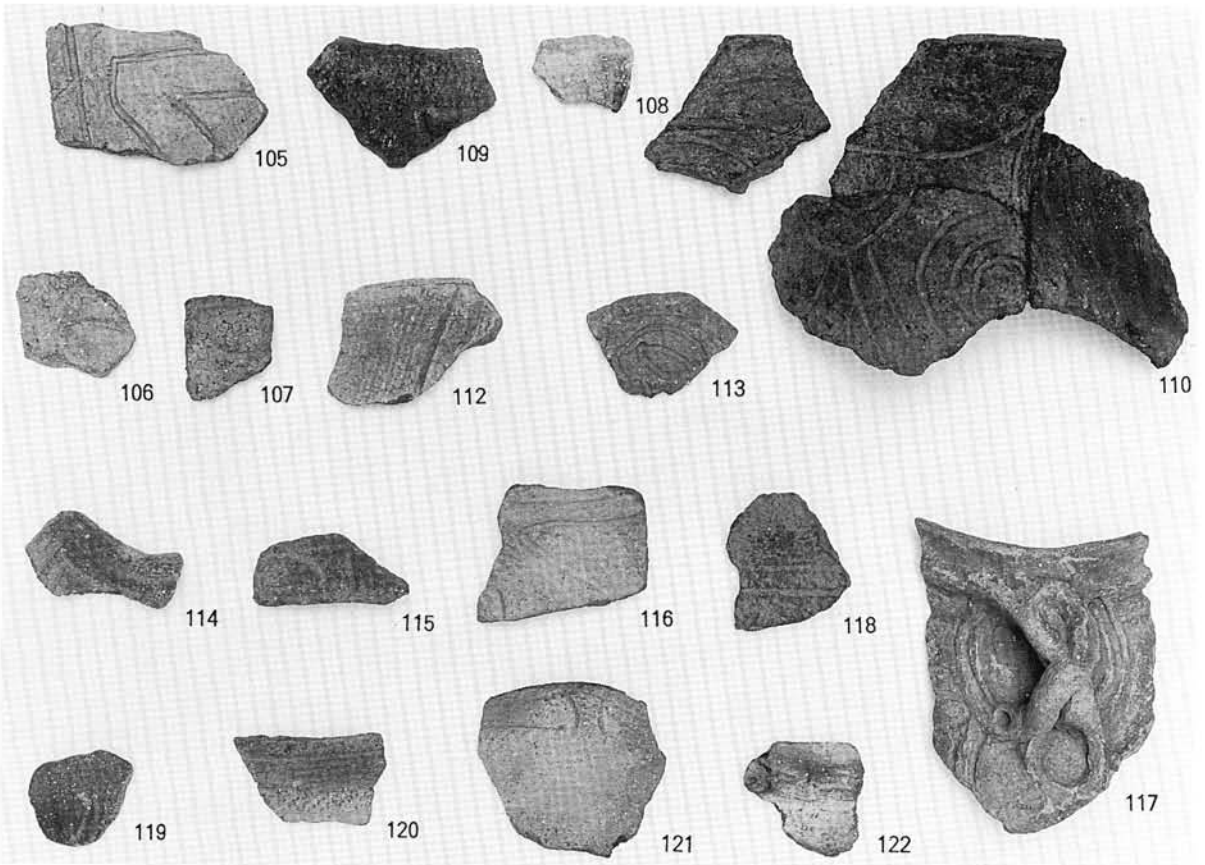
縄文後期早葉の有文深鉢（1：3）



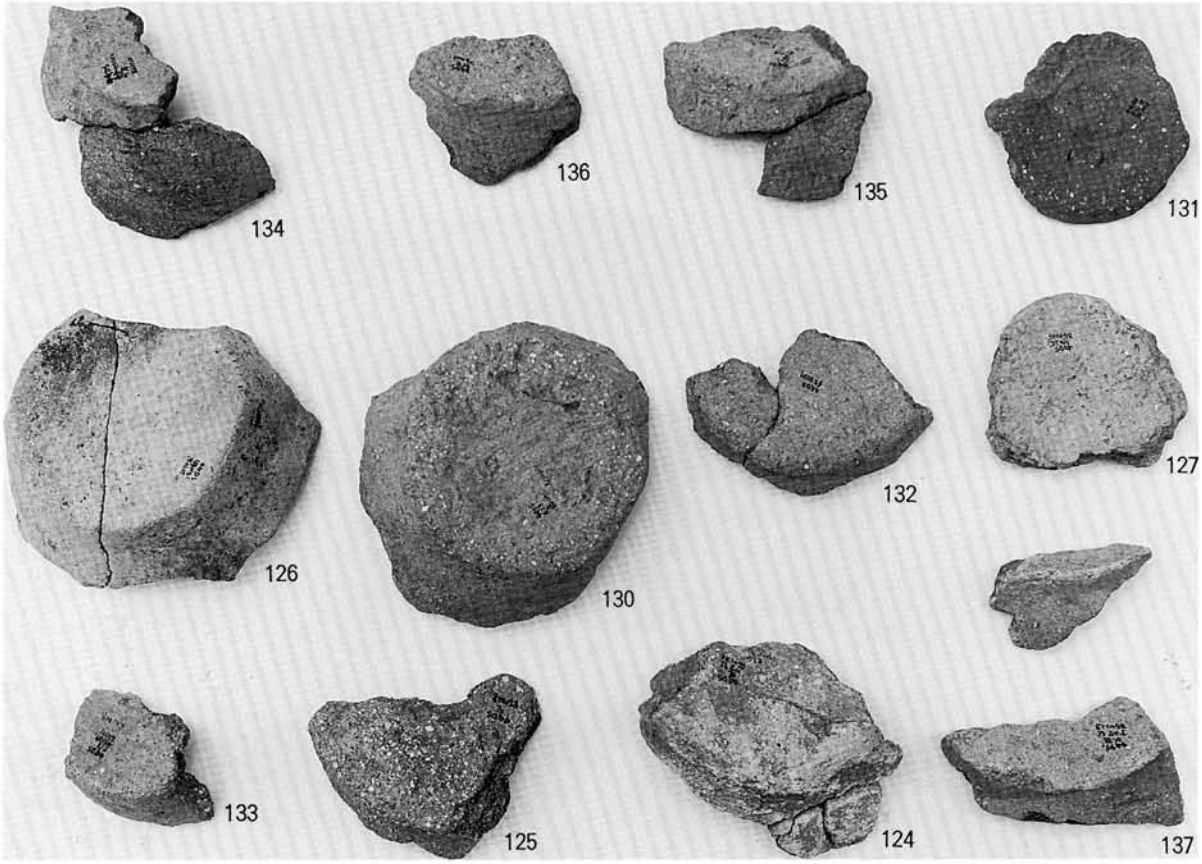
粗製深鉢（1：3）



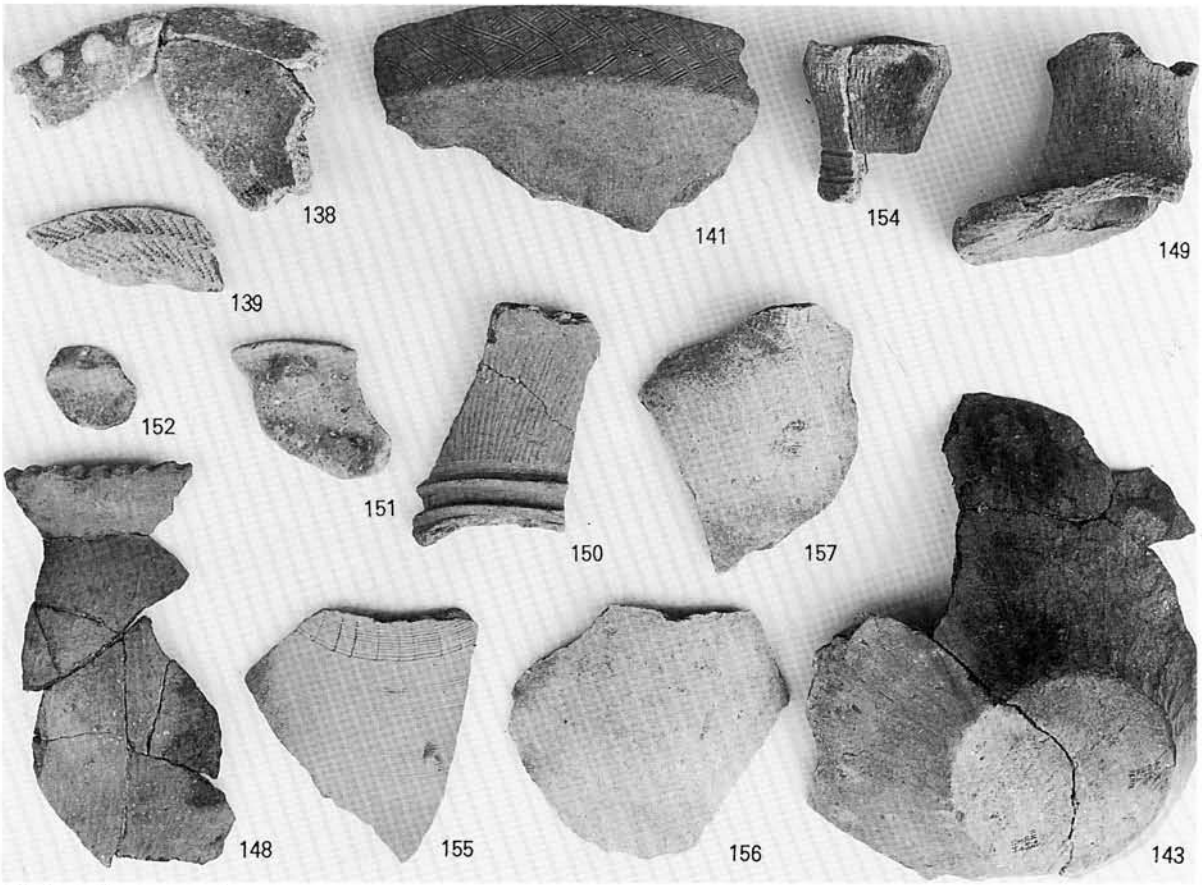
縄文後期の地文縄文・条線文土器群（1：3）



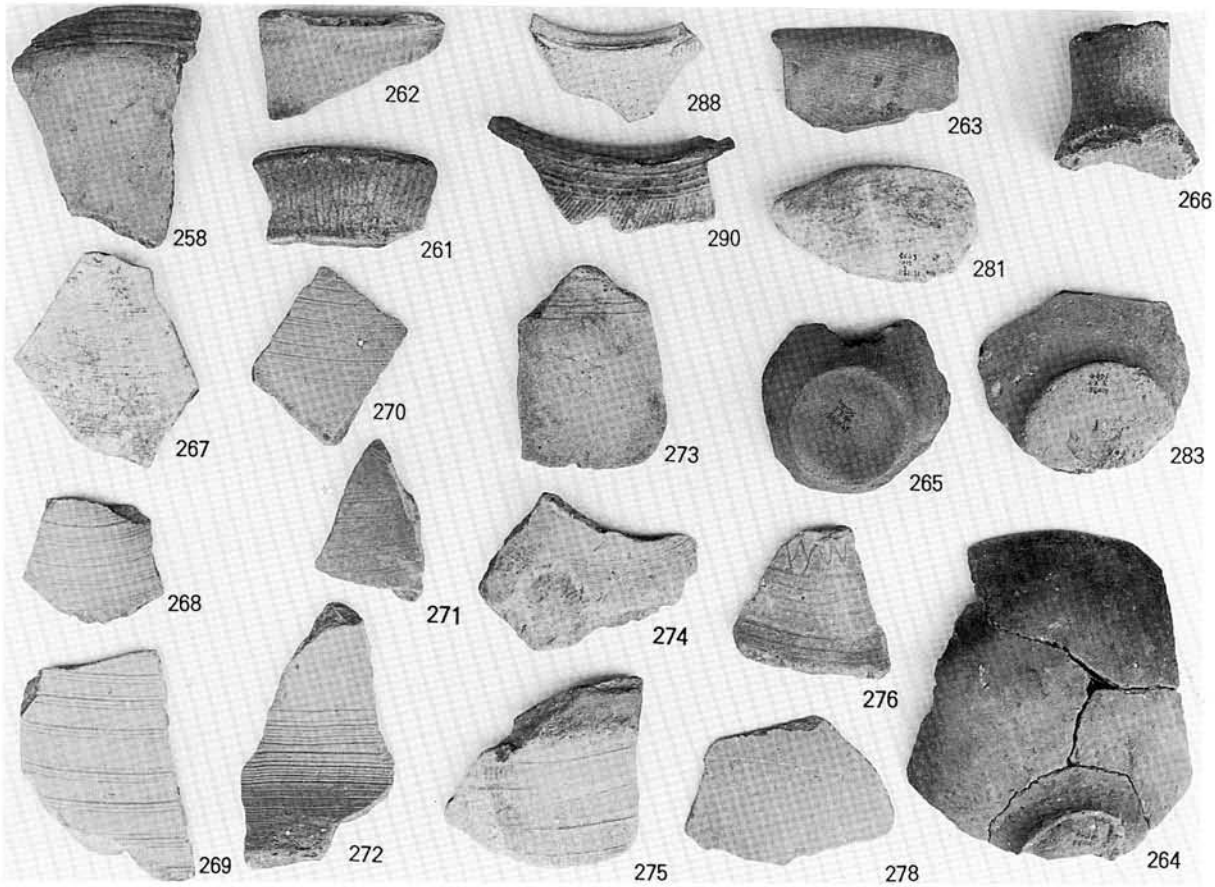
有文土器群（1：3）



縄文土器底部（1：3）

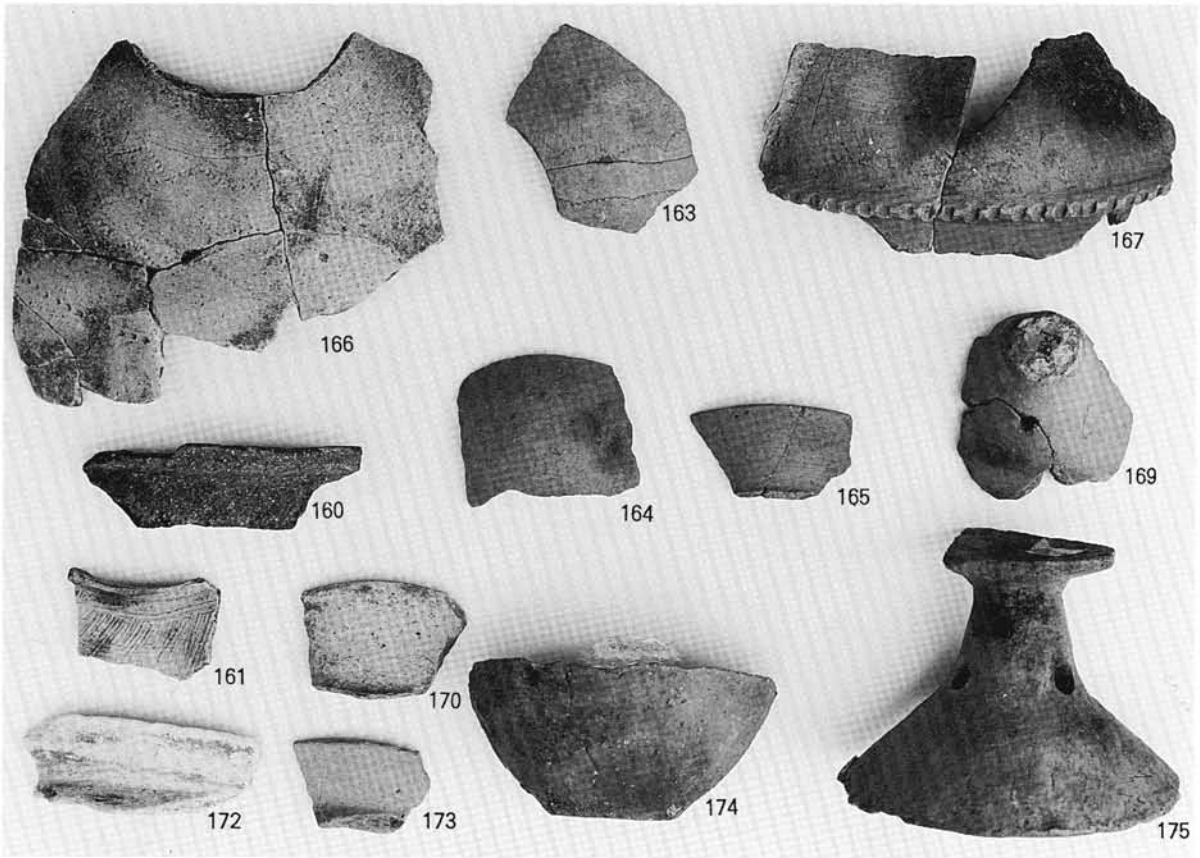


弥生土器（1：3）

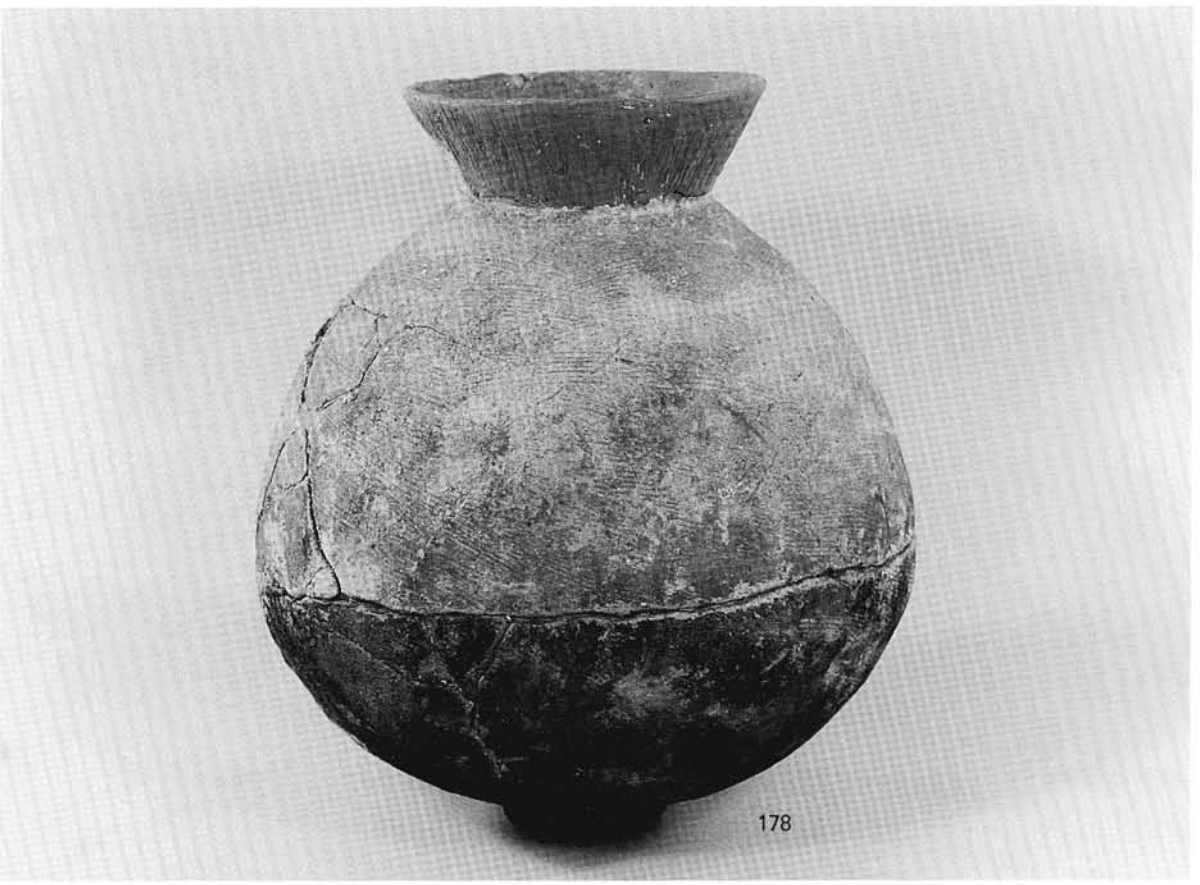


弥生土器（包含層）（1：3）

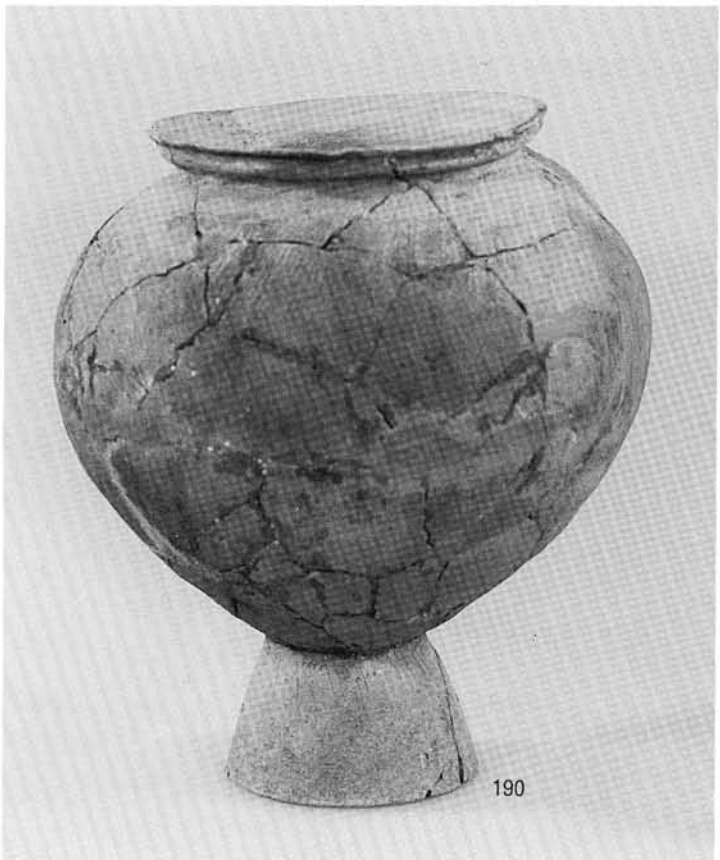
弥生・古墳時代の石製品（1：3）



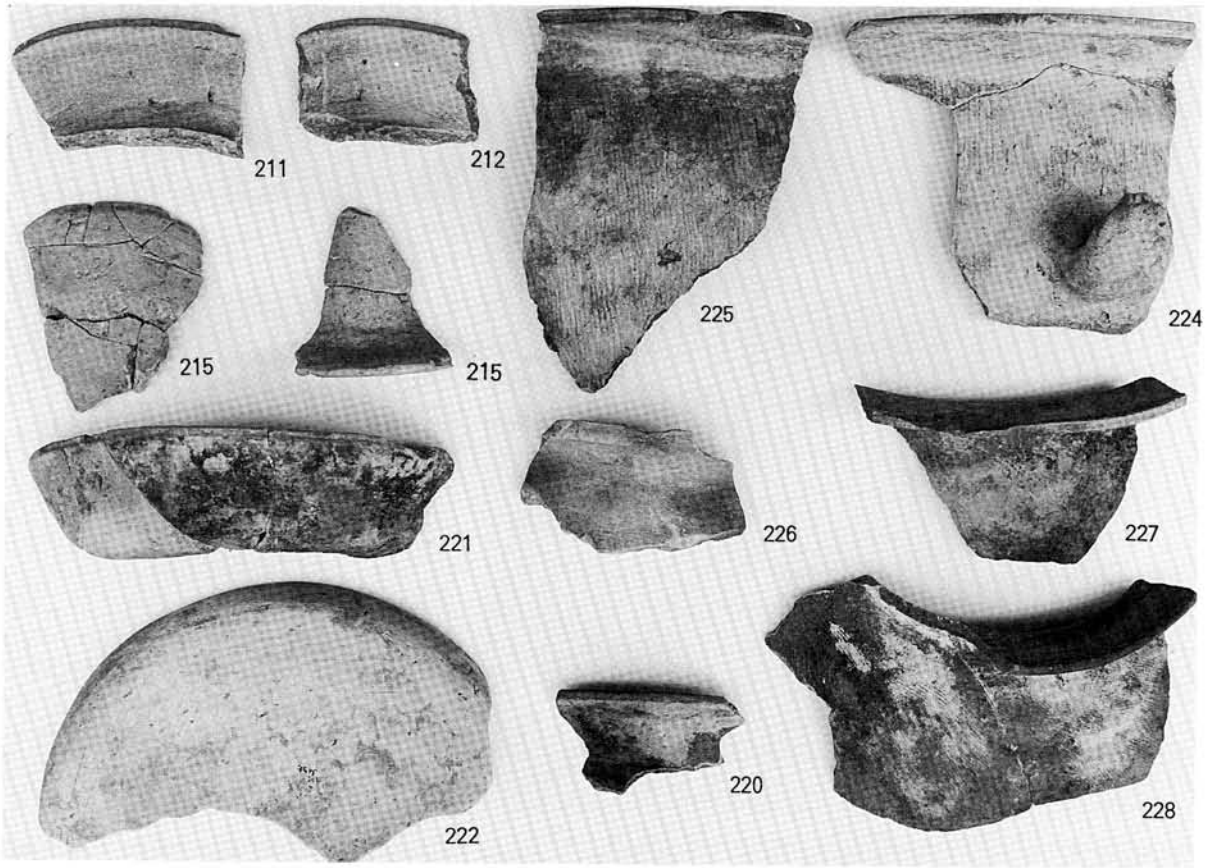
SK13・14、SB28の古式土師器（1：3）



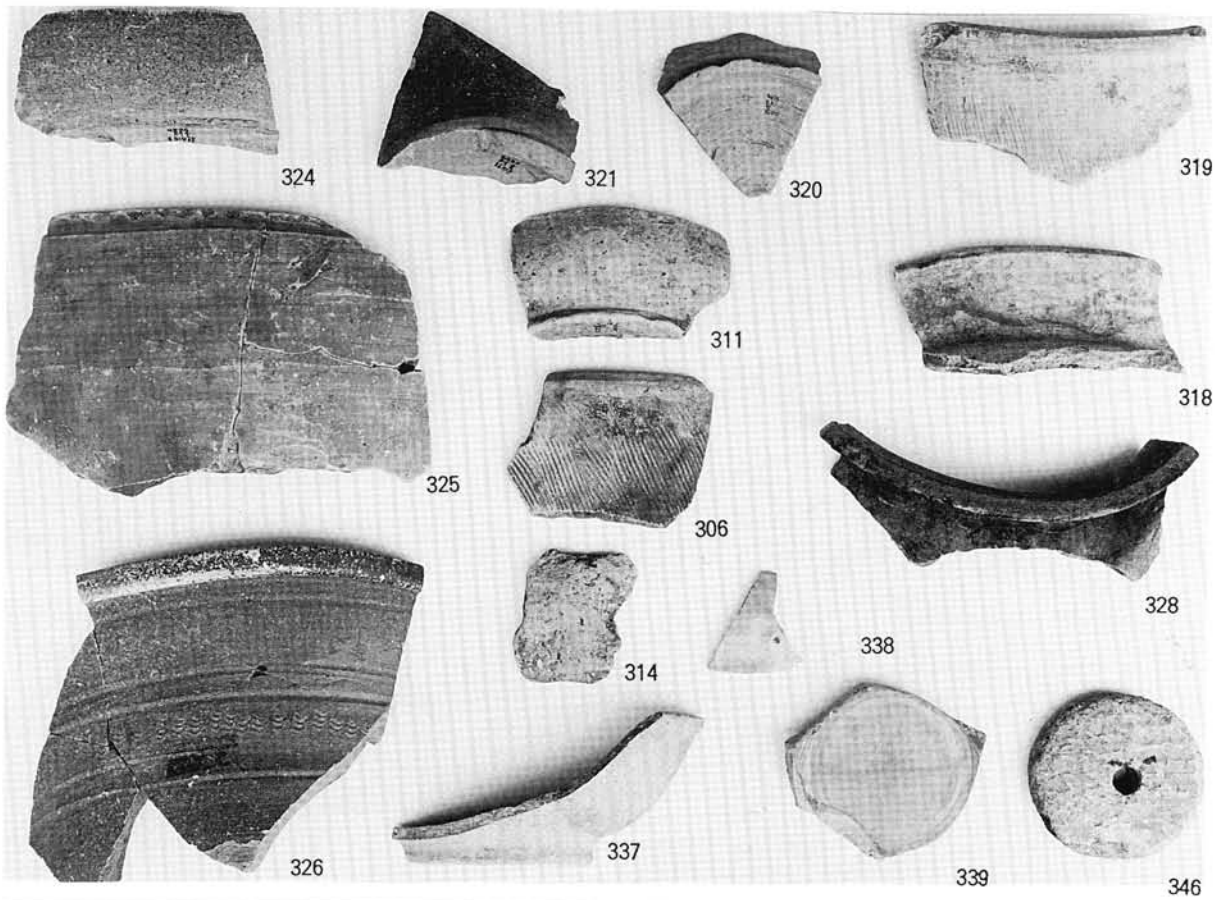
SB34の古式土師器（1：3）

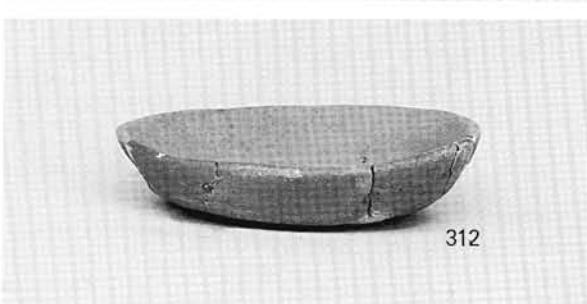


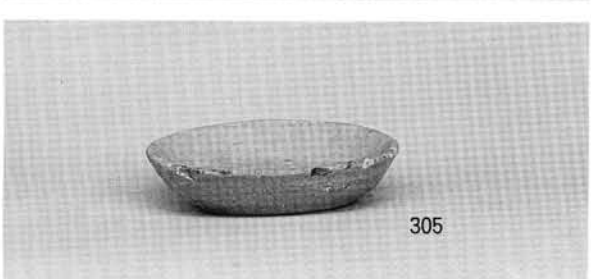
古墳時代の遺物（1：3）



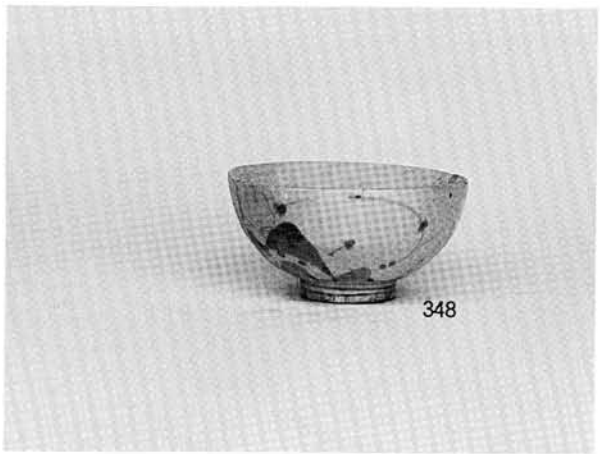
奈良・平安時代の遺構遺物（1：3）

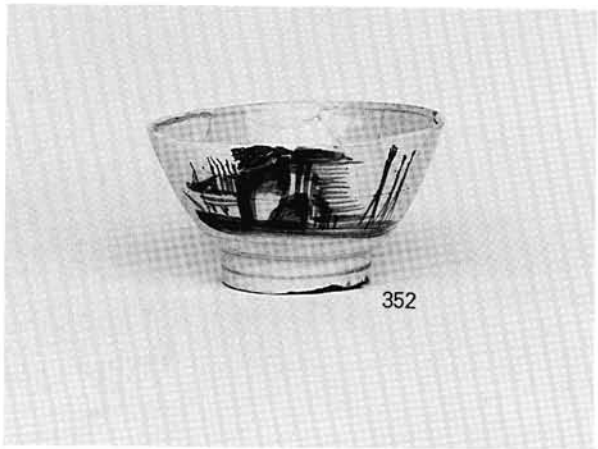


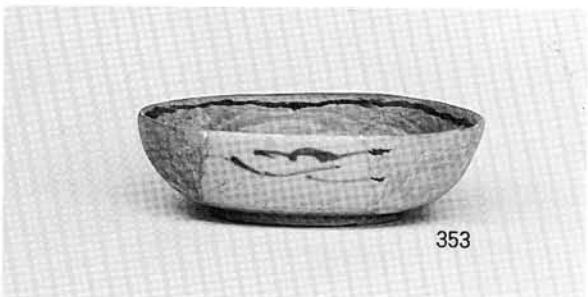


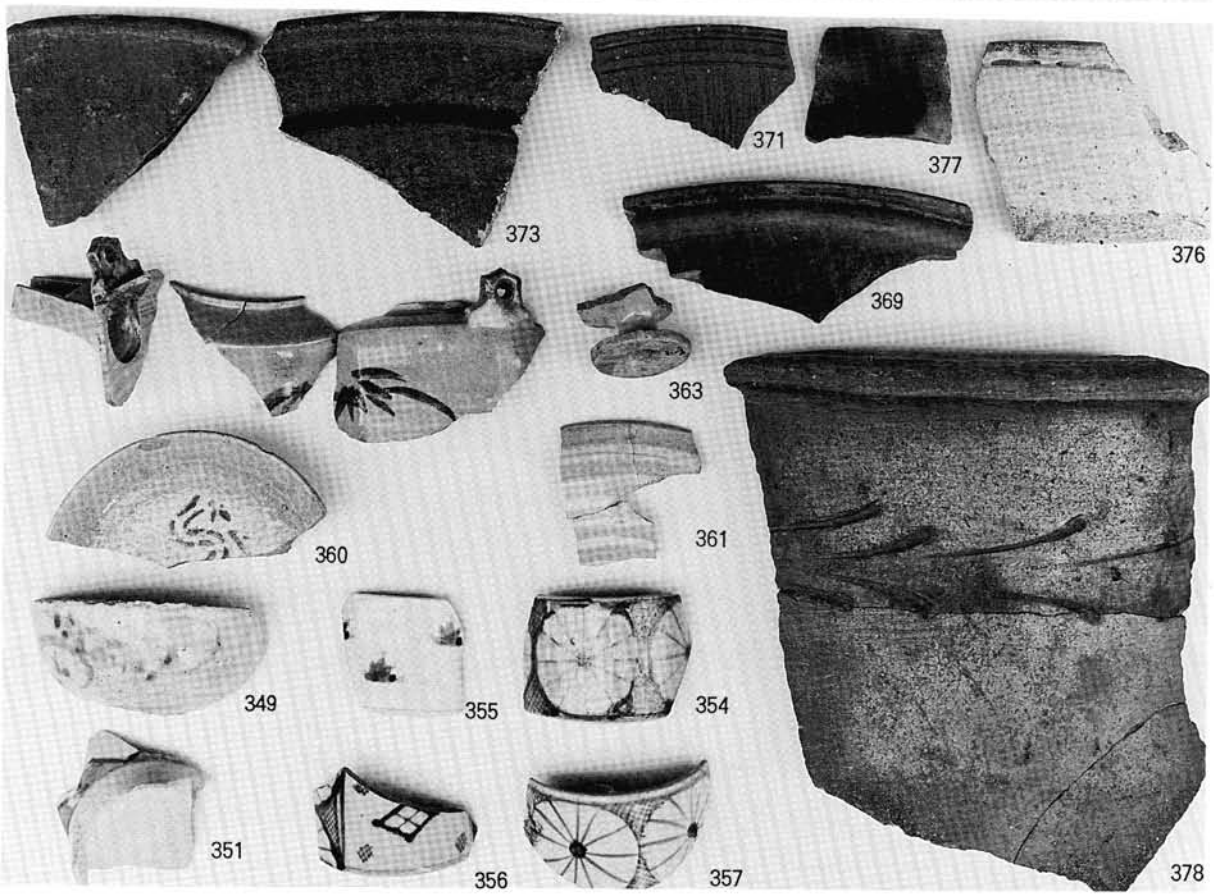


奈良時代～鎌倉時代の包含層遺物（1：3）





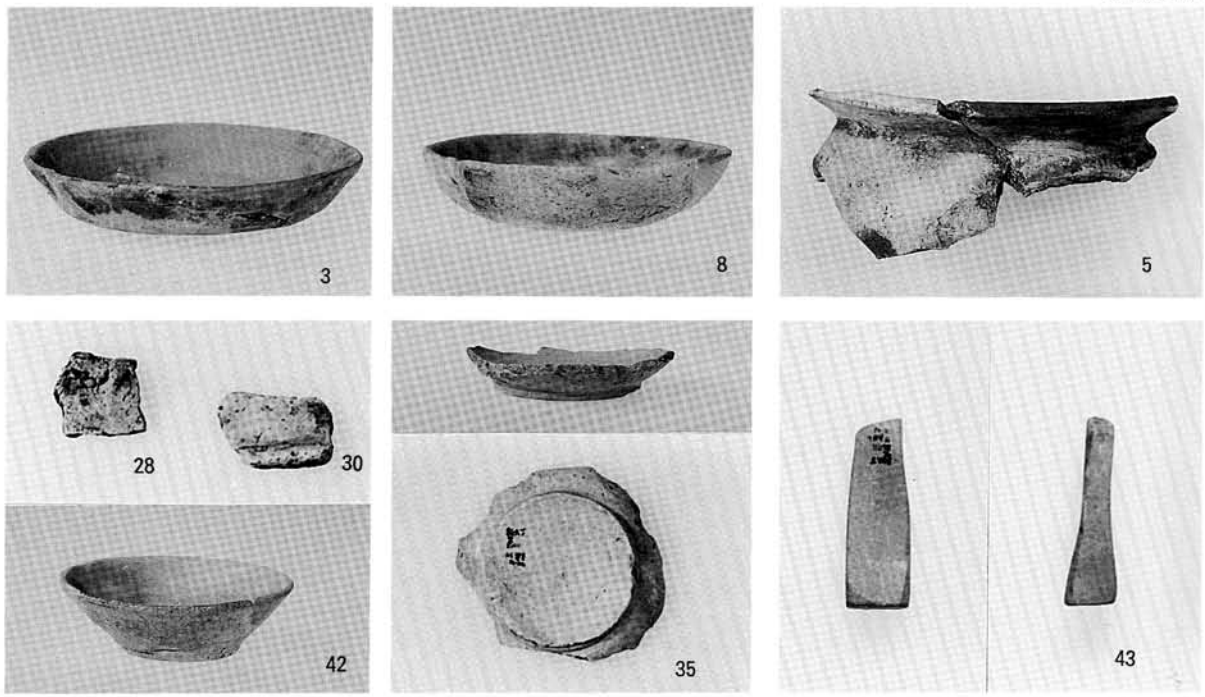




江戸時代の包含層遺物（1：3）

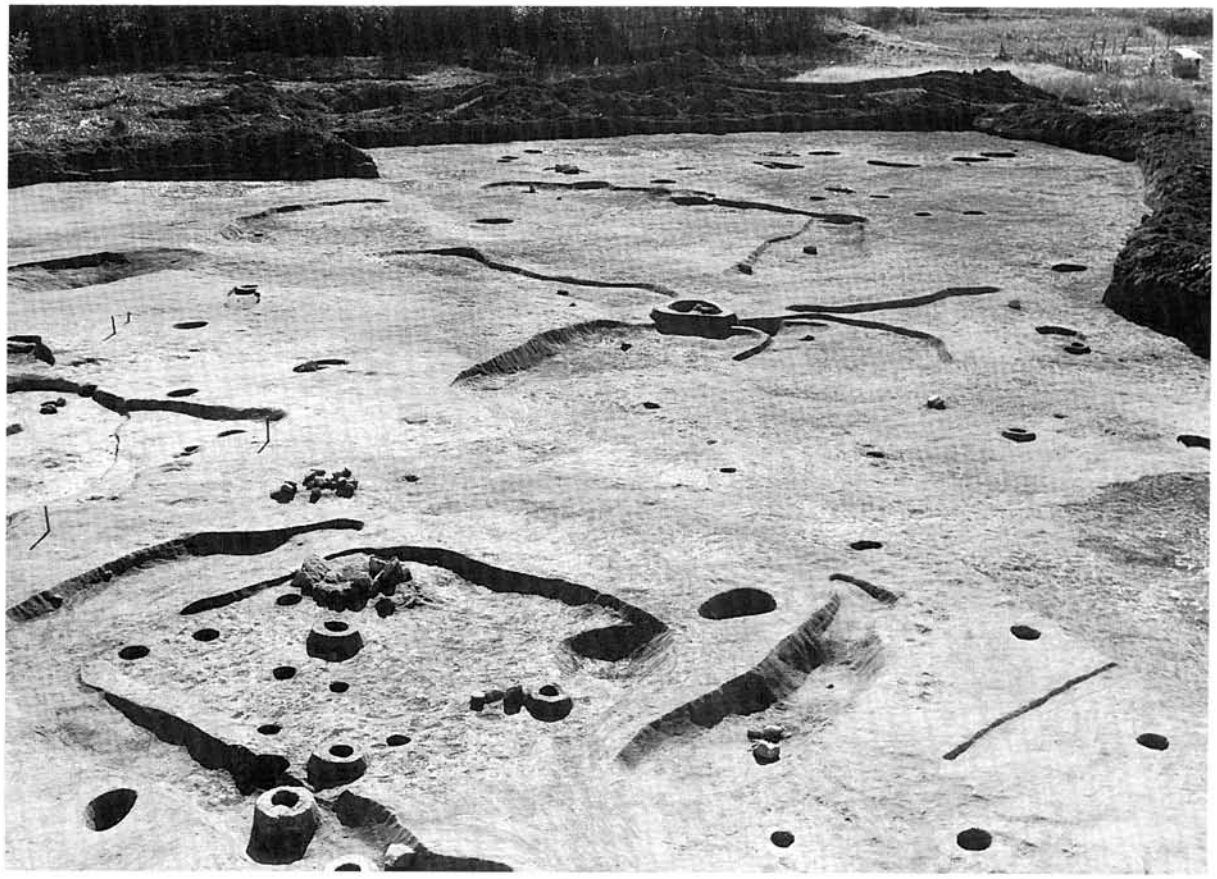
遺跡全景（北から）

SB 4（南東から）

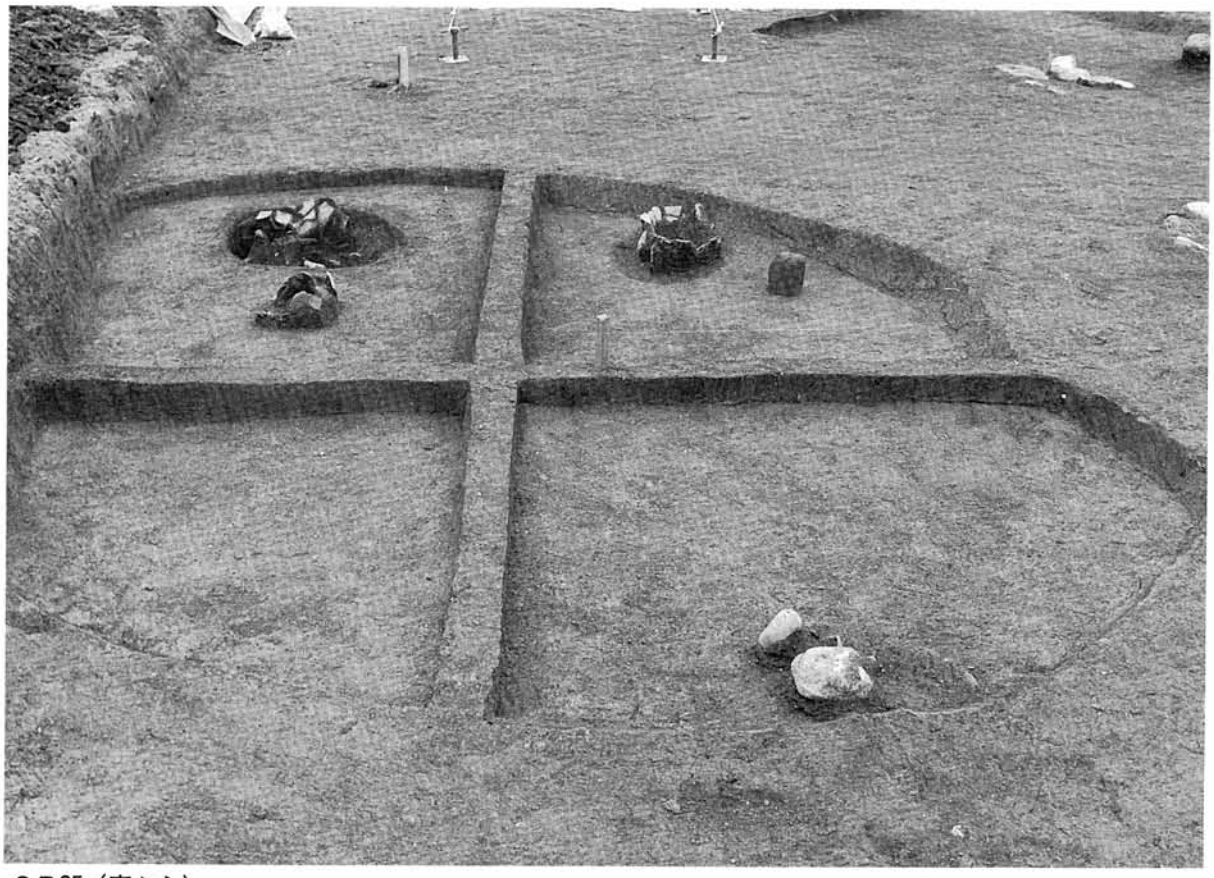


遺物（1：3）

ＳＢ４・５（東から）



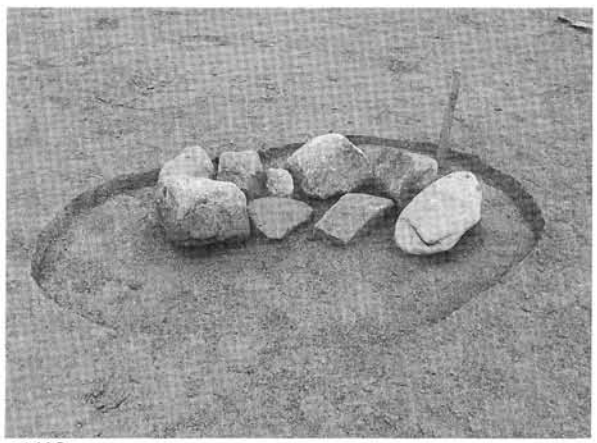
遺跡全景（北から）

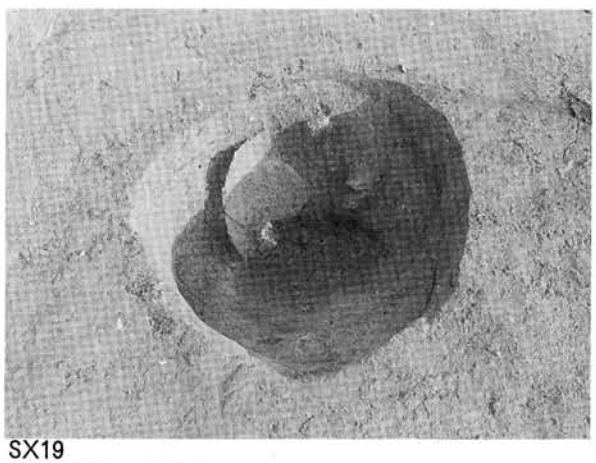


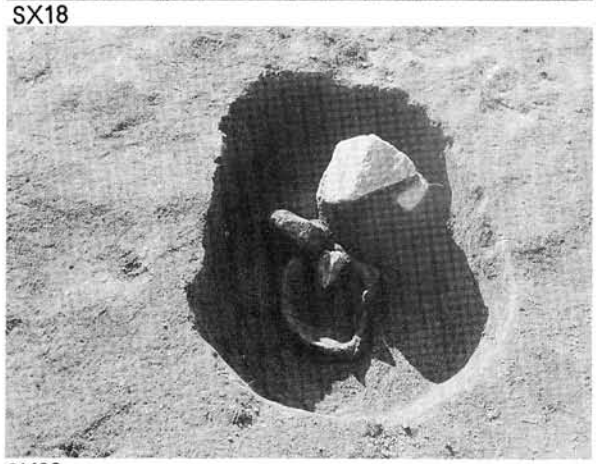
ＳＢ25（東から）

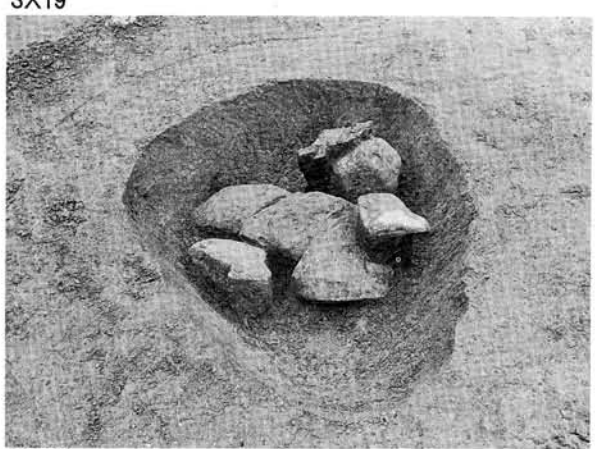
SX14（東から）

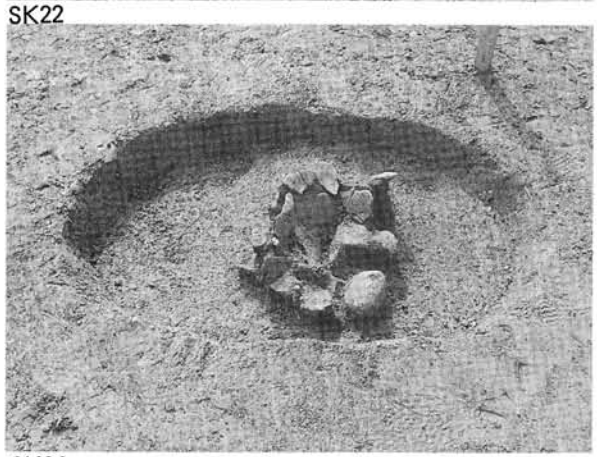
水差し形土器（299）

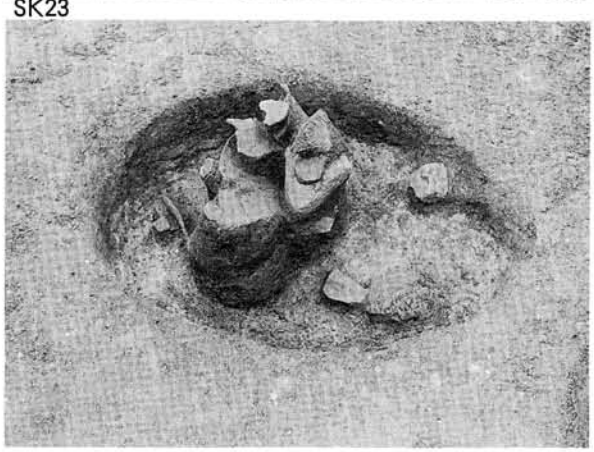

SX18


SX19

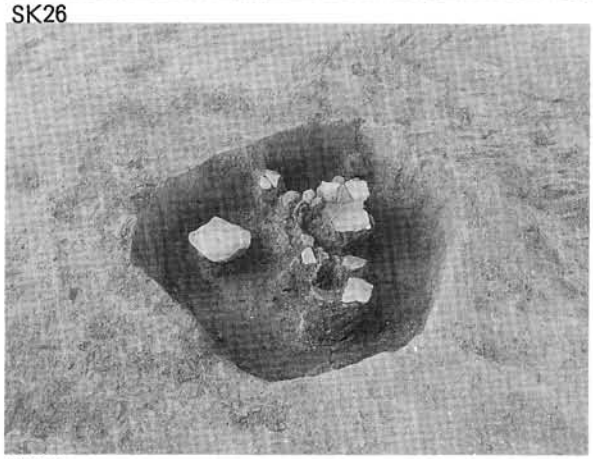

SK22


SK23


SK24

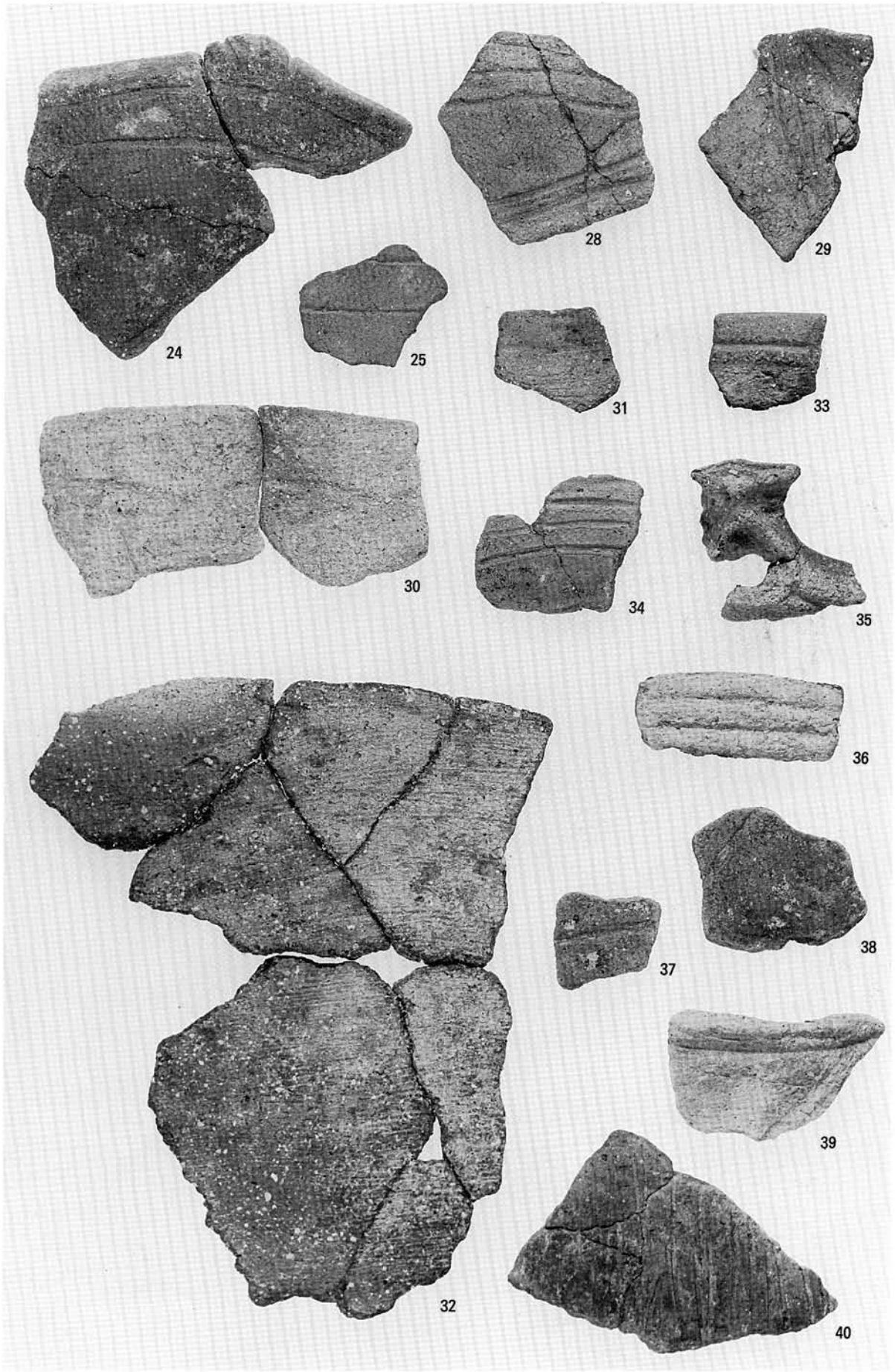

SK26

SX27

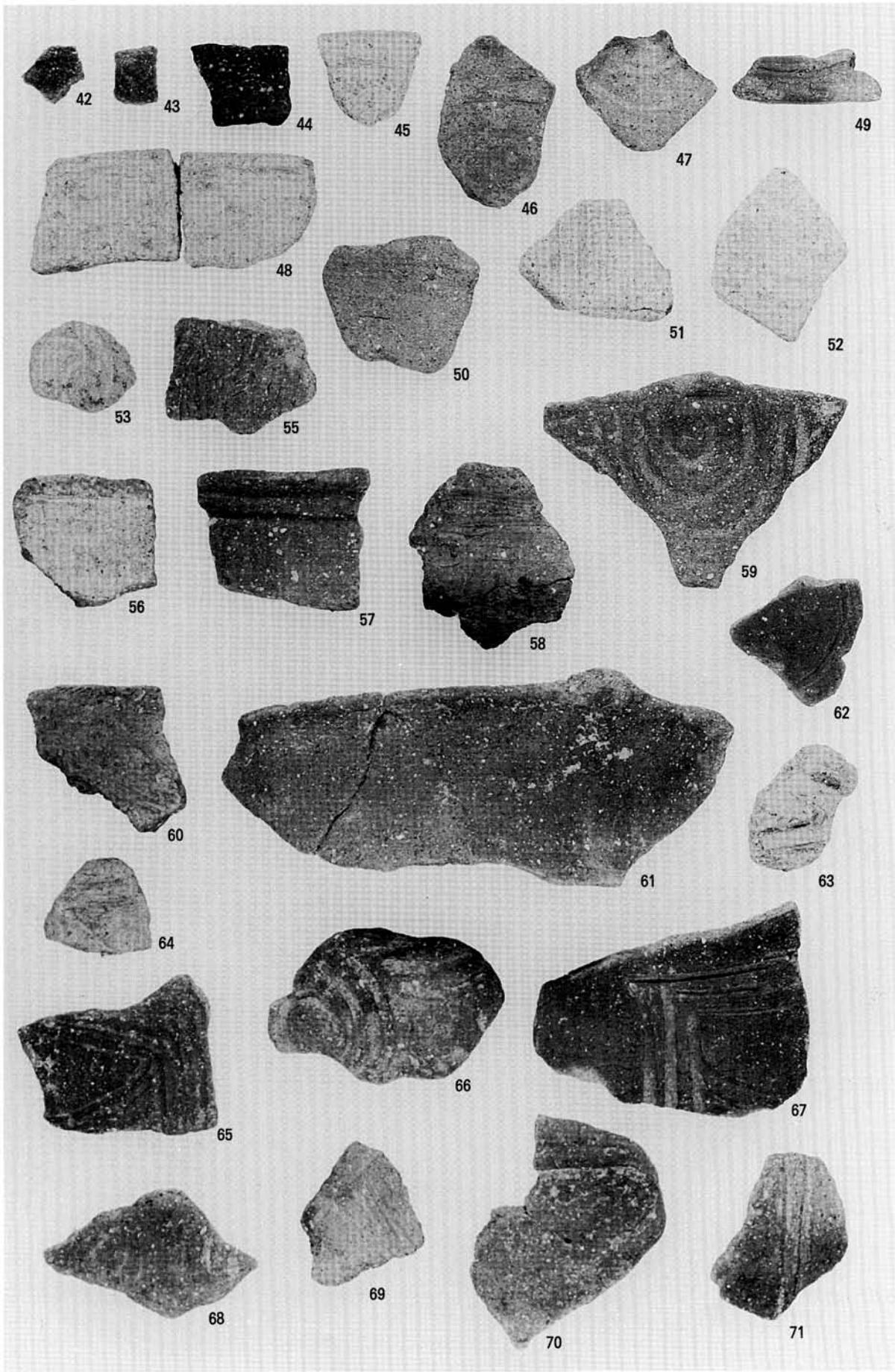

SK29

縄文時代の土坑

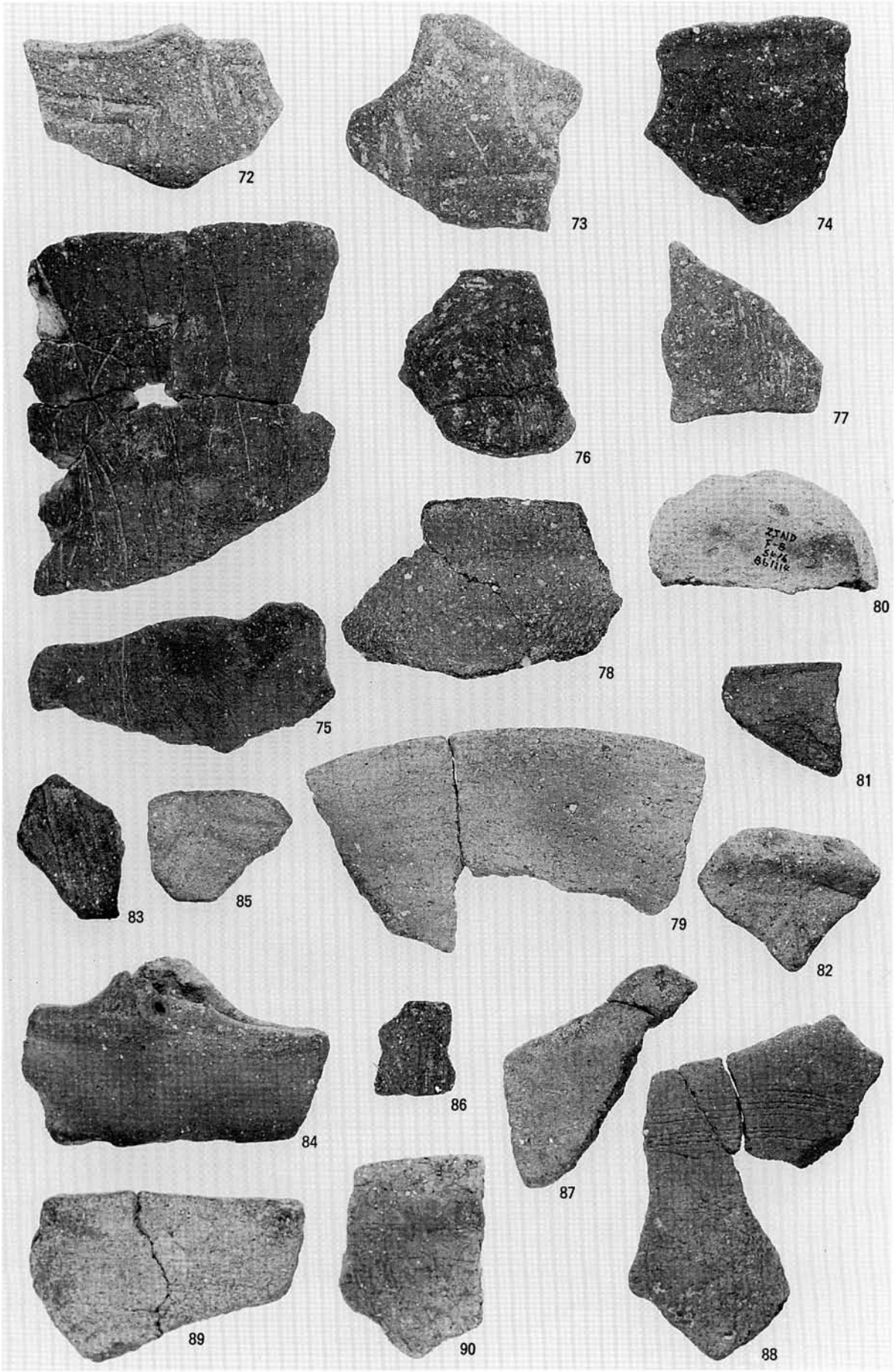
遺跡出土の縄文土器（１）（約１：２）



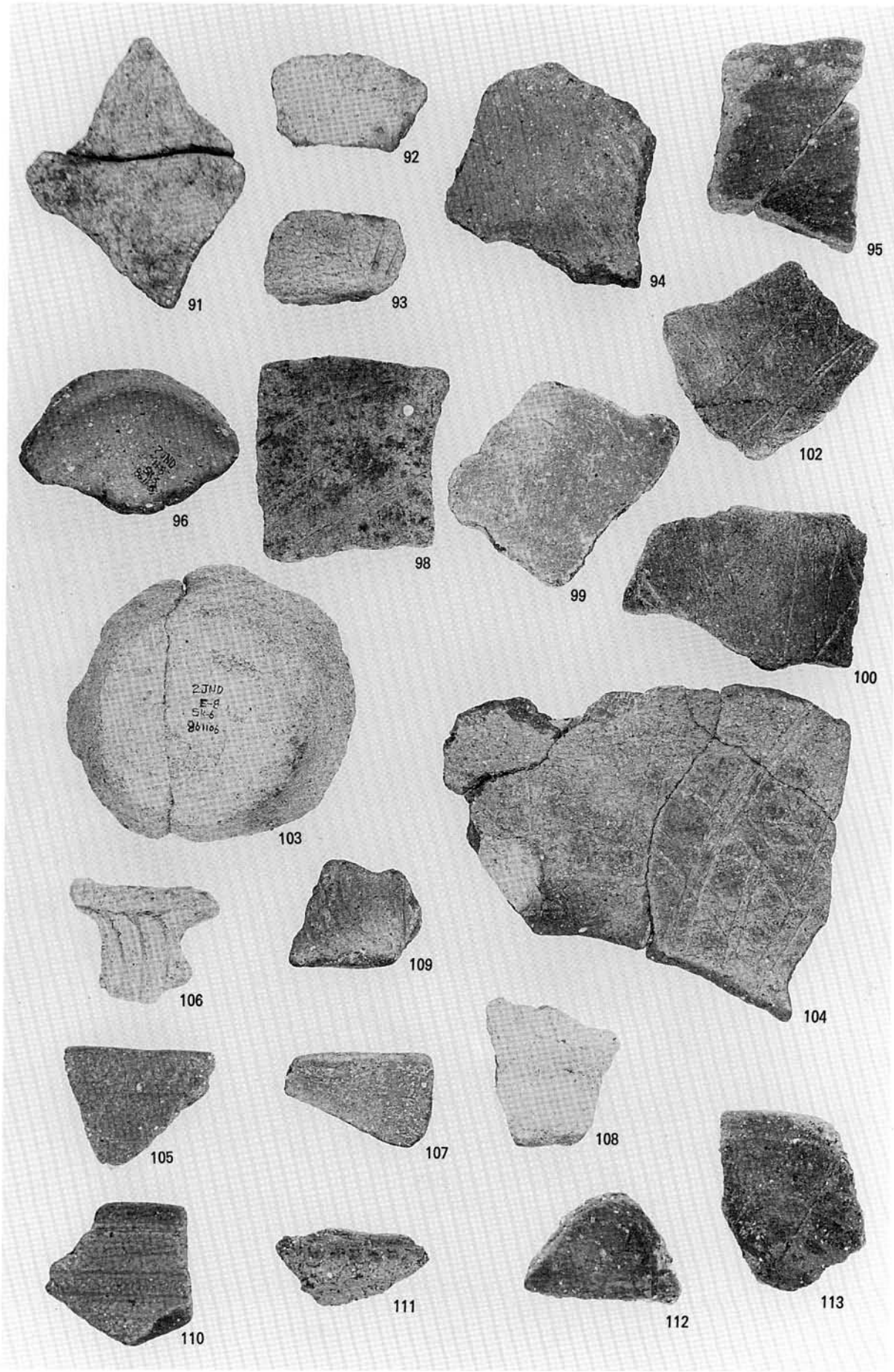
遺構出土の縄文土器（２）（約１：２）



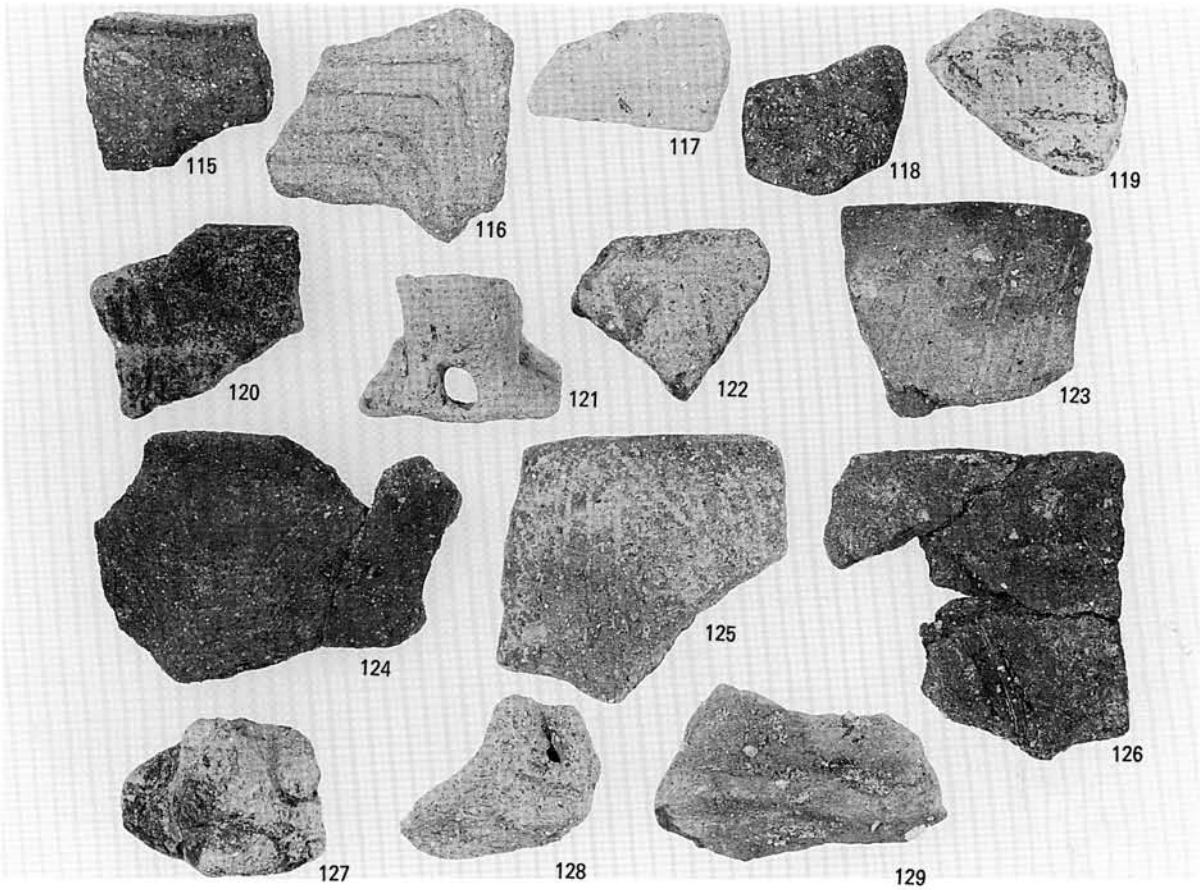
遺跡出土の縄文土器（３）（約１：２）

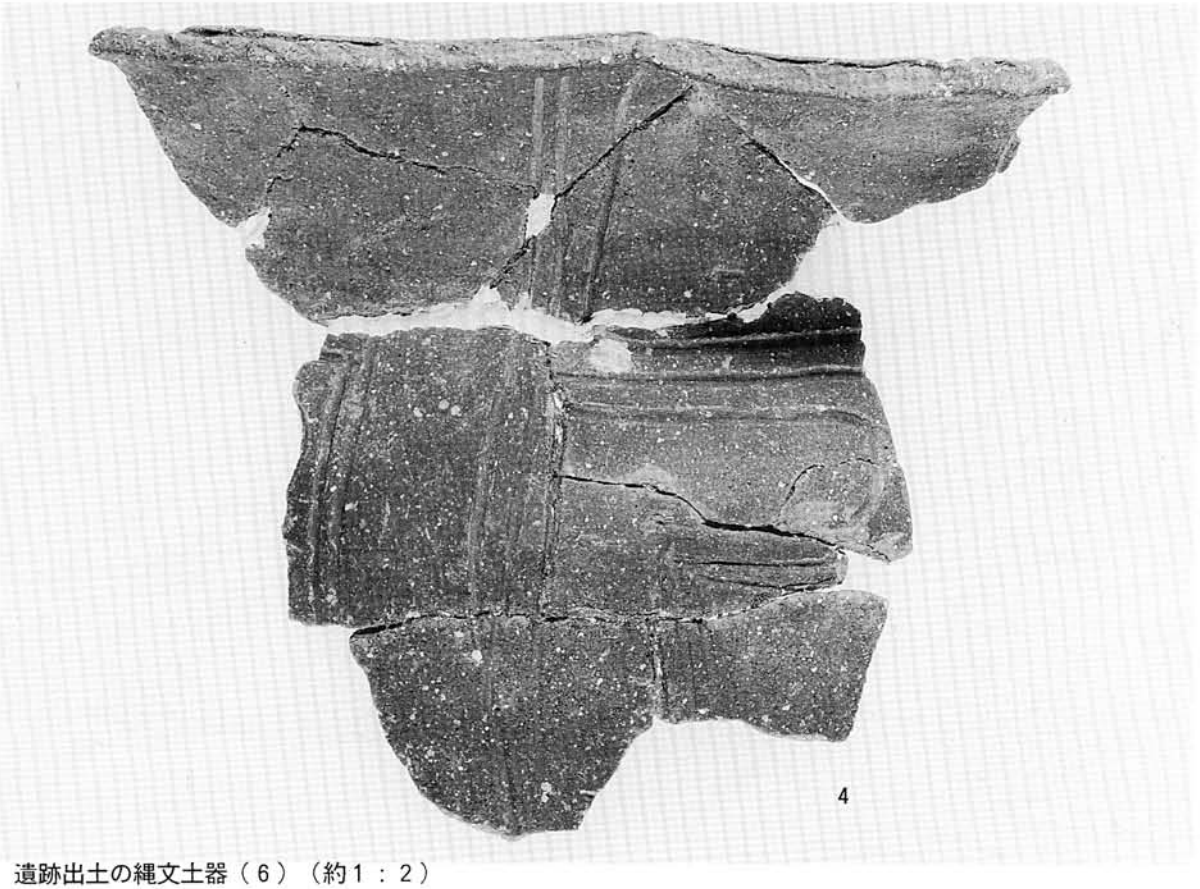


遺跡出土の縄文土器（４）（約１：２）



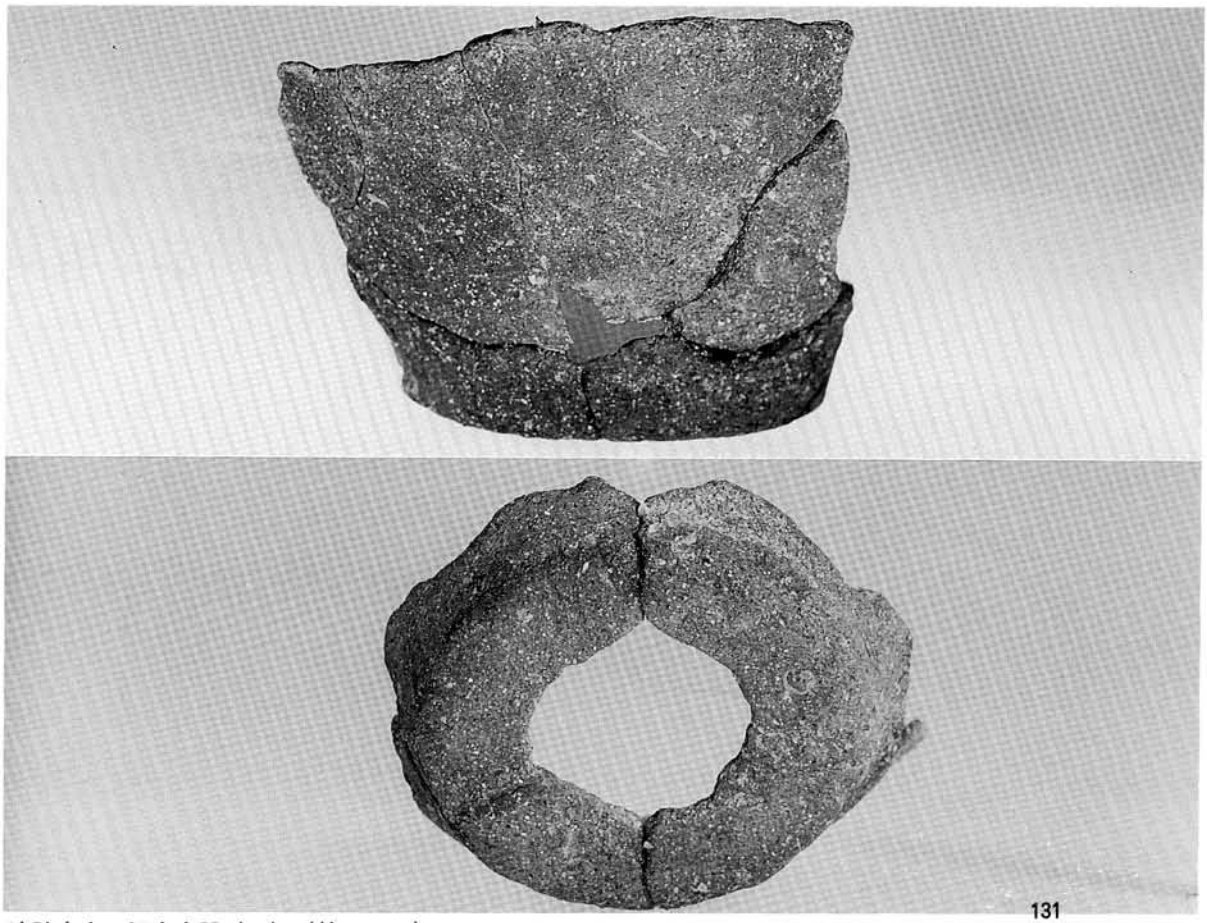
遺跡出土の縄文土器（５）（約１：２）





遺跡出土の縄文土器（６）（約１：２）

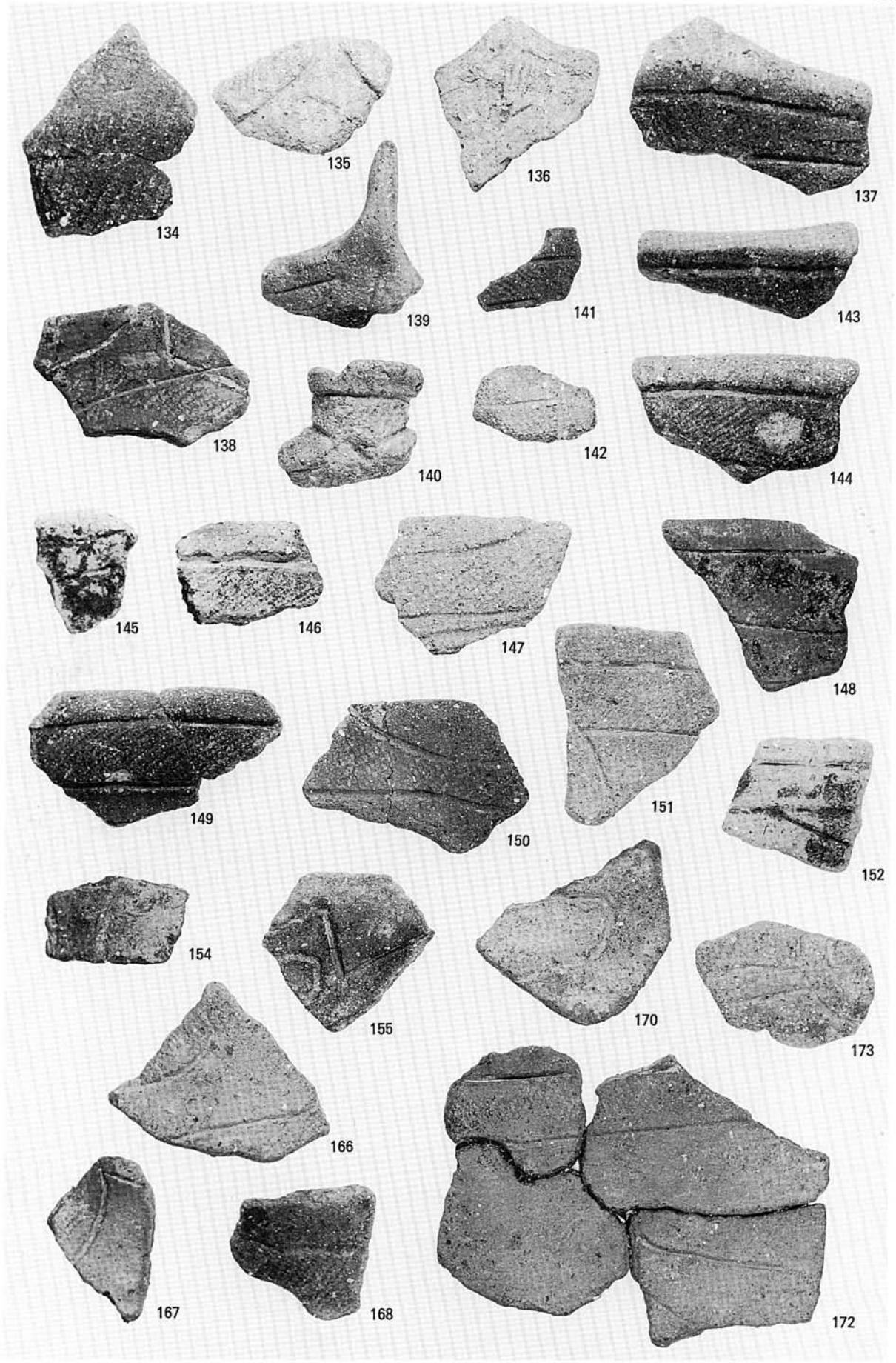
130



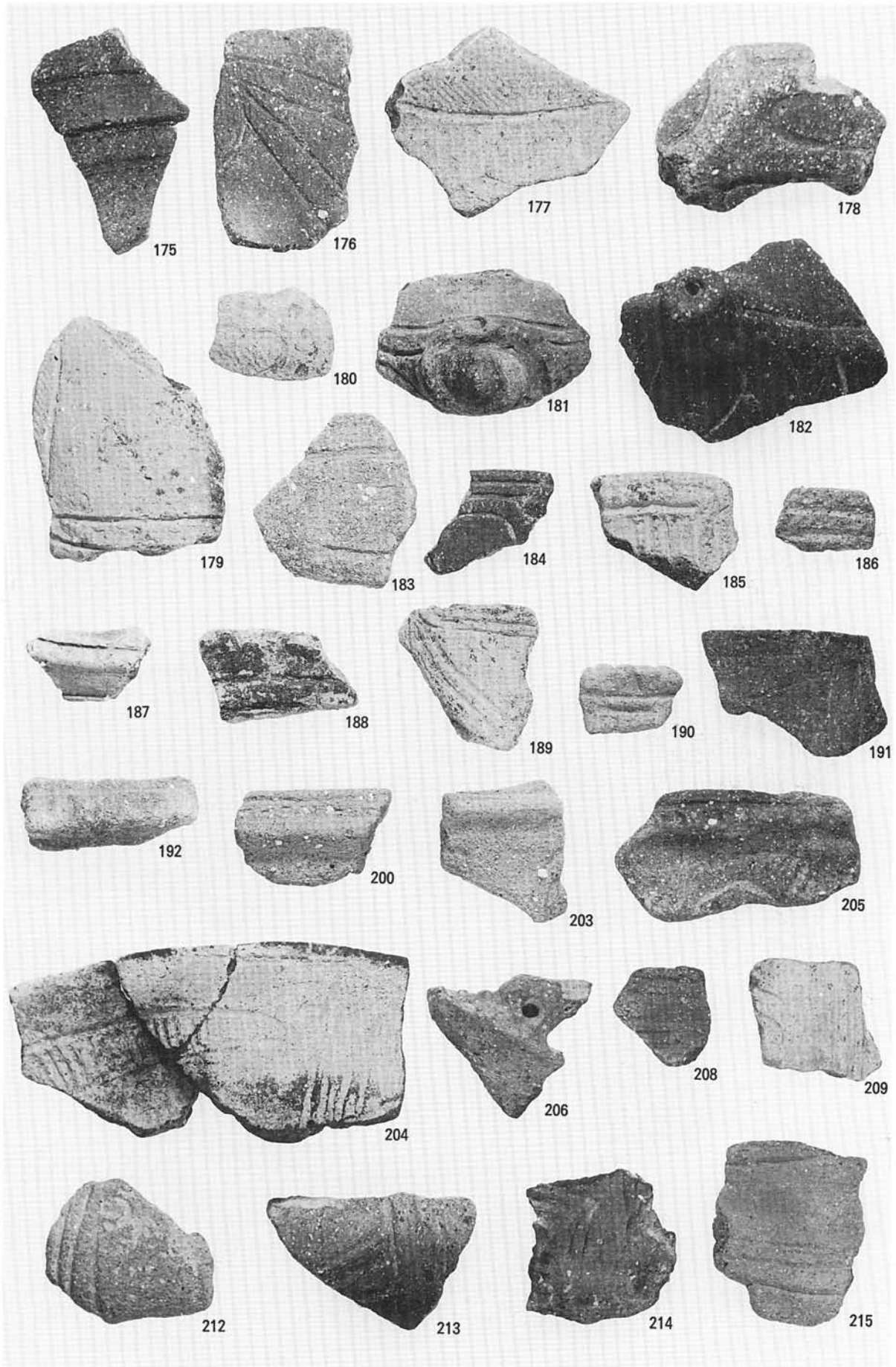
131

遺跡出土の縄文土器（７）（約１：２）

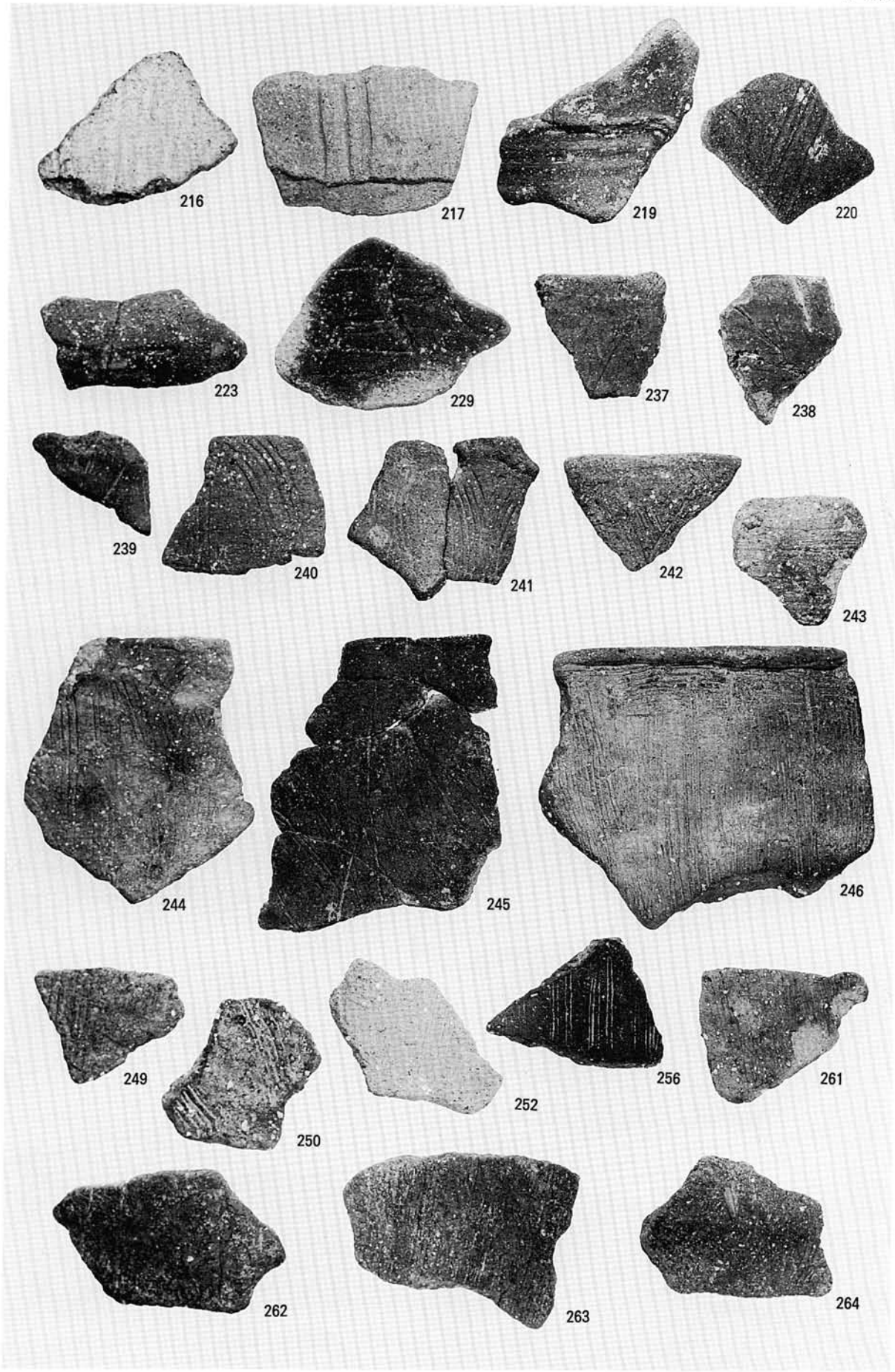
遺構出土の縄文土器（８）（約１：３）



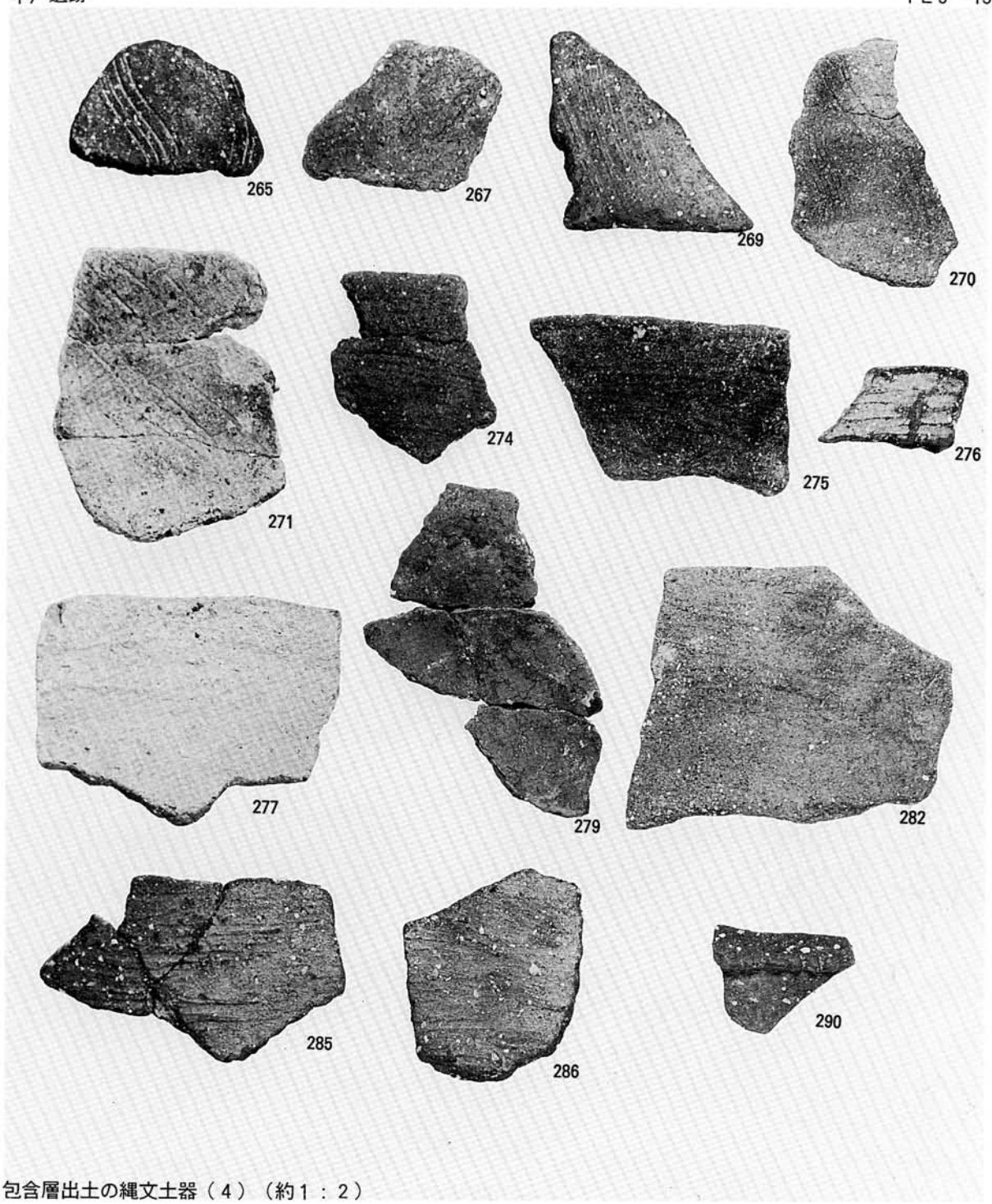
包含層出土の縄文土器（１）（約１：２）



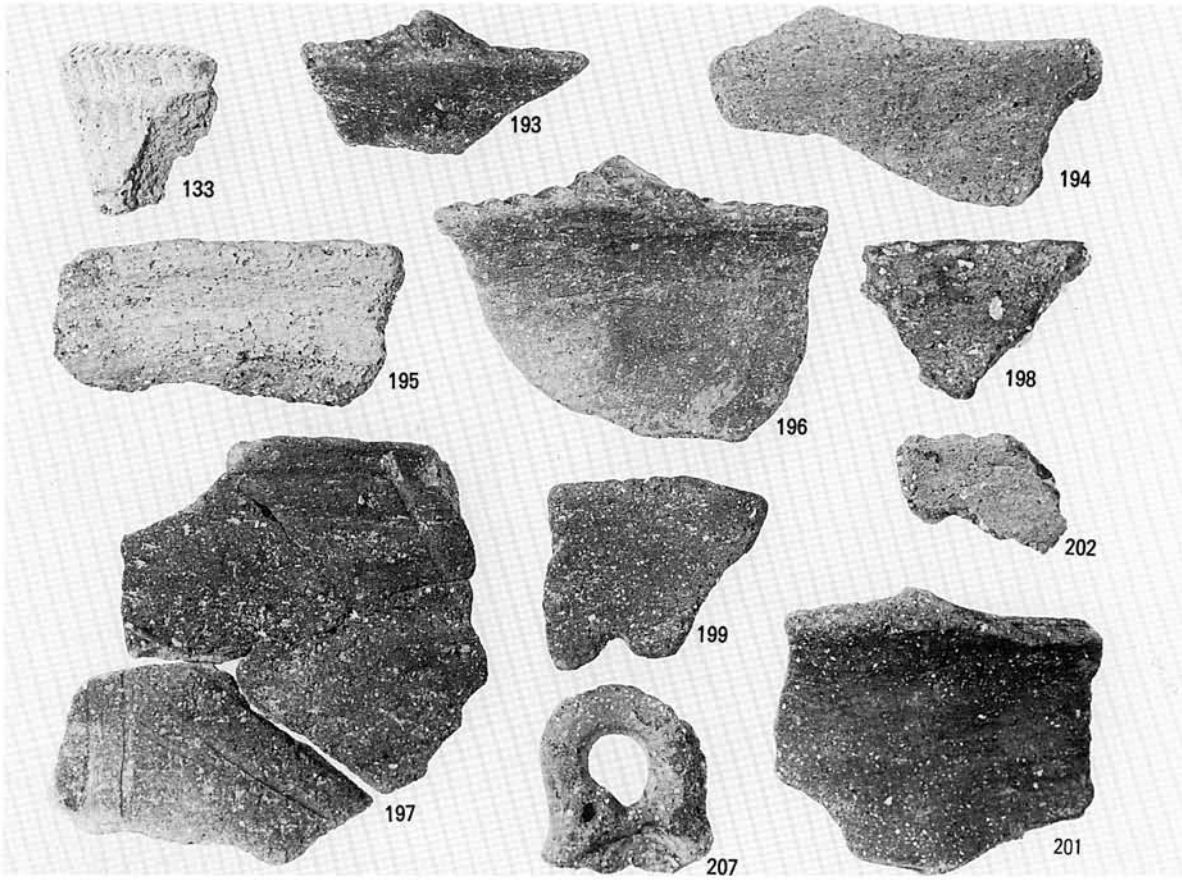
包含層出土の縄文土器（２）（約１：２）

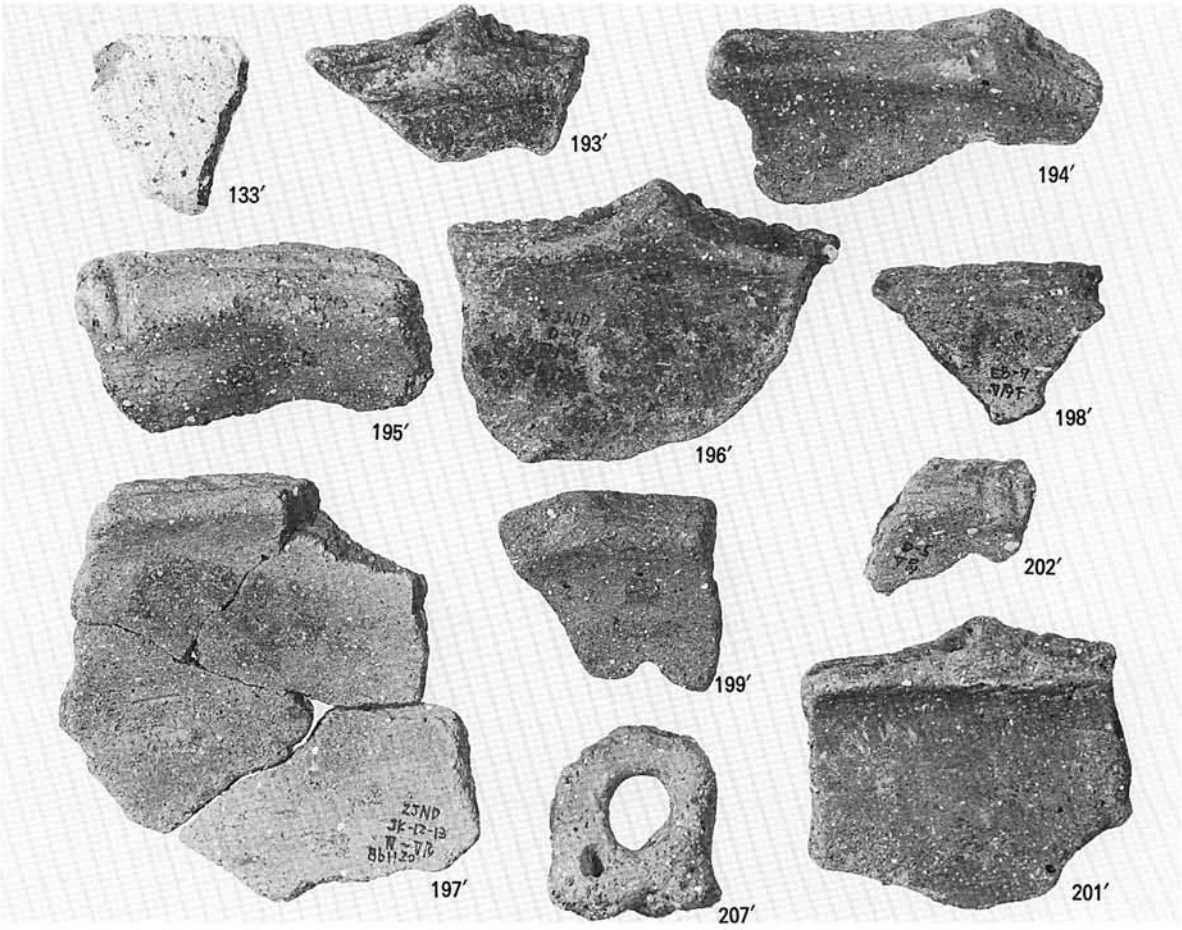


包含層出土の縄文土器（３）（約１：２）

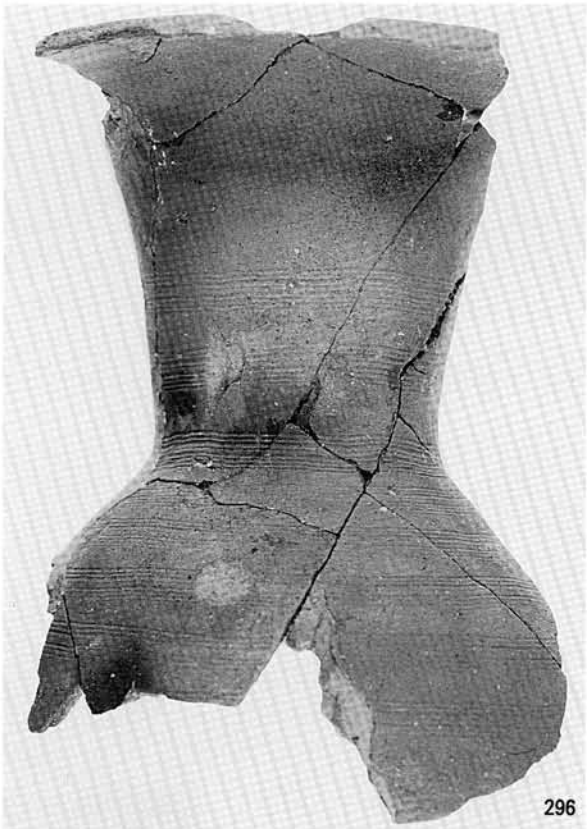


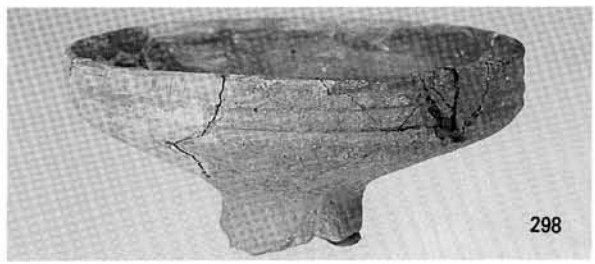
包含層出土の縄文土器（４）（約１：２）

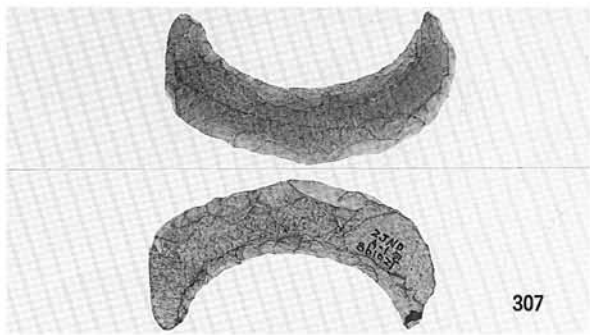


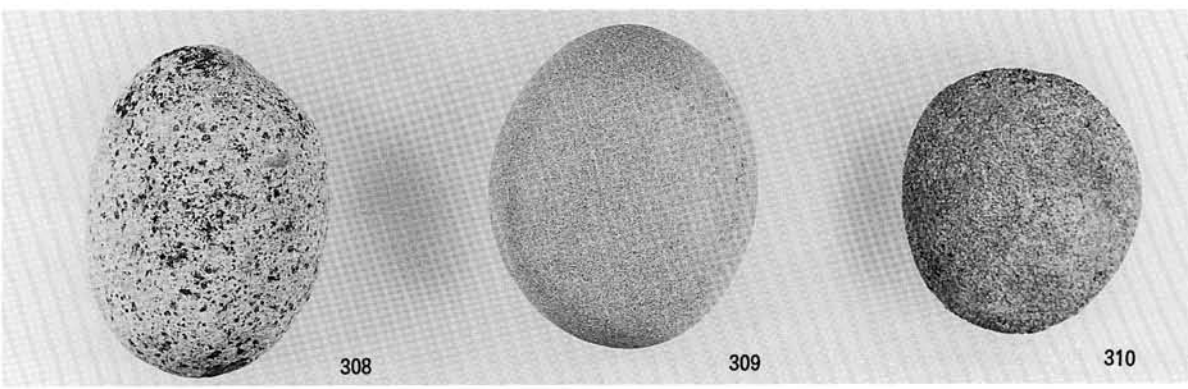


包含層出土の縄文土器（５）（約１：２）

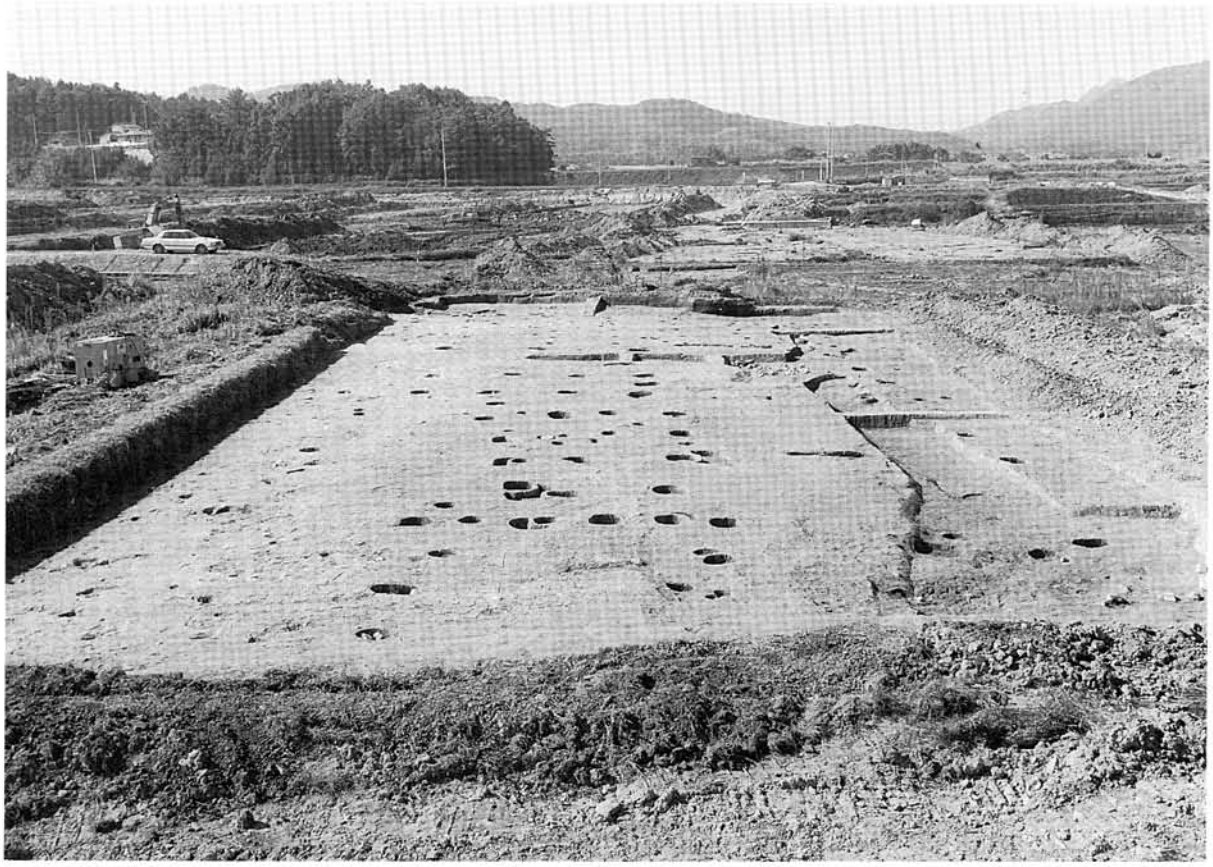




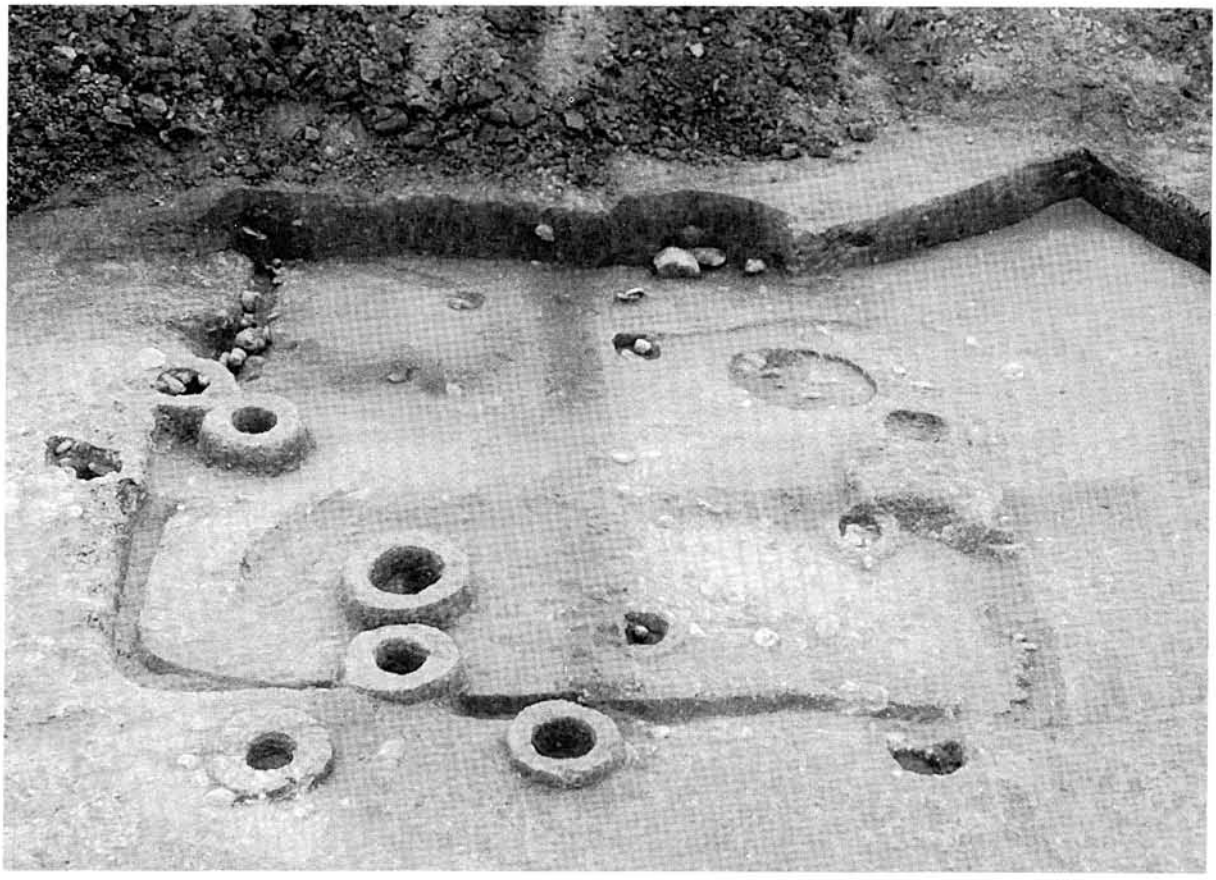




弥生土器・石器（1 : 3）



遺跡全景（東から）

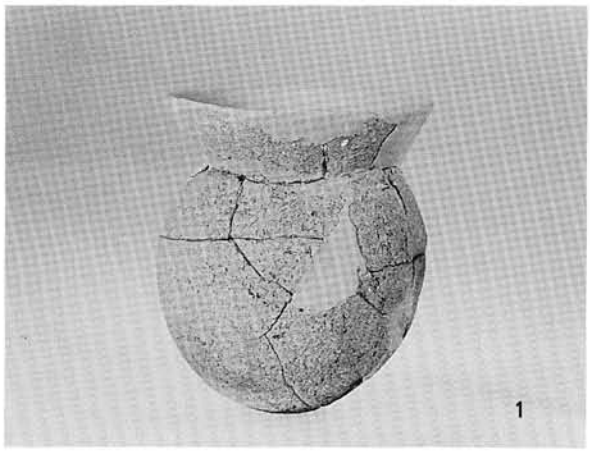


SB 5（北から）

SB 2（西から）

SB 3・4（東から）

SB 5　遺物出土状況



遺物（1：3）

平成元(1989)年3月に刊行されたものをもとに
平成17(2005)年12月にデジタル化しました。

三重県埋蔵文化財調査報告 79

昭和61年度農業基盤整備事業地域

埋蔵文化財発掘調査報告 I

── 遺物観察表・図版編 ──

平成元年 3 月31日

編　集　三重県教育委員会

発　行　三重県教育委員会

印　刷　有限会社第一プリント社